

20240123

授業支援ソフトウェア

EdClass

イーディークラス

Ver.15.10

インストール／操作ガイド

株式会社アルバニクス

マニュアルの著作権 (C) 2024 ARVANICS Corporation 無断転載を禁ず。
この文書に書かれている情報は、予告なしに変更されることがあります。
ARVANICS Corporation はこの文書を改訂、または随時内容を変更する権利
を持ち、そういった改訂や変更をお客様に通知する責務を負いません。

この文書に記述されているソフトウェアは、国際著作権条約で保護されており、
ライセンス規約の下に提供されています。ライセンス契約書に記載されている
方法でのみ、このソフトウェアを使用することができ、バックアップを目的とする
場合に限ってバックアップを作成することができます。

商業的または特定の目的に適合することの保証を含むどのような暗黙的な保
証も、ライセンス契約書に明示的に記載されている保証条項に制限されます。

プログラムの著作権 (C) 1991-2024 NetSupport Ltd. 無断転載を禁ず。

商標

NetSupport は NetSupport Ltd. の登録商標です。

Windows / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows 11 は Microsoft Corporation
の登録商標です。

その他の製品、商標、登録商標はそれらを所有する各社に帰属します。

ソフトウェアライセンス使用許諾契約書

EdClass ソフトウェアをインストールもしくはお使いになる前に本契約書をよくお読みください。本使用許諾契約書は、お客様と ARVANICS Corporation そして NetSupport Ltd 間で締結される法的な契約です。本ライセンス契約の条項に同意されない場合は、本ソフトウェアを起動、アクティブ化または使用することはできません。

期間: 下記の解除条項における解除をしない限り、本ライセンスは永続的なものとします。

ライセンスの許諾: 該当するライセンス料の支払い、本契約の条項および条件によるお客様の順守を条件に、NetSupport Ltd は、ここにお客様が取得したソフトウェアの指定されたバージョンを使用する通常実施権、譲渡禁止の権利を許諾します。

使用: 本ソフトウェアは、該当する注文確認、製品請求書、ライセンス証明書または製品パッケージに指定された数量の使用条件に基づきライセンスされています。条件で指定された数だけデバイスにソフトウェアの追加を作成、インストールそして使用することができます。お客様は、本ソフトウェアがインストールされたデバイス数がお客様の取得したライセンス数を超えないための合理的なメカニズムを設ける必要があります。

サーバでの使用: 該当する注文確認、製品請求書、製品パッケージまたはライセンス証明書が定めた範囲内において、お客様はデバイスやマルチユーザーまたはネットワーク環境(「サーバでの使用」という)内のサーバ上のソフトウェアを使用することができます。そのようなデバイスまたは座席がソフトウェアに同時に接続している、または実際に使用するときに関係なく、ソフトウェアに随時接続する各デバイスまたは「座席」には個別のライセンスが必要になります。接続して直接または同時(例えば「マルチプレキシング」または「プーリング」ソフトウェアまたはハードウェア)にソフトウェアを使用するデバイスや座席数を減少させるソフトウェアまたはハードウェアの使用は必要なライセンス数を減らすことはありません。具体的には、マルチプレキシングまたはプーリングのソフトウェアまたはハードウェア(「フロントエンド」)に対し個別の接続数と同じ数のライセンス数を所持する必要があります。ソフトウェアに接続できるデバイスまたは座席数が取得したライセンス数を超える場合、お客様はソフトウェアの使用が取得したライセンスに指定された使用限度を超えないための合理的なメカニズムを設ける必要があります。

著作権: 本ソフトウェアは国際著作権保護法により保護されています。バックアップ目的以外製品をコピーすることはできません。ソフトウェアはお客様に使用許諾を与えているものであり販売したものではありません。

制限事項: すべてのコピーを保持しないことを条件に、オリジナルのコピーを販売または無償で譲渡する場合を除き、お客様ならびに販売店は、本ライセンスを賃貸、リース、販売、または本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することはできません。NetSupport Ltd の書面による事前の承諾がある場合を除き、ソフトウェアを変更、逆アSEMBルまたはリバースエンジニアリングすることはできません。

限定保証: NetSupport Ltd は、購入日から 90 日の期間に対しソフトウェアが付属のマニュアルに従って実質的に動作することを保証します。NetSupport の全責任およびお客様の救済手段は、a)欠陥のあるソフトウェアの交換、または b)支払った価格の返金のいずれかとする。本救済手段は NetSupport の判断、許可された発行元からの購入証明書を条件とします。

特定の目的に対する品質または適合性のいかなる保証を含むすべての黙示的な保証は、明示的な保証の条件に制限されています。いかなる場合においても、NetSupport Ltd は、これらの保証の不履行、またはそのような損害の可能性について助言されているにも関わらずソフトウェアの使用に起因するあらゆる種類の利益、データまたは情報の損失、または特別な、偶発的、必然的、間接的またはその他の同様の損害について責任を負いません。一部の国では、偶発的または間接的な損害の制限または免責を許可しないため、上記の制限または免責がお客様に適用されない場合もあります。

本保証は、お客様の法的権利には影響しません。そして国ごとに異なるその他の権利が認められる場合があります。いかなる場合においても、NetSupport の最大の責任はエンドユーザー/ライセンサーが支払った価格を上限とします。

契約の解除: お客様は、いつでもプログラムと付属の書類そしてすべての形式のコピーを破棄することにより本ライセンスおよび本契約書を解除することができます。

お客様が本ライセンスのいずれかの条項の重大な違反を犯した場合、(改善される違反の場合) NetSupport Ltd からの書面による要求の受領後 30 日以内にこれを怠った場合、NetSupport はお客様に書面で通知することにより本ライセンスを直ちに解除することができます。違反(そのような要求には NetSupport の解除意思の警告を意味しています)を解決するために、これを実行いたします。解除に際し、本ソフトウェアのオリジナルとすべての複製を破棄または NetSupport Ltd に返却し、これが実行されたことを宛ての書面にて確認します。

サポート: 本ソフトウェアのインストールで問題がある場合は、販売店に連絡してください。機能強化やアップグレードの提供を含むサポートとメンテナンスを別途購入することができます。

準拠法: 本契約は、英国法に準拠するものとします。

目次

EdClass について.....	10
Windows - 先生コンソールアプリ.....	10
Android 用生徒アプリ.....	10
Google Chromebook 用生徒.....	10
はじめに.....	11
専門用語.....	11
インストール	12
システム条件.....	13
インストールを開始する.....	15
セットアップの種類を選択.....	17
カスタムインストール.....	18
インストールの開始.....	21
インストール完了.....	21
既に EdClass がインストールされている場合.....	22
ネットワークインストールを作成する.....	23
サイレントインストール.....	24
インストール設定オプションダイアログ.....	25
EdClass デプロイ - EdClass リモートインストールユーティリティ.....	26
EdClass デプロイを開始する.....	28
デプロイの準備.....	29
EdClass パッケージをデプロイする.....	30
クライアント設定をデプロイする.....	34
EdClass ライセンスファイルをデプロイする.....	35
リモートアンインストール.....	36
事前にデプロイを設定する.....	38
ログファイル.....	39
EdClass デプロイ - 部屋モード.....	40
EdClass を起動する	42
EdClass を起動する.....	42
生徒を検索して接続する.....	45
クラスウィザード.....	46
部屋モードで生徒に接続する.....	48

検索モードを使用して生徒に接続する.....	50
PC モードを使用して生徒に接続する.....	51
ユーザーモードを使用して生徒に接続する.....	52
教室リスト.....	54
EdClass for Mac の生徒に接続する.....	55
先生コンソール.....	56
表示モード.....	58
一覧表示.....	59
ステータスバー.....	60
生徒の選択.....	61
中級モード / 簡単モード.....	62
先生ツールバー.....	65
生徒の自動ログイン.....	66
出席確認.....	67
教室のレイアウト.....	72
背景を設定する.....	73
電源管理 - 電源オン/電源オフ.....	74
生徒の電源オン.....	74
生徒の電源を切る.....	75
アクティブなセッションからのクライアントの切断.....	76
クラスから生徒を削除する.....	76
サブネット検索を設定する.....	77
IP アドレスを理解する.....	79
ターミナルサーバ環境下で EdClass を実行する.....	80
Windows 先生アプリ.....	81
Android タブレット用 EdClass 生徒のインストールと構成.....	82
Google Chrome で EdClass をインストール・構成する.....	84
アクティブディレクトリとの統合.....	86
無線の教室で EdClass を使用する.....	87
ネームサーバを使用して生徒を検索する.....	89
ネームサーバのインストールと構成.....	90
ゲートウェイ設定 - 全般.....	91
ゲートウェイ設定- キー.....	93
ゲートウェイ設定 - ライセンス.....	94
ゲートウェイ設定 - セキュリティ.....	95
ゲートウェイ設定 - クラス.....	96
EdClass 接続サーバコンソール.....	98

グループで作業を行う.....	99
グループリーダー.....	102
グループリーダーを指名する.....	103
グループリーダーを一時停止にする.....	104
クライアントとグループのアイコンをカスタマイズする.....	105
EdClass を使用する.....	107
生徒のマウスとキーボードをロック/ロック解除する.....	108
クライアントコンピュータのロック時に画像を表示する.....	109
全生徒画面をブランク状態にする.....	110
生徒の画面を見る.....	111
クライアント画面を受信するには.....	111
その他の画面受信ウィンドウオプション.....	112
生徒の画面を表示中に画面をブランク状態にする.....	114
画面受信中に Ctrl+Alt+Del を送信する.....	114
リモートクリップボード.....	115
生徒の画面を巡回する.....	116
生徒の画面を1つずつ巡回する.....	116
複数の画面を同時に巡回する.....	118
モニタモード.....	120
画面キャプチャ.....	123
生徒に先生の画面を見せる(画面送信).....	125
画面送信リーダー.....	128
生徒画面転送 - 生徒の画面を他の生徒の画面に表示する.....	130
インタラクティブ(双方向)・ホワイトボード.....	132
画面をマーキングする.....	135
オーディオの監視.....	138
音声を使用する.....	141
アナウンス機能.....	141
画面受信中に音声を使用する.....	141
マイクとスピーカーの音量を調節する.....	143
EdClass ビデオプレイヤー.....	144
コンピュータ上でビデオファイルを再生する.....	145
EdClass ビデオプレイヤーコントロールパネル.....	146
リプレイファイルを使用する.....	148
全生徒に対してリプレイファイルを記録する.....	148
個別にクライアントのリプレイファイルを記録する.....	149

先生のリプレイファイルを記録する	150
リプレイファイルを見る	151
リプレイウィンドウ - 操作パネル	153
生徒にリプレイファイルを見せる	155
リプレイファイルをビデオファイルに変換する	156
リプレイファイルを変換する	156
アプリケーション表示	157
生徒とチャットをする	158
チャットウィンドウ	159
生徒にメッセージを送信する	162
フィードバックとウェルビイング	165
ヘルプ依頼	167
ファイルを転送する	170
ファイルやフォルダを削除する	173
ファイルを配布する	174
教材の配布と回収	177
ユーザー設定ツール	185
生徒を再起動またはログアウトする	187
ユーザーアカウントの管理	188
ウェブの管理	190
許可または制限ウェブサイトリストを設定する	195
ウェブ履歴を表示する	200
アプリケーションの管理	202
許可または制限アプリケーションを設定する	207
アプリケーション履歴を表示する	211
アンケート	213
アンケート結果を生徒に表示する	215
アンケートリスト	216
質疑応答モード	218
質疑応答 - 先生インターフェース	222
質疑応答モジュールを使用する	224
質疑応答チームモード	226
プリンタの管理機能	227
プリンタ管理を使用する	229
印刷履歴を表示する	232
デバイスの管理	233
先生コンソールのプロフィール	236

生徒用教材の管理.....	237
学習ノート.....	238
授業プラン.....	243
生徒ツールバー.....	245
生徒評価.....	246
ステッカー.....	248
生徒コンピュータの設定.....	249
ネットワーク設定.....	250
部屋設定.....	251
セキュリティ設定.....	252
サウンド.....	254
ユーザーインターフェース設定.....	255
拡張設定.....	257
学習ノート設定.....	260
ターミナルサービス設定.....	261
先生コンピュータの設定.....	263
開始オプション.....	264
開始オプション - 制限.....	266
ネットワーク設定.....	267
パフォーマンス設定.....	270
生徒の選択.....	271
管理 - セキュリティ.....	273
管理 - プロファイル.....	274
リモートコントロールの構成設定.....	277
先生コンソールの設定 - 画面受信.....	279
先生コンソールの設定 - キーボード/マウス.....	282
先生コンソールの設定 - リプレイファイル.....	284
先生コンソールの設定 - サウンド.....	285
先生コンソールの設定 - ファイル転送.....	287
先生コンソールの設定 - 先生のユーザーインターフェース.....	290
先生コンソールの設定 - 生徒のユーザーインターフェース.....	292
先生コンソールの設定 - 先生アシスタント.....	293

先生コンソールの設定 – チャット.....	295
先生コンソールの設定 – グループリーダー	296
先生コンソールの設定 – 生徒ツールバー	297
先生コンソールの設定 – 学習ノート.....	298
先生コンソールの設定 – 画面送信	300
テックコンソール	302
生徒の検索.....	305
EdClass 生徒のサービスを停止する	306
ハードウェア/ソフトウェアのインベントリ	308
インベントリウィンドウ	309
タスクマネージャーの実行.....	311
タスクマネージャーウィンドウ.....	311
ポリシー管理	314
生徒のセキュリティ設定	316
リモートコマンドプロンプトウィンドウ.....	318
PowerShell ウィンドウ.....	320
テストモジュール.....	323
テストデザイナー.....	324
問題インターフェース.....	326
試験インターフェース	344
ユーザーカウントの設定.....	351
管理オプション	352
データのインポート/エクスポート.....	353
テストコンソール.....	354
試験を実行する.....	354
テストレポートウィンドウ.....	357
テストプレイヤー.....	359
ポータブル先生について	361
お問い合わせ先	362

EdClass について

EdClass は、ICT 教育を効率的に実現する授業支援ソフトウェアです。教室全体やグループ単位で、または生徒一人に対してモニタリングや相互コミュニケーションを補助する機能を先生に提供します。昨今の CAI 教室授業には様々な課題や要件が必須とされています。EdClass は学習者の関心や焦点を常に維持できるように、学習者全員のパソコン画面の一斉モニタリングや協同学習、授業内容の配信をする機能を提供します。EdClass にはすべての機能が標準で含まれており、オプション機能はありません。

Edclass は Windows OS 上で動作します。また、有線、無線ネットワークの両方に対応しています。近年、学校に多く導入されている仮想デスクトップ、シン/ゼロクライアント環境、ターミナルサーバ環境上でも動作します。

Windows - 先生コンソールアプリ

従来のデスクトップ・アプリケーションの先生コンソールに加えて、Windows ストアアプリ版の先生コンソールが使用可能です。タブレット端末向けに再設計された操作画面で、EdClass 先生が更に簡単に使いやすくなります。

Android 用生徒アプリ

Android 用 EdClass 生徒用アプリは、現代の教室授業で増加しているモバイル端末の使用に対応したアプリケーションです。Android タブレットにインストールすることで、デスクトップの先生プログラムから学習者タブレットを一元管理し、授業に活用することが可能です。

Google Chromebook 用生徒

Google Chromebook 上で EdClass の機能を活用できます。Chrome OS が動作する生徒の Chromebook に、EdClass の拡張機能をインストールすることができます。

はじめに

以下の規則が本マニュアル内で使用されています：

- ステップバイステップの説明で使用方法の題目の下に番号順の操作内容が表記されています。
- タスクの操作方法が何通りか存在する場合は「または」のオプションで操作方法を紹介しています。
- それぞれの説明に関してヒントや補足説明がある場合は「注意」と題し境界線の下に説明を明記しています。
- メニューコマンドの項目は括弧で囲って順番に操作します。例: [クライアント][ブロードキャスト]

専門用語

コントロール/先生 クライアント/生徒 利用可能なクライアント	他のコンピュータを操作するコンピュータを指します。 操作されるコンピュータを指します。 コンピュータにクライアントをインストールすると、コントロールに接続可能な状態になります。コントロールが接続する前に、クライアントは接続可能な状態になっている必要があります。
既知のクライアント	利用可能なクライアントを検索すると、EdClass は Client.NSS ファイルにクライアントのリストを保存します。それが既知のクライアントです。
接続中のクライアント	全ての利用可能なクライアントまたはグループに同時に接続できます。接続しているクライアントに対してコントロールはリモートコントロール可能です。
選択したクライアント	接続中のクライアントを選択すると、“1対1”のセッションが確立されます。そのクライアントに対してコントロールはクライアントを画面受信、画面送信、メッセージ送信など行うことが可能です。コントロールは選択したクライアント画面、キーボード、マウスを観察、制御、共有ができます。コントロールは接続中の複数のクライアントを順番に選択して操作ができます。

インストール

EdClass は、手順に従って操作するだけで、簡単にインストールでき、すぐにお使いいただくことができます。

最初に、各コンピュータにどのプログラムをインストールするかをご確認ください。

インストールする機能について

他のコンピュータに対して画面表示や、他のコンピュータからのリモート操作など、指導を受けるためのコンピュータには、生徒のプログラムをインストールします。生徒のプログラムは、クライアントとも言います。

他のコンピュータに自分の画面を見せる、他のコンピュータを操作するなど、指導をするためのコンピュータには、先生と生徒の両方のプログラムをインストールします。先生のプログラムは、コントロールとも言います。

また、管理者が教師に技術サポートを提供しながら、校内ネットワークの管理、維持ができる「テックコンソール」をインストールすることができます。

注意： 先生プログラムは、TCP/IP を使用するように設定されています。

生徒(クライアント)に接続する最適な方法

部屋モードは、指定された部屋の中に常設しているクライアントに迅速かつ簡単に接続する方法です。スタートアップウィザードで特定の部屋にパソコンを割り当てることができ、授業の開始時に先生が接続したい教室名を指定します。「ローミング」の学生には、あらかじめ定義した部屋に接続できるオプションがあります。

部屋設定は、生徒の構成設定で変更することが可能です。生徒が先生に接続する方法はこの他に、検索モード、PC モード、ユーザーモードなどがあります。

これで、EdClass の先生(コントロール)と生徒(クライアント)のプログラムをインストールする準備が整いました。

システム条件

一部の EdClass の機能は特定のファイルやアプリケーションの状態に依存しています。EdClass をインストールする前に、これらが利用可能であることをご確認下さい。

全般

Windows 8.1(32bit/64bit)、Windows 10(32bit/64bit)、Windows 11

生徒プログラムのみ 250MB の空き容量

先生プログラムのみ 400MB の空き容量

テックコンソールのみ 400MB の空き容量

すべてのプログラム 600MB の空き容量

TCP/IP

EdClass はターミナルサーバ、ゼロ/シンクライアント、仮想デスクトップ、共有リソースコンピューティング環境でも一部機能が動作可能です。また、Google Chromebook、Android タブレットにて一部機能をサポートしています。

EdClass Student for Android は、Android OS 5.0 以降のタブレット端末をサポートしています。

EdClass 先生コンソールは、モニタに 1024 × 768 以上の解像度が必要です。

タッチ操作対応

Windows 8.1、Windows 10、Windows 11 タッチ対応デバイスをサポートしています。

テストデザイナー

テストデザイナーは MDAC 2.1 もしくはそれ以降、及び COMCTL32.dll version 5.80 もしくはそれ以降のバージョンが必要です。EdClass のインストール中にこれらのファイルが存在するか確認します。存在しない場合は報告します。デプロイ機能でサイレントインストールする場合は、ファイルが存在しなくても報告しません。

注意: プリンタの情報を先生のコンピュータへ送信可能にするために、インストーラは生徒のコンピュータに以下の変更が適用されます。

Windows ファイアウォール

ソフトウェアのインストール時に Windows ファイアウォールのエントリーが自動的に追加されます。接続ネットワークを変更する場合は、環境に合わせて Windows ファイアウォールのエントリーを編集する必要があります。

ローカルセキュリティポリシー設定

ワークグループに接続されたコンピュータは、以下のローカルポリシー設定が設定されます。

ネットワークアクセス: 匿名の SID と名前の変換を許可する	有効
ネットワークアクセス: SAM アカウントの匿名の列挙を許可しない	無効
ネットワークアクセス: SAM アカウントおよび共有の匿名の列挙を許可しない	無効
ネットワークアクセス: Everyone のアクセス許可を匿名ユーザーに適用する	有効
ネットワークアクセス: 名前付きパイプと共有への匿名のアクセスを制限する	無効

インストールを開始する

EdClass のインストールプログラムを起動してインストールを開始します。
インストールプログラム [SETUP.EXE] を実行してください。

Active Directory にデプロイを実行する必要がある場合は、MSI ファイルを使用してインストールする必要があります。

注意:

- WindowsOS をアップグレードする場合は、OS をアップグレードする前に EdClass をアンインストールしてください。OS のアップグレード作業が完了した後、EdClass を再インストールしてください
 - コンピュータまたはサーバにインストールする場合は、Administrator 権限でログインしていることを必ず確認してください。
 - EdClass をインストールする際、必要なサービスパックや修正プログラムがない場合は、フィルタードライバーがインストールされない可能性があります。フィルタードライバー無しでもインストールを続行できますが、FTP のブロック機能やサーバー検索機能など、一部のインターネット制御機能が無効になります。
-

EdClass セットアッププログラム

セットアッププログラムが起動し、ようこそ画面が表示されます。次へ をクリックしてください。

EdClass ライセンス使用許諾書

EdClass ライセンス使用許諾書が表示されます。ライセンス使用許諾書を注意してお読みいただいた上で、同意します を選択して次へ をクリックします。

ライセンス使用許諾に同意しない場合は、キャンセルをクリックしてください。EdClass はインストールされずに、終了をクリックしてインストールプログラムを終了します。

ライセンス情報

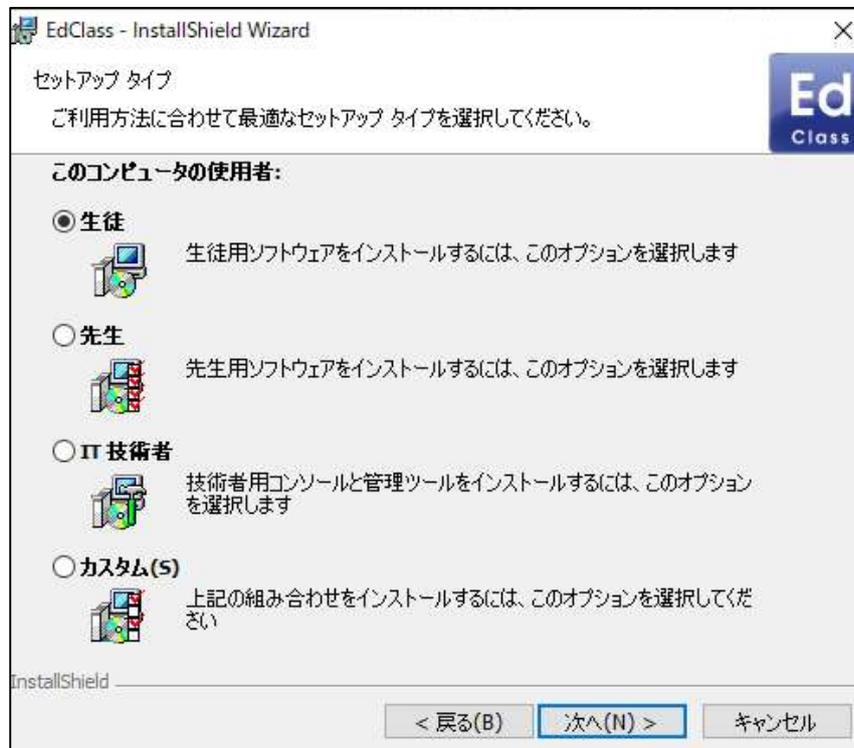
登録 を選択して EdClass 製品に同梱されているライセンス情報を入力します。

EdClass 評価版をインストールする場合は、30 日間体験版 を選択して次へ をクリックしてください。

The screenshot shows the 'EdClass - InstallShield Wizard' window. The title bar includes the text 'EdClass - InstallShield Wizard' and a close button. The main window has a header area with the 'Ed Class' logo on the right. Below the logo, the text reads 'ライセンス情報' (License Information) and 'ライセンスをお持ちの場合はここに情報を入力してください。大小文字とスペースに注意してください。' (If you have a license, please enter the information here. Pay attention to uppercase and lowercase letters and spaces). There are two dropdown menus: the first is set to '30日間体験版' (30-day trial) and the second is set to 'すべてのプラットフォーム' (All platforms). Below these are five input fields labeled 'ライゼンシー:' (Licensee), 'シリアル番号:' (Serial number), '最大クライアント数:' (Maximum number of clients), '有効期限:' (Validity period), and 'プロダクトコード:' (Product code). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The 'InstallShield' logo is visible in the bottom left corner.

セットアップの種類を選択

使用する機能に合わせて最適なセットアップの種類を選択します。



生徒

生徒プログラムをインストールします。クライアントと呼ばれるこのコンポーネントをインストールすることで、生徒は先生との通信を確立できます。

先生

先生プログラムをインストールします。コントロールとも呼ばれるこのコンポーネントは、生徒の画面を見たり、自分の画面を生徒に見せたりといった EdClass の様々な機能を使用できます。

IT 技術者

ネットワークの管理、メンテナンスが可能な IT 技術者向けのツール、テックコンソールをインストールします。

カスタム

上記の機能を選択してインストールします。

[次へ] をクリックし、選択されたセットアップの種類をインストールします。カスタムを選択している場合は、カスタムインストール画面が表示されます。

カスタムインストール

コンピュータにインストールするコンポーネントを選択します。



生徒

クライアントとも呼ばれるこのプログラムをインストールするとコンピュータはリモートコントロールされます。このプログラムをインストールすることで、先生は生徒と通信を確立することができます。生徒が使用可能な機能は先生と通信を行うための機能に限られています。例：ヘルプ要求の送信など

クライアント設定をインストールする

EdClass のクライアント設定は、各コンピュータの生徒プログラムを設定する時に使用します。例えば転送の設定、生徒の名前、セキュリティ設定などに使用されます。

生徒用プログラムを選択した場合も、クライアント設定をインストールするオプションがあります。

設定プログラムをインストールせず、インストールの後のクライアント設定を使用して生徒コンピュータを設定する場合は、このチェックを外してください。

スタートメニューに構成設定を追加する

生徒コンピュータのスタートメニューに生徒の構成設定ショートカットを追加するかどうか選択します。生徒コンピュータに追加しておくことで、容易に設定を変更することが可能ですが、生徒が勝手にアクセスして設定を変更してしまう可能性もあります。

注意: 先生プログラムをインストールした場合、生徒の構成設定も同時にインストールされます。

先生コンソール

コントロールとも呼ばれるこのプログラムは、他のコンピュータをリモートコントロールするコンピュータにインストールします。先生は生徒の画面を見たり、自分の画面を生徒に見せたりといった EdClass の様々な機能を使用することができます

このプログラムをインストールすると、ポータブル先生フォルダも同時にインストールされます。これは、USB、メモリースティック、フラッシュドライブなどのポータブルデバイスから先生プログラムを実行することが可能です。

注意: 他のコンピュータから先生のコンピュータを参照することを許容する場合は、先生コンピュータに生徒用プログラムをインストールする必要があります。

デスクトップにアイコンを追加する

先生プログラムを簡単に起動できるように、アイコンをデスクトップに作成するかどうか選択します。

リモートデプロイユーティリティ

リモートデプロイユーティリティは、個々のコンピュータでのインストール作業を必要とせず、複数のコンピュータに EdClass のインストールが可能になります。

テックコンソール

このプログラムは、コンピュータを管理/維持しているコンピュータ上にインストールして下さい。技術者とネットワーク管理者が主な EdClass の機能を使用できるようになります。

ネームサーバ

生徒コンピュータの場所を特定し、接続するための簡単で信頼ある方法を提供します。

リプレイ変換ユーティリティ

このユーティリティはリプレイファイルをビデオファイルに変換することが可能です。

注意: これは先生またはテックコンソールをインストールしている場合、デフォルトでインストールされます。

テストデザイナー単体

テストデザイナーは、画像、音声、動画で出題可能なテストをカスタマイズ作成できます。

注意: 先生プログラムをインストールする場合、テストデザイナーはデフォルトでインストールされます。

インストール先:

デフォルトでは、EdClass は C:\Program Files\EdClass フォルダにインストールされます。別のフォルダにインストールしたい場合は、[変更] をクリックします。

準備ができれば、[次へ] をクリックします。

部屋の確認

EdClass - InstallShield Wizard

部屋の確認
部屋の名前を入力してください

デフォルトでは、先生プログラムはここで入力する値と一致する部屋を使用するように設定されている生徒PCだけを検索します。複数の部屋への接続を許可する場合や部屋ごとに生徒コンピュータを分類したくない環境で使用する場合は、後で変更できます。

部屋:

InstallShield

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

接続する部屋の名前を入力します。デフォルトでは [Eval] という名前が入力されています。部屋の名前は先生コンソールの環境設定から変更することも可能です。

インストールの開始



インストールを開始するには、インストール をクリックします。選択した内容を変更する場合は、戻る をクリックします。インストールを中止する場合は、キャンセルをクリックします。

注意： クライアント(生徒)を選択した場合、Windows 初期化時にクライアントが起動するように System.INI またはレジストリを変更します。EdClass はその他のドライバを置き換えることはありません。

インストール完了

完了 をクリックしてセットアッププログラムを終了します。

既に EdClass がインストールされている場合

コンピュータに EdClass がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。



- **変更**
インストールするプログラム機能を変更します。
- **修復**
プログラム中のエラーを修復します。
- **削除**
コンピュータから EdClass を削除します。

いずれかを選択して次へ をクリックします。

ネットワークインストールを作成する

ネットワーク接続された多くのコンピュータに EdClass をインストールする場合、EdClass の配布用コピーを使って手軽にインストールできます。

事前にセットアップ項目などを配布用コピーに設定しておくことで、すべてのコンピュータに同じ設定で EdClass をインストールできます。作成した配布用コピーを使って、通常のインストールを行うことも、サイレントインストールを行うことも可能です。

サーバ上に EdClass の配布用コピーを用意するには

1. インストール予定の全コンピュータがアクセスできる共有フォルダを作成します。
2. SETUP.EXE ファイルを共有フォルダにコピーします。
3. EdClass のインストール先フォルダにある NSM.LIC というファイルを、共有フォルダにコピーします。インストール実行時にフォルダにライセンスファイルが存在しない場合は、評価版ライセンスで EdClass をインストールします。
4. EdClass のインストール先フォルダにある CLIENT32U.INI というファイルを、共有フォルダにコピーします。

注意： 設定情報が誤って書き換えられないように、共有フォルダを読み取り専用にしておくことをお勧めします。

EdClass をサーバから各コンピュータにインストールする

1. インストールを実行するコンピュータで、上記で作成した EdClass のセットアップファイルがある共有フォルダを開きます。
2. Setup.exe を実行します。
3. 本マニュアルの「インストールを開始する」の説明に従ってください。

サイレントインストール

サイレントインストールとはユーザーによる入力を必要としないインストール方法です。複数のコンピュータにインストールする際に便利な方法です。

サイレントインストールを実行する

1. EdClass インストールファイルが含まれた EdClass の配布用コピーを作成します。
2. インストールの設定を変更するには、EdClass プログラムフォルダからコマンドラインで「INSTCFG.EXE /S」というコマンドを実行します。これにより、インストール設定オプションのダイアログが表示されます。選んだ設定は、デフォルトの「NSS.ini」という名前のパラメータファイルに保存されます。
3. [ファイル][保存]を選択して EdClass の配布コピーが存在するフォルダに「NSS.ini」ファイルを保存します。
4. 選択したコンピュータでサイレントインストールを実行するには、配布コピーのあるフォルダから、以下のように実行します：

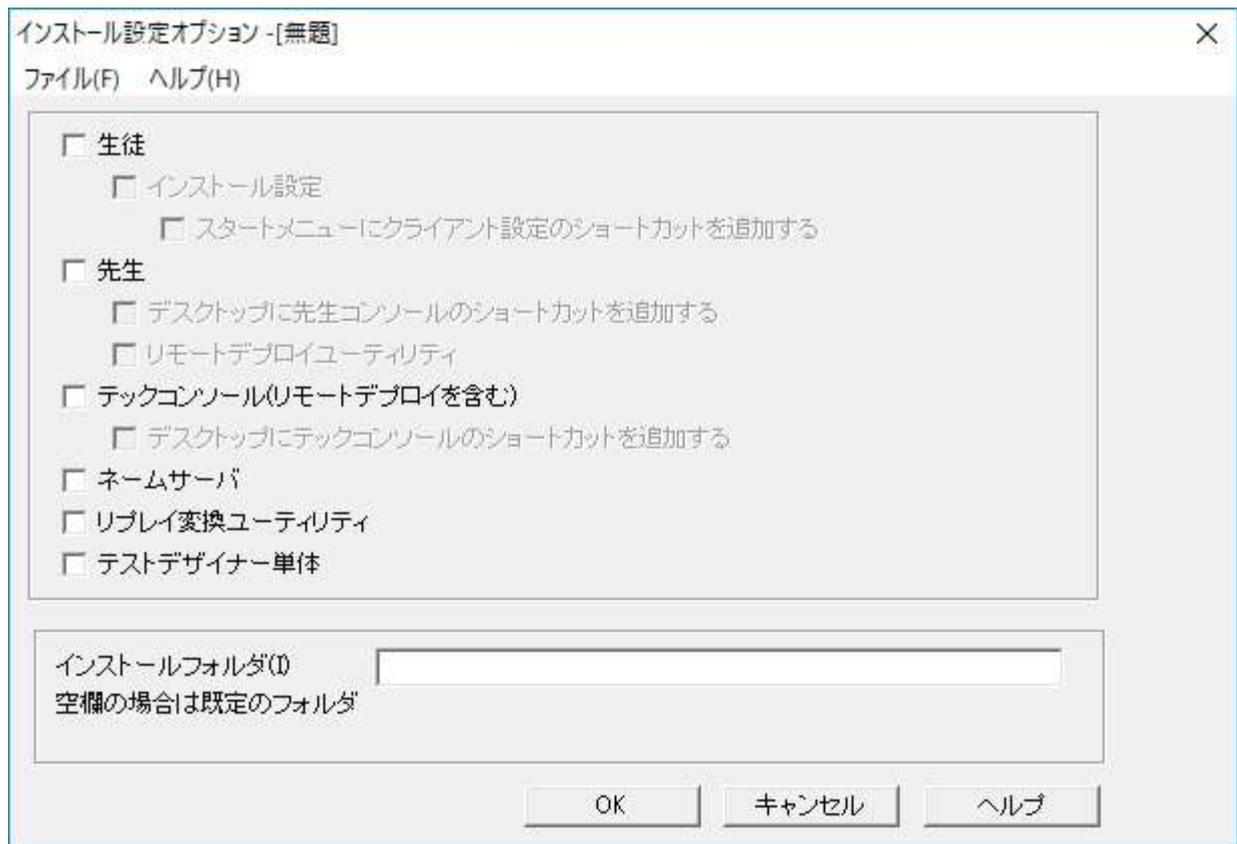
```
msiexec /i "edclass.msi" /qn (MSI インストーラ)
```

```
setup /S /v/qn (setup.exe インストーラ)
```

注意： EdClass はアクティブディレクトリ経由でもインストールできます。ソフトウェアをインストールするにはグループポリシーオブジェクト(GPO)がコンピュータカントを含んだ OU に適応する必要があります。1 回のログオンでソフトウェアインストールを適用するためには、MMC 管理コンソールからグループポリシーオブジェクトエディタを追加して、ローカルコンピュータポリシー/コンピュータの構成/管理用テンプレート/システム/ログオン の「コンピュータの起動およびログオンで常にネットワークを待つ」を有効にする必要があります。この変更がなければ、ソフトウェアのインストールを適用するために1回のログオンでは適用されない可能性があります。

インストール設定オプションダイアログ

サイレントインストールの実行または EdClass デプロイ使用時に、条件にあったインストール内容にカスタマイズできます。EdClass プログラムフォルダから INSTCFG.EXE /S を実行すると、以下のダイアログが表示されます。また、EdClass デプロイを使用する場合は、インストールプロパティの全般タブからでも開くことができます。情報はデフォルトパラメータファイル NSS.ini に保存されます。



EdClass のどのコンポーネントをクライアントコンピュータにインストールするか、関連するボックスにチェックを入れます。

インストールフォルダ

EdClass がインストールされるディレクトリを指定できます。何も入力しない場合は、デフォルトディレクトリ (¥Program Files¥EdClass) にインストールします。

EdClass デプロイ – EdClass リモートインストールユーティリティ

EdClass デプロイはネットワーク管理者が複数のコンピュータに EdClass のインストールと設定を行う機能です。

ネットワークビューアでデプロイ先のコンピュータを選択できます。

EdClass デプロイでできること:

- 一斉に複数のコンピュータに EdClass パッケージをリモートインストール
- 複数のコンピュータに特定のクライアント設定を作成して配布
- 複数のコンピュータに EdClass ライセンス情報を更新
- 一斉に複数のコンピュータに EdClass パッケージをリモートアンインストール

注意: ドメインに参加しているコンピュータに対してデプロイを実行するためには、コンソールユーザーがドメインに参加するか、もしくは対象のコンピュータのローカル管理者権限を持つドメインアカウントのユーザー資格情報が必要です。

デプロイユーティリティをインストールする

EdClass インストール時にコンポーネントの組み合わせを決定します。EdClass デプロイをインストールするには、リモートデプロイユーティリティを他のコンポーネントと一緒に選択してください。

EdClass デプロイは、現在以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 8.1
- Windows 10
- Windows 11

配布プラン

EdClass デプロイは素早く簡単なプロセスで、複数のコンピュータに EdClass パッケージをインストール可能にする強力なユーティリティです。リモートコントロールやデスクトップセキュリティなどの製品と競合がないか確認するために、小グループのクライアントを対象にテストを行うことをお勧めします。加えて、セキュリティと保護の観点からデプロイを実行するユーザーは、デプロイ先のコンピュータに対して適切な管理者権限を持っている必要があります。

デプロイを実行するには、対象のコンピュータの Admin\$ へのアクセスが必要で、ローカル管理者アクセスを持つユーザーとして接続する必要があります。その際、ユーザー情報の入力を要求される場合があります。

認証が完了すると、Admin\$share への接続を使用してリモート PC の次のフォルダにパッケージファイルがコピーされます。

C:¥Windows¥pcirdist.tmp¥

ファイル転送の完了後、インストーラーファイルがリモートプロシージャコール (RPC) サービスを使用して実行されます。

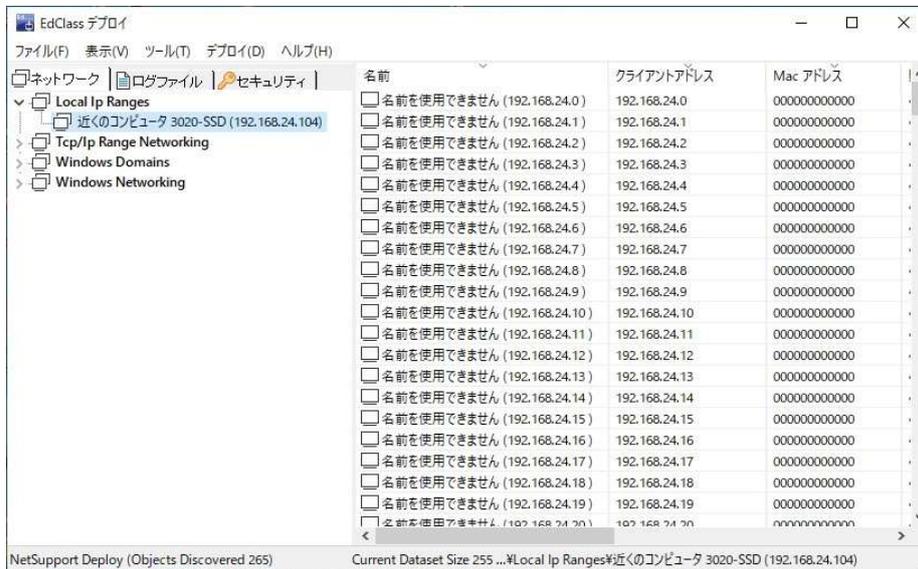
必要要件

デプロイ対象の PC にパッケージを正常に展開するために、以下の事項をご確認ください。

- デプロイ対象の PC にて「ファイルとプリンターの共有」が有効になっていること
- デプロイ対象の PC のセキュリティポリシーにて、「ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」を「クラシック」に設定していること
- 使用するユーザーアカウントは、デプロイ対象の PC でローカル管理者権限を持っていること
- デプロイ対象の PC にて「ネットワーク探索」が有効になっていること
- ワークグループ環境では、UAC リモート制限を無効にする必要があります。

EdClass デプロイを開始する

1. EdClass プログラムグループから EdClass デプロイを選択します。
2. EdClass デプロイメインウィンドウが表示されます。



デプロイメインウィンドウは次のセクションに分かれています:

メニューバー

デプロイを行うための様々なツールや設定ユーティリティにアクセスできます。

左ウィンドウ

ネットワーク、ログファイル、セキュリティの 3 つのタブで構成されています。

ネットワークタブ

デプロイルーチンで選択する利用可能なネットワーク、ドメイン、ワークグループをツリーで表示します。

ログファイルタブ

過去のデプロイ履歴をツリーで表示します。

右ウィンドウ

ネットワークタブを選択した状態で、選択したネットワーク/ドメイン上に存在するコンピュータの一般情報が表示されます。

ログファイルタブは種類別にカテゴリ分けして過去のデプロイを表示します。

セキュリティタブは選択したネットワーク/ドメイン上に存在する各コンピュータの情報を表示します。コンピュータ名だけでなく、IP アドレス、EdClass クライアントのインストール状態、バージョン、パスワード保護の状態、ユーザー承認が必要かどうかも確認することができます。これらの情報を基にデプロイ対象のコンピュータを決定し、すでに EdClass クライアントがインストール済みのコンピュータを対象から除外することが可能です。

デプロイの準備

デプロイ先を選択する

1. メインウィンドウから [ネットワーク] タブを選択します。
2. 利用可能なネットワーク、ドメイン、コンピュータの一覧が左ウィンドウに表示されます。項目左側の矢印をクリックするとツリーを展開または縮小します。

注意: ツリーにアドレス範囲を追加することで特定の IP 範囲にデプロイすることもできます。メニューバーから [ツール][IP ドメインの追加] を選択します。

3. グループをハイライトします。
4. 選択したグループに所属するコンピュータの名前が右ウィンドウに表示されます。メニューバーの [表示] から、リストビューの表示方法の変更が可能です。
5. デプロイ先のコンピュータを選択します。CTRL+クリックまたは SHIFT+クリックで複数選択が可能です。コンピュータ名を右クリックするとプロパティを表示できます。

デプロイの選択

選択:

- EdClass パッケージ
- クライアント設定
- EdClass ライセンスファイル
- EdClass アンインストール

注意: デプロイをすぐに行わず、上記のプロパティを事前に設定することもできます。詳しくは事前にデプロイを設定する を参照してください。

EdClass パッケージをデプロイする

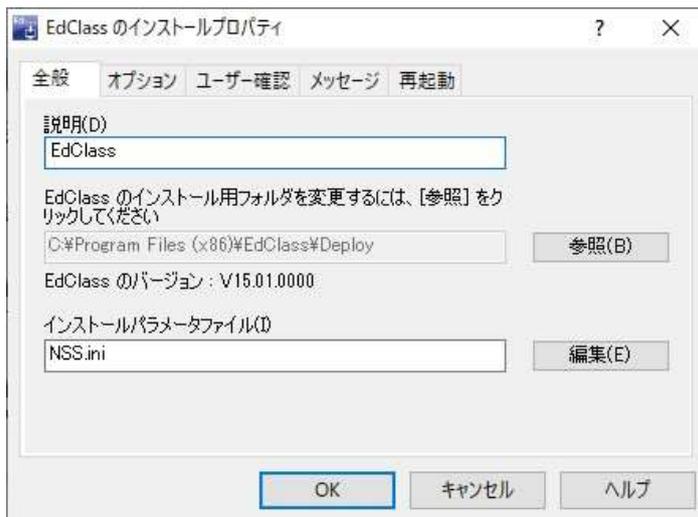
コンピュータを選択した状態で、

1. デプロイメニューから[デプロイ][EdClass パッケージ]を選択します。
または、
選択したコンピュータを右クリックして[デプロイ] - [EdClass パッケージ] を選択します。
2. デプロイ概要ダイアログが表示されます。



このダイアログにデプロイに選択したオプションの概要が表示されます。初めてデプロイを行う時は、必要な情報が入力されていないためテキストが赤く表示されています。デプロイの内容を入力または変更するには、プロパティをクリックします。

3. インストールプロパティダイアログが表示されます。



4. 5つのタブを順番に選択してデプロイのプロパティを入力します。

全般タブ

デプロイする EdClass パッケージとインストールするコンポーネントを指定します。

デプロイするパッケージの詳細を入力します。空欄の場合は、パッケージ名/バージョンが使用されます。

参照をクリックしてインストールする EdClass パッケージのあるフォルダを選択します。EdClass の配布用コピーが存在するフォルダが理想的です。詳しくは「ネットワークインストールを作成する」を参照してください。

編集をクリックしてインストールするコンポーネントを指定します。インストール設定オプションダイアログが表示されます。詳しくはインストール設定オプションダイアログを参照してください。

このダイアログが完了したら、[ファイル][保存] を選択して EdClass の配布用コピーが存在するフォルダに NSS.ini を保存します。

インストールプロパティダイアログに戻る場合は [ファイル][完了] を選択します。

オプションタブ

ネットワークとセキュリティタブの情報を元に、どのコンピュータに EdClass が既にインストールされているかを特定します。そして次のいずれかを選択します:

- [EdClass が既に動作中のコンピュータは無視する] にチェックをすると、該当するコンピュータをスキップします。
- [システムを現在のバージョンに更新する] にチェックをすると、最新のバージョンにコンピュータを更新します。
- [再起動後、クライアントの起動を確認する] にチェックをすると、デプロイ後にクライアントの起動を確認します。このオプションを実行するにはデプロイ後に自動的にコンピュータが再起動することを確認してください。再起動タブを参照してください。

ユーザー確認タブ

デプロイ実行時にコンピュータが使用中の場合も考えられます。次のどれかを選択してください:

- **EdClass を今すぐインストールする**
デプロイ先のコンピュータにはプロンプト画面が何も表示されません。

- **EdClass のインストールを通知する**
ユーザーにプロンプト画面が表示されインストールを開始するには OK をクリックします。ユーザーはキャンセルできません。
- **EdClass のインストールをユーザーが選択する**
ユーザーは EdClass インストールを延期できます。ユーザーがインストールを延期できる回数を指定します。ユーザーが延期を選択した場合、1 時間おきもしくはコンピュータの再起動時にプロンプト画面が再表示されます。

メッセージタブ

インストール中に各コンピュータにカスタムメッセージを表示することができます。

再起動タブ

以下のオプションはデプロイ対象の PC がインストールを完了するのに強制的に再起動が必要な場合にのみ適用されます。

注意: オプションタブにてクライアントの起動の確認をするようにした場合、コンピュータを再起動するオプションを選択する必要があります。

- **コンピュータの再起動を案内する**
デプロイ完了後、都合の良い時にコンピュータを再起動するように案内するメッセージが表示されます。上記の注意が適用されている場合は選択しないでください。
- **コンピュータの再起動を指示する**
インストール後にコンピュータを再起動するように指示するメッセージが表示されます。
- **自動的に再起動する**
デプロイ完了時に、ユーザーにコンピュータが再起動の案内するメッセージが表示されます。再起動開始までの残りの秒数を表示するタイムバーが表示されます。
- **ログオンしていない場合は自動的に再起動する**
デプロイ先のコンピュータがログオンされていない場合、自動的に再起動を開始します。

5 つのタブ全てが完了したら、OK をクリックしてデプロイサマリーダイアログに戻ります。選択した内容を確認することができます。必要に応じて編集もできます。

5. デプロイ をクリックしてインストールを開始します。進行ダイアログが表示され、各コンピュータでのデプロイをモニタできます。



ダイアログタブには 2 つのタブがあります:

ログタブ 各コンピュータのデプロイがモニタできます。

状態タブ 各コンピュータのデプロイの処理状況をモニタできます。

6. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックしてデプロイメインウィンドウに戻ります。

クライアント設定をデプロイする

EdClass デプロイを使用して、特定のクライアント設定を含むクライアント設定ファイルをリモートでデプロイすることができます。

1. デプロイ先のコンピュータを選択します。
2. メニューから[デプロイ][クライアント設定]を選択します。
または
選択中のコンピュータを右クリックして [デプロイ] - [クライアント設定] を選びます。
3. デプロイ概要ダイアログが表示されます。
4. プロパティをクリックすると、クライアント設定ダイアログが表示されます。
5. 参照をクリックしてデプロイする設定ファイルが保存されているフォルダを指定します。デフォルトの設定ファイルは CLIENT32U.INI です。(EdClass インストールフォルダ内にあります)

注意: バージョン 12.00 以前の設定ファイルは、既定で CLIENT32.INI を使用します。

6. 編集をクリックしてクライアント設定を起動し設定ファイルの変更を行います。
7. 必要に応じて、特定のユーザー認証情報などのクライアントパラメーターを追加指定することが可能です。
8. 新しいクライアント設定を有効にするため、クライアントサービスが自動的に再起動されます。すぐに再起動を行わない場合は[クライアントサービスの再起動] のチェックを外してください。
9. OK をクリックしてデプロイ概要ダイアログに戻ります。ファイル名をクリックして設定ファイルの内容を確認できます。
10. [デプロイ] をクリックします。デプロイの進行ダイアログが表示され、デプロイの進行情況をモニタできます。
11. 完了したら[閉じる] をクリックします。

EdClass ライセンスファイルをデプロイする

ライセンスファイルは EdClass パッケージのインストール時に各コンピュータに配布されます。ですが、その後追加ライセンスの購入などの理由でライセンス情報をアップデートする必要性が出てくるかもしれません。EdClass デプロイ機能を使えば遠隔地から複数のクライアント上のライセンスファイルを更新することができます。

1. デプロイ先のコンピュータを選択します。
2. [デプロイ][EdClass ライセンスファイル] を選択します。
または
選択したコンピュータを右クリックしてデプロイ - EdClass ライセンスファイル] を選びます。
3. デプロイ概要ダイアログが表示されます。
4. [プロパティ] をクリックしてライセンスファイルのダイアログを表示します。
5. 参照をクリックしてライセンスファイルが保存されているフォルダを指定します。デフォルトのファイルは NSM.LIC です。(EdClass インストールディレクトリにあります)
6. 新しい設定を有効にするため、クライアントサービスが自動的に再起動されます。すぐに再起動を行わない場合は[クライアントサービスの再起動]のチェックをはずしてください。
7. OK をクリックしてデプロイ概要ダイアログに戻ります。ファイル名をクリックしてライセンスファイルの内容を見ることができます。
8. デプロイをクリックします。デプロイの進行状況が表示されます。
9. 完了後、[閉じる] をクリックします。

リモートアンインストール

EdClass デプロイ機能を使って遠隔地から EdClass をアンインストールすることができます。

1. デプロイ先のコンピュータを選択します。
2. [デプロイ][EdClass アンインストール] を選択します。
または
選択したコンピュータを右クリックして [デプロイ] - [EdClass アンインストール] を選びます。
3. デプロイ概要ダイアログが表示されます。
4. [プロパティ] をクリックしてデプロイの詳細を入力します。EdClass アンインストールダイアログが表示されます。



5. 4 つのタブを順番に選択してプロパティを入力します。

全般タブ

アンインストールするパッケージの内容を入力します。

ユーザー確認タブ

デプロイ実行時にコンピュータが使用中の場合も考えられます。次のどれかを選択してください。

- **EdClass を今すぐアンインストールする**
デプロイ先のコンピュータには何もプロンプト画面が表示されません。
- **EdClass のアンインストールを通知する**
ユーザーにプロンプト画面が表示されアンインストールを開始するには OK をクリックする必要があります。ユーザーはキャンセルすることはできません。
- **EdClass のアンインストールをユーザーが選択する**
ユーザーがアンインストールを延期できる回数を指定します。ユーザーが延期を選択した場合、コンピュータ再起動時にプロンプト画面が表示されます。

メッセージタブ

アンインストール中にコンピュータに表示するメッセージをカスタマイズできます。

再起動タブ

全ての EdClass ファイルを完全に削除するには、コンピュータを再起動する必要があります。

- **コンピュータの再起動を指示する**
プロセスを完了するにはコンピュータを再起動するようにメッセージが表示されます。
 - **自動的に再起動する**
デプロイの完了に、コンピュータ再起動のメッセージが表示されます。再起動開始までの残り時間をタイムバーで表示します。
 - **ログインしていない場合は、自動的に再起動する**
デプロイ先のコンピュータがログインされていない場合は、自動的に再起動を開始します。
6. すべてのタブでの設定が終了したら OK をクリックしてデプロイ概要ダイアログに戻ります。設定事項を確認し、必要であれば設定を変更してください。
 7. デプロイをクリックしてアンインストールを開始します。各コンピュータ上でのアンインストール処理の進行状況をモニタすることができます。
 8. 完了したら [閉じる] をクリックします。

事前にデプロイを設定する

EdClass デプロイでは事前に設定を入力しておき、都合のよい時に処理を実行することができます。

注意: デプロイ先のコンピュータはデプロイを実行するときに随時選択します。

将来のデプロイ用に設定を準備するには

1. デプロイメインウィンドウのメニューから [デプロイ][設定] を選択します。
2. デプロイリスト ダイアログが表示されます。デプロイオプションを選択します。
(EdClass パッケージ、クライアント設定、EdClass ライセンスファイル、EdClass アンインストール)
3. プロパティをクリックして必要な設定事項を入力します。
4. 入力が完了したら閉じる をクリックしてデプロイメインウィンドウに戻ります。

デプロイの実行

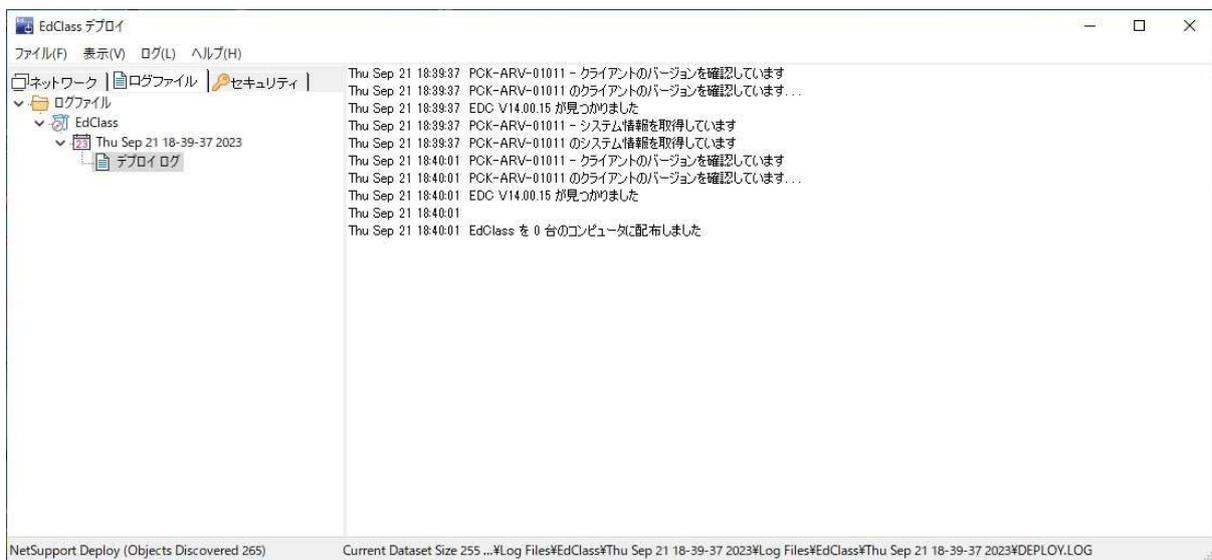
1. デプロイ先のコンピュータを選択します。詳しくはデプロイの準備を参照してください。
2. メインウィンドウのメニューから [デプロイ] をクリックします。
または
選択したコンピュータを右クリックしてデプロイを選択します。
3. デプロイオプションを選択します。
4. デプロイ概要ダイアログが表示されます。あらかじめ設定した選択内容が表示されます。必要に応じて設定を変更してください。
5. [デプロイ] をクリックしてデプロイを開始します。

ログファイル

EdClass デプロイでは、パッケージのインストール、クライアント設定のダウンロード、ライセンスファイルのダウンロード、パッケージのアンインストールといったデプロイ処理についての情報がログファイルに記録されます。以前のデプロイ処理について知りたい時などに大変便利です。

ログファイルを見る

1. EdClass デプロイ メインウィンドウからログファイルタブを選択します。



2. メインウィンドウの左ウィンドウでツリーを展開、または縮小してデプロイの種類、日時、デプロイ先のコンピュータの詳細を確認できます。
3. 左ウィンドウから項目を選択するとデプロイの履歴が右ウィンドウに表示されます。

ログファイルを印刷する

1. ツリービューからログファイルを選択します。
2. デプロイメインウィンドウのメニューから [ログ][印刷] を選択します。

ログファイルを削除する

1. ツリーでログファイルを選択します。
2. デプロイメインウィンドウのメニューから [ログ][削除] を選択します。

EdClass デプロイ — 部屋モード

EdClass には、特定の教室に対するコンピュータの割り当てや、それらのコンピュータに生徒用ソフトウェアのデプロイを簡単に行う方法があります。先生は授業開始時に必要な教室を指定して、その教室にあるすべてのコンピュータに接続できます。

注意:

- 生徒用ソフトウェアを異なるネットワークに位置するコンピュータにデプロイしたい場合や、その他の高度なデプロイオプションを使用したい場合は、EdClass デプロイユーティリティを使用してください。EdClass デプロイユーティリティを使用するには、先生のスタートアップウィザードに表示される、「ネットワーク」をクリックするか、もしくはスタートメニューから [すべてのプログラム][EdClass][EdClass デプロイ] を選択してください。
- 部屋モードでデプロイを行うには、先生コンピュータ、デプロイ先コンピュータ両方に、共通の管理者権限が必要です。また、デプロイ先コンピュータの Windows ファイアウォールを無効にする必要があります。

1. EdClass 先生のスタートアップウィザードで [教室] ボタンをクリックします。
2. EdClass デプロイダイアログが表示されます。



3. 部屋の入力欄に、生徒に割り当てる教室名を入力します。
4. ドロップダウンリストに利用可能なドメインとワークグループが表示されます。ドロップダウンリストから [Add a new IP range] を選択すると、IP アドレスの範囲を指定してデプロイを行うことも可能です。
5. ワークグループ/ドメインを選択すると、左のリストに利用可能なコンピュータが表示されます。

EdClass15.10

6. 生徒プログラムをデプロイするコンピュータを選択し、[追加 ->] ボタンをクリックします。配布先コンピュータに選択したコンピュータが移動します。
7. インストールを開始するには、[終了] ボタンを押します。ダイアログが表示され、それぞれのコンピュータのインストール状況が確認できます。
8. 指定したコンピュータに生徒プログラムを配布し、特定の教室に生徒を割り当てられます。

注意: 先生の実環境設定から EdClass デプロイを実行できます。ウィンドウ上部の[オプション] から [ネットワーク設定] を選択し、ネットワークと無線の設定にて [デプロイ] ボタンをクリックします。

EdClass を起動する

このセクションでは EdClass の起動方法を紹介します。

EdClass では、他のコンピュータを操作するコンピュータのことをコントロールまたは先生と呼び、操作されるコンピュータのことをクライアントまたは生徒と呼びます。

注意: このセクションは EdClass を既にインストールされていることを前提としています。まだインストールをしていない場合は、インストールの項目を参照してください。

EdClass を起動する

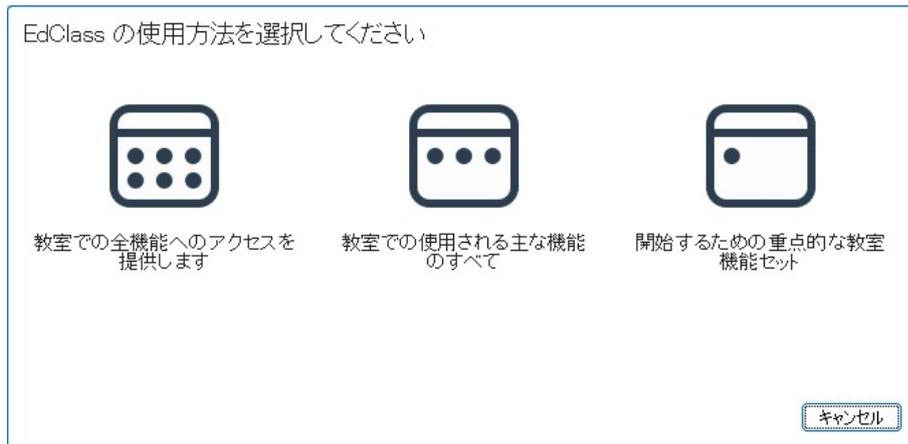
クライアントプログラムをインストールすると Windows 起動時に自動的にクライアントが起動します。

EdClass コントロールプログラムを起動するには、EdClass 先生のアイコンをダブルクリックするか [スタート] メニューから [プログラム][EdClass][EdClass 先生コンソール] を選択します。

注意: Windows 8.1 では、先生とテックコンソールアイコンのみがスタート画面に表示されます。右クリック→画面下部にあるすべてのアプリを選択することで、他の EdClass コンポーネントにアクセスできます。他の EdClass コンポーネントをスタート画面に表示させたい場合は、項目を右クリックして「スタート画面に表示する」を選択します。

EdClass を起動すると、「EdClass の使用方法を選択してください」画面が表示されます。以下の 3 つのモードから使用環境に合わせて選択します。

- 教室での全機能へのアクセスを提供します
EdClass コントロールプログラムのすべての機能を使用することができます。
- 教室での使用される主な機能のすべて
よく使用される基本的な機能を表示します。ツールバー上にある上級/中級モードのアイコンをクリックすることで表示を切り替えることができます。
- 開始するための重点的な教室機能セット
教室の管理を維持するための最低限の機能のみ使用します。



使用方法を選択すると、ようこそウィザードが表示されます。そこから、教室をクリックすると現在の教室内の新しいコンピュータに生徒用ソフトウェアを配布できます。ネットワーク越しに生徒用ソフトウェアを配布する、または上級オプションが必要な場合は、[ネットワーク] をクリックします。先生プログラムだけを開始するには、[開始] をクリックするとクラスウィザードが表示されます。

簡単モードを選択すると、ようこそウィザードは表示されません。すぐにクラスウィザードが表示されます。

クラスウィザードは授業の基本情報を入力し、生徒機の検索、接続方法を選択できます。複数の教室を異なる接続方法で作成できます。授業の開始時に、接続する教室を選択し、生徒機にすばやく接続できます。

EdClass15.10

先生プログラムを起動すると、EdClass は指定した生徒をネットワーク検索します。検索中は検索メッセージが表示されます。接続できないコンピュータには、警告アイコンが表示されます。マウスカーソルをアイコン上に重ねることで、接続が失敗した理由を表示できます。

接続された生徒は、先生コンソールの画面上にアイコンとして表示されるようになります。

注意： インストール中に「Chrome 生徒のみ」または「タブレット生徒のみ」のライセンスの種類を選択した場合、EdClass 先生コンソールはそれらの生徒用に適した機能が表示されます。

標準ビューで現在の授業の詳細を入力、または変更することが可能です。このペインは、 ボタンをクリックして最小化できます。

注意： テックコンソールが先生のコンピュータに自動的に接続しないようにするには、先生に EdClass クライアントがインストールされていることを確認し、クライアント設定で「ユーザー確認を有効にする」を設定してください。接続開始前に必ず接続確認が必要になります。

生徒を検索して接続する

クラスウィザードは、先生プログラムの起動時に表示され、クライアントの接続方法を選択することが可能です。また、コントロールウィンドウ上部の [オプション] から [ネットワーク設定] [生徒の選択] を選び、設定を変更することも可能です。

次の方法が指定できます:

部屋モード

特定の教室のクライアントに接続する。

PC モード

PC 名で生徒コンピュータの固定リストに接続します。

ユーザーモード

ログオン名による固定リストに接続します。

検索モード

ネットワークを検索し、特定の PC 名のクライアントに接続します。

SIS Mode

この接続モードは現在、未対応です。

デフォルトの接続モードは「部屋モード」です。

注意:

- クライアントが見つからない場合は、指定したネットワークを検索するように EdClass を設定していない可能性があります。詳しくは EdClass のサブネット検索の設定を参照してください。
 - ネームサーバ/ゲートウェイが設定されている場合、先生プログラムは、ネットワーク検索を実行するのではなく、ここで登録された詳細を使用します。
 - 接続できないコンピュータには警告アイコンが表示されます。アイコン上にマウスカーソルを重ねることで、接続が失敗した理由を表示できます。
-

クラスウィザード

クラスウィザードでは授業の一般的なプロパティを入力し、生徒の場所と接続方法を選択します。様々な接続方法を使用して複数のクラスを作成することができます。必要なクラスを授業開始時に読み込むことができ、生徒コンピュータに素早く接続できます。

授業の内容

先生の名前、授業名、授業の目標とせいかを入力するオプションがあります。これらの詳細を入力すると、出席確認の一部として構成されます。

授業の終了時間

授業の終了時間を入力します。授業が進行中の間はタイマーが表示されます。[授業時間を指定しない]のチェックを有効にすると、時間を気にせずに授業が行えます。

接続先

生徒の場所や接続方法を選択します。

クラスの接続先を作成するには、「新規」をクリックします。接続モードの選択画面が表示されます。

クラスの接続方法を定義することで、クラスウィザード上に表示され選択できるようになります。接続先をクリックして、「選択」をクリックします。現在の接続先は緑のチェックマークで表示されます。

既存の接続先を編集するには、クラスを選択して「編集」をクリックします。接続方法に関するダイアログが表示され、接続先の編集ができます。

接続先を削除する場合は、クラスを選択し「削除」ボタンをクリックします。

電源オン

部屋モードまたは PC モードで接続しているすべてのコンピュータの電源をオンにします。

開始オプション

学習ノートを作成する

授業開始と同時に学習ノートを開始します。

出席確認を作成する

授業開始前に生徒に自分たちの名前でログインするように要求します。先生コンソール上には PC 名の代わりに生徒名が表示されます。

次からこのダイアログを表示しない

このボックスのチェックを有効にすると、EdClass 先生コンソール起動時にクラスウィザードを表示しません。

注意: 開始時に再度クラスウィザードを表示させるには、構成設定の開始オプションにて、クラスウィザードの表示オプションを変更してください。

授業を開始するには [OK] をクリックします。先生は、選択した接続方法を使用して生徒を検索し接続します。生徒に自分たちの名前を登録するように要求している場合は、出席確認ダイアログが表示されます。

部屋モードで生徒に接続する

部屋モードを使用すると、特定の教室の生徒に簡単に接続することが可能です。予め教室を定義することで、先生は授業の開始時に接続したい教室を選択するだけで生徒と接続できます。

生徒側の教室の設定は、「EdClass 生徒の構成設定」で行います。

クラスウィザードを使用した接続

1. クラスウィザードにて、「新規」ボタンを押します。
2. [部屋モード] をクリックします。部屋モードダイアログが表示されます。
3. 部屋の名前を入力します。部屋名をカンマ区切りで入力することで、複数の部屋を入力することが可能です。
4. [これをアクティブな接続方法にする] にチェックを入れると、作成後にこの接続先クラスが選択された状態になります。
5. [OK] をクリックします。
6. クラスウィザードに新しく作成したクラスが表示されます。[これをアクティブな接続方法にする] にチェックを入れず作成した場合は、クラスを選び [選択] ボタンをクリックして、OK を押します。
7. 生徒を検索し、コントロールウィンドウに生徒のアイコンが表示されます。

先生の環境設定を使用した接続

1. コントロールウィンドウのメニューから、[スクール][環境設定] を選択します。
2. [生徒の選択] を選択します。
3. [部屋の生徒に接続する] をクリックし、生徒が割り当てられている教室名を入力します。
4. モバイルコンピュータを使用する生徒を確認したい場合は、[モバイルの生徒を確認する] にチェックを入れます。
5. 先生プログラムの起動時に、教室名を入力したい場合は、[開始時に入力する] にチェックを入れます。
6. [OK] をクリックします。
7. [はい] をクリックして、先生の設定を再起動します。
8. 生徒を検索し、コントロールウィンドウに生徒のアイコンが表示されます。

注意: 接続ができない生徒には、警告のアイコンが表示されます。警告アイコンの上にマウスカーソルを置くと、接続が失敗した原因が表示されます。

学生が手動で部屋に接続する

モバイルの生徒は、自分で部屋名を入力するか、あるいはタスクバーの生徒アイコンから入室可能な部屋のリストを表示、選択して接続することが可能です。タスクバーの生徒アイコンが非表示になっている場合は、生徒機の Program フォルダ内にある setroom.exe を実行して部屋名を入力することが可能です。

注意: モバイルの生徒が部屋に接続できるようにするには、先生コンソールの環境設定にて、「モバイルの生徒を確認する」オプションを選択する必要があります。生徒側の構成設定では、以下のモバイルオプションの一つを選択する必要があります。

「これはモバイルコンピュータです。次の部屋のどこかにあります。」

「これはモバイルコンピュータです。手動で部屋を入力します。」

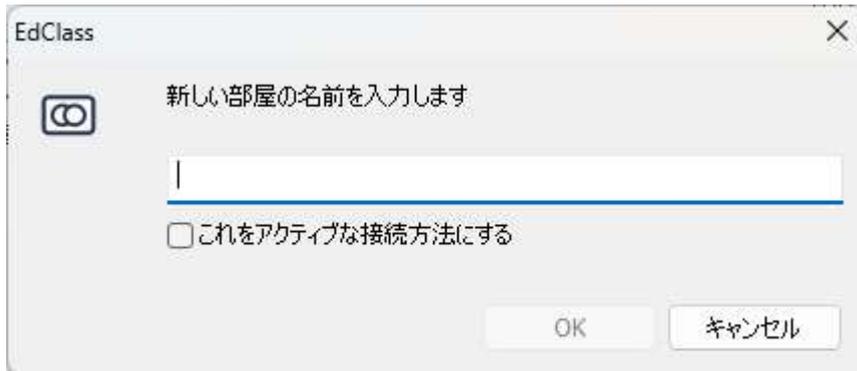
また、生徒から利用可能な教室を検索できるようにするには、「利用可能な部屋を表示する」を選択します。

1. タスクバーにある EdClass 生徒アイコンをクリックし、ウィンドウのメニューから [コマンド][入室/退室] を選択します。
あるいは
生徒アイコンを右クリックし、[入室/退室]を選択します。
2. 入室/退室ダイアログが表示されます。生徒の構成設定にて設定したオプションに応じて、生徒が部屋の名前を入力したり、リストから入室する部屋を選択したり、ネットワーク内の利用可能な部屋を表示したりできます。
3. OK または入室ボタンをクリックします。
4. 生徒が選択した部屋に接続し、先生コンソール上に生徒アイコンが表示されます。

検索モードを使用して生徒に接続する

検索モードは、ローカルネットワークを検索して検索条件に一致するすべての生徒に接続することができます。

1. クラスウィザードにて「新規」をクリックします。
2. 検索モード を選択します。以下のダイアログが表示されます。



3. 接続したいクライアント名の最初の数文字を入力します。例えば、Class1と入力するとクライアント名が Class1で始まるコンピュータに接続します。すべての生徒を検索する場合は空白のままにします。
4. [これをアクティブな接続方法にする] にチェックを入れると、作成後にこの接続先クラスが選択された状態になります。
5. [OK] をクリックします。
6. クラスウィザードに新しい接続先クラスが表示されます。OK をクリックします。
7. 見つかった全クライアントに接続し、コントロールウィンドウにアイコンを表示します。

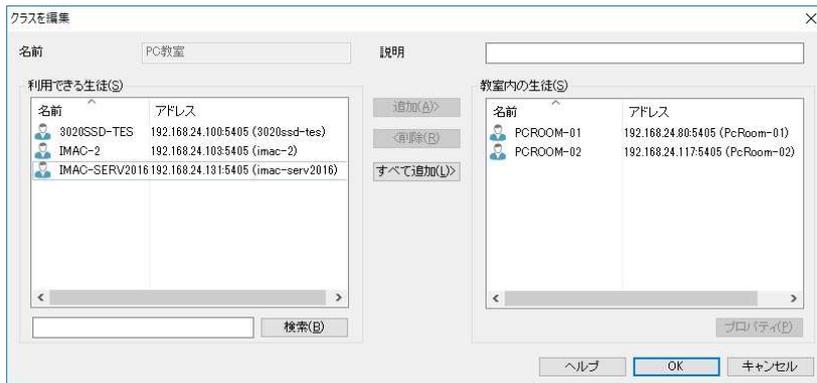
注意:

- 授業開始時に生徒機が起動していなかった場合は、ツールバーの [クラスを管理][更新] を選択することで、再接続を行うことが可能です。
 - 必要に応じて、接続が確立した時に生徒機にメッセージを表示させることが可能です。詳しくは本マニュアルの「生徒のコンピュータの設定を行う」のセクションをご参照ください。
 - 接続できないコンピュータには警告アイコンが表示されます。アイコン上にマウスカーソルを重ねることで、接続が失敗した理由を表示できます。
-

PC モードを使用して生徒に接続する

PC モードを使用することで、コンピュータ名で生徒コンピュータに接続することができます。PC モードを使用して生徒に接続する場合、生徒は固定リストに登録されます。固定リストとは、ネットワーク上で見つかった接続可能な生徒の一覧です。

1. クラスウィザードにて「新規」をクリックします。
2. PC モード をクリックします。クラス作成ダイアログが表示されます。



3. クラスの名前と説明を入力します。
4. テキストボックス内に生徒のコンピュータ名の先頭文字を入力します。(すべてのコンピュータを検索する場合は空白のまま)
5. [検索]ボタンをクリックします。
6. 該当する生徒機が[接続できる生徒]リストに表示されます。
7. リストから生徒を選択し、[追加]ボタンをクリックします。
8. [これをアクティブな接続方法にする] にチェックを入れると、作成後にこの接続先クラスが選択された状態になります。
9. [OK] をクリックします。
10. クラスウィザードに新しい接続先クラスが表示されます。OK をクリックします。
11. 先生は選択した生徒に接続し、コントロールウィンドウ内にアイコンを表示します。これらの生徒は PC の固定リストに追加されます。

注意: 先生コンソールの環境設定から接続方法を選択することも可能です。

リストからクライアントを削除する

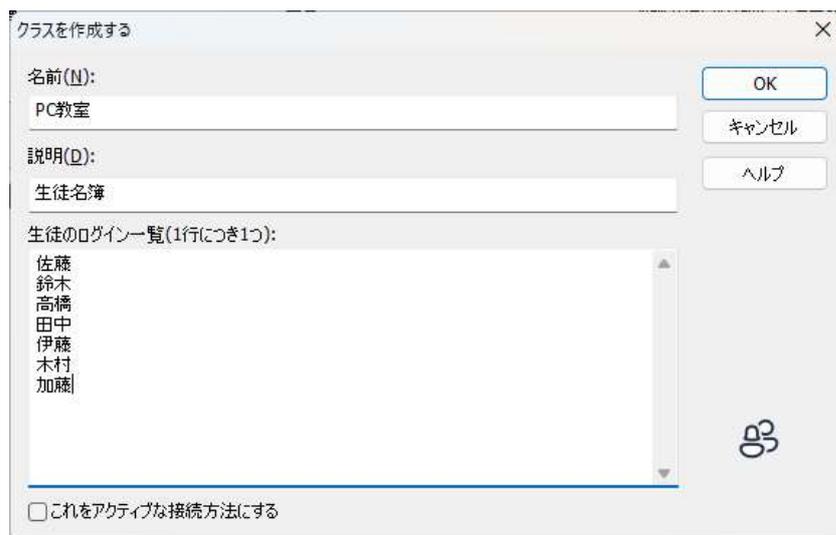
1. コントロールウィンドウのメニューから {スクール} {クラスを管理 - クラスを編集} を選択します。
または
ツールバーの「クラスを管理」アイコンをクリックして「教室の編集」を選択します。
2. 生徒リストの編集 ダイアログが表示されます。
3. 生徒リストから生徒アイコンを選択します。
4. [削除] をクリックします。
5. 生徒リストから除外され、選択できる生徒に移動します。
6. [OK] をクリックします。
7. コントロールウィンドウからクライアントアイコンが削除されます。

注意: 削除したクライアントに再接続するには、再度検索してリストに追加する必要があります。

ユーザーモードを使用して生徒に接続する

ユーザーモードは、生徒のログオンユーザー名で固定リストに接続することができます。ユーザーモードを使用して生徒に接続する場合、生徒は固定リストに登録されます。これらの情報は Client.NSS ファイルに保存されます。

1. クラスウィザードで「新規」をクリックします。
2. ユーザーモードをクリックします。クラス作成ダイアログが表示されます。



3. クラスの名前と説明を入力します。
4. 1 行に1つずつ生徒のログオン名を入力します。

5. [OK] ボタンをクリックします。
6. クラスウィザードに新しい接続先クラスが表示されます。OK をクリックします。
7. 先生は生徒を検索して接続し、コントロールウィンドウ内にアイコンを表示します。
これらの生徒はユーザーの固定リストに追加されます。

注意: 先生コンソールの環境設定から接続方法を選択することも可能です。

ユーザーモードの生徒リストを変更するには

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{スクール}{クラスを管理 - クラスを編集}を選択します。
または
ツールバーの「クラスを管理」アイコンをクリックして「教室の編集」を選びます。
2. クラスを編集 ダイアログが表示されます。
3. 削除またはリストに必要な生徒のログオン名を追加します。
4. OK をクリックします。

教室リスト

EdClass では教室リストを作成できるようになっています。素早く簡単に異なるクラスのリストを保存できます。教室リストは授業開始時に開くことができ、生徒機に素早く接続します。

PC モード、ユーザーモードまたはクラス公開を使用すると、教室リストは自動的に作成されます。EdClass 先生コンソールの環境設定で、これらのモードを切り替えることができます。

注意: コマンドライン機能は先生プログラム以外でクラスリストを作成するために使用することができます。「クラスリストプロセッサ」は外部ソースから提供されるデータをベースにあらかじめ教室リストを作成する機能です。プログラムフォルダに classlistprocessor.exe と classlistprocessordocumentation.txt が同時にインストールされます。

教室リストを終了するには

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから [クラスを管理 - スクール][教室の終了] を選択します。
または
ツールバーの管理アイコンをクリックしクラスを終了を選択します。
2. 実行中の教室が終了し、クラスウィザードが表示されます。

注意:

- 先生コンソールに教室リストフォルダへの書き込み許可がない場合は、新規教室リストの作成や既存の編集はできません。
- 以下のレジストリキーを使い、場所を指定することで教室リストの保存先を指定することができます。

Files¥Classlist

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Productive Computer

Insight¥PCICTL¥ConfigList¥Standard]

"Files¥¥Classlist"="C:¥¥Temp"

EdClass for Mac の生徒に接続する

EdClass for Mac は Mac 教室を支援するための教室管理ツールです。EdClass 先生コンソールは、必要に応じて EdClass for Mac の生徒に接続することが可能です。

EdClass 先生コンソールを起動する前に、EdClass のプログラムフォルダ (C:¥Program Files¥EdClass¥) に EdClass for Mac のライセンスファイル **NSA.LIC** をコピーします。

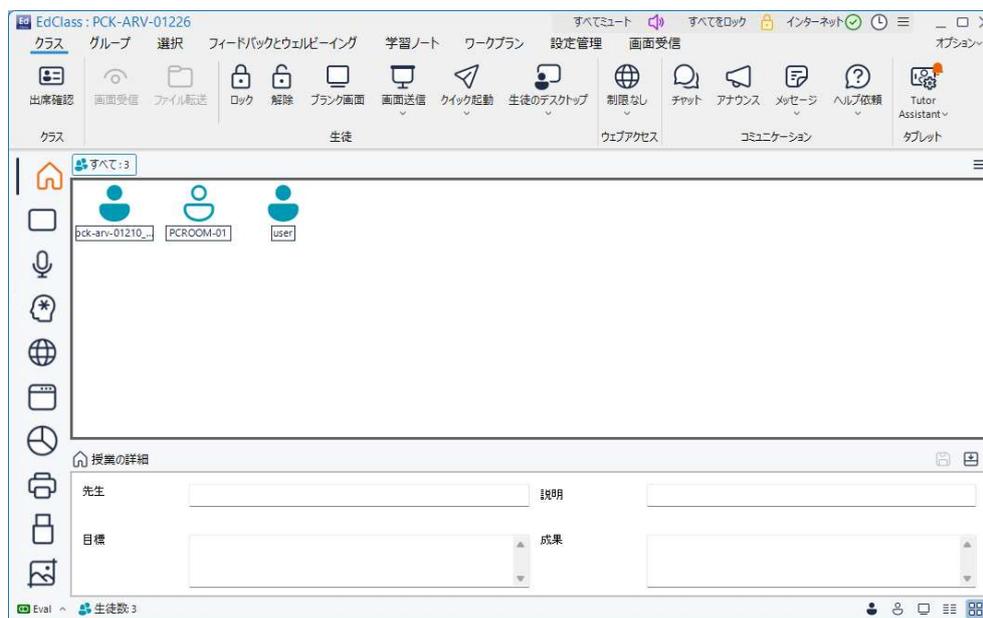
これにより、EdClass 先生コンソールは EdClass for Mac の生徒への接続が許可されます。ライセンス数の制限が各製品に適用されます。

注意: EdClass for Mac の生徒は、EdClass for Mac で使用できる機能のみが動作します。

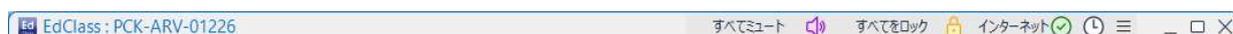
先生コンソール

コントロールウィンドウの主な役割: -

- コントロールを設定する
- 生徒のコンピュータに接続する
- クライアント情報を管理する
- 操作する生徒のコンピュータを選択する
- 実行する操作を選択する

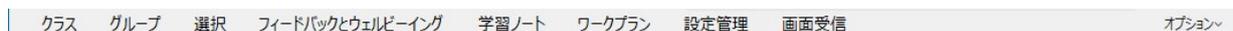


タイトルバー



コントロールウィンドウを操作していることを意味し、EdClass コントロールコンピュータの名前が表示されます。

メニューバー



メニューバーは豊富なツールや設定項目にアクセスできるメニューの集まりで構成されています。これらのメニューは一緒に操作をする生徒を選択するだけでなく、グループに生徒をまとめて、管理する際にも使用します。

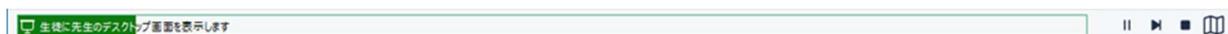
ツールバー



使用頻度の高い機能へのショートカットで構成されています。アイコン上にマウスポインタを重ねると、その機能の簡単な説明を表示します。画面送信、ビデオ表示、リプレイ表示などの似た機能は、使い易いように同じツールバーアイコンにグループ化されます。

メニューバー右の[オプション][インターフェイスの削減]をクリックすることで、ツールバーを簡略表示に切り替えることができます。

レッスンバー



開始時のレッスンを管理するためのツールを提供します。進行バーは現在のアクティビティと残り時間を先生に案内します。

レッスンバーを表示/非表示するには[ワークプラン][授業プラン]のチェックを変更します。

グループバー



クライアントのグループを定義しない限り、「すべて」というグループがツールバーに表示されます。定義すると、グループ名とメンバー数が表示され、グループツールアイコンがアクティブになります。グループ追加、削除、グループプロパティの変更が可能です。

グループを選択した状態で、メニューにある[グループ][ユーザー設定]を選択するか、または[グループ][プロパティ]を選択することで、生徒グループの名前やアイコンイメージなどのプロパティを変更できます。

グループバーを表示/非表示するには[表示][ツールバー - グループバー]を選択します。

表示モード

先生コンソールの左側で表示モードを切り換えることができます。各アイコンをクリックすると、リストビューの表示が変わり、そのモードに関連するアイコンがクラスタブに表示されます。

注意: 表示モードアイコンの表示/非表示を設定することが可能です。リボンの「画面受信」タブを選択し、「アクションバー」のオプションを無効にしてください。表示モードアイコンがキャプションバーに表示され、現在の表示モードを示すようになります。このアイコンをクリックすることで、表示モードを切り換えることができます。

リストビューは次のモードで表示可能です:

-  標準
-  モニタモード
-  オーディオ管理
-  質疑応答モード
-  ウェブ管理
-  アプリケーション管理
-  アンケートビュー
-  プリンタ管理
-  デバイス管理
-  ホワイトボード表示

注意: コントロールウィンドウの左側で右クリックし「ユーザー設定」を選択することで、各モードの表示/非表示を設定することが可能です。

ユーザーインターフェースで使用される色は、現在の表示モードに合わせて変更されます。これを無効にするには、先生コンソールで [オプション] をクリックし、「UI の色分け」を選択します。また、ユーザーインターフェースの設定でこれを有効/無効にす

ることも可能です。

一覧表示

現在接続中の生徒またはグループが表示されます。表示を切り換えるには、ステータスバーの大きいアイコン、または詳細アイコン をクリックします。

生徒アイコンの上にマウスを移動すると、詳細情報が表示されます。

生徒を右クリックし、プロパティアイコン をクリックすることで、生徒の表示名などのプロパティを変更できます。また、生徒を右クリックで選択して、カスタマイズアイコン をクリックすることで、生徒アイコン画像のカスタマイズも可能です。

注意： 生徒名は出席確認機能を使ってカスタマイズすることも可能です。

生徒のサムネイルの隣に無線とバッテリーの状態が表示されます。これらの表示は、ユーザーインターフェースの設定で変更できます。

下部ペインの授業の詳細表示が不要な場合は、右端にある最小化アイコン をクリックして非表示にできます。

生徒アイコンの表示：



[ログイン済みアイコン]

PC が起動中で、先生に接続しログインしている状態



[ログアウトアイコン]

PC が起動中で、先生に接続しているがログアウトしている状態



[オフアイコン]

PC がオフになっていて、先生と未接続の状態

生徒アイコンは任意の位置にドラッグすることで並べ替えることが可能です。変更した配置はロックできます。また、リストビューの背景に画像を追加することも可能です。

ステータスバー

ウィンドウの下部にステータスバーが表示されます。ステータスバーには、現在のクラス名、現在接続中の生徒の数、現在選択されている生徒の数、選択したグループ内の生徒の数が表示されます。

注意: モニタ、オーディオ、質疑応答ビューでは、サムネイルツールがステータスバーに表示されます。

ステータスバーにある以下のアイコンをクリックすることで、リストビュー内の特定の生徒を選択できます。



[ログイン済みアイコン]

ログイン済みのすべての生徒を選択します。



[ログアウト済みアイコン]

ログアウト済みのすべての生徒を選択します。



[モニタアイコン - 電源オフ]

電源がオフになっているすべての PC を選択します。

注意: リボンの「選択」タブから、すべての生徒を選択、現在の選択を解除することもできます。

また、以下のアイコンも利用可能です。



[詳細アイコン]

リストビューの表示を詳細表示に切り換えます。



[大きなアイコン]

リストビューの表示を大きなアイコン表示に切り換えます。



[最大化アイコン]

リストビュー下部ペインを最小化している場合に表示されます。クリックすると下部ペインを再表示します。

生徒の選択

リボン内の「選択」タブから、特定の生徒を簡単に選択できます。

ランダムの子

生徒をランダムに選択します。スライダーでランダムに選択する生徒の数を選び、「ランダムの子」を選択します。デフォルトでは、生徒が選択されると音が再生されます。この音を無効にするには、「サウンドを再生する」オプションを解除します。

リボンまたはステータスバー内の該当するアイコンをクリックすることで、ログイン中、ログアウト中、電源オフの生徒を選択することができます。詳細は前述のステータスバーのセクションをご参照ください。

中級モード / 簡単モード

EdClass にはコンソール画面を表示する 3 つのモード(上級モード、中級モード、簡単モード)が用意されています。上級モードはすべての EdClass の機能にフルアクセスできます。中級モードは頻繁に使用される機能のみに限定し、より視認性の高いアイコンで表示します。簡単モードは教室の管理を維持するための最低限の機能のみ表示します。

中級モードを使用する

1. 先生コンソールを起動します。
2. 中級モードアイコン をクリックします。
3. クラスウィザードに必要な詳細情報を入力し、接続するクラスを選択し OK をクリックします。
4. 先生コンソールが中級モードで開きます。

中級モード時の表示モードアイコンは、既定で以下の機能が表示されます。

- モニタモード
- ウェブの管理
- アプリケーションの管理
- アンケート
- プリンタの管理

注意: コントロールウィンドウの左端で右クリックし、ユーザー設定を選択することで、ビューモードのアイコン表示をカスタマイズできます。

中級モード時のリボンには、既定で以下の機能が表示されます。

- 出席確認
- 生徒画面受信
- ファイル転送
- キーボード・マウスのロック/ロック解除
- ウェブアクセス設定
- 先生画面送信
- 電源管理(電源オン/オフ)
- 生徒ログイン
- 生徒ログアウト
- フィードバックとウェルビーイング
- メッセージ送信
- チャット

上級/中級モードを切り換える

先生コンソールの[オプション]を選択し、「インターフェースの削減」をクリックします。
中級モード時は項目がハイライト表示になります。

注意：先生コンソールの初回起動時は、簡単モードのみが選択できます。

簡単モードを使用する

1. 先生コンソールを起動します。
2. かんたんモードアイコン をクリックします。
3. クラスウィザードに必要な詳細情報を入力し、接続するクラスを選択し OK をクリックします。
4. 簡単モードのコンソール画面が表示されます。



5. 画面にはクラスの生徒数、授業の経過時間、利用可能な機能アイコンが表示されます。経過時間はクリックすることで時間を一時停止できます。
6. メニューアイコンをクリックし、[最小限のインターフェース]を選択することで、ユーザーインターフェースを最小化できます。最小化した場合は、常に最前面に表示され、他のウィンドウより前面に表示されます。

注意： ウィンドウ内でダブルクリックすると、最小化モードと最大化モードを切り替えることができます。

7. ユーザーインターフェースのテーマ/色を変更するには、メニューアイコンをクリックし、[テーマ] からユーザーインターフェースのテーマ/色を変更できます。
8. **電源オン：** 生徒コンピュータの電源を起動できます。
生徒名を取得する： 出席確認機能を起動して生徒の名前を取得します。
音声をミュート： 全ての生徒の音声をミュートします。

注意： [電源オン] アイコンは、起動する必要がある生徒コンピュータがある場合にのみ表示されます。

9. 生徒からのヘルプ要求がある場合、ウィンドウに通知が表示されます。クリックすると、ヘルプ要求ウィンドウが開き、生徒に対して返信ができます。

簡単モードで使用できる機能は次のとおりです。

- キーボード・マウスのロック/ロック解除
- 生徒画面のブランク表示
- 生徒コンピュータの電源オン
- すべてのインターネットアクセスをブロック
- フィードバックとウェルビーイング
- 全生徒の音声をミュート
- 授業タイマー
- 生徒のヘルプ依頼を確認
- 生徒の出席確認

先生ツールバー

先生コンソールを最小化すると、画面上部に先生ツールバーが表示されます。先生ツールバーから EdClass の主要な機能にアクセスできます。

- すべての生徒の音声をミュート
- 生徒学習ノートにメモを追加
- 巡回
- チャット
- 生徒にメッセージを送信
- 生徒にアナウンスを行う
- 先生画面送信
- 生徒の画面をロック/ロック解除
- すべてのインターネットアクセスをブロック



先生コンソールを最大化すると先生ツールバーが消え、適用している設定がコントロールウィンドウ内に表示されます。

先生ツールバーを無効にする

1. コントロールウィンドウから [オプション] メニューの [設定] を選択します。
2. 「ユーザーインターフェース - 先生」を選択します。
3. 項目内の「最小化時に先生ツールバーを表示する」のチェックを外します。

注意: 生徒用のツールバーもあります。生徒の画面上で各機能の状態が確認できます。

生徒の自動ログイン

授業の開始時間を節約するために、生徒たちを自動的にログインさせることが可能です。

生徒の自動ログイン

1. ログインさせる生徒コンピュータを選択します。
または
ログインしていない生徒 PC すべてを選択したい場合は、ステータスバーの「ログアウト済みの生徒の選択」アイコン  をクリックします。
2. リボンの「設定管理」タブを選択し、「ログイン」をクリックします。
3. ログインダイアログが表示されます。



名前	ユーザー名	状態
 PCROOM-01		

4. ユーザー名、パスワード、ドメインを入力し [ログイン] をクリックします。ログインに成功すると、ユーザー名が表示されます。
5. 生徒を選択し、左の [表示] をクリックすると、このダイアログから生徒の画面を表示できます。
6. 完了したら、[閉じる] をクリックします。

出席確認

デフォルトではコントロールウィンドウにクライアントコンピュータのコンピュータ名を表示します。出席確認機能では、実際の生徒名を表示したり、追加情報を生徒に入力させたりすることが可能です。

注意: クライアントプロパティの詳細タブを編集してクライアントコンピュータの名前を変更することも可能です。

生徒にログインダイアログを表示する:

1. 特定の生徒の情報が必要な場合は、コントロールウィンドウの該当するクライアントアイコンを選択します。また、何もアイコンを選択していない場合は、接続しているすべての生徒に入力要求をします。
2. リボンで「クラス」タブを選択し、「出席確認」をクリックします。
3. 出席確認ダイアログが表示されます。先生は生徒が入力する情報を選択できます。
4. 「登録」をクリックするとフォームが生徒 PC に送信されます。生徒の応答を確認できます。
5. すべての生徒がサインインしたら、「閉じる」をクリックします。
6. 「自動的に出席確認を保存する」オプションを有効にした場合は、登録レポートのファイル名、拡張子タイプ、場所を指定するプロンプトが表示されます。クリックして保存します。
7. 先生コンソールの生徒アイコンに、登録された名前が表示されます。

注意: 出席確認はクラスウィザードで「出席確認を作成する」にチェックをした場合も表示されます。

出席確認ダイアログ

このダイアログは生徒が入力する登録フォームを作成します。生徒の名前を選択することで先生は画面表示やチャットオプションを使って生徒を補助することができます。

教室の詳細

生徒に送信する登録フォームに先生名、授業名、教室名を含めることができます。

注意: 部屋モードにて生徒と接続している場合、部屋の項目はスタートアップ時に指定した教室名となり、変更はできません。

取得する生徒の情報

生徒が入力する内容を選択します。フォームにフィールドを2つ追加することもできます。

注意: 「ログオンユーザー名を取得する」を選択した場合、名前と名字はグレイアウトになり、生徒名は自動的にログイン名をデフォルトにします。

自動的に出席確認を保存する

出席確認の詳細はレポートで確認できますが、コントロールが切断するとその内容は失われます。レポートのコピーを保存したい場合は、このオプションにチェックをします。ファイル名、保存先、ファイルフォーマット(CSV,HTML, XML)を入力します。

[確認] をクリックして生徒にフォームを送信します。生徒の進行状況をモニタリングできます。全生徒がサインインしたら [閉じる] をクリックします。コントロールウィンドウのクライアントアイコンが登録した名前が表示されます。

EdClass 生徒の出席確認



The screenshot shows a dialog box titled "EdClass 生徒の出席確認". At the top, there are two icons: a person with a question mark and a person with a checkmark. Below the icons, the text "教室の詳細" (Classroom Details) is displayed. Underneath, the label "部屋:" (Room) is followed by the text "Eval". Below this, the instruction "出席を確認します。次の情報を入力してください。" (Confirm attendance. Enter the following information.) is shown. There are two input fields: the first is labeled "名:" (Name) and the second is labeled "生徒 ID/No:" (Student ID/No.). An "OK" button is located at the bottom right of the dialog box.

サインアウト

サインアウトオプションを使用することで授業終了時にクライアント名をリセットすることができます。

1. リボンの [クラス] タブを選択し、出席確認アイコンをクリックし、「サインアウト」を選択します。
2. 生徒の登録が解除されます。

出席確認レポート

出席確認の詳細はレポート形式で確認することが可能です。コントロールが切断すると、この内容は失われますので注意が必要です。

1. リボンの [クラス] タブを選択し、出席確認アイコンをクリックし、「出席確認レポート」を選択します。

出席確認レポート

出席確認の内容

先生の名前: 先生
 授業名: 演習
 部屋: Eval
 学習目標:
 日付: 火, 10/11/2009
 時間: 11:35:34

姓 名	Windows ログイン	コンピュータ名	教室	生徒 ID/No.	印刷したページ数	印刷したジョブ数
水野	IDK	水野			0	0
谷口	IDK	谷口			0	0
田中	IDK	田中		1	0	0

プリンタ	印刷したページ数	印刷したジョブ数
EPSON LP-9400	0	0
Fax	0	0
Microsoft XPS Document Writer	0	0
PrimoPDF	0	0
自動 EPSON LP-9400 (MATSUDA 上)	0	0
自動 EPSON LP-9400 (OHASHI-9SYU 上)	0	0
自動 EPSON VP-1850 (PRINTPC 上)	0	0

プリンタの使用法を表示(U)

保存(S)... 印刷(P)... 閉じる(C)

注意:

- レポートのコピーを保存したい場合は、出席確認画面で [自動的に出席確認を保存する] が選択されていることを確認してください。レポートは CSV,HTML または XML フォーマットで保存されます。
- 出席確認アイコンをクリックして [クイック印刷] をクリックすることで、レポートを素早く印刷することが可能です。

生徒のログイン名を表示する

出席確認時に生徒に名前を入力させずに生徒のログイン名をデフォルトにすることができます。

1. 先生コンソールで [オプション] をクリックし、「設定」を選択します。
2. 「ユーザーインターフェース - 先生」を選択します。
3. 「生徒のユーザー名を表示する」をチェックします。
4. 「OK」をクリックします。

生徒のログイン名を保存する

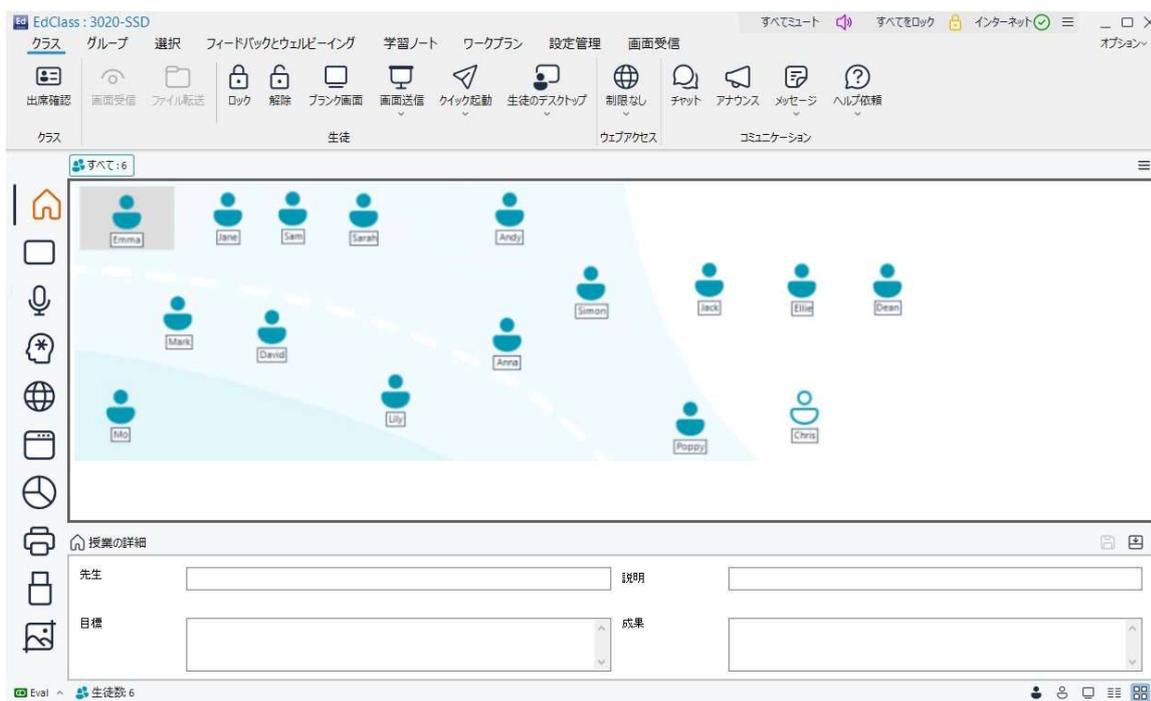
生徒のログイン名を保存することが可能です。

5. 先生コンソールで [オプション] をクリックし、「設定」を選択します。
6. 「ユーザーインターフェース - 先生」を選択します。
7. 「生徒のユーザーログイン名を記憶する」をチェックします。
8. 「OK」をクリックします。

教室のレイアウト

コントロールウィンドウのリストに表示される生徒のアイコンをドラッグして、実際の教室の配置に合わせて変更できます。グループがある場合は、グループ別にレイアウトを作成して保存できます。

部屋モードを使用する場合は、教室レイアウトが選択した部屋に対して自動的に保存されます。先生を開始し部屋を選択すると、レイアウトが自動的に読み込まれます。



レイアウトを変更する

生徒のアイコンを選択し、好きな位置にドラッグします。

レイアウトを固定する

1. 生徒のアイコンを、好きな位置に配置します。
2. リボンの [画面受信] タブを選択し、「レイアウト固定」をクリックします。
3. 生徒のアイコンが固定され、移動できないようになります。

注意: リボンの [画面受信] タブから「レイアウト印刷」を選択すると、現在のレイアウトを印刷できます。

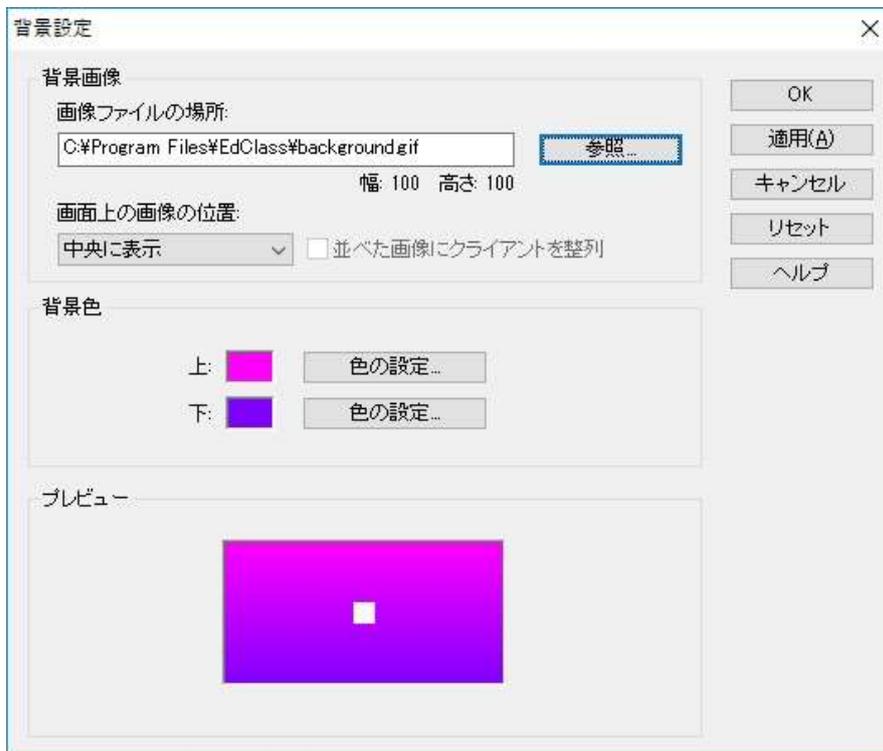
背景を設定する

リストのクライアントアイコンの位置を変更するだけでなく、背景に画像を設定して、レイアウトを強調することが可能です。

注意： 背景レイアウトは bmp、jpg、.gif、.png、透過画像に対応しています。

背景の設定手順

1. リボンの [画面受信] タブを選択し、「背景設定」をクリックします。
2. 背景の選択ダイアログが表示されます。



3. 使用する画像の保存先を選択します。デフォルト BMP ファイルは EdClass のプログラムフォルダに保存されています。選択した画像をプレビューできます。
4. ドロップダウンメニューから画像表示の位置を選択します。「並べた画像にクライアントを整列」を選択することで、画像の中央に生徒アイコンを配置させることもできます。
5. 必要に応じて背景色を選択します。
6. OK をクリックしてコントロールウィンドウに背景を追加します。

現在の背景を消去したい場合は、リボンの [画面受信] タブから「背景のクリア」を選択します。

電源管理 – 電源オン/電源オフ

EdClass の電源管理機能を活用し、ハードウェアとソフトウェアによるシステムの消費電力を最小限にすることができます。ハードウェアが全く使われていないか、ほとんど使われていないときは電源を落とし、必要なときにいつでも使える状態を保ちながら、不要な消費電力を削減できます。

生徒の電源オン

生徒コンピュータの電源を入れるには、コンピュータのネットワークアダプタが Wake-on-LAN 機能を備えており、BIOS も Wake-on-LAN 機能に対応している必要があります。詳細については、お使いのネットワークアダプタおよび BIOS のマニュアルを参照してください。

また、生徒が「生徒リスト」に登録されている必要があります。生徒コンピュータのネットワークアダプタに Wake-on-LAN パケットを送信し、電源をオンにします。

生徒の電源をオンにする

1. 電源を入れたいクライアントアイコンを選択します。
または
ステータスバーの「電源オフのマシンを選択」アイコン  をクリックして、電源オフ状態の PC をすべて選択します。
2. リボンで [設定管理] タブを選択し、「電源オン」をクリックします。
3. 生徒コンピュータの電源がオンになります。

生徒の電源を切る

先生コントロールは、EdClass 電源管理機能を使って、リモートでクライアントコンピュータの電源をオフにすることができます。コンピュータの ATX マザーボードと ATX 電源が APM に対応している必要があります。

生徒の電源をオフにする

1. クライアントコンピュータのアプリケーションが全て終了していることを確認します。
2. 電源をオフにしたいクライアントアイコンを選択します。
3. リボンで [設定管理] タブを選択し、「電源オフ」をクリックします。
または
生徒を右クリックして、「電源オフ」アイコン  をクリックします。
または
ログインしていないすべての生徒のマシンの電源をオフにするには、リボンで [設定管理] タブを選択し、「ログアウトしたマシンの電源をオフ」を選択します。
4. 確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると、生徒の電源がオフになります。

アクティブなセッションからのクライアントの切断

アクティブなセッション中に、生徒がコンピュータを再起動し、接続が切断されてしまう場合があります。生徒が切断された場合、切断メッセージが表示されるようになっていますが、設定で無効にすることが可能です。

切断メッセージを無効にする

1. 先生コンソールの [オプション] から「設定」を選択します。
2. 「ユーザーインターフェース - 先生」を選択します。
3. [サイレント切断] にチェックをいれます。次回から生徒が切断されてもメッセージは表示されません。

注意: 生徒に自動的に再接続するには、先生のユーザーインターフェース設定の [自動的に生徒を再接続する] オプションが選択されている必要があります。

クラスから生徒を削除する

クラスから不要になった生徒アイコンを削除できます。

1. 対象の生徒アイコンを右クリックし、削除アイコン  をクリックします。
2. 確認プロンプトが表示されます。「はい」をクリックしてください。

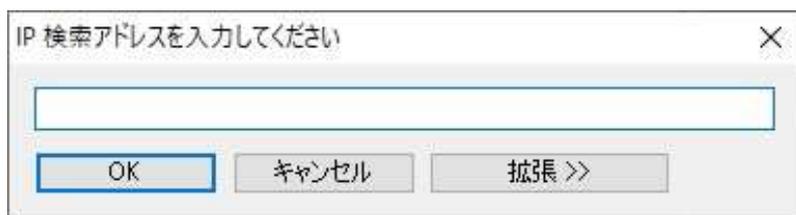
サブネット検索を設定する

お使いのネットワークが複数の TCP/IP サブネットから構成されている場合は、クライアント検索時に追加サブネットを使用するように EdClass を設定する必要があります。

リモート IP サブネット上を検索できるように EdClass を設定する前に、IP アドレスの構成と IP ブロードキャストアドレスとは何かを理解しておくと便利です。詳しくは「IP アドレスを理解する」を参照して下さい。

EdClass コントロールが IP サブネットを検索できるように設定する

1. 先生コンソールの [オプション] から「ネットワーク設定」を選択します。
2. [ネットワークと無線の設定] を選択します。
3. 検索の項目にある、[設定] をクリックします。
4. TCP/IP クライアント検索ダイアログが表示されます。
5. 追加をクリックして検索したいネットワークのブロードキャストアドレスを入力します。



または、

EdClass でブロードキャストアドレスを計算するには、拡張 をクリックしてターゲットの IP アドレスに続いてサブネットマスクを入力するか、アドレス範囲を入力してください。

IP 検索アドレスを入力してください (詳細) ×

サブネット

ターゲット IP アドレス:

サブネットマスク:

アドレス範囲

IP アドレスから:

IP アドレスまで:

ターミナル サービス

IP アドレス:

ポート範囲: >>

マルチキャスト

マルチキャストIPアドレス:

6. OK をクリックします。

注意:

- リモートサブネットのアドレスを追加する際には、ローカルサブネットのブロードキャストアドレスも表示されていることを必ず確認してください。表示されていない場合は、検索時に先生がローカルの生徒を見つけることができません。
 - お使いのネットワークルーターによっては WAN 接続のブロードキャストパケットを遮断してしまう場合があります。この場合は、先生が正しく設定されていてもリモートサブネットを検索することはできません。
-

IP アドレスを理解する

IP アドレスは 4 バイトで構成され、各バイトは 8 ビットで構成されています。IP アドレスの有効範囲は 0.0.0.0 から 255.255.255.255 までになります。

IP アドレスはデバイスが存在するネットワークを表すネットワークアドレスと、デバイスそのものを指すホストアドレスで構成されます。

サブネットマスクは、何ビットをネットワークアドレスに使用するかを定義する 4 バイトの数値です。サブネットマスクの各ビットのうち、1 になっているビットは、IP アドレスの対応するビットがネットワークアドレスの一部であることを表します。

例えば、IP アドレスが 10.10.2.21 で、サブネットマスクが 255.255.255.0 のときは、以下のようになります

IP アドレス	10	.	10	.	2	.	21
サブネットマスク	255	.	255	.	255	.	0
IP アドレス(バイナリ)	00001010	.	00001010	.	00000010	.	00010101
サブネットマスク(バイナリ)	11111111	.	11111111	.	11111111	.	00000000
IP アドレスのネットワークポーション	00001010	.	00001010	.	00000010	.	00000000
IP アドレスのホストポーション	00000000	.	00000000	.	00000000	.	00010101
IP アドレスのネットワークポーション	10	.	10	.	2	.	0
IP アドレスのホストポーション	0	.	0	.	0	.	21

したがって、IP パケットを 10.10.2.21 に送信すると、実際にはネットワーク 10.10.2.0 上のデバイス 21 にパケットが送信されます。

上の例では、ネットワーク 10.10.2.0 には 256 (0 から 255) のホストアドレスが存在できますが、そのうちの 0 と 255 は予約されています。全てのビットが 0 に設定されているホストアドレスはネットワークアドレス、全てのビットが 1 に設定されているホストアドレスはブロードキャストアドレスとなります。

IP アドレスが 10.10.2.0 のネットワークでは;

10.10.2.0 がネットワークアドレスで

10.10.2.255 がブロードキャストアドレスになります。

ネットワークのブロードキャストアドレスに IP パケットを送信すると、その IP ネットワーク上の全てのデバイスがそのパケットを受信します。

EdClass コントロールがリモート IP サブネットを検索できるように設定する際には、この IP ネットワークのブロードキャストアドレスを使用します。

ターミナルサーバ環境下で EdClass を実行する

EdClass 先生はターミナルサーバ環境下のクライアントに接続することが可能です。

注意: ターミナルサーバやその他のシンクライアントは、ネームサーバを使用して設定できません。

ターミナルサーバセッションで実行されている生徒と接続する

ターミナルサーバセッションで実行されている生徒に接続する際は、「部屋モード」での接続方法を推奨します。部屋モードでは、ターミナルサーバセッションで実行されている生徒を、ユーザー単位で特定の部屋に配置することができます。

先生が生徒と同じ部屋に設定されると、自動的に部屋にいるすべての生徒に接続します。

注意: 生徒のターミナルサーバの設定は、EdClass 生徒の構成設定ツールで設定できます。

Windows 先生アプリ

デスクトップ・アプリケーション版の先生コンソールに加えて、Windows ストアアプリ版の先生コンソールが利用できます。タブレット端末向けに再設計された操作画面で、EdClass 先生が更に簡単に使いやすくなります。Windows 先生アプリは Windows Store からダウンロードが可能です。

<https://www.microsoft.com/store/apps/9NBLGGH1ZP6F>

シンプルで使いやすい操作画面から、EdClass の主要な機能を使うことができます。

- 授業目標と成果の表示
- 生徒に出席票を配布、コンソール上に名前を表示
- 生徒のヘルプ依頼を確認
- 生徒画面の非表示(ブランク)
- 生徒画面を一覧表示
- 個々に生徒の画面を受信
- 生徒とのチャットやメッセージの送信
- インターネット使用の監視と制限
- アプリケーション(デスクトップ、ストア)使用の監視、制限
- 生徒のアプリケーション、ウェブサイトを遠隔起動
- アンケート実施
- 生徒の進捗測定
- ファイル転送
- 学習ノート

Android タブレット用 EdClass 生徒のインストールと構成

コンピュータ教育の効果を最大限に高めるために、Android 端末で EdClass の一部機能が利用可能です。

Android 用 EdClass 生徒は Android タブレットにインストールできます。先生のデスクトップからは、各 Android 生徒端末に接続し、相互にやりとりが可能になります。Android 用生徒アプリは Google Play ストアから無料で入手可能です。

Android 用生徒のセットアップと設定

パスワードと教室名を各デバイスに事前に設定するか、または先生コンソールから各 Android 端末に対して設定を送信することができます。

1. 先生コンソールのリボンで [設定管理] タブを選び、「生徒設定の適用」をクリックします。
2. 生徒設定ダイアログが表示されます。
3. 設定を送信したい生徒を選択します。
4. 変更をクリックします。生徒の設定変更ダイアログが表示されます。
5. 必要なオプションを設定して保存をクリックします。
6. Android デバイス側で既にパスワードが設定されている場合は、それを入力します。
7. 送信をクリックします。
8. 部屋モードで Android の生徒を検索できるようになります。

EdClass のインストール時に「タブレット生徒のみ」のライセンスの種類を選択した場合、先生コンソールはタブレット生徒用にサポートされている機能だけを表示します。

Android でサポートされている機能:

- 生徒の登録
- 授業目標の表示
- 先生からのメッセージ受信
- 生徒から先生へのヘルプ依頼
- グループまたは1対1のチャット
- アンケート実施
- 生徒の Android 端末をロック/ロック解除
- 画面ブラックアウト
- 先生画面を Android 端末へ送信

- 先生コンソール上に生徒画面を一覧で表示*
- 先生コンソール上に生徒画面を拡大表示*
- 生徒を評価
- Wifi/バッテリーの状態表示
- 生徒端末で指定 URL を開く
- 質疑応答モード
- ファイル転送
- スタートアップ起動

注意: 生徒の画面を表示する際、接続する前に生徒に確認のプロンプトが表示されます。生徒が許可をしない限り、先生は生徒の画面を表示することはできません。

Google Chrome で EdClass をインストール・構成する

Google Chromebook 環境で EdClass の機能を利用することが可能です。

EdClass の生徒 app は、Google Chrome OS が動作している各生徒機にインストールできます。先生のデスクトップから各生徒に接続し、生徒の状況確認や共同作業を行うことが可能です。

Chrome Student に接続するように EdClass を設定する

Chromebook の生徒に接続するためには、ネームサーバをインストールして、EdClass を設定する必要があります。

1. 先生コンソールの [オプション] から [ネットワーク設定] を選択します。
2. ネットワークと無線の設定を選び、「Chromebook を含める」を選択します。
3. [設定] をクリックします。
4. ゲートウェイのアドレス、ポート番号、セキュリティキーを入力します。これはネームサーバで設定されたものと同じでなければなりません。
5. [OK] をクリックします。
6. 部屋モードまたは生徒一覧の編集を使用して Chromebook の生徒を検索できるようになります。

Chromebook で EdClass の生徒をインストール・設定する

1. Google Chrome ストア: <https://chrome.google.com/webstore> にアクセスし、EdClass Chrome 拡張をダウンロードします。
2. 「拡張」設定ページにアクセスするために `chrome://settings/extensions` をアドレスバーに入力します。
3. Google Chrome 拡張用 EdClass 生徒の場所を指定し、オプションをクリックします。
4. ゲートウェイのアドレスとネームサーバのポート番号を入力します。
5. どの部屋に生徒を割り当てるか決定します。
6. 任意で、この生徒を識別する名前を入力します。
7. 保存をクリックします。

Google Chromebook に含まれる機能

- 1つの画面で各生徒機の鮮明な縮小画面を表示
- 各生徒に簡易アンケートを実施し、リアルタイムで結果を表示
- 各生徒機にメッセージを送信

- 未認証のウェブサイトを遮断
- 許可されたウェブサイトのみ表示
- すべてのインターネットのアクセスを遮断
- 生徒の Chromebook のウェブサイトを開く
- Chromebook のウェブサイトを閉じる。
- FTP アクセスを遮断
- 生徒が現在閲覧しているウェブサイトの詳細を確認
- 各授業のはじめに生徒に登録を依頼
- モバイルの生徒の管理をするための生徒をグループ化する 3 種類のモード

Google Chrome のライセンス

ネームサーバに接続する各 Google Chrome デバイスは、ライセンスを取得する必要があります。Google Chrome デバイスのライセンスは、通常の EdClass ライセンスと共通になります。

通常 PC と Google Chrome デバイスを合わせた台数分の EdClass ライセンスをご購入ください。

アクティブディレクトリとの統合

EdClass は Microsoft Active Directory と統合し、生徒と先生の構成を集中管理できます。

タスクを簡単にするために、設定可能なオプションを含む 4 つの管理用テンプレートを用意しています。

NSS_Student_machine.adm

NSS_Student_User.adm

NSS_Tutor_Machine.adm

NSS_Tutor_User.adm

Edclass をインストールすると、プログラムフォルダにテンプレートが保存されます。これを既存の ADM テンプレートを含むフォルダにコピーする必要があります。

Active Directory 経由で生徒の構成変更を適用する

10. ドメインコントローラにて、[Active Directory ユーザーとコンピュータ]ツールを選択します。
11. ドメインまたは組織単位で適用するポリシーレベルを決定します。右クリックし、[グループポリシー]タブを選択します。
12. テンプレートを追加するポリシーを選択し、[編集]をクリックします。または、[追加]を選択して新しいポリシーを作成します。
13. グループポリシーエディタの[コンピュータの構成]で、[管理用テンプレート]を選択します。
14. 右クリックし、[テンプレートの追加と削除]を選択します。
15. [追加]をクリックし、EdClass の ADM ファイルの場所を指定して[開く]をクリックします。新しく EdClass ポリシーが追加されます。
16. [閉じる]をクリックします。

デフォルトでは、EdClass の各ポリシーオプションは無効になっています。

ADM テンプレートファイルを使用して生徒、先生の特定の設定を有効にするには、暗号化された値を入力する必要があります。例えば、セキュリティキーポリシーには暗号化されたセキュリティキーを入力する必要があります。これを ADM テンプレートファイルで設定する際は、セキュリティキーをプレーンテキストで入力することができないため、暗号化済みのセキュリティキーの値をポリシーに入力する必要があります。

無線の教室で EdClass を使用する

無線ネットワークは干渉を受けやすい為、有線ネットワーク程の信頼性が高くないことが一般的に認識されています。加えて、無線アクセスポイントに多数のデバイスを同時接続するとそれぞれに割り当てられた帯域に悪影響を及ぼします。

最適化されていない無線環境で EdClass を使用する場合、パフォーマンスの低下や先生コンソールから生徒デバイスが頻繁に切断する可能性があります。

EdClass は、無線ネットワークの影響を制限するために高度な技術を使用しています。

無線環境で使用するために EdClass を最適化する

教室内のデバイス間で信頼性の高い無線接続を確立するために、先生コンソールに無線ネットワークのパフォーマンスを最適化するための設定があります。

学校が利用可能なネットワーク帯域の量は限られています。生徒の画面を表示する、ファイルを配布する、または先生の画面を同時に配信することは、この帯域を消費することになります。

EdClass には、ネットワーク上で送信されるデータ量を減らしパフォーマンスを向上させるための構成設定オプションがあります。

無線環境では、環境設定のパフォーマンスセクションで両方のオプションが選択されていることが推奨されます：

減色 – 一斉配信時の画面受信ウィンドウ、縮小画面、先生の画面を 256 色に制限します。

低帯域モード – 転送される映像フレーム数が毎秒約 5 フレームに制限されます。

さらに、先生コンソールのネットワーク設定セクションで次のオプションが有効になっていることが推奨されます：

画面送信の一斉送信を有効にする – 複数の生徒に先生の画面を一斉送信またはファイルを配布するときに、このオプションを有効にすると画面データやファイルがすべてのコンピュータに同時に送信されるようになります。

最後に、先生コンソールがネットワークにデータを送信する速度を、ワイヤレスアクセスポイントがデータを提供できる速度に合わせて低減させることで、パフォーマンスを向上させることができます。ネットワークにデータを早く送信すると、パケットが失われることになり、生徒がデータを再要求し追加のトラフィックがネットワークに発生する原因になります。

無線環境の場合、次のオプションが設定されていることを推奨します：

無線ネットワーク - 無線環境で最高のパフォーマンスを得るために EdClass を最適化します。

最大スループット - 先生コンソールが接続した生徒のデバイスにデータを送信する速度を微調整する機能を提供します。

ネームサーバを使用して生徒を検索する

EdClass ネームサーバまたは接続サーバ / ゲートウェイは、オプションでインストールできるプログラムです。簡単で信頼度の高い方法で、LAN やワイヤレス LAN 環境の生徒を検索して接続することが可能です。

従来の接続方法では難しい、教室間をモバイルコンピュータで移動する生徒を検索するときに役立ちます。

一度設定すると、生徒は起動時にネームサーバに接続して、サーバに IP アドレスを登録します。先生が生徒を検索する時、UDP で生徒を検索するのではなく、ネームサーバの検索が実行されます。先生プログラムは、ネームサーバに登録された IP アドレスを使用します。

ネームサーバを使う利点:

- 生徒の検索にネットワークを検索する必要がありません。
- 生徒の検索時間を短縮します。
- 先生の設定でブロードキャスト範囲の設定や管理を減らします。
- ワイヤレス LAN 環境の、より信頼度の高い接続方法です。先生は、接続を確立する時に IP アドレスを使用します。生徒のモバイルコンピュータがアクセスポイントを変更し、新しい IP アドレスが割り当てられるという問題を回避します。
- 異なるサブネットにある生徒も、追加検索アドレスを定義することなく公開された教室に参加することができます。

ネームサーバを使用するための基本条件:

- 全ての先生と生徒にアクセス可能なコンピュータにインストールする必要があります。
- 静的 IP アドレスが割り振られている必要があります。
- 先生と生徒は、ネームサーバを使用するための設定が必要です。
- ネームサーバ、先生、生徒は、一致するネームサーバセキュリティキーを設定する必要があります。

ネームサーバのインストールと構成

「ネームサーバ」または「ゲートウェイ」は、先生と生徒双方からアクセスできるコンピュータで動作するように構成します。従って、静的な IP アドレスを持たせる必要があります。ネームサーバは、単体、あるいは他の EdClass プログラムと一緒にインストールが可能です。

EdClass のインストールを実行する時には、カスタムセットアップ画面からネームサーバを選択します。Yサーバ(ゲートウェイ)のプロパティを設定する必要があります。インストールの最後に、ゲートウェイ設定ダイアログが表示されます。またはインストール後に、タスクトレイにあるゲートウェイアイコンを右クリックしてダイアログを表示することも可能です。

注意: ゲートウェイアイコンをタスクトレイに表示するには、スタートメニューから[すべてのプログラム][スタートアップ][EdClass ネームサーバコンソール]を選択します。

ゲートウェイ/ネームサーバは、ゲートウェイコンピュータの IP アドレスとセキュリティキーが必要です。先生と生徒に同じ情報を入力することで、それぞれのプログラム間の接続が有効になります。

目的のネームサーバを使用するように先生と生徒の接続オプションを設定すると、生徒が起動するたびに、生徒の現在の IP アドレスをサーバに登録します。先生は、スタートアップ時に設定された方法で生徒を検索しますが、UDP でネットワーク検索をせずに、ネームサーバから条件に一致する生徒を検出します。

注意: 部屋モードや教室公開モードでネームサーバを使用して生徒に接続する場合は、先生と生徒の両方にネームサーバ設定を行う必要があります。

ゲートウェイ設定 - 全般

設定ダイアログを使用し、ゲートウェイ(ネームサーバ)のプロパティを設定します。

インストールの最後にダイアログが表示されます。タスクバーに EdClass ゲートウェイアイコン  から設定画面を開くこともできます。アイコンを右クリックして、[接続サーバの設定] を選択します。接続サーバコンソールからダイアログにアクセスするには、メニューから [ファイル][接続サーバの設定] を選択します。または、EdClass のプログラムフォルダから Pcgwcfg.exe から起動することもできます。

注意: タスクバーにゲートウェイアイコンを表示するには、スタートメニューから [EdClass][EdClass ネームサーバコンソール] を選択します。



The screenshot shows the 'EdClass 接続サーバ設定ユーティリティ' (EdClass Gateway Configuration Utility) dialog box, '全般' (General) tab. The window title bar includes a globe icon and a close button. The dialog has several sections:

- 通信の受信ポートとインターフェイス** (Communication Reception Port and Interface):
 - Radio button selected: すべての IP インターフェイスで受信する (Receive on all IP interfaces). Below it is a 'ポート:' (Port) text box containing '443' and a note '(e.g. 443C, 3085C, 4000 etc.)'.
 - Radio button unselected: 指定の IP インターフェイスで受信する (Receive on specified IP interfaces). Below it is a table with columns 'IP アドレス' (IP Address) and 'ポート' (Port). To the right of the table are three buttons: '追加...' (Add...), '削除' (Delete), and '編集...' (Edit...).
- Comms. Management Packet Interval**: A 'CMPI (秒):' (CMPI (sec)) text box containing '60'.
- イベントログファイル** (Event Log File):
 - '場所:' (Location) text box containing 'C:\Program Files (x86)\Common Files\NSL\Conn'.
 - '最大ファイルサイズ (KB):' (Max file size (KB)) text box containing '1000'. To its right is a '参照...' (Browse...) button.
- At the bottom, there is a checkbox labeled 'サービス異常停止時の自動復旧' (Automatic recovery on service abnormal stop) which is currently unchecked.
- At the very bottom are four buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), '適用(A)' (Apply), and 'ヘルプ' (Help).

通信の受信ポートとインターフェース

全ての IP インターフェースで受信する

ネームサーバをインストールするとデフォルトでローカル IP アドレスを使用して 443 ポートで通信を行います。

特定の IP インターフェースで受信する

ゲートウェイのコンピュータに複数のネットワークカードがインストールされている場合、特定の IP アドレスを追加することができます。追加をクリックしてアドレスを入力してください。

注意: ゲートウェイコンピュータの IP アドレスとキーは先生と生徒で設定する必要があります。

Comms. Management Packet Interval

CMPI (secs:)

ゲートウェイ接続を設定した際、生徒はゲートウェイに定期的に通信して接続を確認します。デフォルトでは、ネットワークパケットは 60 秒間隔で送られます。必要に応じて変更できます。

イベントログファイル

アクティブセッション中のゲートウェイの動作は、デフォルトで GW001.LOG というテキストファイルにログが記録されます。ゲートウェイ経由でどのコントロールとクライアントが接続している確認ができます。

場所:

デフォルトでログファイルは C:\program files\EdClass\GW001.log に保存されます。パスを指定する場合は、参照を選択してください。

最大ファイルサイズ(KB):

ログファイルが非常に大きくなったとき、最大ファイルサイズを指定してこれを管理できます。最大値に到達すると、既存の情報は新しい記録に上書きされます。

注意: ログファイルの設定を変更した場合、Gateway32 サービスを再起動する必要があります。

サービス異常停止時の自動復旧

異常シャットダウンが発生した場合に、ゲートウェイサービスを自動的に復旧します。この設定はデフォルトで有効になっています。

ゲートウェイ設定- キー

セキュリティキーを使用してネームサーバのアクセスを保護します。



ゲートウェイは、ゲートウェイキーが指定されていない先生または生徒のコンピュータからの接続を拒否します。先生と生徒にはゲートウェイと完全に一致するキーを設定する必要があります。ゲートウェイは複数のキーに対応できます。最低でもキーを1つ指定してください。

キーを設定するには、[追加] を選択してください。また、8文字以上でキーを設定してください。

ゲートウェイ設定 - ライセンス

EdClass フォルダに保存されているすべてのライセンスを表示します。インターネット接続が無い場合は、ここにあるライセンスを手動で認証することが可能です。

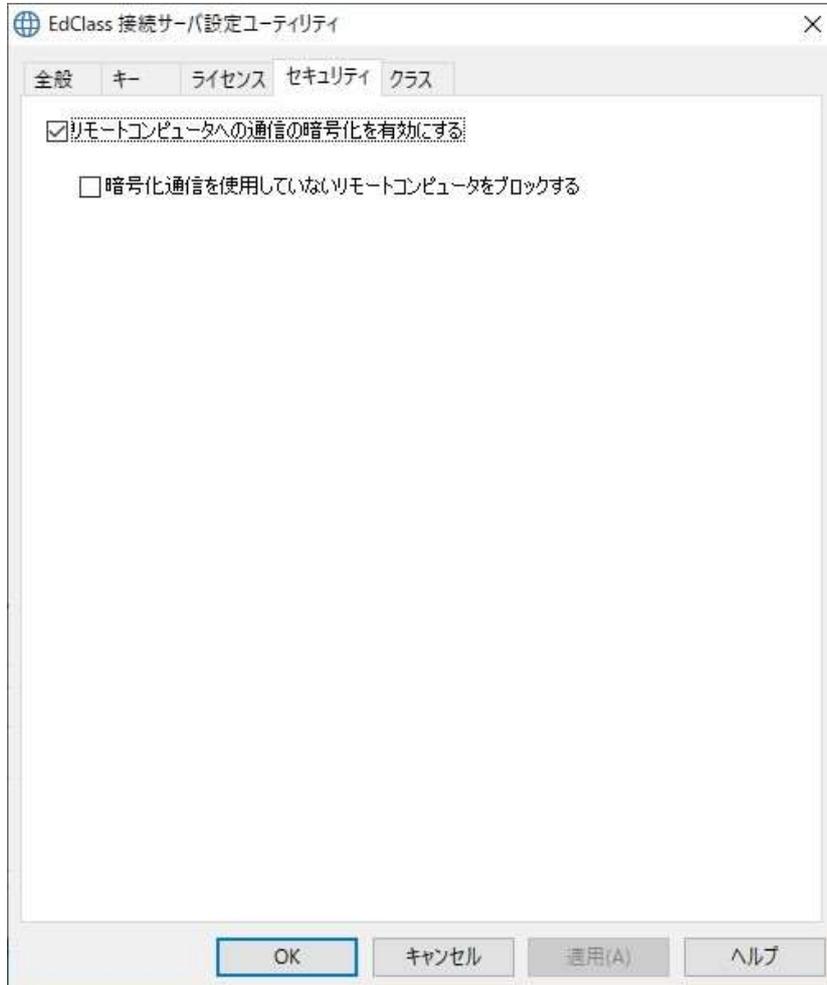


認証コードが必要になります。[認証] ボタンを押して、コードを入力します。ネームサーバの再起動を促されます。

注意: インターネット接続が利用できる場合は、自動的にライセンスの認証を取得します。ネームサーバの再起動は必要ありません。

ゲートウェイ設定 - セキュリティ

EdClass ゲートウェイは、リモートコンピュータからの通信を暗号化することが可能です。



リモートコンピュータへの通信の暗号化を有効にする

有効にすると、接続処理のすべての通信が暗号化されます。

注意: リモートコンピュータ(コントロールまたはクライアント)は、バージョン 10.61 以上が動作している必要があります。

暗号化通信を使用していないリモートコンピュータをブロックする

古いバージョンのコントロールまたはクライアントプログラムは、強化された暗号化をサポートしていません。このオプションを選択すると、これをサポートしていないバージョンのコントロールまたはクライアントが動作しているリモートコンピュータからの接続をブロックします。

ゲートウェイ設定 - クラス

OneRoster または Google Classroom と直接統合して、オンライン SIS (Student Information Systems) のクラスルームと生徒アカウントへのアクセスが可能です。

The screenshot shows the 'EdClass 接続サーバ設定ユーティリティ' dialog box with the 'クラス' (Class) tab selected. The 'クラスデータソース' (Class Data Source) section has four radio button options: 'なし' (None), 'ClassLink OneRoster', 'OneRosterのzip形式のCSVファイル' (OneRoster zip CSV file), and 'Google Classroom'. The 'なし' option is selected. Below these are input fields for 'テナント Id:' and 'キー:' for ClassLink OneRoster, a 'ファイル:' field with a browse button for the zip CSV option, and a 'プロジェクト:' field with a browse button for Google Classroom. At the bottom, there are fields for '1日の同期数:' (set to 1) and '場所:' (set to 00), along with '今すぐ同期する' and 'データをリセットする' buttons. A status message at the bottom reads '接続サーバが動作していません' and '最終更新日:'.

クラスデータソース

なし

このオプションを選択すると、以前に保存された SIS 情報がすべて削除されます。

ClassLink OneRoster

ClassLink OneRoster にリンクし、学校の Tenant ID を入力します。キーには、Roster Server Portal で提供された一致する Security/API Key を入力してください。

OneRoster の zip 形式の CSV ファイル

圧縮された CSV ファイルを使用できます。参照ボタン  をクリックして、ファイルを選択します。

注意:

- CSV ファイルは OneRoster 標準に準拠している必要があります。
 - OneRoster zip ファイルを使用するには、ネームサーバの初期設定時に SIS データの一括エクスポートを実行する必要があります。
-

Google Classroom

Google Classroom にリンクします。参照ボタン  をクリックして、PC にコピーした JSON を選択します。

適用をクリックすると、Google G Suite に管理者情報でサインインし、EdClass へのアクセスを許可するように促されます。

1 日の同期数

デフォルトでは、ネームサーバは OneRoster または Google Classroom と 1 日 1 回同期します。この数値を変更できます。また、同期実行する時間も指定できます。

「今すぐ同期する」をクリックして、ネームサーバを同期させます。「データをリセットする」をクリックすると、以前の全データが削除されます。データ量が多い場合は時間がかかる事があります。

EdClass 接続サーバコンソール

接続サーバコンソールでは、接続サーバコンポーネントがどこにインストールされていて、使用中かを確認できます。

接続サーバを開く

システムトレイの EdClass ネームサーバアイコンを右クリックし、「開く」を選択するか、アイコンをダブルクリックします。

現在接続しているクライアントの数と概要が表示されます。詳細な情報は各タブで確認できます。

クライアント

ネームサーバに接続しているすべての EdClass クライアントのリストを表示します。

セッション

先生と生徒間の接続リストを表示します。接続が開始された日時が表示されます。

サービス

部屋モードでアクティブ状態になっている先生のリストを表示します。表示されることで、生徒がネームサーバを介して部屋に接続できます。

接続サーバの設定を開く

メニューから[ファイル][接続サーバの設定]を選択します。

グループで作業を行う

EdClass では、生徒をグループにまとめて管理できます。

グループに所属する生徒全員に対して、以下の各操作を一度にまとめて行うことができます。

- 画面送信
- ファイル配布
- 巡回
- アプリケーション実行
- メッセージ送信
- キーボードとマウスのロック/解除
- マルチメディア機能
- 教材の配布/回収
- チャット
- 質疑応答チームモード

グループを作成する

1. リボンの[グループ] タブを選択して、「追加」をクリックします。
または
グループバーにあるオプションアイコン☰をクリックして、「追加」を選択します。
2. グループウィザードが表示されます。グループ名や説明を入力してグループを作成します。

グループバーに作成したグループのタブが表示されます。



生徒をランダムにグループ化する

1. リボンの [グループ] タブを選択し、「ランダムグループ」をクリックします。
2. ダイアログが表示されます。
3. グループ化の方法を選択します。
ランダムに振り分ける：
生徒をランダムにグループ分けします。必要なグループ数を入力します。

生徒が選択する:

生徒が参加するグループを選択できます。グループ名はカンマで区切ることで複数入力できます。

4. [OK] をクリックします。
5. 新しく作成されたグループがグループバーにタブとして表示されます。

グループのメンバーを変更する

1. グループバーから対象のグループを選択します。
2. リボンの [グループ] タブを選択し、「プロパティ」をクリックします。
または
グループバーにあるオプションアイコン  をクリックして、「プロパティ」を選択します。
または
対象のグループタブの右側をクリックしてメニューを表示し、「プロパティ」をクリックします。
3. メンバータブを選んで削除または追加するクライアントを選択します。
4. グループメンバーが確定したら OK をクリックします。

注意: 選択したクライアントアイコンを右クリックしてグループから削除アイコンを選択することでも、グループからクライアントを削除することが可能です。

グループを削除する

以下の手順で不要になったグループを削除できます。この操作によってグループのメンバーである生徒には影響ありません。

1. 削除対象のグループを選択します。
2. リボンの [グループ] タブを選択し、「削除」をクリックします。
または
グループバーにあるオプションアイコン  をクリックして、「削除」を選択します。

または

対象のグループタブの右側をクリックしてメニューを表示し、「削除」をクリックします。

3. 確認ダイアログが表示されます。「Yes」をクリックするとグループが削除されます。

グループリーダー

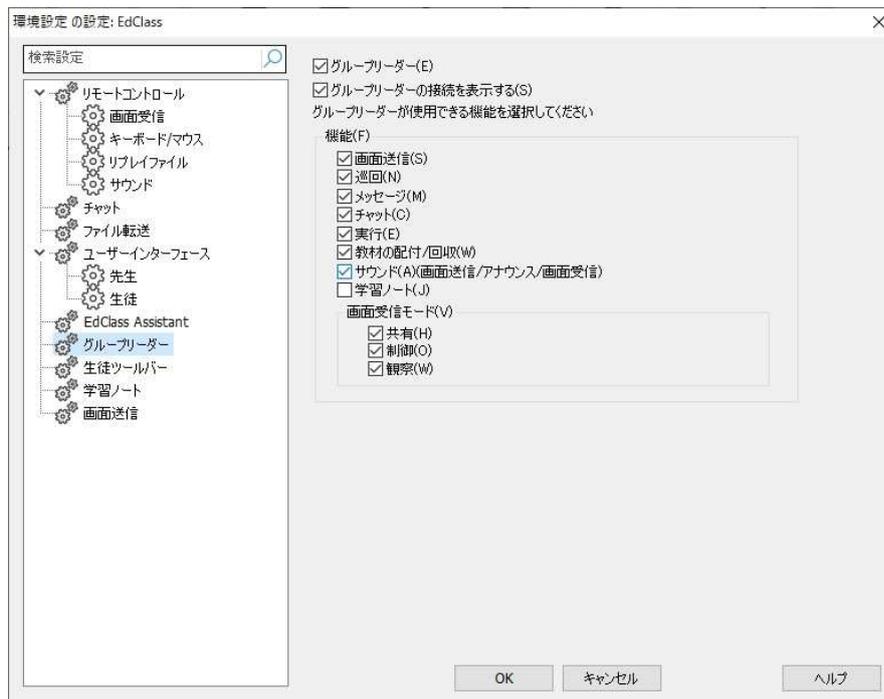
生徒がグループで作業をするときに、先生はグループ内の生徒を「グループリーダー」に指名することができます。グループリーダーに任命された生徒はグループを制御でき、先生に代わって多くの作業を実行できるようになります。グループリーダー実行中でも先生は全ての操作に関する権限を持ち、いつでもグループリーダーを解任できます。

グループリーダーで利用可能な機能は、先生コンソールの [オプション] から [設定] を選択し、[グループリーダー] の項目から設定できます。

グループリーダーの接続を表示する

グループリーダーとそのグループの生徒のリンクがコンソール画面上に表示されます。この設定はデフォルトで有効になっています。

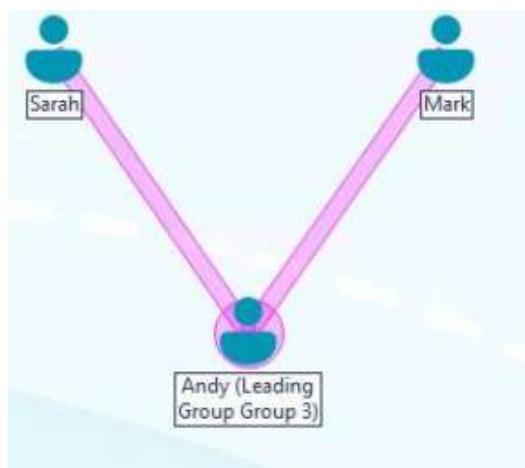
デフォルトでは全てのグループリーダー機能が有効になっています。ボックスのチェックを外して機能を無効にできます。



グループリーダーを指名する

1. グループバーでグループを選択します。
2. グループリーダーに指名する生徒を右クリックで選択します。
3. 「グループリーダーの任命」をクリックします。

グループリーダーに任命されたクライアントアイコンがハイライト表示され、グループリーダーとそのグループの生徒のリンクがラインでつながって表示されます。



グループリーダーに指定された生徒には、メッセージが表示されます。生徒は、グループリーダーコントロールを今すぐ実行するか、タスクバーに表示されるグループリーダーアイコン、または、生徒ツールバーに表示される [グループリーダー] アイコンをクリックして後で実行することができます。

注意:

- 生徒は複数のグループに所属できますが、グループリーダーになれるのは1グループのみです。
 - メンバーが既に別グループのリーダーであっても各グループでグループリーダーを設定することができます。
 - 先生にはグループリーダーを含む生徒全員の画面が表示されます。
-

グループリーダーを一時停止にする

グループリーダー実行中に、先生はグループリーダーが行っている作業を邪魔せずに、他のタスクを実行したい場合があるかもしれません。各グループリーダーを個々に削除や指定をせずに、必要に応じてグループリーダー機能の一時停止、再指定することができます。

1. リボンの [グループ] タブを選択し、「すべて一時停止」をクリックします。
2. すべてのグループリーダーが一時停止されます。

グループリーダーを再開する

1. リボンの [グループ] タブを選択し、「すべて一時停止」をクリックします。
2. 全グループリーダーの停止が解除されます。

グループリーダーを解除する

先生はいつでも生徒のグループリーダー権を解除することができます。

1. グループリーダーが所属するグループを選択します。
2. クライアントアイコンを右クリックして「グループリーダーの解除」を選択します。
または
対象のグループタブの右側をクリックしてメニューを表示し、「グループリーダーの解除」をクリックします。

クライアントにグループリーダー解除のメッセージが表示されます。

クライアントとグループのアイコンをカスタマイズする

先生コンソールに表示されるクライアントとグループのアイコンをカスタマイズできます。また、コンピュータ名かログオンユーザー名にイメージを適用させることもできます。



1. 対象の生徒またはグループバーから対象のグループを選択します。
2. 生徒を右クリックし、カスタマイズ  をクリックします。
または
リボンの [グループ] タブを選択し、[ユーザー設定] をクリックします。
3. 画像カスタマイズダイアログが表示されます。3 つのタブから 1 つを選択します。

すべてのコンピュータ 選択されたイメージを適用します。

ログオン名 生徒がどのコンピュータでログオンしても、ログオンユーザー名でイメージを割り当てることができます。このオプションはコンピュータ名に適用された画像より優先されます。

グループ 各グループにイメージを適用することができます。

4. クライアント名かグループを選択し、変更をクリックします。ログオンユーザー名を使用する場合は、[追加] をクリックして生徒のログオン名を入力してください。
5. [参照] をクリックしてアイコン画像を指定します。Edclass フォルダ内の既定のライブラリ(*.ncl)か、自分の好きな画像を選択することが可能です。
6. 完了後、OK をクリックします。

注意: 個々のクライアントとグループのアイコンは、プロパティからも変更することが可能です。生徒を右クリックし、プロパティアイコン  をクリックし、[詳細] タブを選択して [表示アイコン] セクションで [ユーザー設定] をクリックします。

EdClass15.10

または、対象のグループタブの右側をクリックしてメニューを表示し、[プロパティ]をクリックし、[全般] タブにある [表示アイコン] セクションで [ユーザー設定] をクリックします。

EdClass を使用する

この章では…

EdClass 先生コンソールの機能の使い方を解説します。リモートコントロールの始め方から生徒デスクトップのモニタリングや管理方法などの豊富な機能について詳しく解説します。

生徒のマウスとキーボードをロック/ロック解除する

画面送信を実行するとクライアントのマウスとキーボードは自動的にロックされますが、それ以外の場合でもクライアントのマウスとキーボードをロックすることが可能です。ただし、ロック/ロック解除ができるのは接続中のクライアントに対してのみ有効です。

クライアントをロックする

1. 対象の生徒またはグループを選択します。
2. リボンの [クラス] タブを選択し、「ロック」をクリックします。
または
選択した生徒アイコンを右クリックして[ロック]を選択します。
または
キャプションバーにある「すべてをロック」をクリックすることで、すべての生徒をロックできます。

注意: すべての生徒をロックすると、生徒の音声はミュートになります。このオプションは生徒ユーザーインターフェースの設定で無効にできます。

3. マウスとキーボードのロックを通知する画像がクライアントコンピュータに表示されます。

クライアントのロックを解除する

1. リボンの [クラス] タブを選択し、「解除」をクリックします。
または
選択した生徒アイコンを右クリックして[解除]を選択します。
または
キャプションバーにある「すべてをロック解除」をクリックすることで、すべての生徒のロックを解除できます。

クライアントコンピュータのロック時に画像を表示する

ロック時に生徒の画面上に画像を表示させることができます。クライアントのキーボードとマウスがロックされると、デフォルト画像”nss_lock_image.jpg”が画面に表示されます。



クライアント設定を使って画像を変更することができます。

1. EdClass 生徒の構成設定で [拡張] を選択します。
2. イメージオプションのイメージファイルに既定のファイルが表示されます。
3. 参照 をクリックしてファイルを選択して開く をクリックします。
4. 画像ファイルに新しいファイルを表示します。
5. [OK] をクリックします。

注意:

- ロック中のクライアント画面を受信すると、クライアント画面上の画像表示は無効になります。
 - 画像ファイルがクライアントコンピュータ上にない場合は、「このコンピュータはコントロールユーザーによってロックされています」のメッセージが表示されます。
 - クライアントコンピュータ上にない画像ファイルを表示したい場合は、接続中の全クライアントコンピュータに対し EdClass デプロイ機能を使って設定ファイルを配布してください。
-

全生徒画面をブランク状態にする

すべての生徒の画面を同時にブランク(非表示)状態にできます。

1. リボンの [クラス] タブを選択し、「ブランク画面」をクリックします。
2. 生徒の画面が非表示になります。

注意: 画面をブランク状態にすると、デフォルトでは生徒の音声もミュートになります。このオプションは、生徒のユーザーインターフェースの設定で無効にできます。

3. 画面を復元するには、上記のプロセスを繰り返します。

注意: 生徒を右クリックして「ブランク」を選択することで、個々の生徒の画面を非表示にすることも可能です。

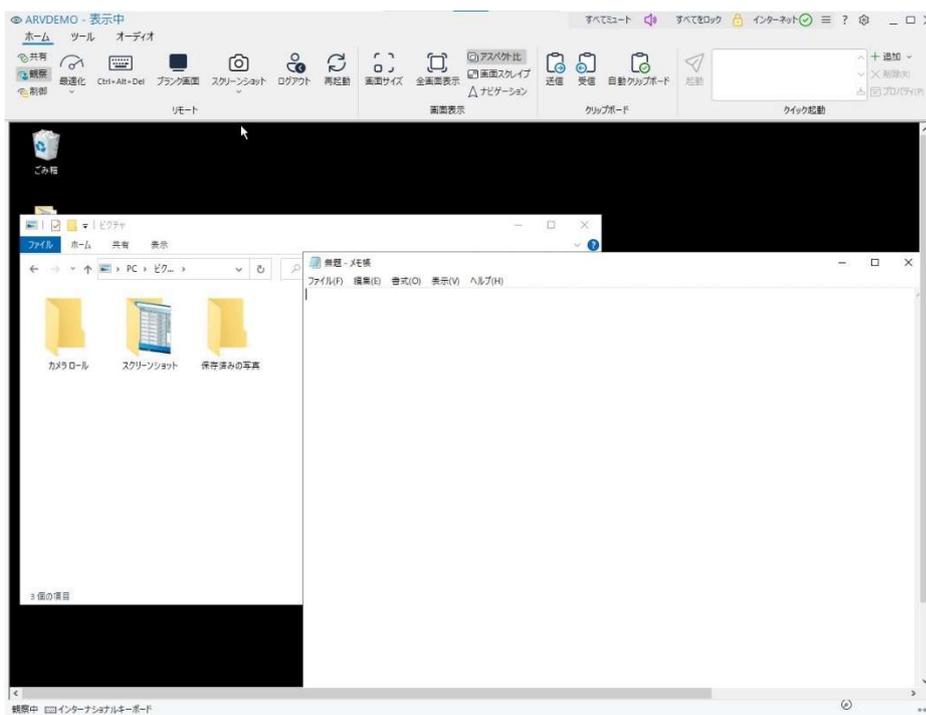
生徒の画面を見る

先生が生徒に接続すると、その生徒の画面をリモート操作できるようになります。これを画面受信と呼び、生徒の画面が表示されるウィンドウを画面受信ウィンドウと呼びます。複数の生徒の画面受信ウィンドウを同時に表示することができます。

注意: 必要に応じて、見られていることを知らせるメッセージをクライアントコンピュータ上に表示できます。本マニュアルの生徒コンピュータの設定の章を参照してください。

クライアント画面を受信するには

1. リストビュー内の生徒アイコンをダブルクリックします。
または
生徒アイコンを選択した状態で、リボンの [クラス] タブを選択し、「画面受信」をクリックします。
または
生徒アイコンを右クリックして、画面受信を選択します。
2. 先生に受信ウィンドウが表示されます。ナビゲーションパネルを使用して、簡単に生徒の画面表示をスクロールすることができます。ナビゲーションパネルは、リボンの [ホーム] タブの画面表示領域にある「ナビゲーション」を選ぶことによって有効/無効を設定できます。



注意:

- 画面受信のパフォーマンスを確保するために、生徒のアクティブデスクトップがオフになっていることを確認してください。
 - クライアントがマルチディスプレイを使用している場合、リボンの [モニタ] タブをクリックすることでモニタ間の切り替え、デスクトップ全体表示を切り換えることができます。
 - 先生と生徒が共にタッチ対応デバイスを使用している場合は、先生はタッチ操作を使用して生徒デバイスを操作できます。
-

画面受信を終了してコントロールウィンドウに戻る

1. 画面受信ウィンドウの閉じる  をクリックします。

3つのモードでクライアント画面を受信できます:

- 共有** 生徒の画面が先生と生徒両方に表示されます。先生と生徒ともにキーボード入力とマウス操作を行えます。
- 観察** 生徒の画面が先生と生徒両方に表示されます。生徒だけがキーボード入力とマウス操作を行えます。先生は一切の操作を行えません。
- 制御** 生徒の画面が先生と生徒両方に表示されます。先生だけがキーボード入力とマウス操作を行えます。生徒は一切の操作を行えません。

画面受信モードを変更するには

1. クライアントの画面受信中に [ホーム] タブの共有、観察、制御を選択します。

その他の画面受信ウィンドウオプション

画面受信

生徒が複数のモニタを使用している場合、表示するモニタを選択できます。デスクトップ全体または特定のモニタを表示できます。特定のモニタを表示した場合、モニタ番号が画面受信アイコンに表示されます。アイコンクリック時のタブには、モニタに関する詳細情報が表示されます。

注意: 生徒が複数のモニタを使用している場合のみ、このオプションが表示されません。

画面サイズ

生徒の画面解像度が先生の画面解像度より大きい場合、ウィンドウに合わせて画面サイズを調整できます。

全画面表示

コントロールの画面領域いっぱいクライアント画面を全画面表示できます。全画面表示で画面受信中はフローティングツールバーが表示されます。ショートカットキー<CTRL>+<左 SHIFT>+<右 SHIFT>を押すことでコントロールウィンドウに戻る事ができます。また、<PAUSE>+<ALT>キーを押すと、メニューが表示されます。

タッチボーダー

先生がタッチ操作対応デバイスで生徒を表示する場合、スワイプ等のタッチジェスチャーが容易にできるように、ボーダーを画面周囲に表示することが可能です。

アスペクト比

受信画面の縦横比を維持します。

画面スクレイプ

EdClass は、画面受信されるパソコンのビデオドライバにフックして画面情報のデータを送受信します。しかし、特定のアプリケーションがドライバをバイパスしている場合、この方法が上手く動作しない場合があります。そのような場合は、画面のスナップショットを送受信する、スクリーンスクレイプモードを有効にします。ネットワークに影響が出ますが、クライアント画面を忠実に再現できます。

ナビゲーション

生徒デスクトップを縮小表示した「ナビゲーションウィンドウ」を表示します。これにより、生徒のデスクトップ内を簡単に移動できるようになります。

最適化

生徒画面の表示時の画質を変更できます。デフォルトで 256 色(高画質)に設定されています。

生徒の画面を表示中に画面をブランク状態にする

先生が生徒をリモート操作している間、生徒の画面をブランク状態にすることが可能です。

注意:この機能は Windows 10 v2004 以降を実行している生徒にのみ利用可能です。

1. 生徒画面表示中のリボンで [ホーム] タブを選択し、「ブランク画面」をクリックします。
2. 生徒の画面がブランクになります。
3. 画面を復元するには、再度ブランク画面をクリックします。

画面受信中に Ctrl+Alt+Del を送信する

画面受信中のコンピュータに対して Ctrl+Alt+Delete を送信することができます。

1. “Ctrl+Alt+Esc” キーを同時に押します。
または
1. 画面受信ウィンドウのリボンで [ホーム] タブを選択し、Ctrl+Alt+Del をクリックします。
2. [はい] をクリックするとクライアントに Ctrl+Alt+Delete が送信されます。

リモートクリップボード

生徒の画面受信中に先生と生徒コンピュータ間でクリップボードの内容をコピーできます。

画面受信ウィンドウのホームタブにあるクリップボード領域には、以下のオプションがあります。

送信

先生で切り取り/コピーした内容を生徒のクリップボードにコピーします。

受信

生徒で切り取り/コピーした内容を先生のクリップボードにコピーします。

自動クリップボード

ショートカットキー (Ctrl+C & Ctrl+V) を使って自動的に先生と生徒のクリップボードにコピーします。

先生から生徒コンピュータにクリップボードの内容を送信する

1. 生徒を画面受信します。
2. 生徒 PC と先生 PC で適切なアプリケーションを開きます。
3. 先生側のアプリケーションから必要なデータを選択してコピーします。
自動が有効になっている場合は、Ctrl+C を使うとクリップボードに直接データをコピーします。または
[編集][切り取り/コピー] を使用した場合は、生徒の画面受信ウィンドウに戻ってリボンの送信アイコンを選択します。
4. 生徒側のアプリケーションのメニューから [編集] を選択して貼り付けを選び、アプリケーションに貼り付けます。
または
ショートカットキー (Ctrl+V) を使ってデータを貼り付けます。

生徒から生徒コンピュータにクリップボードの内容を送信する

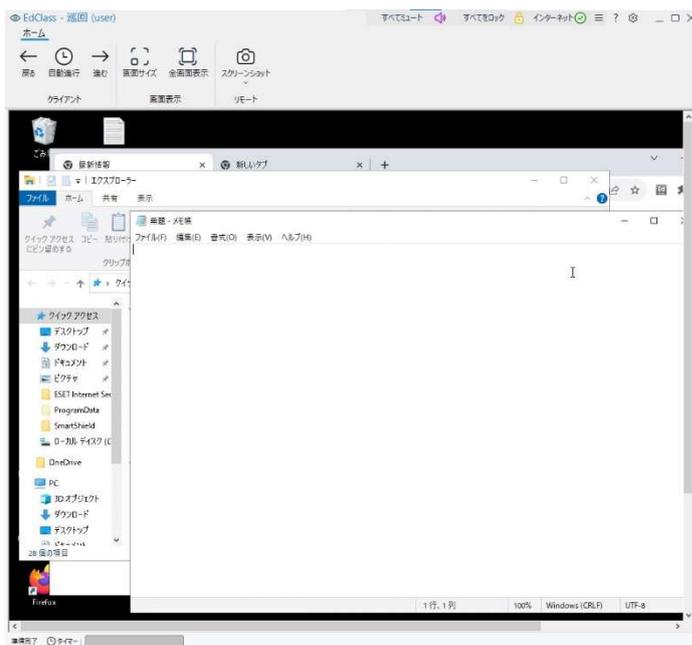
1. 生徒を画面受信します。
2. 生徒 PC と先生 PC で適切なアプリケーションを開きます。
3. 生徒側のアプリケーションから必要なデータを選択してコピーします。
ショートカットキーではなくメニューオプションを使用する場合は、リボンの受信アイコンをクリックします。
4. 先生側のアプリケーションに戻り、メニューオプションまたはショートカットキー (Ctrl+V) を使ってデータを貼り付けます。

生徒の画面を巡回する

巡回機能を使って、接続中の生徒を巡回し、先生の巡回ウィンドウに順番に画面を表示できます。複数の生徒の画面を同時に表示することもできます。

生徒の画面を1つずつ巡回する

1. リボンの「グループ」タブを選択します。
2. 「1度に1クライアント」アイコン を選択します。
3. リストビューで、スキャンに含める生徒を選択します。グループを選択すると、すべての生徒が含まれます。
4. スライダーを使用して巡回が次の生徒に進む前のインターバルを指定できます。時間は5秒から2分の間で設定できます。
5. 「開始」をクリックします。
6. 巡回ウィンドウが表示され、最初の生徒が表示されます。選択した生徒を順番に表示し、巡回を終了するまで先生に画面を表示し続けます。



戻る、自動進行、進む

自動切り換えのオン/オフ、または手動で各生徒を前後に移動することができます。戻るボタンは直前に巡回した生徒画面を表示し、進むボタンはその次の生徒を表示します。

画面サイズ

表示ウィンドウ内に収まるように画面のサイズを変更します。

全画面表示

全画面表示になります。全画面表示中は、フローティングツールバーを使って操作を行います。

スクリーンショット

表示中の生徒画面のスクリーンショットを取得します。

複数の画面を同時に巡回する

1 画面で複数の生徒(最大で 16)画面を同時に巡回可能です。

1. コントロールウィンドウのリボンから [グループ] タブを選択します。
2. リストビューから巡回対象の生徒を選択します。グループを選択すると、グループ内すべての生徒が含まれます。
3. 「レイアウト」にて表示する生徒の画面の数を選択します。



生徒画面を 2x2 で配置します。



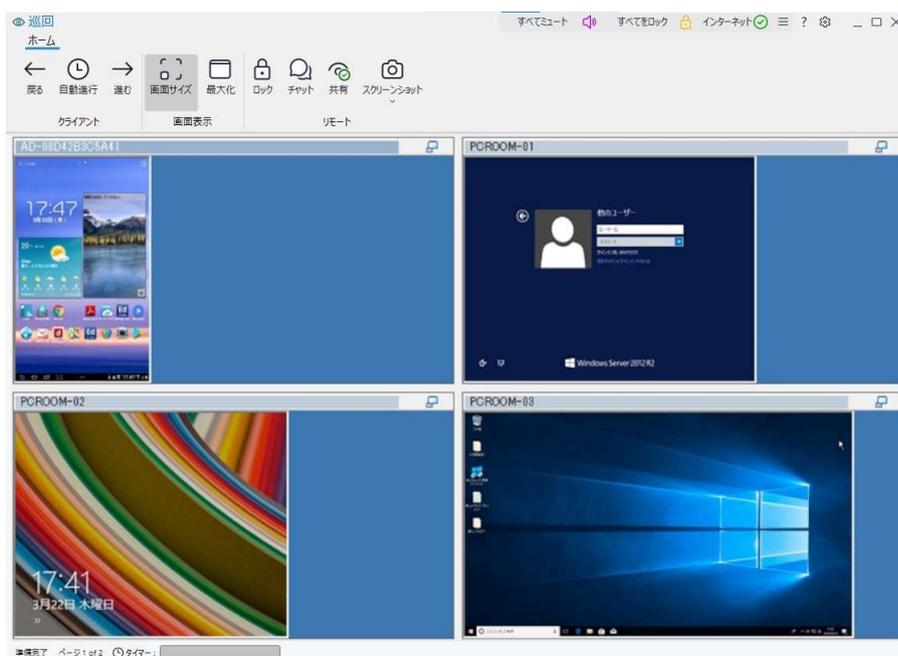
生徒画面を 3x3 で配置します。



生徒画面を 4x4 で配置します。

4. 4 つ以上の生徒画面を巡回する場合、スライダーを使用して間隔を選択します。期間は 5 秒から 2 分まで設定できます。
5. 「開始」をクリックします。巡回ウィンドウが表示されます。

注意: 巡回ウィンドウに表示されている画面数より多い生徒画面を巡回する場合は、戻る、自動進行、進むボタンを使って複数の巡回ウィンドウを切り換えることが可能です。



戻る、自動巡回、進む

自動切り換えのオン/オフ、または手動で各生徒を前後に移動することができます。戻るボタンは直前に巡回した生徒画面を表示し、進むボタンはその次の生徒を表示します。

画面サイズ

表示ウィンドウ内に収まるように画面のサイズを変更します。

最大化

選択した生徒のウィンドウを最大化します。また、生徒ウィンドウの右上隅にある最大化アイコン  をクリックすることもできます。

ロック

選択した生徒のキーボードとマウスをロックします。

チャット

生徒と先生間でチャットを開始します。

共有

共有モードで生徒画面を受信します。

スクリーンショット

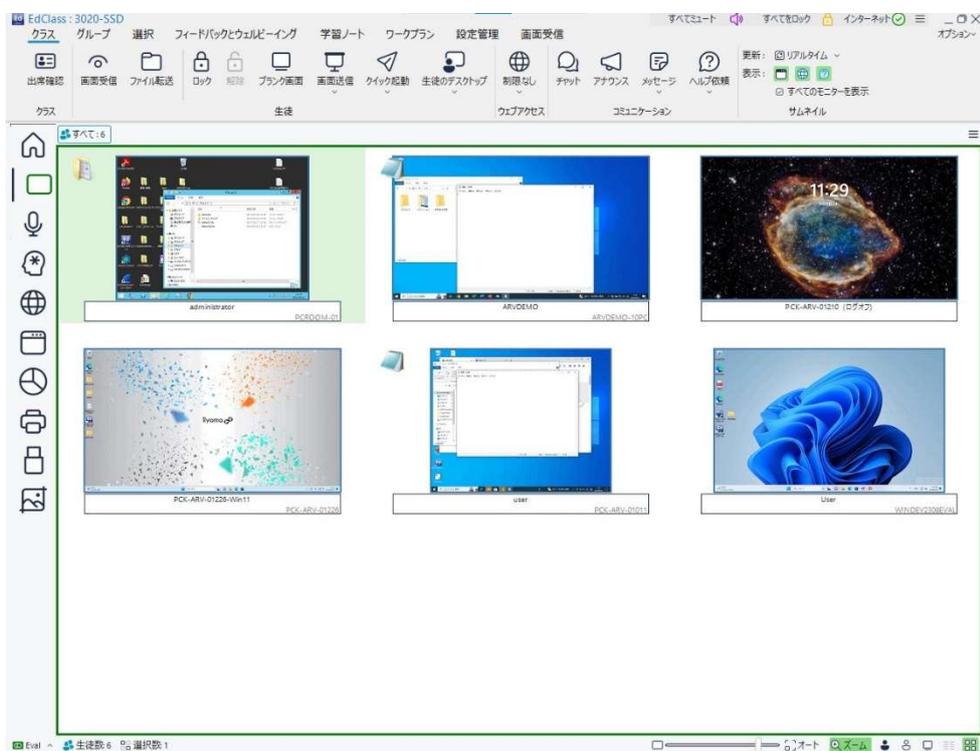
表示中の生徒ウィンドウのスクリーンショットを撮影します。

巡回を終了するには

キャプションバーの閉じるアイコン  をクリックします。

モニタモード

モニタモードでは同時に複数の生徒画面を表示することが可能です。



接続中の各生徒の画面がサムネイル表示され、生徒の行動をモニタリングできます。モニタモード中でも先生はそのまま画面受信、チャット、ファイル転送といった機能にアクセスできます。

先生コンソールの左側にあるモニタモードアイコン  をクリックします。

または

リボンの画面受信タブを選択し、モードセクションのアイコンをクリックして「モニタ」を選択します。

リストビューに各生徒のサムネイルが表示されます。サムネイルにマウスを重ねると画面を拡大することができます。サムネイルをダブルクリックすると選択した生徒画面を受信します。また右クリックするとクライアント機能を選択することができます。例えば、複数のサムネイルを選択して生徒をチャットに招待することができます。

サムネイルをズーム表示中は、以下の操作が可能です。

- ロックアイコン  をクリックして生徒をロックする

- 画面受信アイコン  をクリックして画面受信ウィンドウを開く
- スクリーンショットアイコン  をクリックして、サムネイルのスクリーンショットを取得する
スクリーンショットは、ローカルの Documents フォルダ内の EdClass¥Screenshots に.png として保存されます。スクリーンショットの取得時にエラーが発生した場合は通知が表示されます。

注意:

- ステータスバーにあるズームをクリックすることで、ズーム機能のオン/オフを切り換えできます。
 - デフォルトでは、生徒のサムネイルにバッテリーレベルと無線の強度が表示されます。これらの表示は先生コンソールのインターフェース設定で変更できます。
-

縮小画面のサイズのカスタマイズ

ステータスバーにあるスライダーを使用することで、状況に応じて生徒サムネイルのサイズ変更ができます。多数の生徒コンピュータに接続している時に便利です。

縮小画面の自動サイズ調整

ステータスバーにある「オート」をクリックすることで、ウィンドウに収まるように表示中の縮小画面のサイズを自動的に調整します。

縮小画面のリフレッシュ間隔を変更

サムネイルの更新間隔を調整することができます。

リボンで [クラス] タブを選択し、「更新」ドロップダウンリストからオプション(リアルタイム、高、普通、低)を選択します。

アクティブなアプリケーションを表示

有効にすると、サムネイルの左上にアイコンが表示され、生徒のコンピュータでアクティブになっているアプリケーションを確認できます。

リボンの [クラス] タブを選択し、「現在のアプリケーションを表示」アイコン  をクリックします。

アクティブなウェブを表示

各サムネイルの右下に生徒が閲覧しているサイトがわかるようにアイコンを表示します。

リボンの [クラス] タブを選択し、「現在の Web サイトを表示」アイコン  をクリックします。

ヘルプ依頼の表示

生徒がヘルプ要請を行った生徒をハイライト表示します。

リボンの [クラス] タブを選択し、「現在のアプリケーションを表示」アイコン  をクリックします。

複数のモニタ

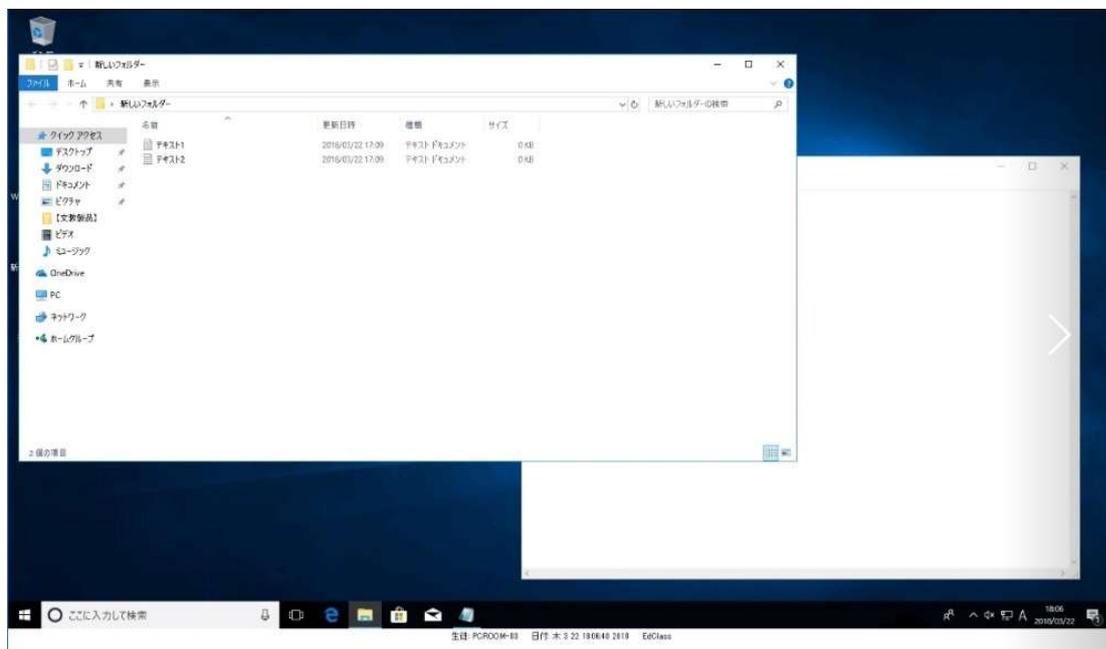
生徒が複数のモニタを使用している場合は、その生徒のサムネイルにモニタアイコンが表示され、各モニタ間の切り替えや、デスクトップ全体を表示できます。

- | | |
|--|-----------------------------|
|  マルチモニタメニュー | デスクトップを表示するか、表示するモニタを選択します。 |
|  デスクトップ全体アイコン | デスクトップ全体を表示します。 |
|  番号アイコン | 個々のモニタを表示します。 |

注意： 生徒のサムネイルを自動的にすべてのモニタを表示するように設定するには、[クラス] タブを選択し、「すべてのモニタを表示」を有効にします。

画面キャプチャ

画面受信中または巡回中の生徒画面のスナップショットを撮影し、ファイルに保存することができます。生徒名、日付、時間と製品名が画面情報に記録されます。



1. リボンの [ホーム] タブを選択し、「スクリーンショット」をクリックします。
2. 現在の生徒の画面がキャプチャされ、自動的に .png ファイルとして、ローカルドキュメントフォルダ内の EdClass¥Screenshots に保存されます。

注意： スクリーンショットアイコンには、撮影されたスクリーンショットの数を示すインジケータが表示されます。

3. 「スクリーンショット」の矢印をクリックすると、最後に撮影された9つのスクリーンショットが一覧表示されます。必要に応じて表示または削除できます。また、画像が保存されているフォルダを開くことができます。

注意：

- 複数の生徒を巡回する場合、生徒の画面がアクティブ(ハイライト表示)になると、スクリーンショット機能を使用できます。
- 1度に1クライアント表示で巡回中にキャプチャする場合、スクリーンショット操作が完了するまで自動巡回は一時中断されます。完了後、自動巡回が自動的に再開され、次の生徒の巡回が続行されます。

EdClass15.10

- モニタモードで生徒のサムネイルのスクリーンショットを撮ることができます。対象の生徒のサムネイルをズームし、「スクリーンショット」アイコンをクリックします。
-

生徒に先生の画面を見せる(画面送信)

画面送信機能は、選択した生徒またはグループに対して自分の画面上に情報を表示することで、学習のキーポイントを強調することができます。また保存してあるリプレイファイルや動画、先生で実行中のアプリケーションなどを見せることもできます。

画面送信中に、先生は生徒を画面送信リーダーに指定して画面送信を引き継がせることができます。

注意: 大多数のコンピュータに画面送信を行う場合、パフォーマンス向上のために、画面の一斉送信機能を有効にします。これにより全コンピュータに画面情報をブロードキャスト送信するようになります。

EdClass で発生するネットワークトラフィック量は減少しますが、ネットワークに追加ブロードキャストパケットが発生します。この機能を使用する前にネットワーク管理者と相談することをお勧めします。

また、画面送信機能はマルチキャストを使用して生徒に送信することも可能です。指定された IP マルチキャストアドレスに含まれる PC にのみデータ送信されます。

画面の「スクリーンショット」を学習ノートに含める

画面送信実行中に Print Screen ボタンをクリックするか、タスクバーの画面送信アイコンを右クリックします。ダイアログが表示され、隔週ノートに追加される画像が表示されます。画像にコメントを添えることも可能です。

先生画面を生徒に見せる

1. リボンで [クラス] タブを選択し、「画面送信」アイコンをクリックします。
2. メニューから「クイック画面送信」をクリックします。先生のデスクトップ画面が接続されているすべての生徒に表示されます。
3. 画面送信オプションを設定できます。表示されていないオプションを設定するには、「 更に」をクリックします。

注意: 複数のモニタを使用している場合は、生徒に表示するモニタを選択できません。

画面送信を終了する

1. タスクバーの画面送信アイコン  をダブルクリックします。
または
デスクトップの EdClass 先生コンソールアイコンをダブルクリックします。
2. 画面送信ダイアログが表示されます。



3. 終了をクリックします。
または

1. タスクバーの画面送信アイコン  を右クリックします。
2. [画面送信の終了] をクリックします。
または
1. <Ctrl + Alt + End> キーを押します。

画面送信中にバックグラウンドで先生が作業できるようにする

1. タスクバーの画面送信アイコン  をダブルクリックします。
2. 画面送信ダイアログが表示されます。
3. [継続] をクリックします。
4. コントロールウィンドウが表示されキャプションバーに一時停止と表示されます。
作業内容を生徒に見せることなく先生コンソールを引き続き使用できます。生徒の画面には中断前の送信画面が表示されます。

一時停止から画面送信を再開する

1. リボンの [クラス] タブにある、画面送信アイコンをクリックして「再開」を選択します。
または
ステータスバー上の「一時停止」アイコン  をクリックし、「再開」をクリックします。
2. ダイアログが先生画面に表示され、そこから「終了」または「再開」を選択できます。

一時停止中に画面送信を終了する

1. リボンの [クラス] タブにある画面送信アイコンをクリックして、「画面送信の終了」を選択します。
または
ステータスバー上の「一時停止」アイコン  をクリックし、「画面送信の終了」をクリックします。
2. 画面送信が終了し、生徒は自身の画面に戻ります。

一時停止中に画面送信リーダーを設定する

画面送信を一時停止している状態で、先生は選択した生徒1人を画面送信リーダーに指定できます。指名された生徒のマウスとキーボードのロックが解除され、操作を引き継ぐことが可能です。先生は画面送信を引き続き実行し、場合によっては終了することができます。

詳細は次の画面送信リーダーを参照してください。

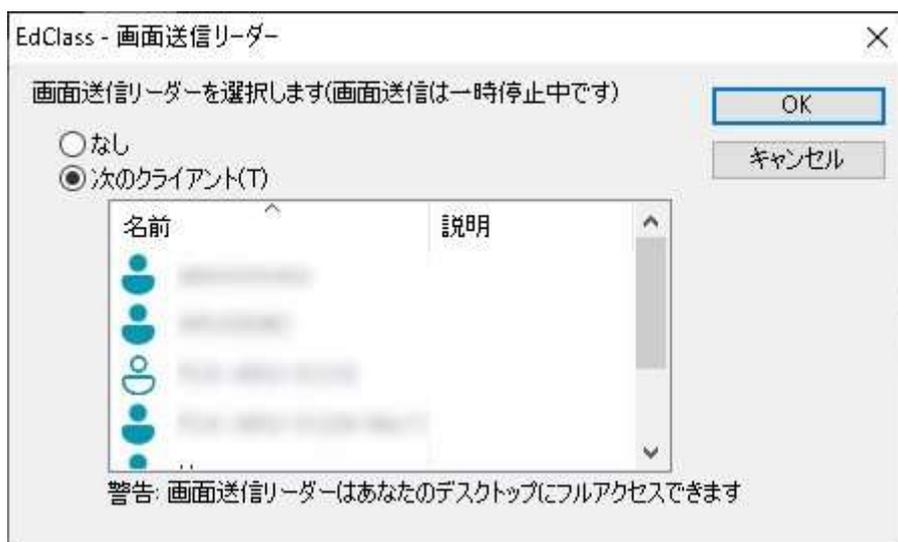
画面送信リーダー

クラスに先生画面の送信を行っている場合、操作を生徒に引き継いでほしい場合があります。先生は選択した生徒を画面送信リーダーに指定することができます。画面送信リーダーのマウスとキーボードのロックが解除され、先生に代わって操作を続けることができます。

先生は画面送信リーダーと同時に相互操作でき、画面送信の一時停止、終了を行うことができます。

画面送信リーダーを指定する

1. 通常のように、画面送信を開始して先生画面を生徒に表示します。
2. タスクバーの画面送信アイコンをダブルクリックします。
3. 画面送信の中断ダイアログが表示され、画面送信が一時停止します。生徒には先生の画面が表示されたままになります。
4. [画面送信リーダー] をクリックします。
5. 画面送信リーダーダイアログが表示されます。



注意: タスクバーまたはシステムトレイの EdClass 画面送信のアイコンを右クリックし、コンテキストメニューの [画面送信リーダー] をクリックして画面送信リーダーを作成できます。

6. [次のクライアント] を選択し、画面送信リーダーにしたい生徒を選択します。

注意: 画面送信リーダーは先生のデスクトップの全機能を使用できるようになります。

EdClass15.10

7. OK をクリックします。
8. 選択した生徒に「あなたが画面送信リーダーです」というメッセージが表示されます。
9. 再開をクリックして画面送信を再開します。

画面送信リーダーと先生は一緒に画面送信を進行させることができます。

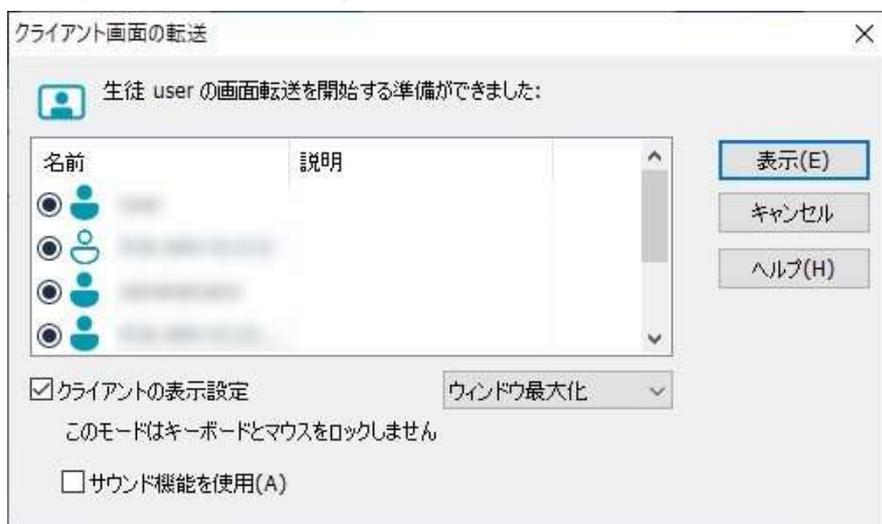
注意: 画面送信リーダーを終了するには、タスクバーの画面送信アイコンを右クリックし、「画面送信リーダー」を選択した後、「なし」を選択します。

生徒画面転送 – 生徒の画面を他の生徒の画面に表示する

特定の生徒の画面を複数の他の生徒の画面に表示することが可能です。

生徒の画面を転送する

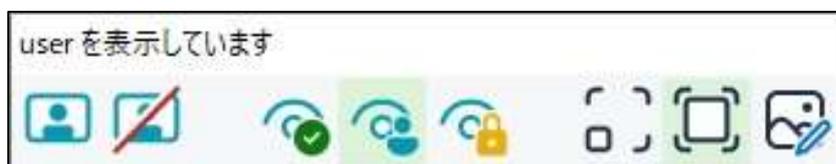
1. 他の生徒に画面送信したい生徒を選択します。
2. リボンの [クラス] タブにある、「画面送信」をクリックします。
または
生徒のアイコンを右クリックし、「画面転送」を選択します。
3. 表示メニュー内で表示オプションを設定できます。表示されていないオプションを設定するには、「 更に」をクリックします。
4. 設定完了後、メニューの「画面転送」をクリックします。
5. 画面転送ダイアログが表示されます。



6. 画面を転送する生徒を選択します。
7. クライアントの表示設定で全画面表示、ウィンドウ表示、ウィンドウ最大化を選択できます。
8. [表示] をクリックして画面送信を開始します。
9. 選択した生徒の画面が先生と他の生徒に表示されます。先生コンソールと画面転送中の生徒はマウスとキーボードでの操作が可能です。

先生コンソールの画面送信モードを切り換える

生徒画面転送中は、画面送信として見せている生徒の画面が全画面表示モードで表示されます。好みに応じてウィンドウ表示モードへの切り換えができます。全画面表示モードでは下図のフローティングツールバーが表示され、各種の機能を実行できます。



全画面表示とウィンドウモードを切り換える

1. ツールバーから[全画面表示]を選択します。

注意:

- フルスクリーンモードではフローティングツールバーが表示されます。
 - ウィンドウモードに戻るにはフローティングツールバーの全画面表示ボタンをクリックします。
-

生徒画面表示を中断(一時停止)、終了

中断中は先生または画面表示する生徒はバックグラウンドで準備することができます。画面転送が再開されるまで他の生徒画面には直前の転送画面が表示されます。

生徒画面表示を中断(一時停止)する

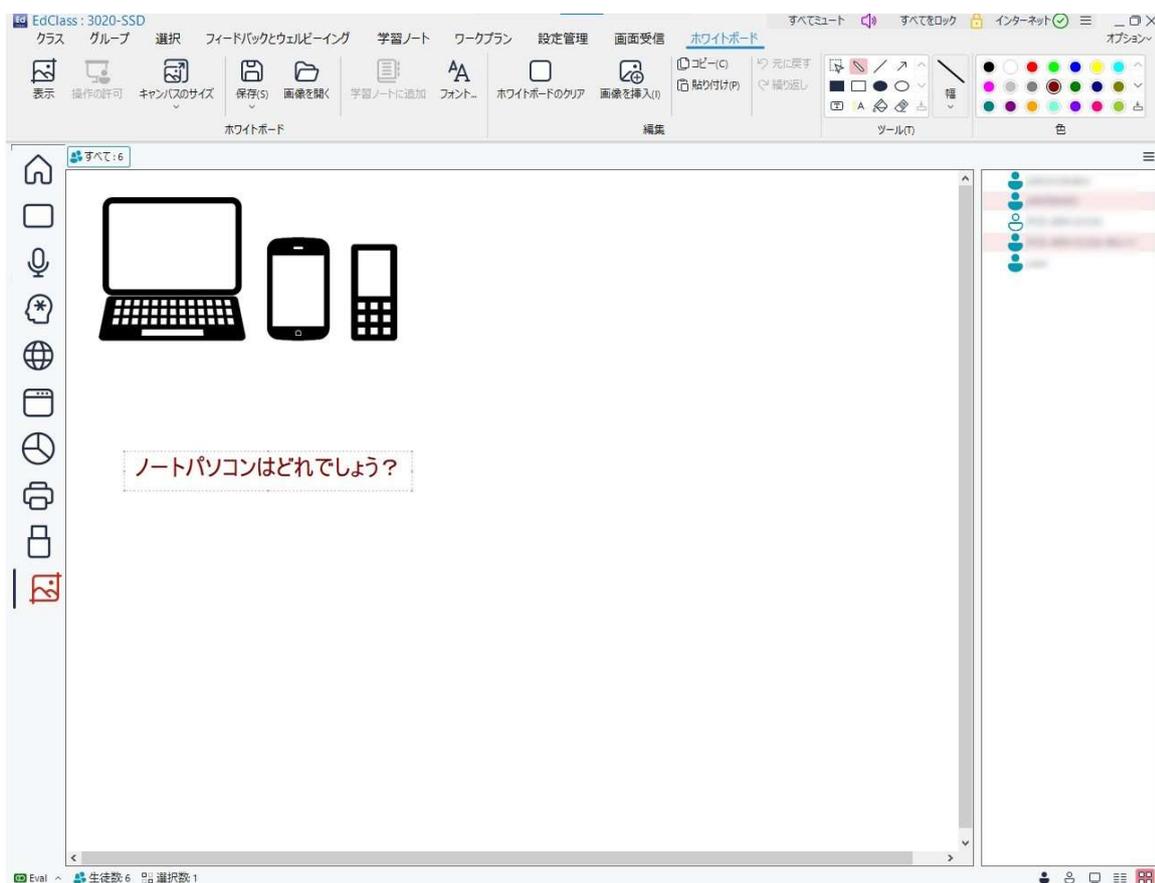
1. ツールバーまたはフローティングツールバーから**中断**を選択します。
2. 一時停止中は、先生と画面転送中の生徒はバックグラウンドで操作ができます。他の生徒画面は停止しています。
3. 画面送信を再開するには、[再開] をクリックします。

生徒画面表示を終了する

1. ウィンドウのツールバーまたはフローティングツールバーから[終了] を選択します。

インタラクティブ(双方向)・ホワイトボード

全画面表示のインタラクティブ・ホワイトボードが使用できます。先生は EdClass のマーキングツールを使って画面を強調、または選択したグループの生徒に結果を見せることができます。



1. ホワイトボードモードに切り換えるには、コントロールウィンドウのメニューから [表示][ホワイトボード] を選択します。
または
コントロールウィンドウの左側のホワイトボードアイコンをクリックします。
2. 様々な マーカーツール を使って画面を強調、または保存してある画像等を追加します。コントロールウィンドウのメニューから [ホワイトボード] を選択します。
または コントロールウィンドウ下部の該当するアイコンを選択します。

3. ホワイトボードの内容を保存することができます。[ホワイトボード][ファイル - ホワイトボードを保存] を選択します。
または
コントロールウィンドウ下部の [ファイル] アイコンをクリックします。

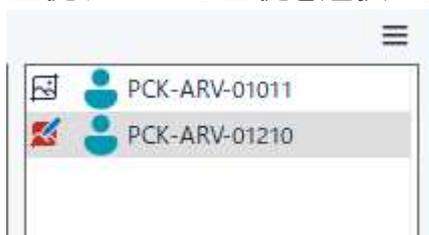
生徒にホワイトボードを表示する

1. 保存してあるホワイトボードの画像を表示するには、[ホワイトボード][ファイル - 画像を開く] を選択します。
グループバーからホワイトボードを表示させる生徒のグループを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [ホワイトボード][表示] を選択します。
3. 選択した生徒の画面にホワイトボードの内容が表示されます。先生はリアルタイムでホワイトボードにマーキングができます。
4. 生徒画面からホワイトボードを削除するには、メニューから [ホワイトボード][表示] を選択します。

ホワイトボードリーダー

生徒はホワイトボードを見ている時は、自分たちで画面に書き込みすることはできませんが、先生が生徒を「ホワイトボードリーダー」に指定することにより、選択したコンピュータでマーカーオプションが使用可能になります。先生は生徒リスト内の生徒アイコンを選択することで、他の生徒に操作を切り換えることができます。

1. 生徒リストから生徒を選択します。



2. 選択した生徒で右クリックすると、[操作を許可する]が表示されますので選択します。
3. 生徒はホワイトボードに書き込めるツールを使うことができます。



4. 先生は生徒リストで他の生徒を選択して手順 2. を繰り返して別の生徒に切り換えることができます。

画面をマーキングする

画面送信、画面転送、画面受信機能には学習ポイントを強調するための便利なマーカーツールがあります。

送信画面をマーキングするには

コントロール画面を表示中に先生は特定の箇所に生徒を注目させたい場合があるかもしれません。マーカーツールは画面の関連する部分を強調することができます。

1. 画面送信中に、画面送信アイコンを右クリックして[画面に描画]を選択します。
または
マーカーアイコンをダブルクリックします。
2. マーカーツールバーが表示されます。
3. ツール、色などを選択してマウスを使ってコントロール画面に描き込みを行います。

注意:

- マーキング中の画面を生徒に見せたくない場合は一時停止をクリックします。バックグラウンドで作業を行うことができます。画面送信を再開するには[再開]をクリックし、生徒の画面を更新します。
 - 学習ノートに画面送信のスクリーンショットを収録するには、マーカーオプションのメニューから「学習ノートに送る」を選ぶか、ショートカットキー「CTRL+ALT+PrintScreen」を使用します。また、画像に添えるコメントを追加することもできます。
-

画面受信中の画面をマーキングする

画面受信中に先生は生徒画面にマーカーツールを使って特定の箇所を強調することができます。共有、観察モードではクライアントもマーキングツールバーを使用することができます。コントロールはマーカー、チャット、ファイル転送などのビューウィンドウオプションを引き続き使用することができます。

1. クライアント画面を受信します。
2. 画面受信ウィンドウのメニューから [ツール][注釈] を選択します。
3. マーカーツールバーが表示されます。

画面転送中の生徒画面をマーキングする

画面転送中の生徒画面上でマーキングすることができます。モードによって、コントロールまたは画面転送中のクライアントの両方がマーカーオプションを使用することができます。

1. クライアント画面を他の生徒に転送します。
2. 画面転送ウィンドウのメニューから [ツール][注釈] を選択します。
3. マーカーツールバーが表示されます。

注意: マーキング中の画面を生徒に見せたくない場合は [一時停止] をクリックします。先生または画面転送中の生徒はバックグラウンドで作業を行うことができます。画面送信を再開するには [再開] をクリックし、生徒の画面を更新します。

マーカーツールバー



オプション

ファイル

画面を保存

選択範囲を保存

終了

ファイルに画面を保存します。

選択範囲ツールが有効な場合、画面の範囲を指定してファイルに保存することができます。

マーカーを終了し画面送信、画面転送、画面受信モードを継続します。

編集

マーカーのクリア

元に戻す

繰り返し

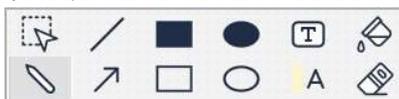
マーカーをクリアします。

直前のマーカー内容に戻します。

取り消したマーキングを再度実行します。

画面を描画するための豊富なツールから選択します。例えば、手書き、矢印、選択範囲

ツール



色

太さ

塗りつぶし

フォント

一時停止

ペンの色を設定します。

線の幅を設定します。

色と塗りつぶしのスタイルを設定します。

フォントテキストを設定します。

画面送信を中断し、コントロールのビューウィンドウに戻ります。

(画面受信、画面転送では利用できません)

終了

画面送信を終了しコントロールウィンドウに戻ります。

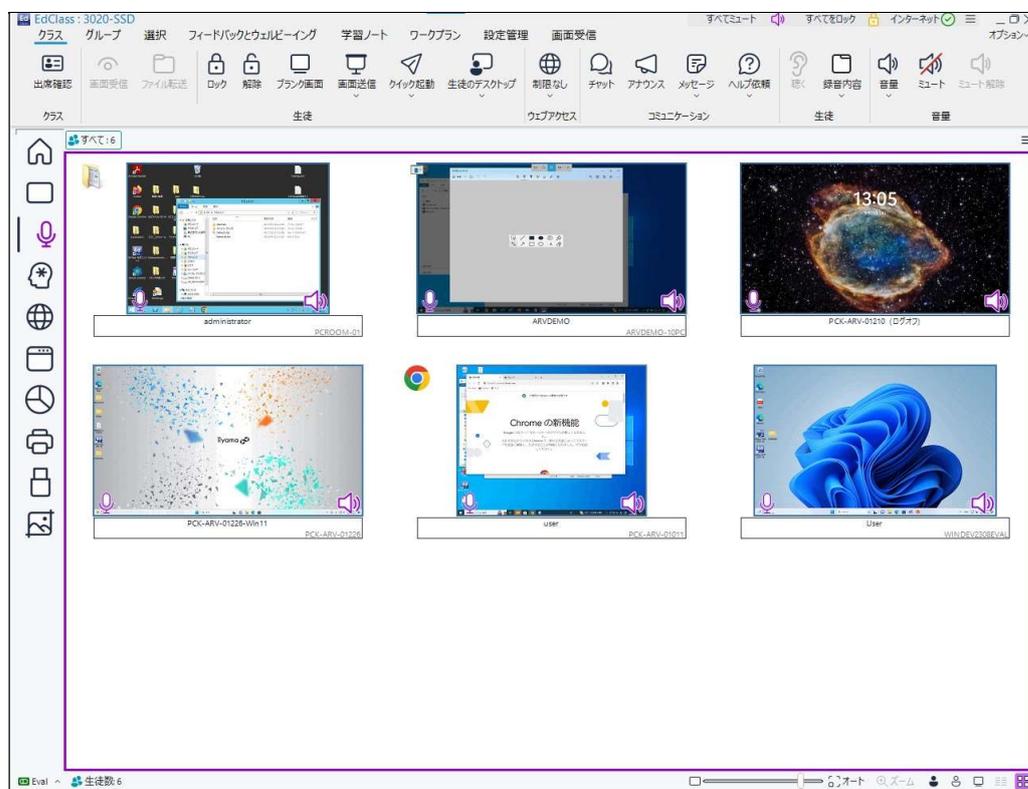
(画面受信、画面転送では利用できません)

オーディオの監視

すべての生徒で再生されているオーディオを、先生にて監視できます。
生徒で使用されているマイク、スピーカー、ヘッドフォンを感知します。
生徒を選択(1台)して、コンピュータ上で再生されたオーディオを聴くことができます。
また、使用していたオーディオを録音し、生徒に再生することも可能です。

注意: 生徒ツールバーが有効になっている場合は、オーディオの監視や録音が行われている時に、ツールバーに表示されます。

1. コントロールウィンドウ左側のオーディオアイコンを選択します。



接続されている生徒の縮小画面が表示され、その上に有効になっているマイクやヘッドフォンのアイコンが表示されます。

生徒のオーディオを聴く

1. 視聴したい生徒のサムネイルを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [オーディオ][生徒を聴く] を選択します。
もしくは、
生徒サムネイル上にある、視聴アイコン を選択するか、コントロールウィンドウの下にある、[聴く] ボタンを押すことでも可能です。
3. 生徒を視聴中は、オーディオ再生ウィンドウに、使用中のアプリケーションと視聴している時間が表示されます。
4. 視聴を停止するには、視聴している生徒サムネイル上にある、停止アイコン をクリックします。

オーディオを録音する

1. オーディオの視聴中に、オーディオ再生ウィンドウにある、[録音] ボタンを押します。
2. オーディオ再生ウィンドウに録音中のオーディオが表示されます。
3. 録音を停止し、保存するには、オーディオ再生ウィンドウにある [停止] ボタンを押します。

注意: 録音したオーディオファイルにアクセスするには、オーディオ再生ウィンドウにある、[録音内容] のリンクをクリックします。

音量の制御

先生、生徒両方の音量を制御できます。

1. ツールバーにある、[音量] のアイコンをクリックします。
2. 音量を調節します。ここで音声のミュートや、生徒の音量を固定することが可能です。また、オーディオの視聴中、オーディオ再生ウィンドウに表示されるスライダーでも調節が可能です。

もしくは

1. オーディオを聞いている時に音量を調節するには、オーディオ再生ウィンドウのバーを使用します。

生徒をミュートする

生徒のオーディオをミュートにすることが可能です。

1. コントロールウィンドウのメニューから [オーディオ][ミュート] を選択します。
もしくは、
コントロールウィンドウの下にある、[ミュート] のアイコンをクリックします。
または、
1. コントロールウィンドウの下にある、[ミュート] のアイコンをクリックします。
2. ミュートオプションを選択します。

注意： デフォルトでは、マウス/キーボードをロックしたときやブランク画面のときに生徒側のサウンドはミュートされます。このオプションは、生徒のユーザーインターフェイス設定で無効にすることができます。

サムネイルサイズのカスタマイズ

生徒のサムネイルをそれぞれの環境設定に合わせてサイズ変更します。特に大勢の生徒と通信する場合に効果的です。

1. コントロールウィンドウの下にある、[大きさ]のアイコンをクリックします。
2. スライダーを動かし、サイズを調節します。

生徒サムネイルの自動サイズ調整

コントロールウィンドウの下にある、[オート]のアイコンをクリックすることで、表示中のサムネイルのサイズを、ウィンドウに収まるように自動的に調整します。

音声を使用する

EdClass では画面受信中か画面送信中にマイク、ヘッドフォンまたはスピーカーを使って接続中のクライアントと音声会話が可能です。コンピュータが音声機能に対応している場合に限り、EdClass の音声機能をお使いいただけます。

アナウンス機能

選択した全生徒のヘッドフォンまたはスピーカーに音声アナウンスを送信することができます。先生の声は聞こえますが会話をすることはできません。

アナウンスを行う

1. コントロールウィンドウのメニューから [生徒][アナウンス] を選択します。
または
ツールバーの [アナウンス] アイコンをクリックします。
または
コントロールツールバーのコミュニケーションアイコンのドロップダウン矢印をクリックし、[アナウンス] を選びます。
または
オーディオ表示内のコントロールウィンドウ下部にある [アナウンス] アイコンをクリックします。
2. アナウンスダイアログボックスが表示されアナウンス対象/対象外のクライアントを選択し、アナウンスをクリックします。
3. ダイアログボックスが表示されアナウンス中になります。アナウンスが済んだら OK をクリックします。

画面受信中に音声を使用する

クライアント画面を受信中に、双方向で音声会話を行うことができます。

1. ビューウィンドウのツールバーのサウンドボタンをクリックします。
2. 次の音声オプションが表示されます。次のことが実行できます。
 - 音声のオン/オフ
 - コントロールまたはクライアントのみが話す
 - マイクの感度の設定
 - 音質の選択

ミュートツールバーボタンはスピーカーとマイクのオン/オフを切り換えます。

画面送信中に音声を使用する

クライアントに画面送信中に、双方向で音声会話を行うことができます。

1. 画面送信設定ダイアログでサウンド機能のチェックボックスを選択します。
2. コントロールは画面送信中の 1 クライアントと会話ができます。複数のクライアントに画面送信をしている場合、コントロールはアナウンス機能を使用することができます。

コントロール設定の「サウンド」オプションで設定したサウンド設定がこれらのセッション中に適用されます。

マイクとスピーカーの音量を調節する

コンピュータに合わせて聞き取りやすいように調整します。ただし、音質を高くするほど、送信されるデータ量が多くなることに注意してください。処理速度の遅いコンピュータで音質をあまり重視すると、画面更新が遅くなる恐れがあります。

ボリュームコントロールにアクセスする

1. タスクバーのスピーカーアイコンを右クリックします。

音質などの他のオプションを変更するには、次のどれかを行います

一般的な方法 (全クライアントのデフォルト設定を変更します)

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示][現在の設定 - サウンド]を選択します。

個々のクライアントの設定 (画面送信または画面受信)

1. クライアント画面を受信している状態で
2. ビューウィンドウのメニューから [表示][クライアントの設定 - サウンド] を選択します。
3. 音声設定ダイアログが表示されます。次のプロパティの設定が可能です。

ボリューム

しきい値	マイクの感度
マイク	マイクのボリューム
スピーカー	スピーカーのボリューム

適用

オン	音声オン
オフ	音声オフ
話すだけ	コントロールの音声を話すだけに設定する
聞くだけ	コントロールの音声を聞くだけに設定する

EdClass ビデオプレイヤー

EdClass は音声とリモートコントロールに対応したマルチメディア機能を備えています。

ビデオプレイヤーはローカルコンピュータでビデオファイルを再生できるだけでなく、音声機能と併用して EdClass のリモートコントロールを使用すれば、複数のコンピュータに一斉にトレーニングやデモンストレーションを効果的に行うことができます。

標準ビデオファイル(avi や mpg など)に対応しています。各クライアントコンピュータのローカルにてビデオプレイヤーを実行し、ビデオファイルはローカルまたはネットワークドライブからアクセス可能です。ビデオファイルがローカルに保存されている場合、再生、停止、一時停止、パケットの同期等のプレイヤーを操作するデータが送信されるだけなのでネットワークへの影響は最小限にとどまります。各クライアントコンピュータがネットワークドライブからビデオファイルを再生する場合、ネットワークに負担がかかる可能性があります。

最適なパフォーマンスを実現するために、各コンピュータのローカルフォルダにビデオファイルを保存してください。ファイル配布機能を使ってビデオファイルを配布できます。

その他、以下の要素もパフォーマンスに影響を及ぼします：

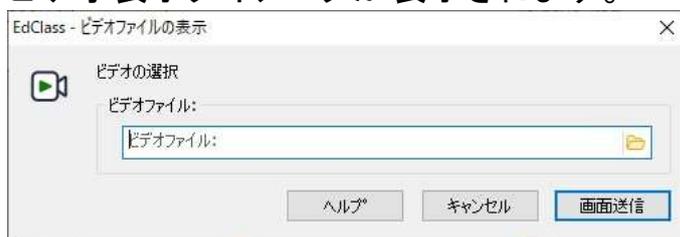
- ファイルにアクセスするクライアント数
- ネットワークのスピード。例：10/100MB
- ビデオファイルのサイズ
- クライアントコンピュータのメモリ量やスペック
- 他のネットワークトラフィック

注意：

- 再生させるビデオファイルが生徒コンピュータにない場合は、EdClass が自動的に生徒コンピュータにビデオファイルを送信します。
 - サーバにあるビデオファイルを生徒で再生するためには、生徒からサーバのドライブやファイルにアクセスするための権限が必要になります。
 - コンピュータのグラフィックカードや画面の解像度の設定が表示クオリティに影響します。
-

コンピュータ上でビデオファイルを再生する

1. コントロールウィンドウのメニューから [生徒][画面送信 - ビデオ表示] を選択します。
または
リストビューのクライアントアイコンを右クリックして ビデオ表示 を選択します。
または
コントロールツールバーの画面送信メニューアイコンをクリックして、ビデオ表示を選択します。
2. ビデオ表示ダイアログが表示されます。



画面送信するビデオファイルとクライアントを選択することができます。ビデオファイル欄にビデオファイルを入力します。[参照] を選択してファイルを参照できます。

3. [画面送信] をクリックします。
4. クライアントコンピュータでビデオファイルが存在するかどうか確認を行います。存在しない場合は、生徒コンピュータに自動的にファイルがコピーされます。
5. ビデオファイルを起動すると、再生、停止、一時停止などのオプションを使うことができます。

注意:ビデオ実行中、クライアントコンピュータはロック状態になります。

EdClass ビデオプレイヤーコントロールパネル

オーディオ & ビジュアル機器と同じような間隔でビデオプレイヤーコントロールパネルを操作していただけます。ツールバーのコマンドも同じアクションを実行します。詳細は以下の説明を参照してください。



ファイルメニュー

開く

ビデオファイルを選択し読み込むことができます。

閉じる

ビデオファイルを閉じます。

終了

ビデオプレイヤーを終了します。

表示メニュー

テキスト

ビデオツールバーのテキストを表示/非表示にします。

ツールバー

ビデオツールバーを表示/非表示にします。

ステータスバー

ビデオプレイヤーのステータスバーを表示/非表示にします。

ビデオのサイズ

ビデオ画面をサイズ変更します。

再生メニュー

再生

ビデオファイルを再生します。

停止

ビデオファイルを停止します。

一時停止

クライアントのビデオ画面をブランクにしてコントロールコンピュータのビデオファイルを一時停止します。

最初

ビデオファイルの最初に戻ります。

最後

ビデオファイルの最後に早送りします。

ミュート

生徒がビデオを見ている間ヘッドフォンを使用していない場合、各コンピュータから聞こえる音が迷惑かもしれません。このオプションでクライアントコンピュータの音声をオフにします。しかし先生のコンピュータの音声はそのままです。

ヘルプメニュー - オンラインヘルプとバージョン情報にアクセスできます。

リプレイファイルを使用する

先生が生徒のコンピュータをリモートコントロール時に行った全ての画面、キーボード、マウス操作を記録します。加えて音声設定がされている PC では音声を記録することも可能です。

内容はファイルに保存され、先生のパソコンで再生でき、また他の生徒に見せることが可能です。

リプレイ機能は、すべてまたは個々の生徒のパソコンで録画するように構成を設定することができます。先生のパソコンでのローカルの操作も録画することができます。

有効にすると、画面受信セッションが開くと、すぐに操作内容が録画されます。画面受信セッションを閉じると録画を停止し、その時点で保存されたリプレイファイルを再生できるようになります。

画面送信機能も、クライアントにデモンストレーションを再生するために記録可能です。

リプレイファイルはデフォルトで .rpf ファイルとして保存されますが、リプレイ変換ユーティリティを使用することで、AVI/WMV ファイルに変換が可能です。また、解像度やオーディオ品質、開始、終了時間の変更などの編集も可能です。

注意: リプレイファイルは画面イメージを保存するため、ファイル容量が大きくなります。定期的にファイルを削除してファイル管理を行うことをお勧めします。

全生徒に対してリプレイファイルを記録する

リモートコントロールを行う全生徒に対してリプレイファイルを作成する手順を案内します。

1. コントロールウィンドウのオプションから[設定][リモートコントロール - リプレイファイル] を選択します。
2. 「リプレイファイルを録画する」チェックボックスを有効にします。画面受信ウィンドウを開く度にリプレイファイルを作成します。
3. **サウンドを含める**
画面、マウス、キーボードの操作に加えて、コンピュータの音声が有効な場合、同時に記録することが可能です。有効にする場合はこのボックスにチェックをします。

4. ファイルにはクライアント名を使用する

リプレイファイルを確認できるように、ファイル名にクライアント名と記録した日時を付けることができます。またこのボックスのチェックを外すことで、00000001.rpfのような連続した名前を付けることができます。

5. フォルダ

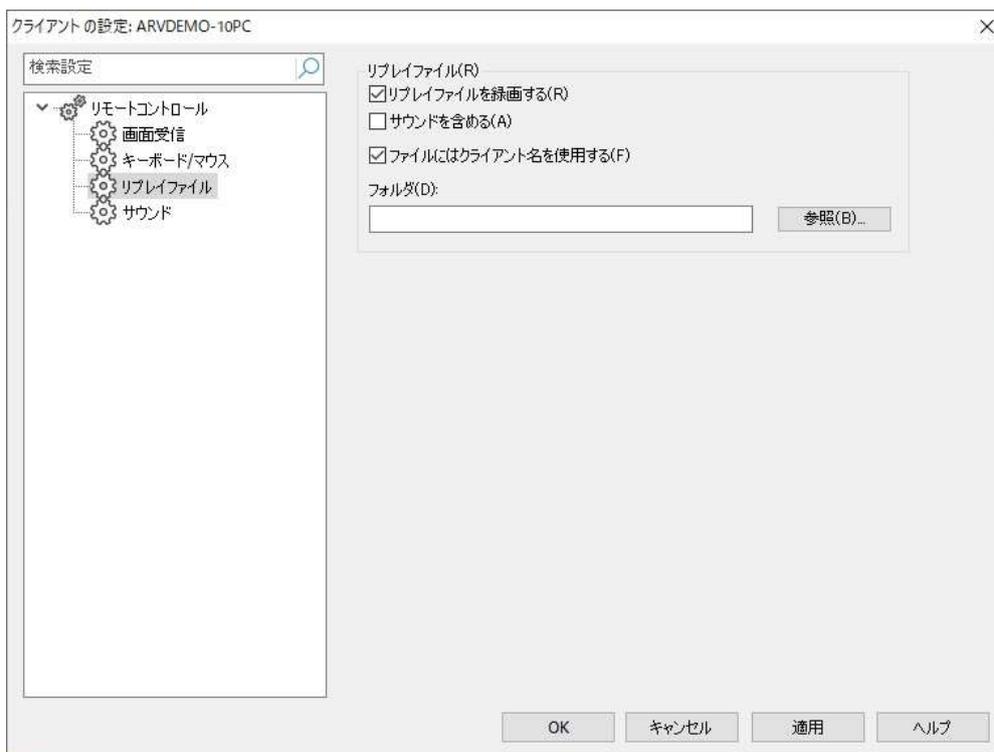
リプレイファイルの保存先を指定します。

6. [OK] をクリックします。

個別にクライアントのリプレイファイルを記録する

選択したクライアントのリプレイファイルを作成する手順を紹介します。

1. 生徒の画面を受信します。
2. 画面受信ウィンドウのメニューから [表示][クライアントの設定- リプレイファイル] を選択します。



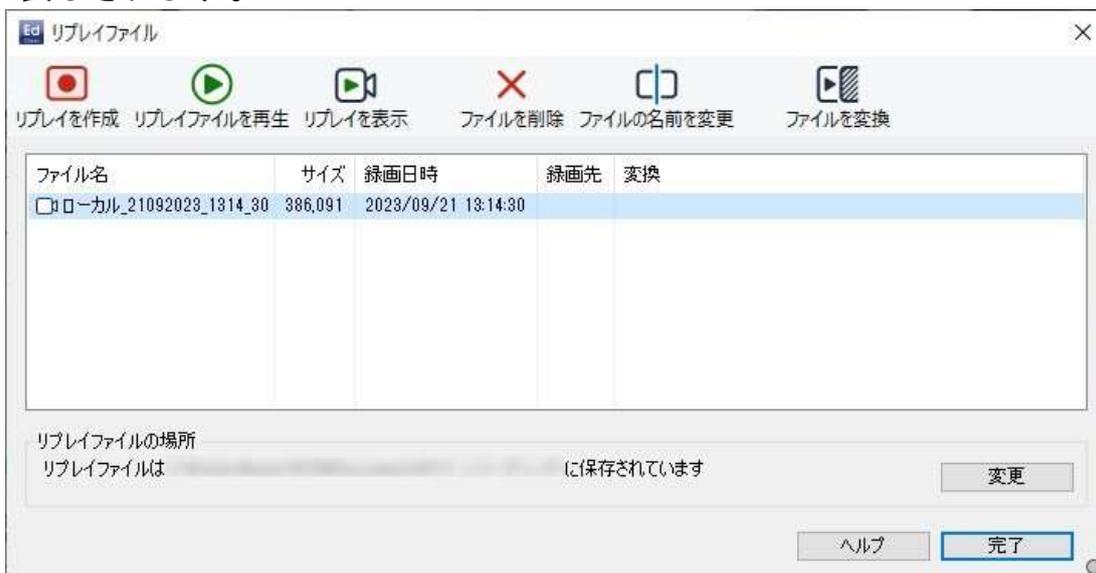
3. 「リプレイファイルを録画する」のチェックボックスを有効にします。この生徒のコンピュータでビューウィンドウを開く度にリプレイファイルを作成します。
4. サウンドを含める
画面、マウス、キーボードの操作に加えて、コンピュータの音声が有効な場合、一緒に記録することが可能です。有効にする場合はこのボックスにチェックをします。

5. ファイルにはクライアント名を使用する
リプレイファイルを確認できるように、ファイル名にクライアント名と記録した日時を付けることができます。またこのボックスのチェックを外すことで、00000001.rpfのような連続した名前を付けることができます。
6. フォルダ
リプレイファイルの保存先を指定します。
7. [OK] をクリックします。すぐに記録を開始します。画面受信を終了すると記録をストップします。
8. 他の生徒コンピュータにも 1 - 7 の手順を繰り返します。

先生のリプレイファイルを記録する

先生の操作を記録して生徒に見せることが可能です。

1. コントロールウィンドウのメニューから [スクール][リプレイファイル] を選択します。ローカルの操作を記録するダイアログが表示されます。
2. リプレイファイルダイアログが表示されます。既存のリプレイファイルが一覧表示されます。



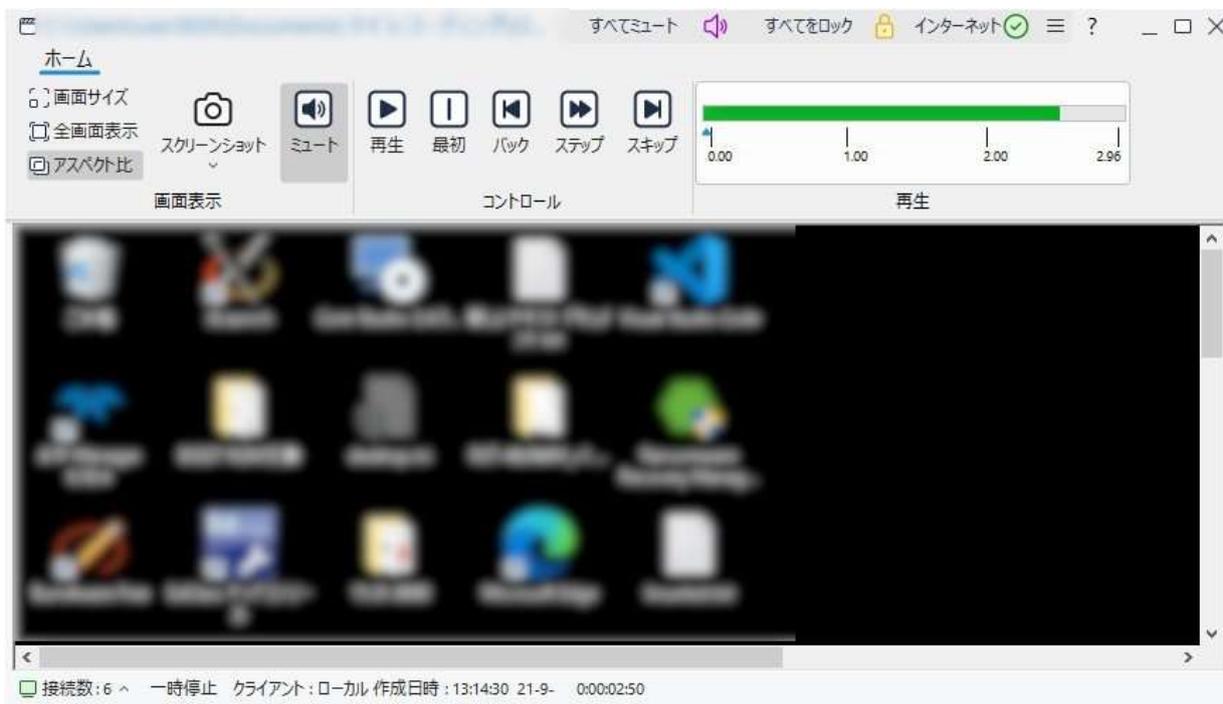
3. リプレイファイルの保存場所を指定するには変更をクリックします。
4. 録画を開始するには [リプレイを作成] をクリックします。記録アイコンがタスクバーに表示されます。
5. 記録アイコンをダブルクリックすると記録を停止します。
6. デフォルトでは、ファイル名は「ローカル」と録画日時が先頭に付けられます。デフォルト名を上書きすることでファイル名を変更することができます。
7. リプレイファイルが一覧に表示されます。

リプレイファイルを見る

リプレイファイルは先生が見たり、生徒に見せたりできます。
EdClass クライアントには、ローカルでファイルを再生できるオプションがあります。

先生で再生する

1. コントロールウィンドウのメニューから [設定管理][リプレイファイル] を選択します。
2. リプレイファイルを選択して [リプレイファイルを再生] をクリックします。
3. リプレイウィンドウが開き、ファイルの再生を開始します。



4. ウィンドウを閉じるには [ファイル][閉じる] を選択します。

生徒で再生する

1. タスクトレイの EdClass クライアントアイコンを右クリックして [再生] を選択します。
または
クライアントアイコンをダブルクリックして、メニューから [コマンド][再生] を選択します。
2. リプレイファイルの保存してあるディレクトリを指定します。
3. ファイルを選択します。
4. 「開く」をクリックします。リプレイウィンドウが表示されます。操作パネルを使ってファイルを再生、停止します。

リプレイウィンドウ - 操作パネル

全画面表示モードでリプレイファイルを表示する場合、操作パネルが表示されます。操作パネルには、リプレイファイルの現在位置を示す再生時間インデックスが含まれ、再生しているファイルの情報を表示します。



各サブメニューと利用できる機能:

停止と再生

停止ボタンはリプレイファイルを再生時に表示され、再生ボタンはファイルを停止すると表示されます。最後まで再生されるかリプレイマーカーに到達するまでファイルを再生します。

最初

ファイルを既に再生している場合は、始めからファイルの再生を開始し、それ以外は、ファイルの始めまでリプレイマーカーを移動します。

バック

前のマーカーにリプレイインデックスを移動します。クライアントで沢山のアクティビティを記録した時にマーカーが追加されます。

ステップ

次のフレームにリプレイインデックスを事前に移動します。このボタンを押しつづけるとリプレイファイルを早送りします。

スキップ

次のマーカーにリプレイインデックスを移動します。ない場合はファイルの最後まで移動します。

ミュート

リプレイファイルの音声オン/オフを切り換えます。

その他の情報

タイムインデックスがコントローラの右側に時:分:秒のフォーマットで表示されます。記録したクライアント名、日時がウィンドウの下部に表示されます。

リプレイマーカー

リプレイファイルのタイムフレーム内の好きな場所にマーカーを設定できます。タイムインデックスの下にある小さい▲マークで表示されます。このマーカーを、再生を停止したい位置にドラッグします。マーカーに到達するとリプレイが停止します。再生を押せば続きを再生できます。

生徒にリプレイファイルを見せる

EdClass の画面送信機能を使って、先生はリプレイファイルを接続中の生徒に見せることができます。

1. コントロールツールバーの画面送信メニューアイコンをクリックし、「リプレイ表示」を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから [生徒][画面送信 - リプレイ表示] を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから[スクール][リプレイファイル] を選択し、[リプレイを表示] を選びます。
2. 設定ダイアログが表示されます。



3. 参照をクリックし、リプレイファイルを選択します。
4. 画面送信をクリックします。
5. リプレイウィンドウが表示され選択した生徒にリプレイファイルを再生します。
6. リプレイウィンドウツールバーの完了をクリックして画面送信を終了します。

リプレイファイルをビデオファイルに変換する

EdClass のリプレイファイルは、EdClass 以外の様々なメディアプレイヤーで再生できるように、WMV や AVI 形式のビデオファイルに変換することが可能です。

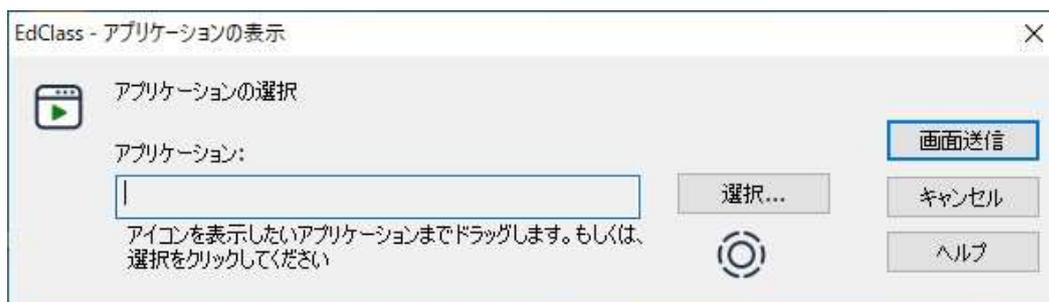
リプレイファイルを変換する

1. コントロールウィンドウから [設定管理][リプレイファイル] を選びます。
2. リプレイファイルダイアログが表示されます。
3. 変換するリプレイファイルを選び、[ファイルを変換] をクリックします。
4. リプレイファイル変換ウィザードが開きますので、[次へ]をクリックします。
5. 変換オプションから[クオリティ変換(Windows Media)] か [クイック変換(AVI)]を選択します。
6. [リプレイファイル] で、変換するリプレイファイルを指定します。
7. [ビデオファイル] で、変換後のビデオファイルの保存先を指定します。
8. ファイルの変換が完了したら、[終了] をクリックします。

アプリケーション表示

画面送信機能は、生徒に先生の画面を表示することができます。先生が複数のアプリケーションを起動している場合は、選択したアプリケーションのみ画面送信することができます。

1. コントロールのメニューから [クラス][画面送信][アプリケーション表示] を選択します。
2. アプリケーションの表示ダイアログが表示されます。



3. コントロールデスクトップ上のアプリケーションにアイコンをドラッグして放します。(デスクトップ上にマウスを動かすと選択したアプリケーションの周りにピンク色の枠線が表示されます。) または
選択をクリックして、アプリケーションを選択して下さい。

注意：先生がマルチモニタの場合、選択したアプリケーションがどちらであるか確認するオプションがあります。どれが正しい画面か分からない場合は、確認をクリックします。モニタ1台しか認識されない場合は、デスクトップ全体を選択します。

4. [画面送信] をクリックします。

生徒とチャットをする

EdClass ではテキストウィンドウ形式で接続中のクライアントとチャットができます。

1. チャットしたい生徒またはグループをリストビューより選択します。選択しなかった場合は、接続中の全生徒が対象となります。
2. コントロールのメニューから [クラス][チャット] を選択します。
または
生徒アイコンを右クリックして [チャット] を選択します。
3. チャットダイアログが表示されます。

チャットダイアログには次のオプションがあります:

話題

チャット中に会話するタイトルまたは説明を入力します。生徒コンピュータに表示されるチャットウィンドウに表示されます。空欄にすると、コントロール名が表示されます。

オプション

メンバーは参加を辞退できる

チェックをすると、チャットに詳細しているクライアントコンピュータにメッセージが表示されます。参加か辞退を選択します。

メンバーはチャットを退出できない

チェックをすると、チャットを辞退するクライアントのオプションは削除されます。

チャットウィンドウを常に表示する

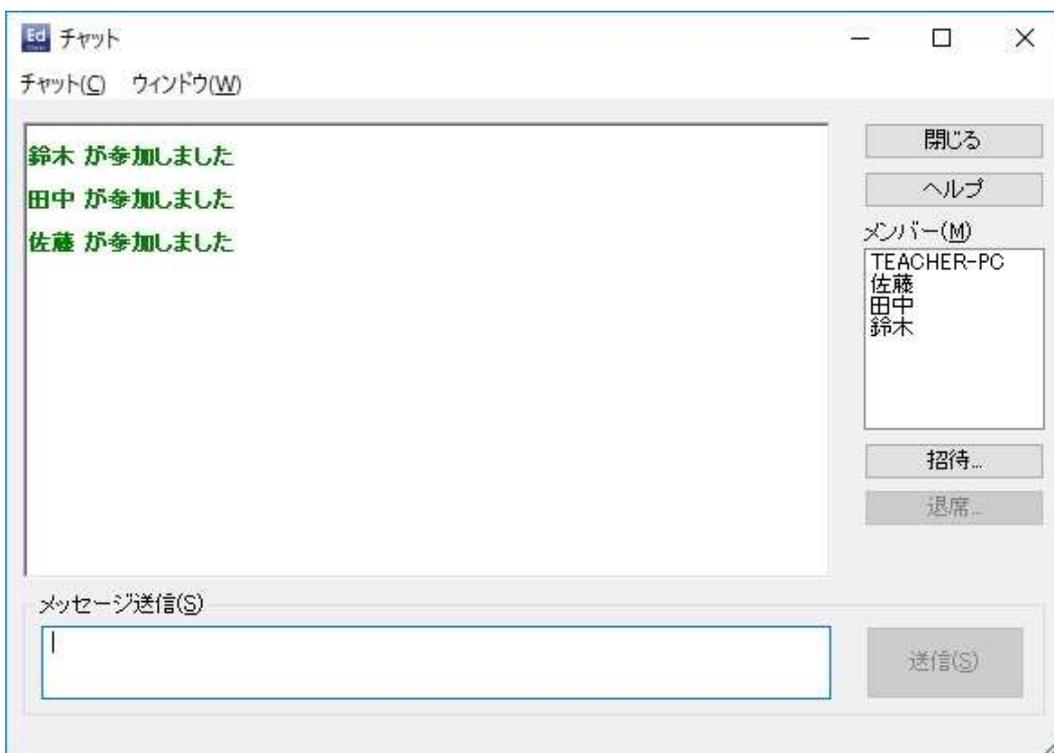
チェックをすると、チャット中はクライアントのデスクトップ上にチャットウィンドウが表示され続けます。メンバーはウィンドウサイズを変更できません。

どの生徒がチャットに含まれているかを確認し、適用すべき追加のオプションを選択したら、OK をクリックしチャットを開始します。

学習ノートに追加する

チェックすると、チャット終了時に学習ノートへチャットの内容が記録されます。

4. コントロールとクライアントコンピュータにチャットウィンドウが表示されます。



チャットウィンドウ

参加メンバーにこのウィンドウが表示されチャットの進行の一覧が表示されます。コントロールまたはグループリーダーのみがクライアントを追加したり削除したりできます。

チャットダイアログでオプションを無効にしない限り、クライアントはチャットの退席を選択できます。

チャットウィンドウでは次のオプションが利用できます:

チャットメニュー

チャットの内容は参照用に保存できます。

名前を付けて保存を選択してファイルを作成するかコピーを選択してチャットの内容を他のアプリケーションまたはファイルに保存できます。

各自のメッセージは、128 文字に制限されています。ロングメッセージの自動送信にチェックを入れると、上限に達したメッセージを自動的に送信することができます。

学習ノートに追加するを選択すると、チャットの内容を生徒の学習ノートに保存ができます。

ウィンドウメニュー

コントロールだけにウィンドウメニューがあります。このメニューで画面を開いたりタイトル表示したりできます。

チャット進行

チャットウィンドウのメインです。これはチャットセッションの進行を記録しています。参加、退室した生徒の詳細やメンバーによって送られたメッセージを管理します。

メッセージ送信

ここに内容を入力します。メッセージを入力して送信をクリックするか、エンターキーを押します。各自のメッセージは、128 文字に制限されています。

文字数の上限に達するとメッセージを自動的に送信することができます。チャットウィンドウのメニューから[チャット][ロングメッセージの自動送信]を選択します。

注意: メッセージに(顔アイコン)を含めることが可能です。

閉じる

チャットを終了します。

メンバー

チャットに参加しているメンバーがここに表示されます。先生はチャットセッションから生徒を追加したり削除したりできます。クライアントが自分達でチャットを退出するオプションもあります。

招待

チャットダイアログはチャットセッションの対象クライアントを選択する時に使用しま

す。チャットが進行中にクライアントを追加するには、招待をクリックします。メンバー追加ダイアログが表示されるのでクライアントを選択して追加をクリックします。履歴の送信にチェックをすることで新メンバーにチャットの内容を送信することができます。

注意: チャットから除外、または退出したクライアントを再度招待することが可能です。

退席

チャットからクライアントを除外するには、メンバーリストでクライアントを選択して退席を選択します。退席させたクライアントを再び招待することも可能です。

注意:

- 生徒はクライアントメインウィンドウを開いて [コマンド][チャット] を選択することでチャットを開始できます。
 - デフォルトでは、生徒は先生に対してのみチャットが可能ですが、コントロールウィンドウのメニューから [オプション][設定 - ユーザーインターフェース - 生徒] を選択して [生徒同士のチャットを許可する] にチェックすることで、生徒間でのチャットが可能になります。
-

画面受信中に生徒とチャットをする

1. ビューウィンドウのメニューから [ツール][チャット] を選択します。
2. チャットウィンドウがコントロールとクライアントのコンピュータに表示されます。

チャットを終了するには

1. チャットウィンドウのメニューから [閉じる] を選択します。

生徒にメッセージを送信する

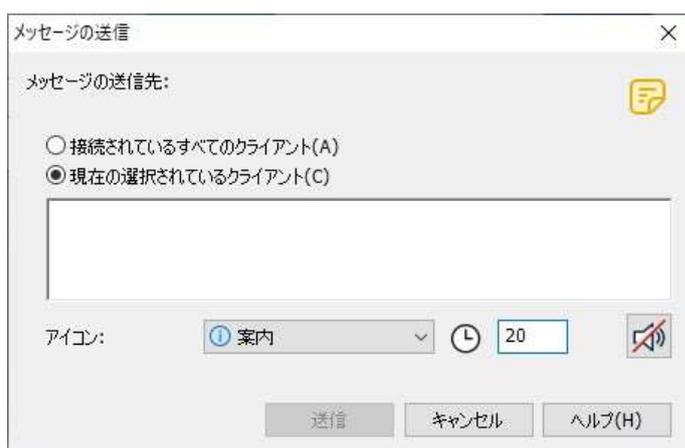
ネットワーク上の個別の生徒、特定のグループの生徒、あるいは生徒全員にメッセージを送信できます。定期的に決まったメッセージを送信する場合、最大 4 件までメッセージを事前に保存することができます。

メッセージを送信する

1. メッセージを送信したい生徒を選択します。
2. 右クリックして [メッセージ] を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから [クラス][メッセージ] を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから [グループ][メッセージ] を選択します。
3. メッセージダイアログボックスが表示されます。接続中の全生徒、または選択中の生徒にメッセージを送信するか選択します。メッセージを入力し、生徒の画面にメッセージを表示する時間を設定します。空欄にした場合は、生徒が閉じるまでメッセージは表示されます。

注意: 学習ノートが既に開始している場合は、メッセージを学習ノートに追加するオプションがあります。

4. [送信] をクリックします。メッセージがクライアント画面に表示されます。ダイアログを生徒が閉じるか一定時間が過ぎるまでメッセージは表示され続けます。



クイックメッセージを送信するには

1. メッセージアイコンをクリック後、クイックメッセージ欄が表示されます。
2. クイックメッセージのメッセージを入力し送信ボタンをクリックします。
3. メッセージは接続しているすべての生徒に送信されます。

プリセットメッセージを作成する

よく使用する5つのメッセージを登録することができ、生徒にすばやくメッセージを送信することが可能です。

1. メッセージを送信したい生徒を選択後、右クリックして [メッセージ][メッセージ] の下矢印をクリックし、[プリセットメッセージの作成] を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから [クラス][メッセージ] の下矢印をクリックし、[プリセットメッセージの作成] を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから [グループ][メッセージ] の下矢印をクリックし、[プリセットメッセージの作成] を選択します。



2. メッセージを入力します。
3. それぞれのメッセージに追加のオプションを設定します。
 - メッセージの表示時間を指定します。
 - メッセージの横に表示されるアイコンを選択します。案内・質問・警告・禁止等のメッセージの種類を素早く認識できます。
 - 生徒のコンピュータで音声を再生させてメッセージを強調することも可能です。
4. 完了したら、[OK] をクリックします。

事前に登録したメッセージを送信する

1. メッセージを送信したい生徒を選択後、右クリックして [メッセージ][メッセージ]の下矢印をクリックします。
または
コントロールウィンドウのメニューから[クラス][メッセージ]の下矢印をクリックします。
または
コントロールウィンドウのメニューから[グループ][メッセージ]の下矢印をクリックします。
2. 事前に登録されたメッセージが表示されるので、必要な項目をクリックし、生徒に送信します。

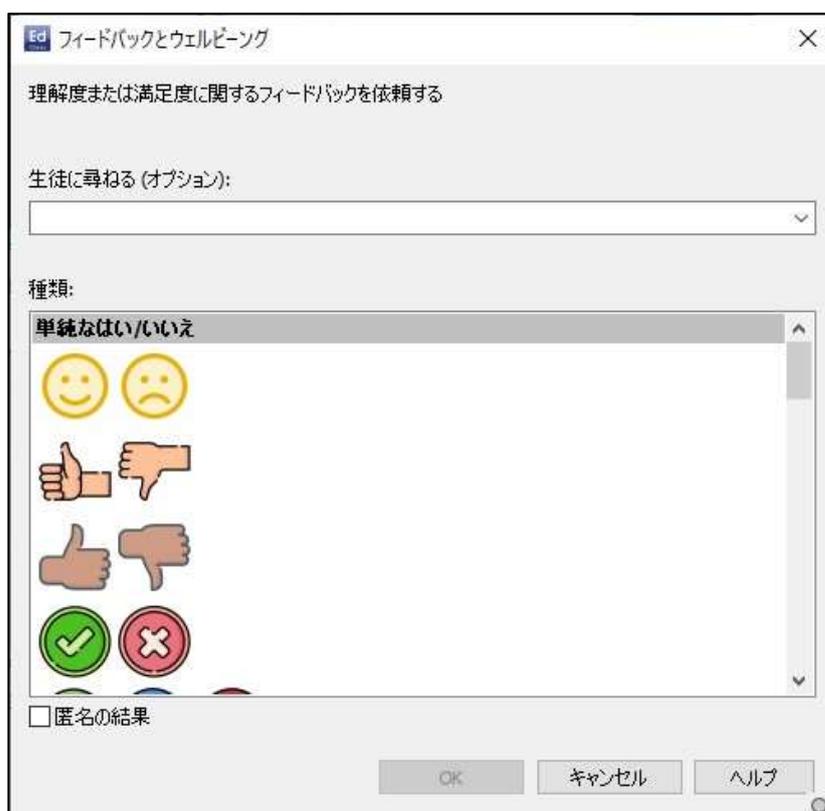
フィードバックとウェルビーイング

フィードバックとウェルビーイング機能は、生徒からのフィードバックを受け取り、生徒がどのように感じているか、トピックに対する自信、そして追加の補助が必要かどうかを把握することができるツールです。

先生は生徒に質問と、回答するためのアイコンを送信できます。

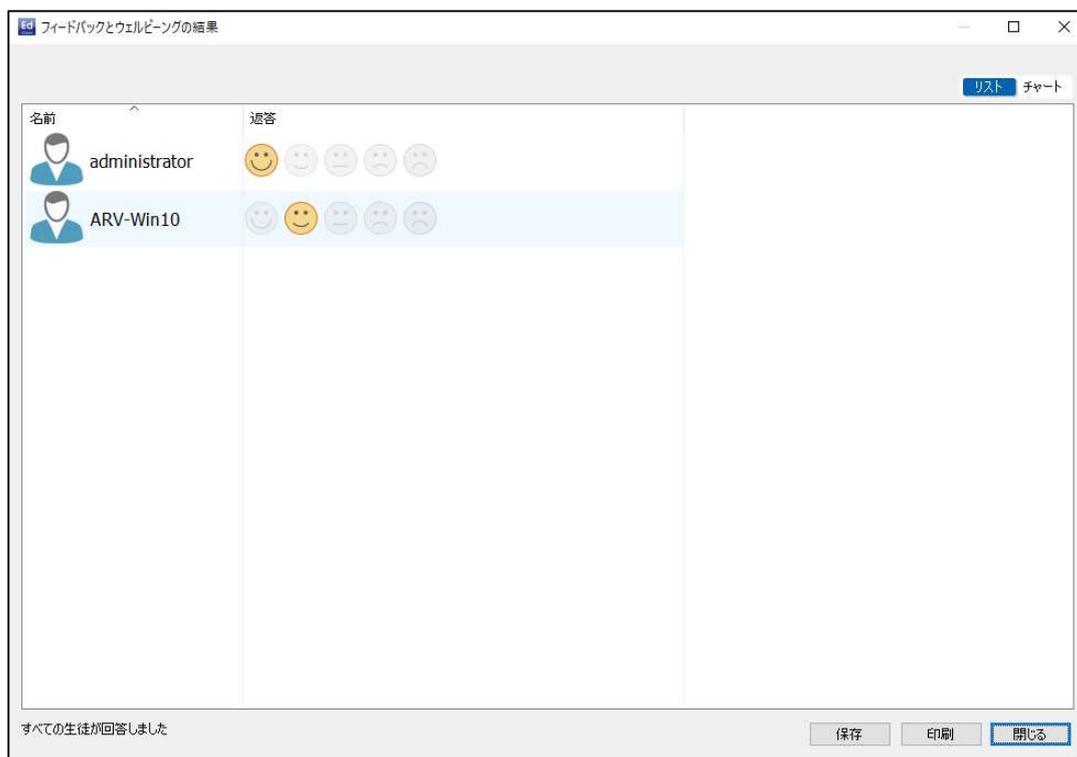
生徒は適切なアイコンをクリックし、フィードバックの結果が簡単な一覧または棒グラフで先生に報告されます。

1. 先生メニューバーの[フィードバックとウェルビーイング]をクリックします。
2. [フィードバックとウェルビーイング]アイコンをクリックするとダイアログが表示されます。



3. 生徒への質問を「生徒に尋ねる」フィールドに入力します（128 文字の制限があります）。口頭で質問をする場合はこのフィールドへの入力はありません。生徒に送信する回答用のアイコンを選択します。また、結果を匿名にする場合は、「匿名の結果」をクリックしてください。
4. 「OK」をクリックします。

5. 生徒側では、生徒ツールバーがフィードバックモードに切り替わり、ダイアログ（質問が入力されている場合）および選択するアイコンの選択肢が表示されます。生徒は必要なアイコンをクリックするだけです。
6. 先生側は、「フィードバックとウェルビーイングの結果」ダイアログが表示され、結果が表示されます。結果はリストまたは棒グラフで表示できます。表示を切り替えるには、「リスト」または「チャート」ボタンを使用します。適切なアイコンをクリックして結果を保存または印刷できます。



7. 終了したら、[閉じる]をクリックします。

ヘルプ依頼

EdClass ではクライアントがコントロールにヘルプを要求することができます。クライアントメニューからヘルプ依頼を選択(サイレントモードまたはクライアントアイコンが非表示の場合を除く)するかクライアント設定で設定したホットキーを押します。

ヘルプを要求する

1. ホットキー(通常は<ALT>+<左 SHIFT>+<右 SHIFT>)を押します。
または
生徒ツールバーのヘルプアイコンをクリックします。
2. ヘルプ依頼ダイアログが開きます。名前とメッセージを入力して下さい。



3. OK をクリックします。
4. ヘルプ依頼が接続中の先生コンソールに送信されます。

注意: 課題が終了したときや、緊急のヘルプが必要なときに、生徒は先生にアラートを送信することができます。生徒ツールバーのヘルプ依頼をクリックし、アラートリストからオプションを選び、[警告] をクリックします。生徒ツールバーは選択したアラートによって色が変わります。先生側の生徒アイコンの色が変わり、先生に通知します。

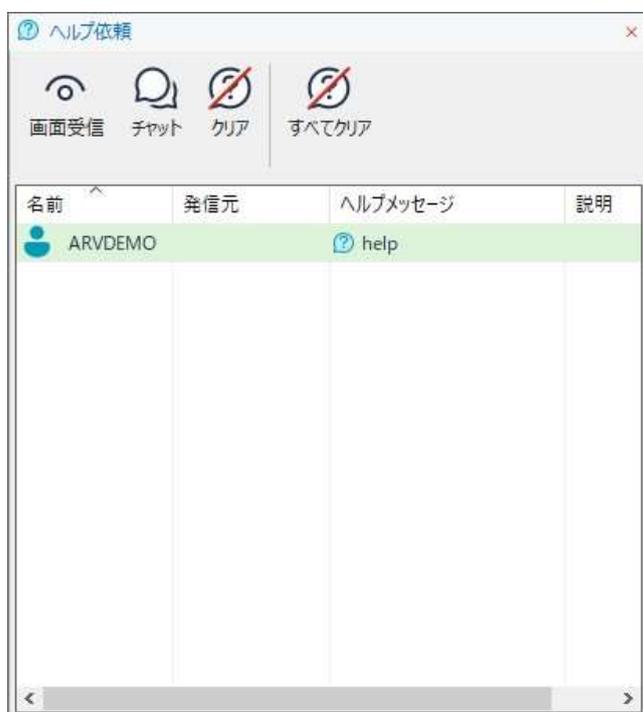
先生が担当の技術者またはネットワーク管理者に直接チャットまたはメッセージを送信して、支援を依頼することができます。サポート依頼アイコンがコントロールウィンドウのツールバーに表示されます。テックコンソールでこの機能が有効になっている必要があります。詳しい内容は、技術者またはネットワーク管理者にご相談ください。

生徒がヘルプ依頼を送信すると、先生画面にメッセージが表示されます。生徒アイコンの隣にヘルプ要請アイコンが表示されるので先生は一目でヘルプが必要な生徒を確認することができます。ヘルプ依頼を消去するまで表示されます。



ヘルプ依頼の内容を確認する

1. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][ヘルプ依頼] を選択します。
2. ヘルプ依頼ウィンドウが開き、一覧が表示されます。



最後にクライアントに接続した時から保留になっているヘルプ依頼がある場合、コントロールが開始されるとヘルプ依頼ウィンドウが開きます。

3. ツールバーの [画面受信] または [チャット] ボタンをクリックして、クライアントのヘルプ依頼に応答できます。

注意: 生徒が先生にアラートを発信した場合、先生側の生徒アイコンの色が変化し、課題完了は緑、ヘルプ依頼はオレンジ、緊急のヘルプは赤などのアラートを先生に通知します。先生の環境設定でこれらのアラートをオフにすることができます。

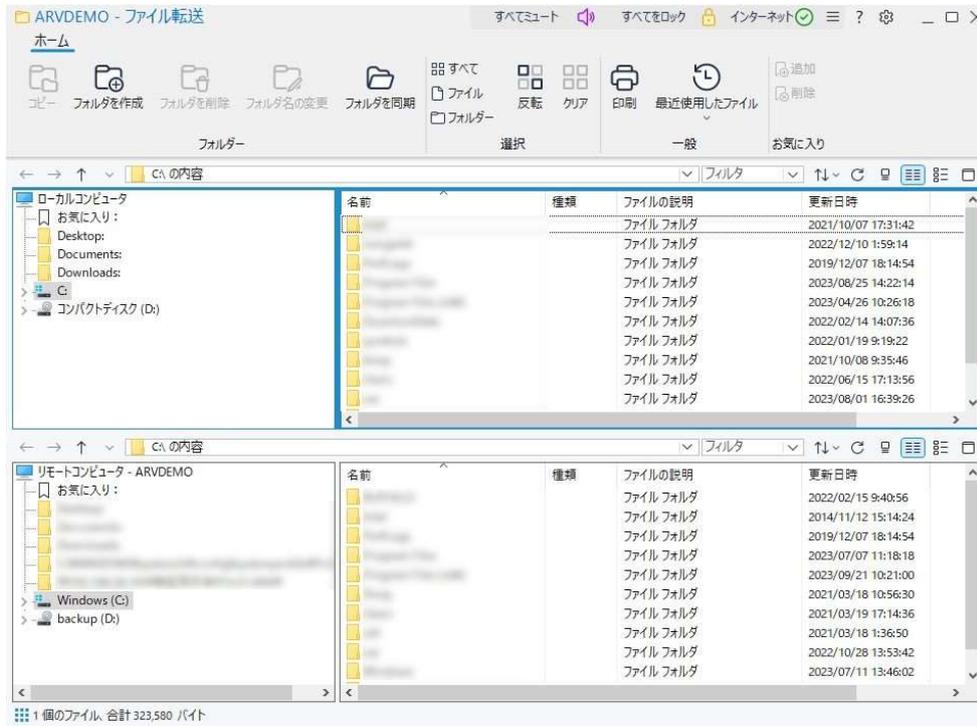
4. 生徒のヘルプが解決した際は、対象の生徒の上で右クリックし「ヘルプのクリア」

EdClass15.10

を選択してヘルプ要求を消去してください。全てのヘルプ要求を消去したい場合は、ヘルプ要求ウィンドウ内の「すべてクリア」をクリックします。生徒側のヘルプ要求ダイアログから、自身のヘルプ要求を消去することも可能です。

ファイルを転送する

コントロール、クライアント間でファイルを転送することができます。



コントロールのディレクトリとファイルはウィンドウの上半分に表示されます。クライアントのディレクトリとファイルはウィンドウの下半分に表示されます。

先生から生徒にファイルやフォルダをコピーする

1. リストビューでクライアントを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][ファイル転送] を選択します。
または
選択中のクライアントを右クリックして [ファイル転送] を選択します。
または
クライアント画面を受信している場合は、画面受信ウィンドウの [ツール][ファイル転送] を選択します。
3. ツリービューからコピー先のドライブまたはフォルダを選択します。
注意: ファイル転送画面のトップに、生徒が開いているフォルダのパスを表示し、素早く選択することができます。
4. コントロールからクライアントにコピーするファイルを選択します。
5. ツールバーのコピーボタンをクリックします。
6. 設定ダイアログが表示されたら、「はい」をクリックします。

注意:

- 先生機のリストから生徒機のリストのドライブやフォルダへファイルやフォルダをドラッグ&ドロップしてコピーすることもできます。
 - Android 生徒にファイルが転送されると、生徒がアクセスできるようにファイルエクスプローラーにファイルがコピーされます。
-

生徒から先生にファイルやフォルダをコピーする

1. リストビューでクライアントを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][ファイル転送] を選択します。
または
選択中のクライアントを右クリックして [ファイル転送] を選択します。
または
クライアント画面を受信している場合は、画面受信ウィンドウの [ツール][ファイル転送] を選択します。
3. ファイル転送ウィンドウが開きます。
4. ツリービューからコピー先のドライブまたはディレクトリを選択します。
5. クライアントのツリーからコントロールにコピーするファイルを選択します。
6. ツールバーのコピーボタンをクリックします。
7. 設定ダイアログが表示されたら、「はい」をクリックします。

生徒間でファイルを転送する

ファイル転送機能は二人の生徒間でファイルやフォルダの転送もできます。それぞれの生徒のファイル転送ウィンドウを開きます。

それぞれのファイル転送ウィンドウを並べて、転送したいファイルやフォルダを他方の転送ウィンドウにドラッグアンドドロップします。

フォルダの同期

先生と生徒間で選択したフォルダ内の内容を同期することが可能です。フォルダの同期を実行すると、フォルダ内の新しいファイルまたは更新されたファイルが自動的に他方のフォルダにコピーされます。

1. 生徒を選択し、ファイル転送ウィンドウを開きます。
2. 先生のファイルツリーから生徒と同期したいフォルダを選択します。
3. 生徒のファイルツリーから先生と同期したいフォルダを選択します。
4. ツールバーにある「フォルダを同期」アイコンをクリックします。
5. フォルダ同期ダイアログが表示されます。選択したフォルダのパスが正しいことを確認します。

6. フォルダ内にあるサブフォルダの内容も同期したい場合は、「サブフォルダを含む」にチェックを入れます。
7. 既存ファイルの更新を自動的に上書きしたい場合は、「すべて上書き」にチェックを入れます。
8. OK を押します。
9. 確認ダイアログにて「はい」をクリックします。
10. フォルダ同期の進捗状況ダイアログが表示されます。
11. 完了後、ダイアログに結果が表示されます。OK を押してください。

ファイルやフォルダを削除する

ファイル転送ウィンドウを使ってコントロールまたはクライアントからファイルやフォルダを削除することができます。

ファイルを削除するには

1. 削除したいファイルを選びます。
2. ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたら、「はい」をクリックします。

フォルダを削除するには

1. 削除したいフォルダを選びます。
2. ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
3. 「フォルダの削除」ダイアログが表示されます。
4. 「内容(中身)を含む」チェックボックスを選びます。
5. 「はい」をクリックします。

注意:

- 1度に複数のフォルダを削除することはできません。「削除」操作を実行時に一覧表示で複数のフォルダを選択した場合、最後に選んだフォルダだけが削除されます。
 - デフォルトでは、ローカル側から削除されたすべてのファイルはゴミ箱へ送られます。ファイル転送設定でこれを変更することができます。
-

ファイルを配布する

個々のクライアントにファイルを転送できるだけでなく、複数のクライアントに一斉にファイルを配布することができます。

次の対象にファイルを配布することが可能です:

- 接続中の全クライアント
- クライアントグループ

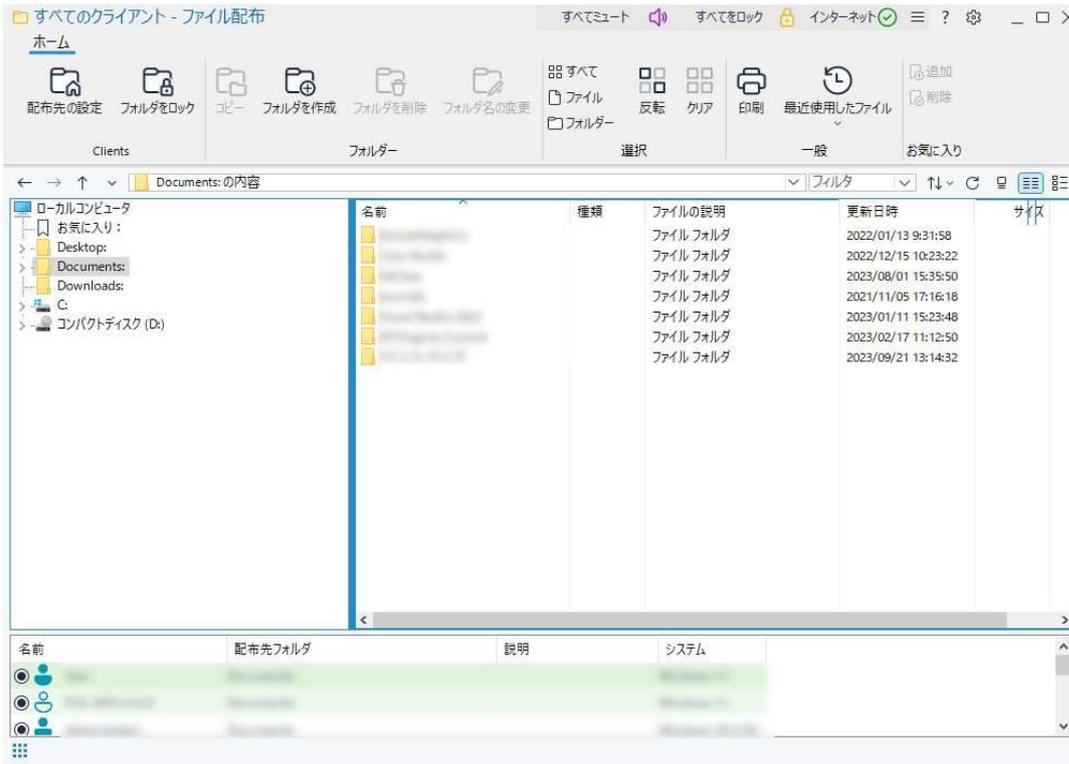
注意: クライアントにファイルを配布する時、ファイルは各生徒に順番に送信されます。ネットワーク帯域が限られたネットワーク環境または大多数のコンピュータに一斉送信する時、パフォーマンスに影響があります。これらの状況では、EdClass のファイル配布の一斉送信を有効にすることができます。同時にすべてのコンピュータにファイルを送信するようになるので、転送速度が向上します。

EdClass で作成されたネットワークトラフィックは減りますが、あらたにブロードキャストパケットが発生します。この機能を使用する場合は、必ずネットワーク管理所に確認することをお勧めします。

マルチキャストを使用して全生徒へのファイル配布を実行することが可能です。指定された IP マルチキャストアドレスに含まれるコンピュータにのみパケットが送信されます。

グループにファイルを配布する

1. コントロールウィンドウのグループバーからタブを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [グループ][ファイル配付] を選択します。
3. ファイル配布ウィンドウが表示されます。



4. ツリービューでクライアントにコピーするファイルを選択します。
5. ファイル/ディレクトリがコピーされるクライアントの場所を配布先フォルダと言います。指定がない限り、クライアントの配布先フォルダはコントロールと同じ場所になります。クライアントに同じフォルダがない場合は、デフォルトでCドライブにコピーされ、フォルダを自動的に作成します。
または
クライアントコンピュータの配布先フォルダを設定するには、ツールバーの「配布先を設定」を選択し、配布先を指定して「OK」をクリックします。
6. 「コピー」をクリックします。
7. ダイアログが表示され、転送の進捗状況が表示されます。転送が完了するまでエラーメッセージや上書きの確認を無視することも可能です。

選択したクライアントにファイルを配布する

1. ファイル転送アイコンのメニューをクリックして [ファイル配布] を選択します。
または
ファイル配布アイコンがツールバーに表示されている場合はそれをクリックします。
2. ファイル配布ウィンドウが表示されます。
3. クライアント名の隣のチェックボックスにチェックをしてファイルをコピーするクライアントを決定します。
4. ローカルウィンドウからクライアントにコピーするファイルを選択します。
5. 指定がない限り、クライアントの配布先フォルダはコントロールと同じ場所になります。クライアントに同じフォルダがない場合は、デフォルトで C ドライブにコピーされ、フォルダを自動的に作成します。
または
クライアントコンピュータの配布先フォルダを設定するには、ウィンドウ下部のクライアントアイコンをダブルクリックして [保存先を設定] を選択します。配布先を指定して OK をクリックします。
6. [コピー] をクリックします。
7. ダイアログが表示され、転送の進捗状況が表示されます。転送が完了するまでエラーメッセージや上書きの確認を無視することも可能です。

教材の配布と回収

教材の配布/回収機能は単体または複数のクライアントにドキュメントを送信することができます。そしてコントロールに生徒の作業ファイルを回収することができます。

教材を配布する

生徒のコンピュータに教材を配布するには、2通りの方法があります。

- **クイック配布** 接続中の全生徒やグループに教材を配布する操作を1度しか行わない場合に便利です。
- **拡張配布** よく実行する操作のプロパティを保存して教材を配布した生徒に対してフレキシブルに行うことができます。

クイック配布で教材を配布する

1. 教材を配布する生徒を生徒全員またはグループ単位で選択します。クイック配布は生徒を個別に選択することはできません。
2. コントロールウィンドウのメニューから [グループ][教材の配布] を選択します。
3. クイック配布ダイアログが表示されます。



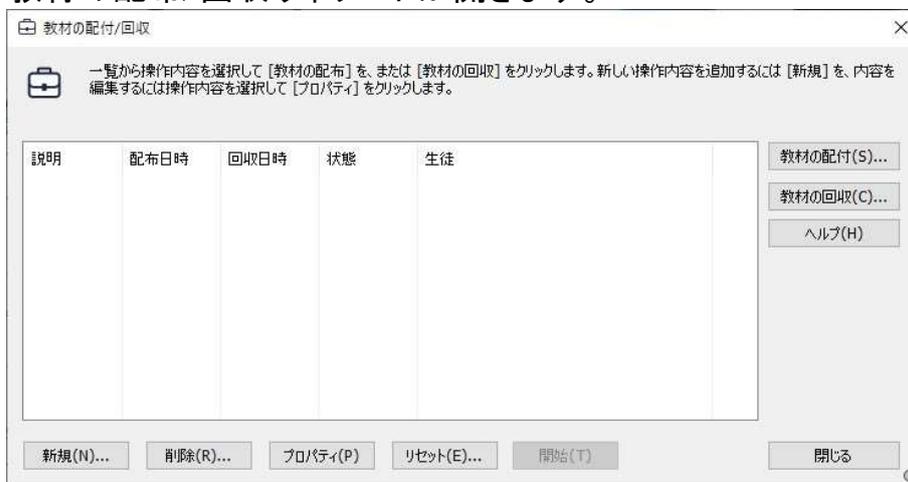
4. 生徒に送信するファイルをリストに入力します。ファイルはフルパスやオプションとしてワイルドカードの指定を含みます。';'で区切って複数の指定を含めることができます。
または

[参照] をクリックしてファイルの場所を指定します。

5. ファイルをコピーする生徒のコンピュータのフォルダを指定します。必要な場合は、新規フォルダを作成します。
6. [配布] をクリックします。
7. 教材の配布が成功したか確認できるように操作の結果が表示されます。

拡張配布を使って教材を配布する

1. すべての生徒またはグループか配布対象を決めます。あとから生徒を対象外にすることもできます。
2. コントロールウィンドウのメニューより[グループ][ワークを配布/回収する] を選択します。
3. 教材の配布/回収ウィザードが開きます。



4. リストから操作内容を選択して [教材の配布] をクリックします。生徒選択ダイアログが表示されます。
または
[新規] をクリックして新しい操作内容を追加し、ウィザードを終了します。

生徒に教材が配布されると、教材の配布/回収アイコンのメニューから現在の状態を確認することができます。配布が完了した生徒または残りの項目の表示を切り換えることができます。



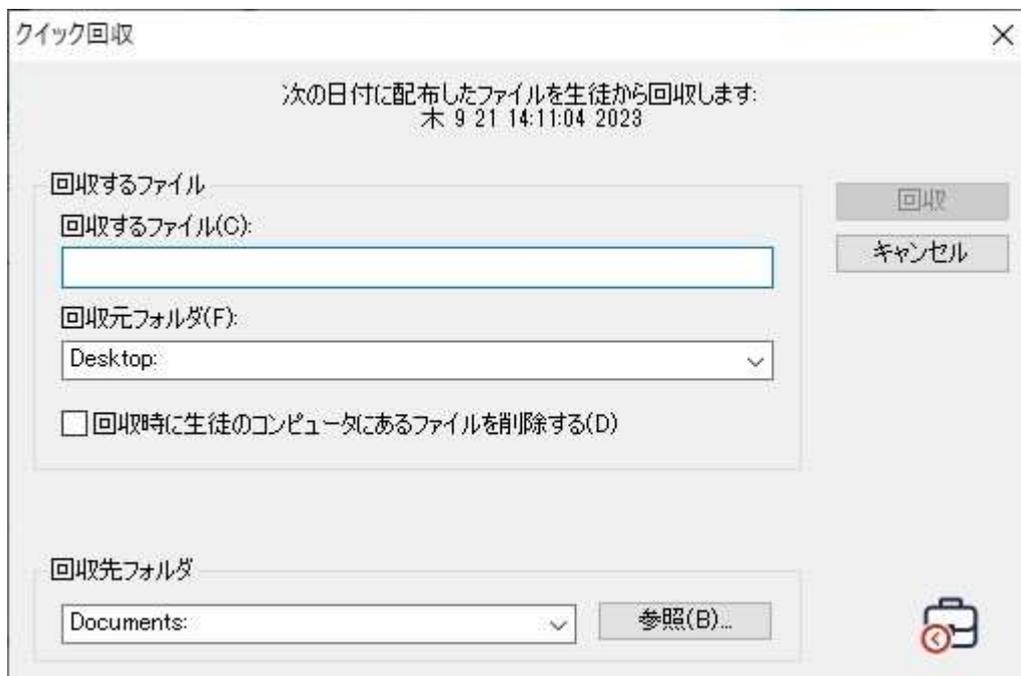
教材を回収する

作業済みの教材を回収するには、2通りの方法があります。

- **クイック回収** クイック配布した教材が記憶されており、授業の最後などに素早く簡単に教材を回収できます。
- **拡張回収** あらかじめ定義してある教材の配布/回収操作から回収操作を選択でき、回収する生徒などより柔軟に設定できます。

クイック回収を使って教材を回収する

1. コントロールウィンドウのメニューから[グループ][教材の回収]を選択します。
2. クイック回収ダイアログが表示されます。



3. 回収するファイルを指定します。例: *.*または test1.text;test2.text
4. ファイルが保存されているフォルダを指定します。例: c:¥temp
回収後に生徒機からフォルダの削除も行えます。
5. コントロールコンピュータのファイル回収先フォルダを指定します。例: c:¥temp
6. [回収] をクリックします。
7. 回収が成功したか確認できるように操作の結果が表示されます。

拡張回収を使って教材を回収する

1. コントロールウィンドウのメニューから [グループ][ワークの配付/回収する] を選択します。
2. 教材の配布/回収ウィザードが表示されます。
3. リストから操作内容を選択して教材の回収を選択します。
4. 生徒選択ダイアログが表示されます。ファイルを回収する生徒を選択します。



5. [OK] をクリックします。

回収が成功したかどうか確認できるように操作の結果が表示されます。

操作のプロパティを変更するには

1. コントロールウィンドウのメニューバーから [グループ][ワークの配付/回収する] を選択します。
2. 教材の配布/回収ウィザードが開きます。
3. リストから操作内容を選択してプロパティをクリックします。
4. プロパティダイアログが表示されます。
5. 変更後に [OK] をクリックします。

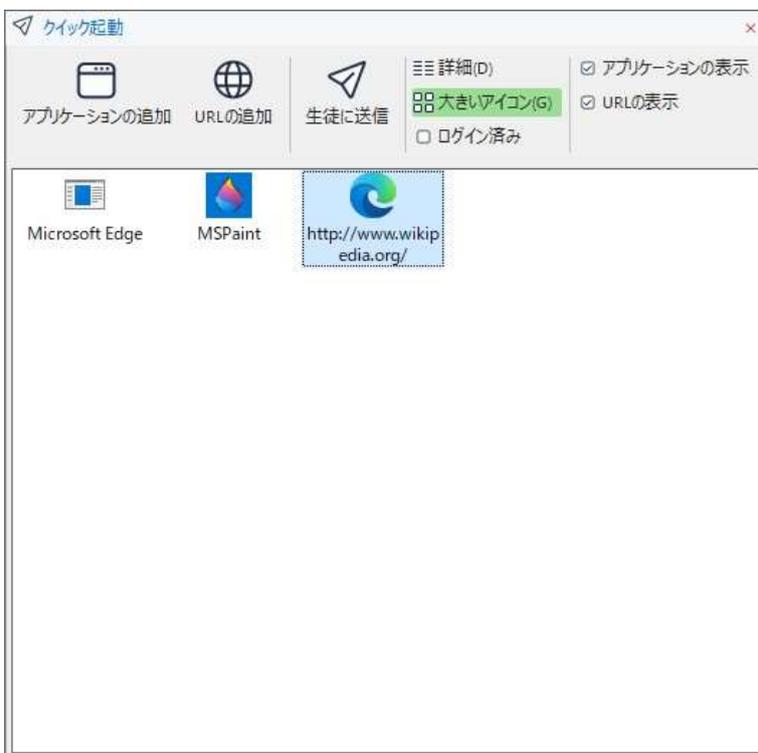
生徒のアプリケーションをリモートで起動する

リモートコントロールを行わずに生徒やグループのパソコンのアプリケーションを実行/起動できます。例えば、MS Office アプリケーションの使い方を生徒に見せた後に、生徒のコンピュータ上でアプリケーションを起動することが可能です。

注意： アプリケーションはクライアントコンピュータにインストールされているか、利用できる状態でなくてはなりません。

クライアントコンピュータ上のアプリケーションを実行するには

1. 生徒を選択しコントロールのメニューから [生徒][アプリケーションを起動] を選択します。
2. アプリケーション起動ダイアログが表示されます。
3. [追加] をクリックします。



4. クライアントで実行するアプリケーション名とパスを入力します。
または
ローカル参照ボタンをクリックしてコントロールコンピュータで実行可能なアプリケーションを選択します。

注意：

- Windows 8.1/10/11 でアプリケーションを追加する際は、ダイアログに2つのタブが表示されます。デスクトップアプリケーションタブでは、上記のような標準の

Windows アプリケーションを追加できます。「Windows Store アプリケーション」タブでは、Windows 8.1/10/11 アプリケーションが一覧に表示されます。

- 正しく実行できるように、生徒のアプリケーションが先生と同じ場所に保存されていることを確認してください。
- アプリケーションと一緒に特定のファイルを起動したい場合は、2 つのコマンドを分けて指定します。

“C:¥programfiles¥MicrosoftOffice¥excel.exe” “C:¥mydocuments/accounts.xls”

5. [OK] ボタンをクリックします。
6. アプリケーション起動ダイアログにアプリケーションアイコンが表示され、今後も使用出来るように保存されます。

注意: 「クライアントがログオンしている場合のみ実行」ボックスにチェックをすると、ログオンしているクライアントに対してのみアプリケーションを実行します。

7. 必要なアプリケーションを選び、起動をクリックします。

注意: 「結果を表示しない」ボックスにチェックをすると、起動時に結果を待たないでダイアログを閉じることができます。

グループの生徒のアプリケーションを起動する

1. グループタブを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューバーから [グループ][アプリケーションを起動] を選択します。
3. アプリケーション起動ダイアログが表示されます。
4. [追加]をクリックします。
5. 生徒側で起動するアプリケーション名とパスを入力します。
または
参照ボタンをクリックしてコントロールコンピュータで実行可能なアプリケーションを選択します。

注意: 生徒のアプリケーションが先生と同じ場所に保存されているか確認してください。

6. [OK] をクリックします。
7. アプリケーション起動ダイアログにアプリケーションアイコンが表示され、今後も使用出来るように保存されます。
8. 必要なアプリケーションを選び、起動をクリックします。

注意: 「結果を表示しない」ボックスにチェックをすると、起動時に結果を待たないでダイアログを閉じることができます。

画面受信中にクライアントコンピュータ上でアプリケーションを起動する

1. ビューウィンドウのメニューから [クライアント][アプリケーション起動] を選択します。
ツールバーのアプリケーション起動アイコンをクリックします。
2. ダイアログが表示されます。
3. 起動するアプリケーションを選び、新たに追加するには [追加] をクリックします。
4. 起動をクリックします。

選択した全てのクライアントでアプリケーションが起動します。結果ボックスに操作の結果が表示されます。

クイック起動



1. ツールバーのクイック起動をクリックします。
2. 項目の追加をクリックして、アプリケーションまたはウェブサイトのどちらかを追加を選択します。
または
ウィンドウに必要なアプリケーションをドラッグします。
3. アプリケーションまたはウェブサイトを右クリックして、生徒で起動を選択します。

保存した実行可能なアプリケーションを削除するには

1. アプリケーション起動ダイアログを開きます。
2. 削除するアプリケーションを選択します。
3. 削除をクリックします。
4. [閉じる] をクリックします。

実行するアプリケーションの情報を編集する

1. アプリケーション実行ダイアログを開きます。
2. 編集したいアプリケーションを選択します。
3. プロパティをクリックします。
4. 詳細情報を編集して OK をクリックします。
5. [閉じる] をクリックします。

ユーザー設定ツール

生徒のコンピュータでアプリケーションを起動できるだけでなく、ユーザー定義ツールを使って先生のコンピュータでタスクを実行することができます。

ツールを追加するには

1. コントロールウィンドウのメニューから [設定管理][実行-追加] を選択します。
2. ユーザー設定ツールダイアログが表示されます。
3. 「追加」ボタンをクリックします。
4. ツール追加ダイアログが表示されます。



5. 必要な情報を入力します
6. [OK] をクリックします。ツールメニューに新しいツールがリスト化されます。



7. [閉じる] をクリックします。

ツールを実行する

1. コントロールウィンドウのメニューから [設定管理][実行]リストから実行するツールを選択します。
2. 実行ボタンをクリックすると、ツールが自動的に実行されます。

ツールを編集する

1. コントロールウィンドウのメニューから [管理設定][実行]リストから編集するツールを選択します。
2. 編集ボタンをクリックします。
3. 編集ツールダイアログが表示されます。
4. 情報を編集して OK をクリックします。

ツールを削除する

1. コントロールウィンドウのメニューから [設定管理][実行]リストから削除するツールを選択します。
2. 削除ボタンをクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたらはい をクリックします。ツールは削除されます。

生徒を再起動またはログアウトする

接続中のクライアントまたはグループを授業の終わりにリモートで再起動またはログアウトさせることができます。次の授業に向けて複数のコンピュータの準備が簡単にできます。

1. クライアントまたはグループを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [設定管理] を選択します。
または
クライアントを選択した状態で右クリックします。
3. [再起動] もしくは [ログアウト] アイコンをクリックします。
4. メッセージが表示され再起動 または ログアウトするクライアントを確認します。
5. 「はい」をクリックして操作を続行します。

画面受信中に生徒を再起動またはログアウトする

1. 画面受信ウィンドウのメニューから [ホーム][再起動] または [ログアウト] を選択します。
2. メッセージが表示され再起動またはログアウトするクライアントを確認します。
3. 「はい」をクリックして続行します。

ユーザーアカウントの管理

EdClass は、アクティブディレクトリの管理下にあるユーザーのパスワードリセットやロックの解除を行うことが可能です。必要に応じて、授業終了時に生徒のパスワードを手軽にリセットすることができます。ロックされたユーザーアカウントを確認し、アカウントのロック解除や新しいパスワードの割り当てが可能です。ドメイン管理者以外の管理者がこの機能を使用する場合は、適切な権利を適用する必要があります。

生徒のパスワードをリセットする

1. 対象の生徒を選択します。

注意： 生徒全体またはグループを選択してパスワードをリセットすることも可能です。

2. コントロールウィンドウのメニューから[管理設定][アカウントの管理] を選択します。
3. アクティブディレクトリユーザーアカウントダイアログが表示されます。選択した生徒のログオンユーザー名が表示されます。「変更」をクリックします。ディレクトリの管理ダイアログが表示されます。

ディレクトリユーザーアカウントを管理

ユーザーの詳細

ドメイン ユーザー名

説明

アカウントの状態

アカウントのロック解除

パスワード

新しいパスワード

パスワードの確認入力

次回ログイン時にパスワードを変更

4. 現在のユーザーの詳細を表示し、アカウントのロック解除や、新しいパスワードを設定することが可能です。新しいパスワードの設定は、次のログオン時にユーザーにパスワードを変更させることも可能です。

EdClass15.10

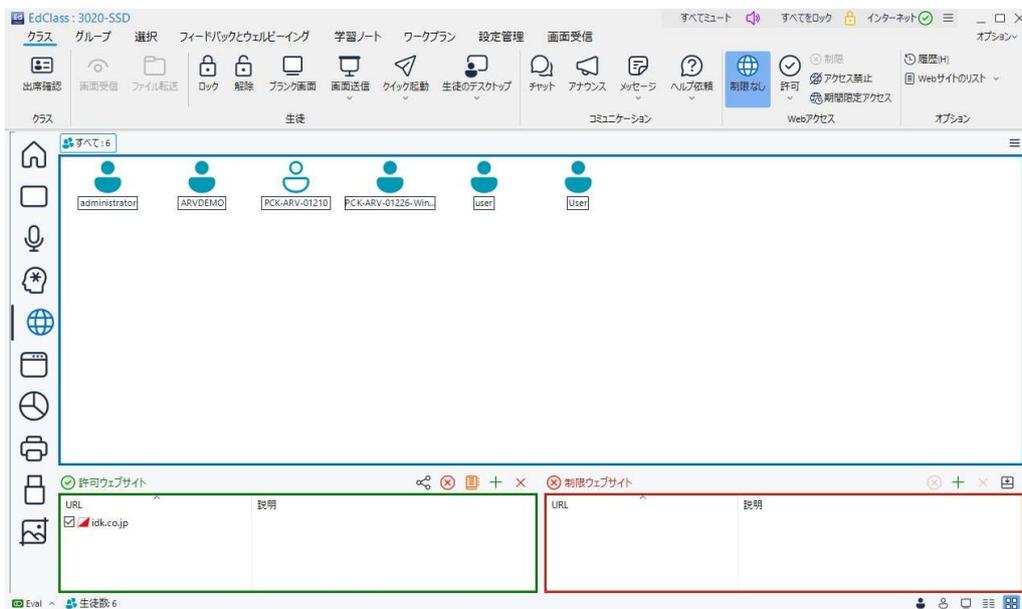
注意： 複数の生徒を選択していた場合は、アカウントのロック解除や、パスワードの変更はできません。

ウェブの管理

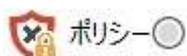
インターネット管理モジュールは接続中の生徒が閲覧したホームページをモニタし管理するために使用します。セッション中に訪問したサイトの内容を保存します。必要に応じて先生は URL を許可/制限することができます。さらに、全インターネットの使用を一時的に停止することができます。

注意: インターネットのモニタリングと制限は、Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome に対応しています。次のブラウザはインターネット制限だけに対応しています。:Opera 9 以上

1. コントロールウィンドウのメニューから [画面受信][モード - ウェブ] を選択します。
または
コントロールウィンドウ左側のウェブ管理アイコンをクリックします。



ウェブ管理モジュールでは許可または制限 URL の詳細を表示し、次のアイコンを使用することができます。



テックコンソールで作成したセントラルポリシーの有効/解除を切り替えます。



インターネットのアクセス制限が適用されている場合、その使用制限を解除します。



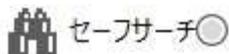
許可サイトリストを起動します。生徒は許可リスト内の URL しか見ることができません。その他の URL は遮断されます。生徒がインターネットにアクセスしようとするとう強制的に許可サイトにジャンプするようになっています。



制限サイトリストを起動します。生徒は制限リスト内の URL を見ることができません。しかしそれ以外の URL を見ることができます。



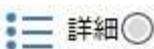
インターネットのアクセスをすべて禁止します。



生徒が検索エンジンを使っている場合に、このオプションを選択すると検索結果で表示される不適切な内容をストップします。



FTP サイトへの生徒のアクセスを禁止します。



リストビューの表示を大きなアイコンと詳細ビューで切り替えます。



インターネットへのアクセスを時間制限で許可することができます。

注意:

- グローバルポリシー制限が実施されると、ウェブ制御アイコンの隣に施錠マークが表示されます。先生の環境設定で制限を上書きすることができます。
 - 生徒全員のウェブアクセスを一時的に遮断するには、コントロールツールバーの [アクセス禁止] アイコンを選択します。生徒アイコンに禁止マークを表示して、インターネットのアクセスが一時的に禁止されていることを通知します。
 - 現在、EdClass for Mac の生徒に対しては許可サイト、遮断の制限機能は利用できません。
-

ウェブ管理は次の機能を使用できます:

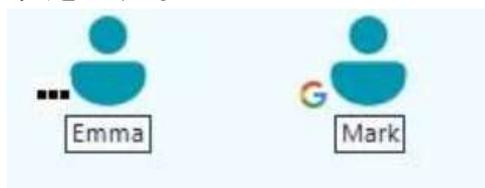
生徒のコンピュータ上で起動中の URL を確認する

リストビューで生徒アイコンを何通りかの表示方法があります。[画面受信][大きいアイコン / 詳細] または、リストビュー内で右クリックして、オプションをどちらか選んで生徒アイコンのレイアウトを変更します。

[大きいアイコン] または [詳細] 表示の場合、生徒アイコンの隣に先生が確認できるように現在起動中のサイトのアイコンが表示されます。このアイコンはデフォルトのインターネットエクスプローラアイコンかオリジナルの URL アイコンです。

下部ペインは  ボタンをクリックして最小化することが可能です。

大きいアイコン



詳細

名前	現在のウェブサイト	すべてのウェブサイト
	新しいタブ [http://]	
	新しいタブ - プロファイル 1 [https://]	
	Microsoft Edge 最新情報 および他 1 ページ ...	
	新しいタブ - プロファイル 1 [https://]	

URL が許可または制限 URL リストにリストアップされている場合、確認し易いように緑(許可)または赤(制限)の境界線でアイコンの周りを表示します。

リストビューが詳細レイアウトの場合、生徒のコンピュータ上で起動中のほかの全ての URL のリストも表示します。

4 つの配置オプションのいずれかで表示中の場合、先生は生徒アイコンの配置を変更することができます。リストビュー内で右クリックして [アイコンの並べ替え] を選択します。次のオプションを使用してアイコンの配置を変更することができます:

EdClass15.10

名前順	生徒アイコンは生徒のクライアント名/表示名/取得名順に配置されます。
現在のウェブサイト順	生徒アイコンは生徒が現在閲覧している URL 順に配置されます。
すべてのウェブサイト順	生徒アイコンは生徒のコンピュータで実行中の URL 順に配置されます。
ポリシー順	テックコンソールで設定された現在のポリシーセットに応じて、生徒アイコンがアルファベット順に配置されます。ポリシーが実施されている場合にだけ、このオプションは表示されます。

上記オプションのどれを選択しているか丸印で確認できます

自動整列	一覧に新しい生徒が追加された場合、もしくは生徒のコンピュータで新しい URL が開いた場合、選択した上記順番で自動的に整列します。チェックマークは、このオプションが選択されていることを意味します。このオプションを解除するには、[自動整列] を再クリックします。
昇順	このオプションが選択されている場合、選択した上記の順番で生徒アイコンを昇順に並べ替えます。チェックマークは、このオプションが選択されていることを意味します。このオプションを解除するには、[自動整列] を再クリックします。生徒アイコンを降順に整列します。
画像を中央に揃える	画像の中央に生徒アイコンを整列します。背景画像を並べて表示するように設定されている場合にのみ、このオプションを利用することができます。

生徒のコンピュータ上で開いている URL を閉じる

1. 生徒のコンピュータ上の URL を閉じるには、[画面受信][詳細]を選択します。
2. 詳細リストビューが表示されます。
3. [現在のウェブサイト] または [すべてのウェブサイト] の URL アイコンを右クリックします。
4. [すべてのブラウザを閉じる]もしくは[閉じる] を選択します。
5. 生徒のコンピュータの URL が閉じ、リストビューから URL アイコンが消えます。

注意: 許可または制限リスト内の URL アイコンを右クリックし、URL を閉じる を選択することで、接続中の全生徒の URL を閉じることができます。

生徒のコンピュータ上で開いている URL を変更する

1. 生徒のコンピュータ上でアクティブな URL を変更するには、[画面受信][詳細]を選択します。
2. 詳細リストビューが表示されます。
3. [すべてのウェブサイト] 列にリストされているウェブサイトのアイコンを右クリックします。
4. 手前に表示を選択します。
5. 生徒のコンピュータ上でアクティブな URL を置き換えて表示されます。
6. 現在のウェブサイト内のアイコンが新しく起動した URL アイコンに置き換わりま

接続中の全ての生徒に URL を起動する

1. 許可サイトリスト内の URL アイコンを右クリックします。
 2. [ブラウザの起動] を選択します。
 3. 接続中の全ての生徒のコンピュータでその URL が起動します。
 4. リストビューの現在のウェブサイトリストに起動した URL が表示されます。
- または
1. 許可サイトリストの URL をハイライトします。
 2. ハイライトした URL をリストビューにドラッグ & ドロップします。
 3. 接続中の全ての生徒のコンピュータで URL が起動します。
 4. リストビューの現在のウェブサイトリストに起動した URL が表示されます。

許可または制限ウェブサイトリストを設定する



許可ウェブサイト

起動時には、生徒はこのリストで指定された URL のみ閲覧可能です。生徒のコンピュータに閲覧可能な許可サイトの一覧が表示されます。



制限ウェブサイト

起動時には、生徒はこのリストで指定された URL は見るできません。しかし、その他の全てのサイト、許可サイトにないものは見るすることができます。

注意:

- 全てのインターネットの利用を一時的に遮断するには、コントロールツールバーの、[クラス][Web アクセス - アクセス禁止] をクリックします。
 - デフォルトでは、キーワードを入力してこれらのキーワードを含んでいる URL を許可または制限します。これは転送されるウェブサイトに対処するために使用できます。
 - 生徒がウェブサイトで適切なページだけを確実に閲覧するように、特定のウェブページやサブ URL の許可/制限が可能です。つまり www.bbc.co.uk/learning を禁止して、www.bbc.co.uk/history を許可するといった同じウェブサイトでも異なるページの許可/制限ができます。生徒は、歴史に関連するページのみ閲覧できます。しかし、科学や英語などに関連するページは閲覧できません。
 - コントロールウィンドウのメニュー[オプション][ネットワーク設定][開始オプション - 制限]から、ウェブサイトの制限をスタートアップに適用することが可能です。
-

許可または制限リストに URL を追加する

1. +をクリックして許可/制限サイトに URL を追加します。
または
リストボックス内を右クリックして、[ウェブサイトの追加] を選択します。
2. ウェブサイト追加ダイアログが表示されます。

ウェブサイトのプロパティ

ウェブサイトのプロパティ

URL:

表示(V)

説明:

生徒に見えるようにする

拡張プロパティ

キーワード:

転送や遮断時にキーワードを使ってウェブサイトを特定します

OK

キャンセル

ヘルプ

3. URL 欄にウェブサイトのアドレスを入力します。
例 : www.arvanics.com
4. [表示] をクリックしてウェブサイトのアドレスが正しいか確認をします。
5. 説明を入力します。例 : アイ・ディ・ケイ (これはオプションです)
6. キーワード、サブ URL を入力します。ウェブサイトの特定のページへのアクセスを禁止します。(これはオプションです)
7. OK をクリックします。
8. 許可または制限リストに URL アイコンと説明が表示されます。
または
 1. メニューから [画面受信][詳細] を選択します。
 2. [現在のウェブサイト] または [すべてのウェブサイト] の URL アイコンを右クリックします。
 3. [許可リストに追加] を選択します。
または
[制限リストに追加] を選択します。
 4. 許可または制限サイトに URL アイコンと説明が表示されます。

許可または制限サイトから URL を削除する

1. リストから URL を削除するには、URL を選択してハイライトして×をクリックします。または、リストボックスを右クリックして、[ウェブサイトの削除] を選択します。

許可または制限ウェブサイトを適用するには

制限は生徒単体または接続中の全生徒に適用することができます。

1. 生徒単体に対して制限を適用したい場合は、リストビューでアイコンを選択します。
2. 制限を適用するには、コントロールツールバーの[クラス][Web アクセス]欄のアイコンをクリックして、[許可サイト] または [制限サイト]を選択します。
3. どの制限が起動したか確認できるように生徒アイコンの隣にインジケータが表示されます。
4. もし生徒が起動した制限リストにあるウェブサイトを表示した場合、画面に URL が先生によって遮断されたことを知らせるメッセージが表示されます。

注意:

- 制限されたウェブサイトが転送される URL を変更できます。コントロールウィンドウのメニューから [オプション][ネットワーク設定][管理 - セキュリティ] を選択して[ウェブサイトが転送される転送先 URL]欄に対象の URL を入力します。
 - インターネットのリダイレクトは Edge、Firefox、Chrome に対応しています。その他のブラウザでは、ブラウザウィンドウが閉じます。
 - 特定のインターネット許可が適用される制限時間を指定できます。[ウェブ][制限時間アクセス] を選択します。制限時間が過ぎると許可は [アクセス禁止] に切り換わります。
-



許可または制限ウェブサイトの制御を解除する

1. 生徒単体の制限を解除するには、リストビューで生徒アイコンを選択します。
2. メニューから [クラス][Web アクセス]欄の[制限なし] を選択します。
3. 選択した生徒アイコンから緑または赤のインジケータが消えます。

注意: インターネットブラウザは、キャッシュメモリーに最近のウェブアクセスの結果を保持します。その為、インターネットの制限を解除してもすぐに有効にならない場合があります。この問題が生じた場合は、ブラウザを再起動する必要があります。ブロックされているサイトにインターネットアクセスを必要とするアプリケーションを使用している場合、同じ状況が発生する可能性があります。制限を解除した場合、変更を認識するためにアプリケーションを再起動する必要があります。

すべてのウェブアクセスを禁止する

1. 生徒にウェブサイトのアクセスを禁止するには、リストビューで生徒アイコンを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][Web アクセス]欄の[アクセス禁止]を選択します。

新しい URL リストを作成する

1. 新しい URL リストを作成するには、[クラス][オプション][Web サイトのリスト][新規作成] [新規作成] を選択します。
2. ダイアログが表示されます。ファイル名を入力して保存をクリックします。
3. 新しい URL リストが表示されます。

注意: デフォルトの URL リストは EdClass.web です。

既存の URL リストを開く

1. URL リストを開くには、[クラス][オプション][Web サイトのリスト][開く] を選択します。
2. ファイルを選択して [開く] をクリックします。
3. URL リストが表示されます。

URL リストを保存する

1. URL リストを保存するには、メニューから [クラス][オプション][Web サイトのリスト][名前を付けて保存] を選択します。
2. ダイアログが表示されます。[名前を付けて保存] をクリックします。
3. 現在の URL リストが保存されます。

注意:

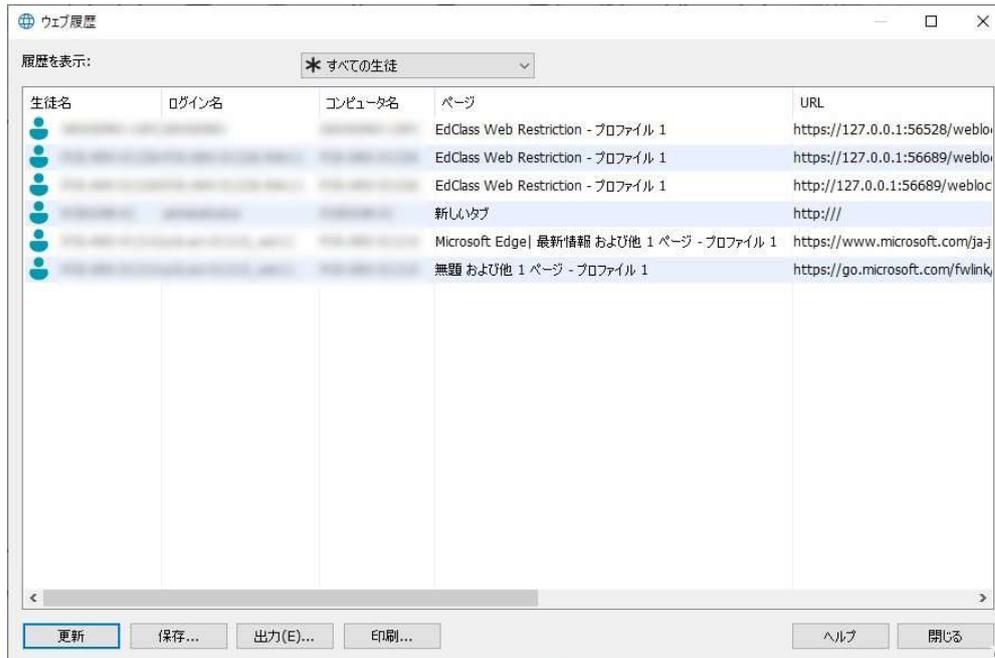
- ウェブリストで行った変更は新しいリスト作成時または EdClass プログラム終了時に自動的に保存されます。
 - デフォルト URL リストは EdClass.web です。
 - 許可ウェブサイトは学習ノートに追加できます。メニューから [ウェブ][学習ノートに追加]を選択、または [ウェブサイトを学習ノートに追加] アイコンをクリックします。
-

ウェブ履歴を表示する

接続中の生徒が見たウェブサイトをモニタリングできます。記録を保存または印刷が可能です。

1. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][オプション][履歴] を選択します。
2. ウェブ履歴ダイアログが表示されます。

接続中に生徒が閲覧したサイトの詳細を表示します。



次のオプションが使用できます:

履歴を表示

選択した生徒またはすべての生徒のリストを表示できます。

更新

リストを表示中に更新をクリックすると、表示内容を最新の情報に更新します。

保存

切断前に表示内容をテキストファイルで保存することができます。

出力

CSV ファイルとしてデータをエクスポートします。

印刷

表示中の内容を印刷します。

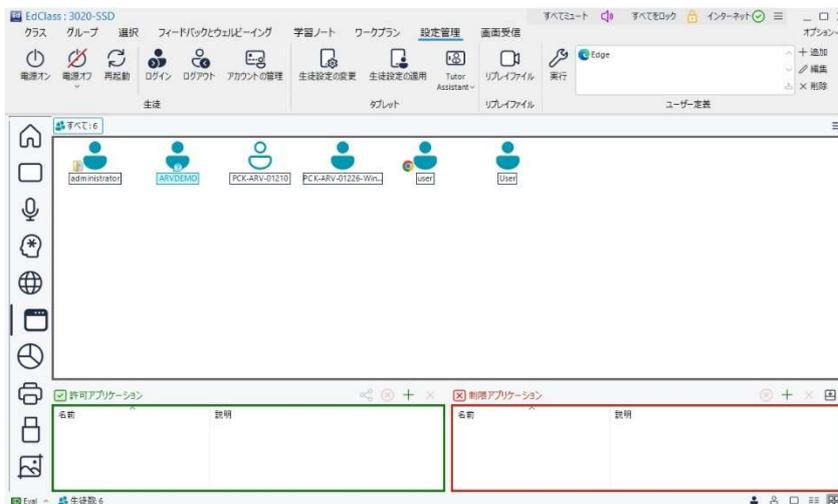
閉じる

履歴ダイアログを閉じます。しかし、コントロールが接続中は引き続き詳細を記録します。

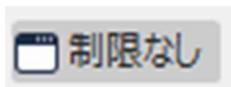
アプリケーションの管理

アプリケーションの管理画面は、接続中の生徒が使用しているアプリケーションの管理と制御ができます。授業中に使用したアプリケーションの履歴を保存し、先生は必要に応じてアプリケーションの使用の制限や許可ができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから [画面受信][モード - アプリケーション] を選択します。
または
コントロールウィンドウ左側のアプリケーション管理アイコンをクリックします。



アプリケーションモードでは許可/制限アプリケーションの詳細の確認とアイコンを使用して以下の操作ができます。



アプリケーションの制限が行われている場合に通常アクセスに戻します。



許可アプリケーションリストを有効にします。生徒は許可リスト内のアプリケーションしか実行できません。他の全アプリケーションは実行できなくなります。



“制限アプリケーション” リストを有効にします。生徒は制限リスト内のアプリケーションを実行できなくなります。しかしその他のアプリケーションを実行することができます。

注意： グローバルポリシー制限が実施されると、アプリケーション制御アイコンの隣に施錠マークが表示されます。先生の環境設定で制限を上書きすることができます。

アプリケーション管理には次の機能を使うことができます:

生徒のコンピュータで現在実行中のアプリケーションを特定する

リストビューの生徒アイコンを数種類の異なる方法で表示することができます。[表示][大きいアイコン/ 詳細]を選択するか リストビューを右クリックして表示オプションを選択して生徒アイコンのレイアウトを変更します。

[大きいアイコン] または [詳細] で表示時は、現在使用中のアプリケーションが生徒アイコンの隣に表示されます。

大きいアイコン



詳細

名前	現在のアプリケーション	起動中のアプリケーション
	ドキュメント	
	レジストリ エディター	

アプリケーションが許可または制限リスト内にリストされている場合、緑（許可）または赤（制限）の境界線がアプリケーションアイコンの周りに表示されます。

リストビューが [詳細] レイアウトの場合、生徒で実行中の他の全アプリケーションのリストも表示されます。

4種類の表示オプションのどれか1つで表示すると、生徒とアプリケーションアイコンの並び順を先生はアレンジすることができます。リストビュー内で右クリックして、[並べ替え]を選択します。次のオプションでアイコンを並べ換えることができます:

名前順	生徒のアイコンがクライアント名/表示名/ログイン名の順に配置されます。
現在のアプリケーション順	生徒アイコンが現在のアプリケーションの順に配置されます。
起動中のアプリケーション順	生徒アイコンが生徒のコンピュータで起動中のアプリケーション順に配置されます。
ポリシー順	テックコンソールで設定された現在のポリシー設定に応じて、生徒アイコンがアルファベット順に配置されます。ポリシーが実施されている場合にだけ、このオプションは表示されます。

上記オプションのどれを選択しているか黒いドットで確認できます。

アイコンの自動整列	リストに新しい生徒が追加された場合、もしくは生徒のコンピュータで新しいアプリケーションが実行されている場合、前に選択した上記順番で自動的に配置されます。黒のチェックマークはこのオプションが選択されていることを意味します。このオプションを解除するには、“自動配列”を再クリックします。するとチェックマークが消えます。
昇順	このオプションが選択されている場合は、生徒アイコンは前に選択した上記オプションで昇順に並び換えます。黒のチェックマークはこのオプションが選択されていることを意味します。このオプションを解除するには、“昇順”を再クリックします。するとチェックマークが消えます。降順に生徒アイコンを配置します。
画像を中央に揃える	画像の中央に生徒アイコンを整列します。背景画像が並べて表示するように設定されている場合にのみ、このオプションを利用することができます。

生徒のコンピュータで実行中のアプリケーションを閉じる

先生は 2 通りのオプションで生徒のコンピュータのアプリケーションを終了することができます。

閉じる アプリケーションを閉じますが生徒側にダイアログが表示されます。
例: 閉じる前にファイルの保存ダイアログが表示されます。

強制終了 アプリケーションを強制終了します。ファイルの保存ダイアログは表示されません。



1. 生徒のコンピュータで実行中のアプリケーションを閉じるには、リストビューで右クリックし[詳細]を選択します。
もしくは
コントロールウィンドウの[画面受信][詳細]アイコンをクリックします。
2. 詳細リストビューが表示されます。
3. リストビューの [現在のアプリケーション] または [起動中のアプリケーション] のアプリケーションアイコンを右クリックします。
4. [閉じる] または [強制終了] を選択します。
5. 生徒のコンピュータのアプリケーションを閉じます。リストビューからアイコンが消えます。

注意: 許可または制限リスト内のアプリケーションを右クリックすることで接続中の全生徒で実行中のアプリケーションを閉じることができます。

生徒側のすべてのアプリケーションを閉じる

生徒側で動作しているすべてのアプリケーションを強制的に閉じます。

1. アプリケーションを閉じたい生徒を選びます。
2. ツールバーの[クラス][生徒デスクトップ]アイコンを選びます。
3. [デスクトップのクリア]をクリックして、[はい] をクリックします。

生徒のコンピュータで現在アクティブなアプリケーションを変更する

1. 生徒のコンピュータで現在アクティブなアプリケーションを変更するには [画面受信][詳細] を選択します。
2. 詳細リストビューが表示されます。
3. [実行中のアプリケーション] の一覧のアプリケーションアイコンを右クリックします。
4. [手前に表示] を選択します。
5. 生徒のコンピュータで現在アクティブなアプリケーションが新たに起動したアプリケーションと入換ります。
6. [現在のアプリケーション] のアイコン が新しく起動したアプリケーションアイコンと入れ換わります。

接続中の全生徒でアプリケーションを起動する

1. 許可アプリケーションリストのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. [アプリケーションの起動] を選択します。
3. 接続中の全生徒のコンピュータでアプリケーションが起動します。
4. リストビューには起動したアプリケーションのアイコンが現在のアプリケーションリストに表示されます。

または

1. 許可アプリケーションリストのアプリケーションをハイライトします。
2. リストビューにこのアプリケーションのアイコンをドラッグ & ドロップします。
3. 接続中の全生徒のコンピュータでアプリケーションが起動します
4. リストビューには起動したアプリケーションのアイコンが現在のアプリケーションリストに表示されます。

許可または制限アプリケーションを設定する



許可アプリケーション

生徒はこのリストで指定されたアプリケーションしか実行できません。



制限アプリケーション

生徒はこのリストで指定されたアプリケーションは実行できません。

注意: コントロールウィンドウのメニューから [スクール][環境設定][制限] にて、アプリケーションの制限を、先生プログラムの起動時に適用することができます。

許可または制限リストにアプリケーションを追加する

1. +をクリックしてリストにアプリケーションを追加します。
または
リストボックスを右クリックして [アプリケーションの追加] を選択します。
2. アプリケーション追加ダイアログが表示されます。



3. アプリケーション欄に.exe ファイル名を入力します。(例: winword.exe)または参照してアプリケーションを選択します。
4. 説明を入力します。例: Microsoft ワード
5. OK をクリックします。

6. アプリケーションのアイコン、名前、説明が許可/制限リストボックスに表示されま
す。

または

1. メニューから [表示][詳細] を選択します。
2. リストビューの現在のアプリケーションまたは実行中のアプリケーション内のアプリ
ケーションアイコンを右クリックします。
3. 許可リストに追加を選択します。

または

制限リストに追加を選択します。

4. アプリケーションアイコンと説明が許可または制限リストに表示されます。

許可または制限リストからアプリケーションを削除する

1. リストからアプリケーションを削除するには、アプリケーションをハイライトして×を
クリックします。

または

リストボックス内を右クリックし、[アプリケーションの削除] を選択します。

注意: デフォルトアプリケーションリストは EdClass.app です。

許可または制限リストを適用する

各生徒または接続中の全生徒に対して制限を適用することができます。

1. 各生徒に制限を適用したい場合は、その生徒のアイコンを選択します。
2. 制限を適用するには、[クラス][アプリケーションへのアクセス]から[許可]もしくは
[制限]を選択します。
3. どちらかの制限が有効になると生徒アイコンの隣にインジケータが表示されま
す。(大きいアイコンで表示中のみ)。制限は赤、許可は緑で表示されます。
4. 生徒が起動した制限リストに含まれているアプリケーションを起動中の場合、アプリ
ケーション禁止ダイアログがクライアント画面に表示され、先生によりそのアプリ
ケーションが禁止されたことを知らせます。制限リストに含まれているアプリケーシ
ョンを実行しようとしてもこの画面が表示されます。



許可または制限アプリケーションを解除する

1. 個々の生徒に対して制限を削除するには、リストビューで生徒のアイコンを選択します。
2. [クラス][アプリケーションへのアクセス]から[制限なし]を選択します。
3. 選択した生徒のアイコンから緑または赤のインジケータが消えます。

注意: 制限を解除してもすぐに有効にならない場合があります。変更を適用するにはアプリケーションを再起動する必要があります。

新しいアプリケーションリストを作成する

1. 新しいアプリケーションリストを作成するには、[クラス][オプション][アプリケーションのリスト][新規作成]を選択します。
2. ダイアログが表示されます。ファイル名を入力して保存をクリックします。
3. 新しいアプリケーションリストが表示されます。

注意: アプリケーションリストは違うコントロールユーザーにアサインすることができます。先生プロファイルで設定します。詳しくは本マニュアル「先生プロファイル」を参照してください。

アプリケーションリストを開く

1. アプリケーションリストを開くには、[アプリケーション][開く]を選択します。
2. ファイルを選択して開くをクリックします。
3. アプリケーションリストが表示されます。

アプリケーションリストを保存する

1. アプリケーションリストを保存するには、[アプリケーション][名前を付けて保存]をクリックします。

EdClass15.10

2. ダイアログが表示されます。ファイル名を入力して、保存をクリックします。
3. 現在のアプリケーションリストが保存されます。

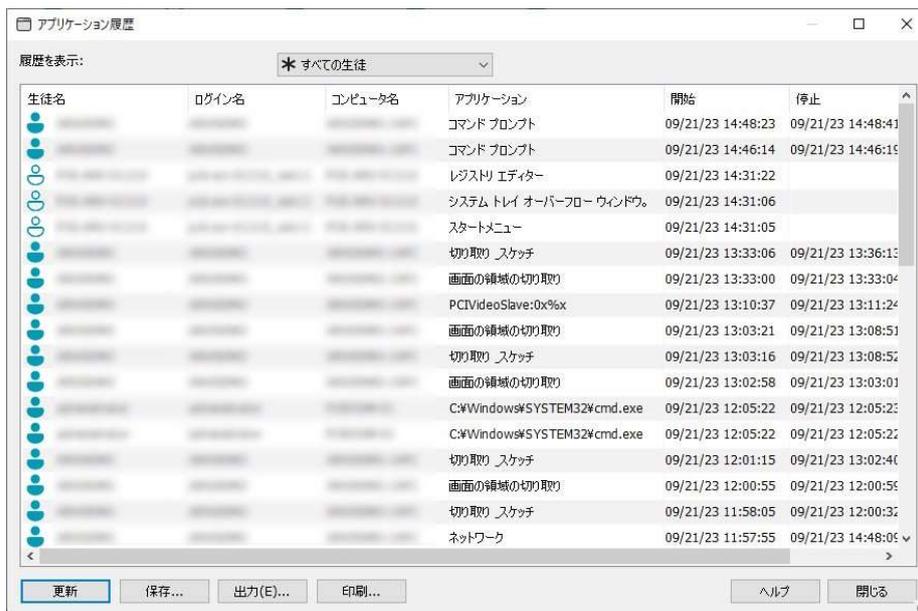
注意:

- アプリケーションリストで行った変更は新しいリスト作成時または EdClass プログラム終了時に自動的に保存されます。
 - デフォルトのアプリケーションリストは EdClass.app です。
-

アプリケーション履歴を表示する

この機能は接続中の生徒が使用したアプリケーションをモニタできます。必要に応じて記録を保存または印刷できます。

1. アプリケーションモードでコントロールウィンドウのメニューから [クラス][オプション][履歴] を選択します。
2. アプリケーション履歴ダイアログが表示されます。
最近までの生徒が使用したアプリケーションの詳細が表示されます。



次のオプションが利用可能です:

アプリケーション履歴を表示する:

リストは選択した生徒またはすべての生徒で表示可能です。

更新

リストを表示中に更新をクリックすると情報をアップデートできます。

保存

表示内容の記録を保存するには、切断前にテキストファイルに詳細を保存することができます。

印刷

表示内容の詳細を印刷します。

出力

CSV ファイルとしてデータをエクスポートします。

閉じる

履歴ダイアログを閉じます。しかしコントロールが接続中の間は詳細を記録し続けます。

アンケート

アンケートツールは先生が授業終了時に生徒から簡単な意見を回収するためのツールです。先生は接続中の生徒に質問と予め用意した回答の選択肢を送信します。生徒の回答は先生に回収され、全体のパーセンテージまたは生徒単体の回答の結果を表示します。

解答ごとに生徒を一時的に「グループ化」することもできます。一目で誰が同じ答えを選択したか把握できます。補足問題や特定の生徒にメッセージが必要な時に便利です。生徒には結果は円グラフで表示されます。結果を表示する前に、必ず回答している必要があります。

The screenshot shows the EdClass 3020-SSD interface. At the top, there is a menu bar with various icons and labels. Below the menu, there is a list of students with icons representing their status. A poll question is displayed in the bottom left, and the results are shown in a bar chart in the bottom right.

回答	パーセント
はい	50.0%
いいえ	16.7%
どちらでもない	33.3%

生徒にアンケートを送信するための基本手順:

1. コントロールウィンドウのメニューから [画面受信][アンケート] を選択します。
または
コントロールウィンドウの左側のアンケートアイコンを選択します。
2. アンケート対象の生徒を選択します。対象はリストビュー内の全生徒、選択した生徒、生徒のグループになります。
3. ボックス内に質問を入力します。
4. 質問の回答を選択します。既定のリストから選択するか、自分で回答を入力することができます。カンマで区切って最大 6 つの選択肢を入力することができます。
5. コントロールウィンドウのメニューから [アンケート][送信] を選択して生徒にアンケートを送信します。

生徒のコンピュータに問題と回答が表示されます。生徒は自分で回答を選択して返信します。

アンケート

質問:
今日の内容は理解できましたか?

回答:

理解できた	少し理解できた
少しわからなかった	全く理解できなかった

6. 生徒が回答を返信するとアンケート結果ウィンドウに各回答のパーセンテージを表示します。アイコン表示で各生徒が何を答えたか確認できます。コントロールウィンドウのメニューから [画面受信][詳細] を選択すれば結果順に生徒を並べ換えることができます。
7. アンケートが完了したら、コントロールウィンドウのメニューから [クラス][アンケートをキャンセル] を選択して画面から削除します。

注意: アンケートは生徒が回答した、しないに関わらず全コンピュータからクリアされます。

アンケート結果を生徒に表示する

1. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][結果を表示] を選択します。
2. 生徒の画面にアンケート結果が表示されます。
3. [結果を表示]アイコンをもう一度クリックすると、生徒画面からアンケート結果を非表示にできます。
また、生徒を選択してから[結果を表示]アイコンをクリックすると、選択した生徒の画面からのみアンケート結果を表示・非表示にすることができます。

アンケート結果を保存する

アンケートは、CSV 形式のファイルに保存できます。

1. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][アンケートリスト][保存] を選択します。

アンケート結果を印刷する

アンケートをクリアする前に、結果を記録として印刷することができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから[クラス][印刷]を選択します。

注意: 生徒の結果を学習ノートに追加することができます。コントロールウィンドウのメニューから [アンケート][学習ノートに結果を追加] を選択するか、「学習ノートに結果を追加」アイコンをクリックします。

アンケートリスト

アンケートはアンケートリストに追加することで再使用が可能です。デフォルトのリスト名は EdClass.sul です。異なるタイプの質問をカテゴリ別に管理したい場合はオリジナルのリストを作成することができます。

アンケートリストを作成する

1. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][アンケートリスト][新規] を選択します。
2. ファイル名を入力して作成をクリックします。
3. 新しいアンケートがリストに追加されます。

アンケートリストを開く

1. アンケートビューでコントロールウィンドウのメニューから [アンケートリスト][開く] を選択します。
2. リストを選択して開く をクリックします。

アンケートリストを使用する

開いたアンケートリストに新しい質問や前の質問や回答を管理することができます。

アンケートリストに新しい質問を追加する

1. アンケート画面で質問を入力してリストから回答を選択します。またはデフォルトの回答が適切でない場合は新しい選択肢を追加します。
2. 生徒にアンケートを送信します。アンケートは自動的にリストに保存されます。または、すぐにアンケートを送信せずに、コントロールウィンドウから [クラス][質問] アイコンをクリックし、アンケートの問題と回答を作成後、[追加] ボタンをクリック後 [OK] をクリックします。

アンケートを使用するには

1. コントロールウィンドウから [クラス][質問] アイコンをクリックします。質問ダイアログが表示されます。

2. リストから質問を選択して OK をクリックします。
3. アンケート画面に生徒に送信可能な質問が表示されます。

質問と回答を管理する

既存のアンケートを選択できるだけでなく、質問選択ダイアログは新しい質問/回答を追加し、既存の質問/回答を編集することもできます。

1. アンケートリストに質問がない場合は、ボックス内に新しい質問と回答を入力して追加をクリックします。
または
既存の質問を編集するには、リストから選択して質問と回答を変更して追加をクリックします。

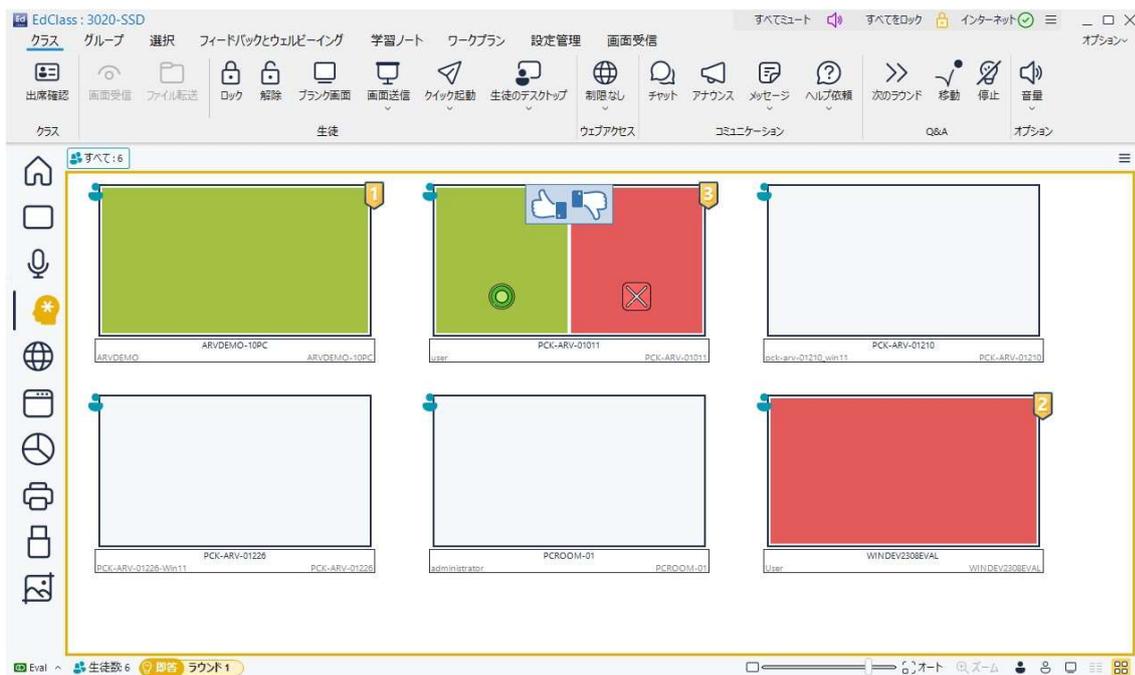
注意： 質問を変更した場合、オリジナルの追加としてリストに追加されます。回答だけを変更した場合はオリジナルを上書きします。

2. アンケートの質問を使用するには、リストから選択して OK をクリックします。
3. アンケート画面に生徒に送信可能な質問が表示されます。

注意： アンケートでカスタム回答を使用する場合は質問にのみ添付されます。他のアンケートでも回答を使用したい場合はリストに追加する必要があります。
[管理] をクリックすると、回答管理ダイアログが表示されます。必要な回答を入力して [追加] をクリックします。

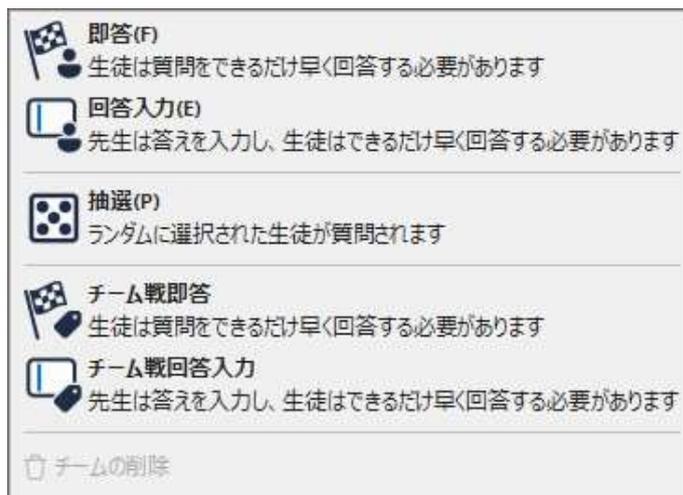
質疑応答モード

質疑応答モジュールは、先生が学習ポイントを強化し、授業中に生徒の理解を即座に把握できるコラボレーションツールです。口頭でクラス全体に質問し、生徒の回答と理解を判定できます。個人やグループに対する評価の追跡だけでなく、相互評価の機会を構築することが可能です。



1. コントロールウィンドウのメニューから [画面受信][モード - Q&A] を選択します。
または
コントロールウィンドウ左側の質疑応答コントロールアイコンをクリックします。
2. [クラス][質問の種類]アイコンをクリックすると、質問の種類ダイアログが表示されます。

5 種類の質問から選択できます。



即答

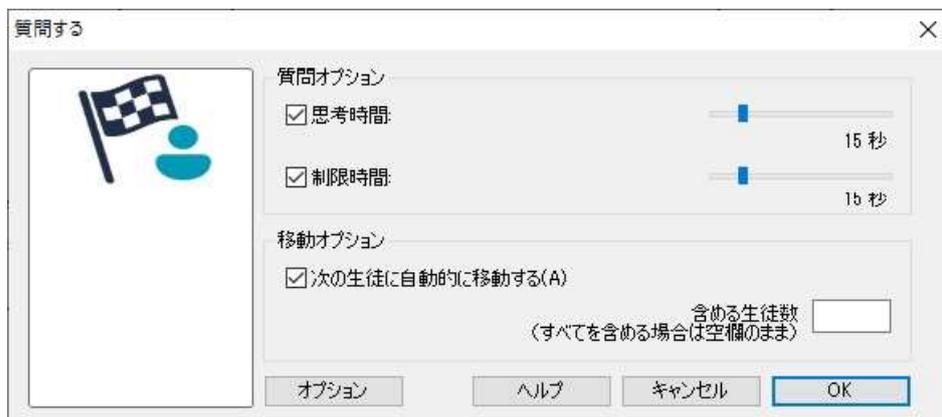
回答入力

抽選

チーム即答

チーム回答入力

3. 質問の種類を選びます。
4. ダイアログが表示されます。必要なプロパティを設定して OK をクリックします。



5. Go をクリックして、質疑応答セッションを開始します。
6. 先生コンソールに生徒の縮小画面を表示され、回答者の確認と答え合わせができます。
7. 生徒側に現在の質問の種類と付与された評価を表示する質疑応答ダイアログが表示されます。生徒は、各質問のすべての生徒の状態を確認することができます。生徒に結果を表示することを選択することもできます。これは質疑応答オプション

ョンダイアログで設定することができます。

質疑応答- 即答

先生が口頭で質問し、生徒は答えをクリックします。最初の上位何人かの回答者が表示され、一番早かった生徒に回答権があります。正解か不正解かで、報酬を増減することができます。

注意: ダイアログで「自動的に次の生徒に移す」オプションを選択することで、複数の生徒が選択されている場合、自動的に回答権を次に早かった生徒に移すことができます。

思考時間を適用することができます。この間は回答ボタンが表示され、生徒はクリックする前に答えを考える時間が与えられます。回答の制限時間を設定することもできます。

すべての生徒が公平に回答できるように、生徒がすでに回答している場合は、次のラウンドからその生徒を除外するように選択することもできます。

質疑応答- 回答入力

先生は事前に質問の答えを入力して、口頭で質問をします。生徒にはその答えを入力するプロンプトが表示されます。結果は即座にクラスに表示され、報酬が増減されます。

注意: 正解に大文字と小文字を区別するかどうか設定可能です。

思考時間を適用することができます。この間は回答ボタンが表示され、生徒はクリックする前に答えを考える時間が与えられます。回答の制限時間を設定することもできます。

すべての生徒が公平に回答できるように、生徒がすでに回答している場合は、次のラウンドからその生徒を除外するように選択することもできます。

質疑応答 - 抽選

回答する複数の生徒をランダムで抽選し並べて表示します。そこから1人の生徒がランダムで選ばれ、先生が口頭で質問し、生徒がそれに回答します。正解か不正解によって、報酬を増減することができます。別の生徒にランダムで回答権が移るオプションもあります。

EdClass15.10

注意: ダイアログで「自動的に次の生徒に移す」オプションを選択することで、複数の生徒が選択されている場合、自動的に回答権を次に早かった生徒に移すことができます。

生徒が正解を回答した場合、次の生徒をランダムで選ぶことが可能です。

注意: 生徒がすでに答えている場合、このセッション中に再びランダムで選択しません。

コントロールウィンドウのメニューから [生徒][ランダムに生徒を選択] を選ぶことで生徒をランダムに選ぶこともできます。

質疑応答 - 先生インターフェース

問題の種類を選びオプションを選択すると、先生に生徒画面が表示されます。この画面上でだれが応答したか確認し、より簡単に答えを判定することができます。

縮小画面のサイズのカスタマイズ

縮小画面は好みに合わせてサイズ変更が可能です。

1. コントロールウィンドウ下部にあるサイズアイコンのスライダーを使用します。

縮小画面の自動サイズ調整

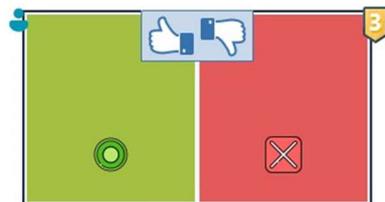
表示中の縮小画面のサイズをウィンドウに合うように自動調節します。

1. ウィンドウ下部の [オート] アイコンをクリックします。

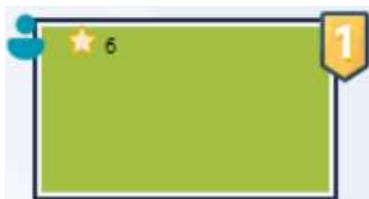
先生側では次のアイコンが表示されます。



生徒はまだ答えていません。



生徒が回答した状態です。チェックまたはバツをクリックして答えが正解か不正解か採点します。親指アップ/ダウンボタンをクリックすると、クラスの残りが答えを相互評価することができます。黄色い番号は、この生徒が一番早く答えていることを示しています。



生徒が正解した状態です。生徒が現在獲得している星の獲得数も表示されます。



生徒が不正解の状態です。生徒が現在獲得している星の獲得数も表示されます。

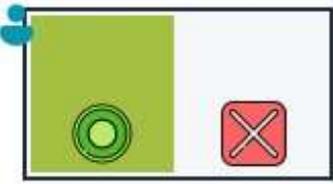
EdClass15.10



生徒はラウンドから除外されている状態です。



生徒が答える前に回答入力で時間切れになった状態です。



生徒が相互評価中です。生徒の応答によって緑か赤の領域で埋まります。



生徒が相互評価モードで答えが正しいと判断した状態です。



生徒が相互評価モードで答えが間違っていると判断した状態です。



抽選問題中はこの状態で生徒アイコンが点減します。大きな「？」が生徒の画面にも表示されます。

質疑応答モジュールを使用する

質疑応答セッションが始まると、誰が応答しているか確認し、またマルかバツをクリックすることで生徒の回答を採点することができます。正解に評価が与えられ、不正解には評価を差し引くことができます。質疑応答オプションダイログでこれらのオプションを設定することができます。生徒はダイログで、現在の評価を確認することができます。

注意： コントロールウィンドウから生徒アイコンを右クリックし、[評価を付与]もしくは[評価を削除]をクリックします。質疑応答セッションの外部で評価を増減することができます。

質問は議論を奨励するようにクラス内で移動することができます。生徒の回答が正しいかどうかを判断するために、他の生徒に答えを相互評価するように要求することもできます。

コントロールウィンドウのメニューから [次のラウンド] を選ぶことで、次のラウンドに移動することができます。現在の質問の種類の新しいセッションは、[停止]をクリックすることで、現在の質問の種類を停止、生徒コンピュータの質疑応答ダイログをクリアすることができます。

生徒を除外する

すべての生徒が均等に参加できるように、既に質問に回答している特定の生徒を次のラウンドから除外するように選択することができます。

質疑応答オプションダイログでどちらかの除外オプションが選ばれている場合、生徒はラウンドから自動的に除外されます。生徒を手動で除外することもできます。生徒を右クリックして ラウンドから生徒を除外 を選びます。

サウンドエフェクト

先生と生徒側でサウンドエフェクトを再生することができます。生徒が答えると先生側で、回答ダイログが表示されると生徒側で再生されます。ランダムで生徒を選択、思考時間または制限時間が 5 秒と 2.5 秒の時には両方でサウンドが再生されます。サウンドエフェクトはデフォルトでオンになっています。

1. コントロールウィンドウから[クラス][音量]アイコンをクリックします。
2. 先生または生徒側でサウンドエフェクトをオン/オフの関連オプションを選択します。

3. スライダーを使用して音量を調整します。必要に応じて生徒の音量を固定することができます。

質問を移動する

クラス全体で議論を奨励するため、回答や前の回答に関して意見がある場合、次の生徒に質問を移動することができます。

注意： 複数の生徒が選択されているときに、即答と抽選質問の種類の質問だけ移動することができます。

質問は、マルまたはバツをクリックしてすぐに反応した次の生徒に自動的に移動できます。ダイアログで次の生徒に自動的に移動するオプションを選択します。質問は、指定した回数だけ生徒に移動します。

手動で質問を移動する

自動的に移動オプションを選択していない場合でも、次の生徒に質問を移動することができます。

1. コントロールウィンドウのメニューから [クラス][Q&A - 移動] を選択します。
または、
生徒を右クリックして、[質問を移動する]を選びます。

質問が移動すると、誰に回答権がありどこから来たかを表示します。次の生徒が回答して、回答しているすべての生徒が含まれるまで生徒クラス全体で続けることができます。

相互評価

相互評価は、生徒がクラスメイトの 1 人の回答に対してフィードバックすることができます。

質問が回答された後に、ボタンをクリックすることで回答を評価するようにクラスの残りの生徒に要求することができます。回答が正解か不正解かを求めるダイアログが生徒の画面に表示されます。生徒が答えると、その回答が正解か不正解と思う生徒の数を先生側の生徒の縮小画面に表示します。

質疑応答チームモード

チームモードを使用することで、個人ではなくグループ単位で報酬を競うことができます。チームはランダムで作成するか生徒が参加するチームを選ぶことができます。チーム名を作成し、チームに割り当てる色をカスタマイズすることができます。

チームモードを使用する

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから [クラス][質問の種類]から[チーム戦即答]もしくは[チーム戦回答入力]を選択します。
2. 質問するダイアログの必要な質問のプロパティを選びます。OK をクリックします。
3. チーム作成ダイアログが表示されます。

チームを作成する

チームをランダムで作成、生徒に自分のチームを選択させる、または現在のグループをチームとして使用します

ランダムで振り分ける

チーム数:

生徒に自分のチームを選択させる

チーム名:

この一覧から生徒は選択します。「」で名前を区切ります

現在のグループをチームとして使用する
(グループにいない生徒は除外されます)

ヘルプ キャンセル OK

4. チームをグループ化する方法を選びます。ランダムの場合は、チーム数を入力します。生徒がチームを選択する場合は、チーム名を入力します。生徒はリストからチームを選ぶことができます。OK をクリックします。
5. チーム概要ダイアログが表示され、各チームに何人の生徒がいるかを表示します。EdClass はランダムにチームに色を割り当てます。新しい色を選択することで変更することが可能です。
6. OK をクリックします。質疑応答セッションが開始されます。

先生の画面は、各生徒がどのチームにいるか表示します。デフォルトのグループバーがチームを含むものに置き換えられます。チームの情報が質疑応答ダイアログの生徒に表示されます。報酬は、個人ではなく現在のチームに授与されます。

プリンタの管理機能

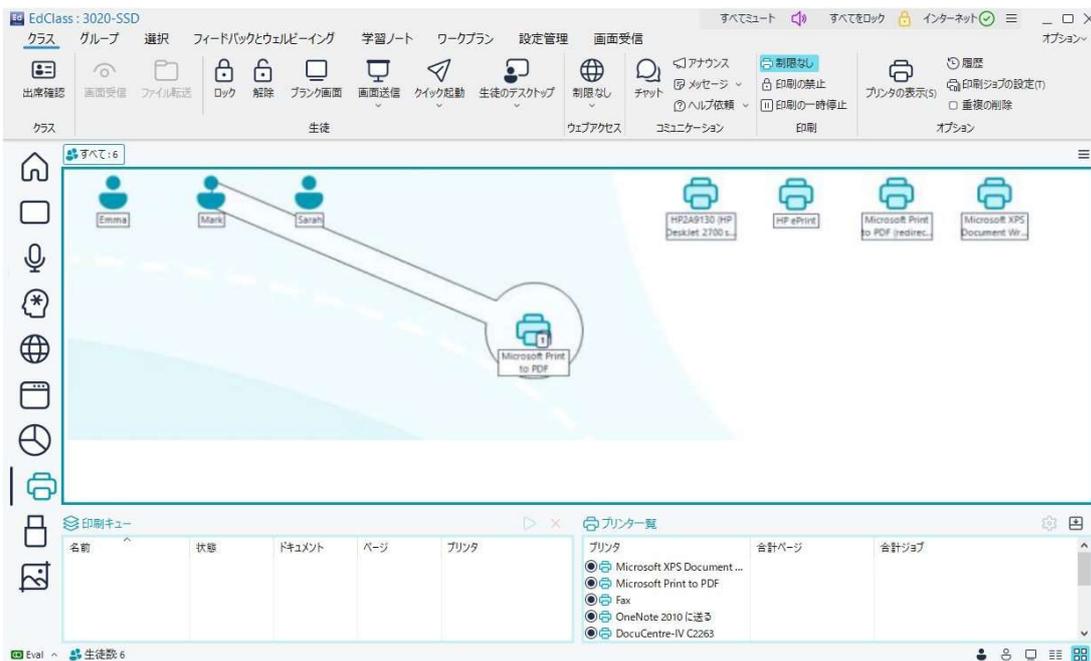
印刷管理機能により教室内のプリンタの使用をコントロールできます。先生は、接続された生徒による印刷を監視し、コントロールできます。生徒の印刷を禁止したり、ページ制限を指定したり、印刷時の先生の許可を設けることができます。

印刷管理機能は教室内の複数のプリンタに対応し、追加、削除、既存のプリンタの変更を防止し、生徒の印刷履歴を記録できます。

注意：

- 先生が接続する前に、プリンタは生徒に追加されている必要があります。
- グローバルポリシー制限が実施されると、印刷アイコンの隣に施錠マークが表示されます。先生の環境設定で制限を上書きすることができます。

1. コントロールのメニューから [画面受信][モード - プリンタ] を選択します。
または、
コントロールの左にあるプリンタ管理のアイコンをクリックします。



リスト表示にて、いくつかの方法で生徒アイコンを表示することができます。[表示] [大きいアイコン／詳細] を選択するか、リスト表示の空白部分で右クリックして、オプションから1つを選択し、生徒アイコンのレイアウトを変更します。

「大きいアイコン」のレイアウトを表示しているときは、現在の印刷状況を先生に知らせるため、生徒アイコンの横にアイコンが表示されます。リスト表示が「詳細」レイ

ウトを表示していると、各生徒の印刷状況の内容が表示されます。

先生プログラムの他のエリアでもプリンタの利用状況を確認するには、コントロールウィンドウのメニューから [クラス][プリンタの表示] を選択します。プリンタアイコンがどの表示モードでも表示されるようになり印刷の一時停止、削除、再開が可能になります。

注意:

- プリンタの表示を選択すると、すべてのプリンタが表示されます。プリンター一覧のプリンタ隣のチェックを外すことでプリンタを削除できます。
 - 生徒が印刷をしていると、プリンタから印刷している生徒までの接続バーが表示されます。
-

プリンタ管理を使用する

プリンタは、先生が接続する前に生徒のコンピュータに追加されていなくてはなりません。生徒に接続すると、プリンタは追加、削除、変更ができません。生徒のコンピュータに接続している全プリンタが、プリンター一覧に表示されます。プリンタごとに印刷の一時停止、禁止、再開が可能です。

生徒のプリンタジョブは印刷キューに表示されます。ユーザーの状態、印刷内容、ページ数、現在の印刷ステータスが表示され、生徒の印刷を削除または一時停止を行います。

注意:

- プリンタの表示が有効になっている場合、どの表示モードのプリンタアイコンから印刷ジョブの一時停止、削除、再開が可能です。
 - 起動時に印刷制限を適用することができます。コントロールウィンドウのメニューから [オプション][ネットワーク設定][開始オプション - 制限] を選びます。
-

生徒ツールバーが有効な場合、生徒は現在の印刷ステータスを確認できます。

印刷ジョブの設定

印刷設定を適用すると、生徒が印刷可能な最大ページ数を指定することが可能です。この制限を越えて印刷しようとする、印刷ジョブは自動的に停止するか削除します。

1. コントロールのメニューから [プリンタ][印刷ジョブの設定] を選択します。
2. 印刷ジョブの設定ダイアログが表示されます。関連する設定を適用します。

印刷の一時停止

1. リスト表示から一時停止する生徒を選択してください。
2. コントロールのメニューから [クラス][印刷の一時停止] を選択します。
3. 選択された生徒の印刷ステータスは一時停止になります。

または

1. プリンター一覧で対象のプリンタを選択します。
2. 右クリックで [一時停止] を選択します。
3. 選択したプリンタでの印刷が一時停止されます。

全ての印刷を禁止

1. リスト表示から印刷を禁止する生徒を選択します。
2. コントロールのメニューから [クラス][印刷の禁止] を選択します。
3. 選択された生徒の印刷ステータスは禁止になります。

または

1. プリンター一覧で印象のプリンタを選択します。
2. 右クリックで [禁止] を選択します。
3. 選択したプリンタでの印刷を禁止します。

プリントジョブの削除

全ての印刷ジョブ、選択された印刷ジョブ、生徒の全ての印刷ジョブを削除することができます。

1. 印刷キューで印刷ジョブを選択します。
2. 右クリックをして [削除/すべて削除] を選択してください。
3. 選択された印刷ジョブが削除されます。

重複印刷ジョブの削除

1. コントロールのメニューから [クラス][重複の削除] を選択します。
2. 重複印刷ジョブは削除されます。

印刷の再開

印刷が一時停止または禁止された後に印刷を再開します。

1. リスト表示から印刷を再開したい生徒を選択します。
2. コントロールのメニューから [クラス][制限なし] を選択します。
または、
コントロールウィンドウの下にある [一時停止] をクリックします。
3. 印刷が再開されます。

または

1. プリンター一覧から対象のプリンタを選択します。
2. 右クリックして、[再開] を選択します。
3. 選択したプリンタの印刷を再開します。

注意: 印刷キューで生徒の印刷プリントを一時停止できます。必要な印刷ジョブを右クリックし [一時停止] を選択してください。

プリンタのプロパティ

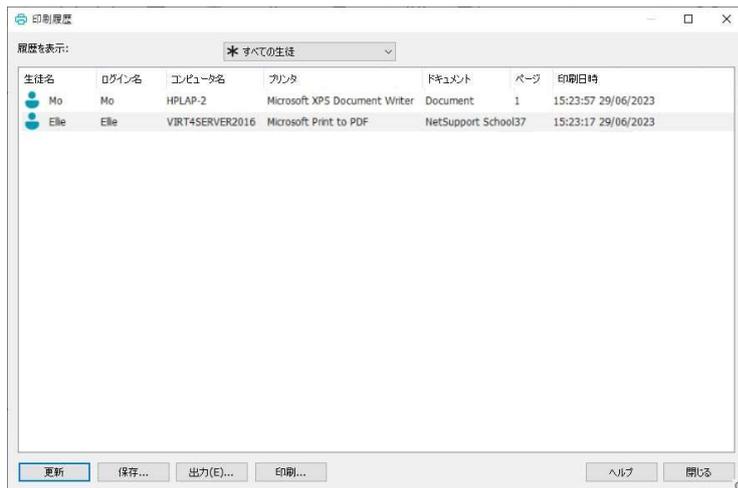
プリンタの表示名、アイコンや合計ページ数と合計ジョブ数のカウンタをリセットできます。

1. リスト表示からプリンタアイコンを選択します。
または
プリンター一覧から対象のプリンタを選択します。
2. 右クリックで [プロパティ] を選択します。
3. 該当するプロパティを変更します。

印刷履歴を表示する

接続された生徒の印刷状況を保存、または印刷が可能です。

1. プリンタ管理のメニューから [クラス][履歴] を選択します。
2. 印刷履歴のダイアログが表示されます。
接続された生徒の印刷の詳細を確認できます。



以下のオプションが利用可能です

履歴を表示

選択したクライアントまたはすべての接続クライアントをリストに表示します。

更新

リストを表示中に更新をクリックすると最新の情報に更新します。

保存

接続を切断する前に、表示内容をテキストファイルに保存できます。

印刷

表示内容を印刷します。

出力

データを CSV ファイルへエクスポートします。

閉じる

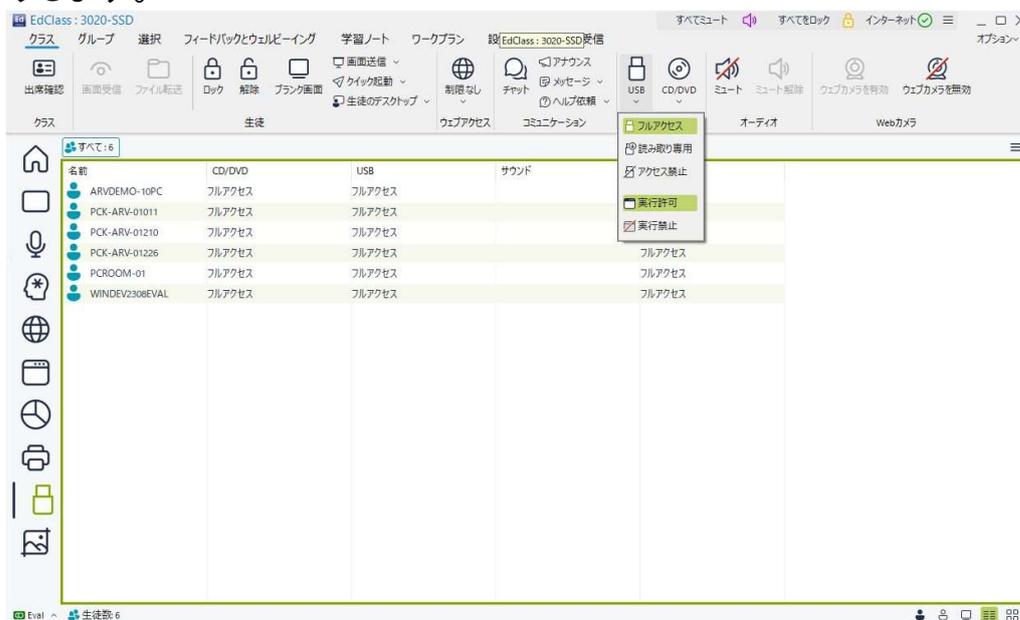
履歴ダイアログを閉じます。コントロールが接続中は記録を取り続けます。

デバイスの管理

デバイスの管理制御機能は、外部ソースに対してデータを保護することが可能です。先生は USB デバイス、CD/DVD ドライブへのデータコピー、またはローカルハードディスクへの書き込みを防止できます。また、デバイスを読み取り専用を設定することで、生徒はデバイス上のデータを参照することはできますが、ファイルをコピーすることはできません。

注意： グローバルポリシー制限が実施されると、デバイス制御アイコンの隣に施錠マークが表示されます。先生の実環境設定で制限を上書きすることができます。

1. コントロールのメニューから [画面受信][デバイス] を選択します。
または、コントロールウィンドウの左サイドにあるデバイス管理のアイコンをクリックします。



リスト表示で、いくつかの方法で生徒アイコンを表示することができます。コントロールのメニューから [画面受信] を選び [大きいアイコン／詳細] を選択するか、リスト表示の空白部分で右クリックして、オプションから 1 つを選択します。

「大きいアイコン」レイアウト表示の時には、現在のデバイス制限が生徒アイコンの横に表示されます。リスト表示が「詳細」レイアウト表示ならば、個々の生徒のデバイス制限の内容が表示されます。

注意: 起動時にデバイス制限を適用することができます。コントロールウィンドウのメニューから [オプション][ネットワーク設定][開始オプション - 制限] を選択します。

CD/DVD、USB デバイスのアクセスを禁止する

1. リスト表示で対象の生徒を選択します。
2. コントロールのメニューから [CD/DVD] アイコン、または [USB] アイコンをクリックしてアクセス禁止 を選択します。

CD/DVD、USB デバイスを読み取り専用にする

生徒の CD/DVD、USB デバイスのアクセスを読み取り専用にします。

1. リスト表示から対象の生徒を選択します。
2. コントロールのメニューから [CD/DVD] アイコン、または [USB] アイコンをクリックして読み取り専用を選びます。

無制限アクセス

生徒が CD/DVD、USB デバイスにフルアクセスできるようにします。

1. リスト表示から対象の生徒を選択します。
2. コントロールのメニューから [CD/DVD] アイコン、または [USB] アイコンをクリックしてフルアクセスをクリックします。

実行禁止

CD/DVD、USB デバイスからプログラムの実行を禁止します。

1. リスト表示から対象の生徒を選択します。
 2. コントロールのメニューから [CD/DVD] アイコン、または [USB] アイコンをクリックして実行禁止を選びます。

注意: 実行を許可するにはコントロールウィンドウのメニューから [デバイス][CD/USB - 実行許可] を選択します。

全生徒の音声をミュートにする

1. コントロールのメニューから [ミュート] を選択します。
2. 生徒の音声がミュート状態になります。

生徒のウェブカメラを無効にする

生徒のウェブカメラの使用を禁止します。

1. リスト表示から対象の生徒を選択します。
2. コントロールのメニューから [ウェブカメラを無効] を選択します。
3. 生徒のウェブカメラが無効状態になります。

注意: 実行を許可するにはコントロールウィンドウのメニューから [ウェブカメラを有効] を選択します。

先生コンソールのプロフィール

EdClass は異なるコントロールユーザーに対して複数の先生コンソールのプロフィールを設定することができます。複数のプロフィールが作成されている場合、先生コンソールを起動時にプロフィール選択画面が表示されます。

プロフィールを作成する主な利点は、アプリケーションやウェブの許可/制限リストを保存できることです。授業開始時にユーザーはそれらを作成する必要はありません。

許可/制限リストを作成したら(ウェブ管理やアプリケーション管理のページを参照してください。)、先生プロフィールに追加します。

注意: ウェブサイト、アプリケーションと同様に、レイアウト、アンケート、クライアントリスト、グループリスト、テスト結果、試験の保存場所、教室リストもプロフィールに含めることができます。

先生プロフィールを作成する

1. ウェブサイト、アプリケーションなどの情報が含まれるファイルを作成します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [オプション][ネットワーク設定][管理 - プロファイル] を選択します。既存の先生プロフィールが表示されます。EdClass がデフォルトプロフィールになります。
3. 新しいプロフィールを作成するには [追加] を選択します。新規設定作成ダイアログが表示されます。
4. プロファイル名を入力します。プロフィールの機能は既存の先生設定からコピーすることができます。OK をクリックします。名前がプロフィールリストに追加されます。
5. プロファイルの内容を変更するには、[編集] をクリックします。ファイルの場所ダイアログが表示されます。
6. 各カテゴリでプロフィールに使用するファイルを選択して OK をクリックします。

先生プログラムを起動するたびに、ローカルに保存されている選択可能なプロフィールの一覧が表示されます。ネットワークを介してプロフィールを共有したい場合は /R コマンドラインを使って利用可能なプロフィールを先生プログラムで起動することができます。

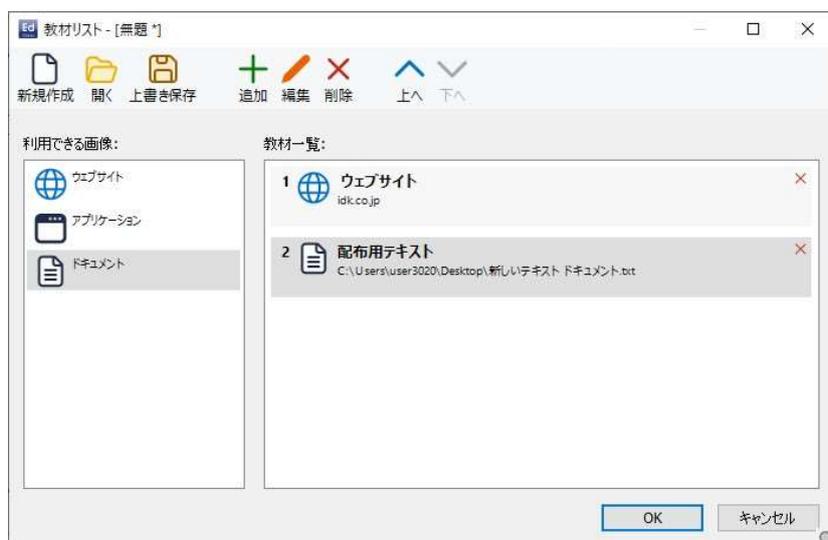
例えば、EdClass プログラムフォルダから `pcinssui/rN:¥SampleProfile.cfg` というコマンドを実行します。

この例では、もし `SampleProfile.cfg` というプロフィールが存在しない場合、デフォルトが読み込まれて自分で値を追加することができます。一度、先生プログラムを閉じるとプロフィールは指定した場所に保存されます。

生徒用教材の管理

授業で使用する教材を、生徒が簡単にアクセスできるようにします。教材リストを作成し、ウェブサイト、アプリケーション、ドキュメントへのリンクを追加できます。作成されたリストの内容は、生徒の生徒ツールバーに表示されるようになり、簡単に指定された教材にアクセスできるようになります。

本機能は、生徒ツールバーを表示している場合のみ有効になります。



教材リストの作成

1. コントロールウィンドウのメニューから、[ワークプラン][生徒用リソース]を選択します。
2. 教材リストのウィンドウが表示されます。
3. 左のリストから教材を選択し、右のリストへドラッグ & ドロップします。もしくは、ツールバーの [追加] アイコンをクリックします。教材の説明とファイルの保存場所(ウェブサイトの URL)を入力します。
4. リストの並びは、ツールバーにある矢印アイコンを使用する事で並び換えられます。
5. 保存をクリックしてリストのファイル名を指定し、保存します。保存された教材は生徒ツールバーに表示されるようになります。

学習ノート

授業中にカバーした主な内容を学習ノートに記録できます。学習ノートは、授業の内容を自習時に参照できる携帯用のPDFドキュメント形式です。先生だけがコメントや授業中に使用した素材を直接各生徒の学習ノートに追加できるだけでなく、生徒達は個人のドキュメントとして自分達のコメントを追加できます。

学習ノートは、先生用の構造的な学習要点と授業を欠席した生徒用の学習のまとめを提供します。

注意： 学習ノートを閲覧するには PDF reader が必要になります。

デフォルトでは、学習ノートは次の場所にあります。

C: ¥Users¥"ユーザー名"¥Documents¥Journal

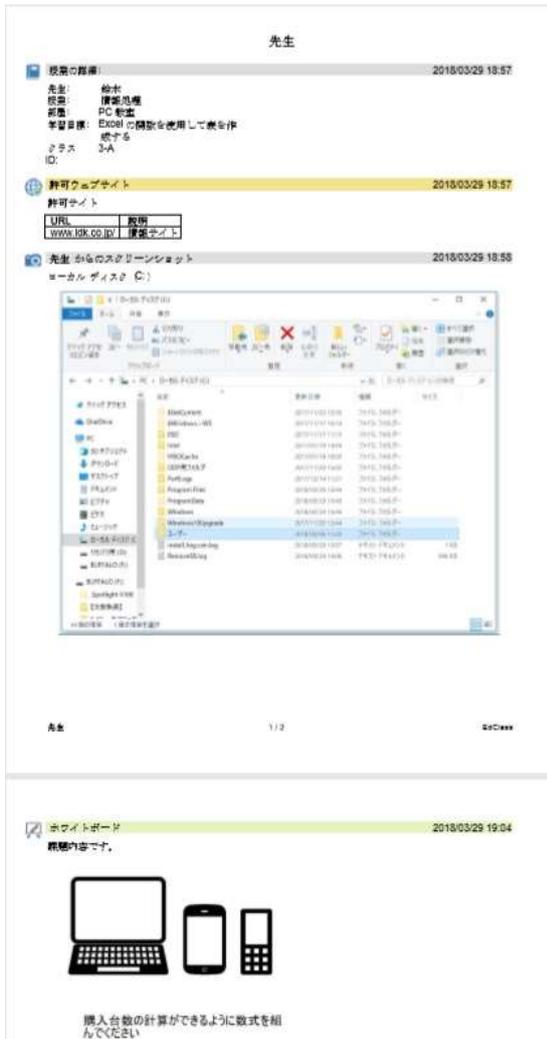
学習ノートの設定を変更するには、[学習ノート] [開始] を選択します。

学習ノートに収録できる内容：

- 授業の内容と学習目標
- 授業で利用したウェブサイトのURL
- チャット内容のコピー
- アンケート結果
- 各生徒のテスト結果
- ホワイトボードの画面
- 補足説明を付けたプレゼンテーションのスクリーンショット
- 先生のコメント
- 各生徒のコメント

注意：

- 先生コンソールを終了する際に、生徒のウェブ履歴を自動的に先生ジャーナルに保存できます。この設定を有効にするには、先生コンソールの[オプション] [設定] を選択し、「ユーザーインターフェース - 先生」にある、「生徒のウェブ履歴を先生のノートに保存する」を選択してください。
 - 生徒に報酬やステッカーが与えられると、自動的にジャーナルに追加されます。
-



学習ノートを開始する

「学習ノートに追加」オプションを選ぶと、学習ノートが自動的にスタートします。

1. コントロールウィンドウのメニューから [学習ノート][開始]を選択します。

注意:

- 先生コンソールを閉じるか、生徒が再起動した場合、現在の学習ノートは終了します。新しいエントリーは新しい学習ノートに置き換わります。
- 既存の学習ノートを開くことが可能です。メニューから[学習ノート][既存の学習ノートを開く]を選ぶか、学習ノートアイコンをクリックしてリストから以前の学習ノートを選択して開くをクリックします。

コメントを学習ノートに追加する

1. コントロールウィンドウのメニューから [学習ノート] [コメント] を選択します。
2. ダイアログが表示されます。
3. コメントを入力して、それらを送る生徒を選んだらOKをクリックします。

注意:

- すべての生徒の学習ノートに素早くコメントを追加することができます。ツールバーの学習ノートアイコンをクリックしてクイックコメントに必要なコメントを入力し、追加をクリックします。
 - 学習ノートに最後に追加した項目を削除することができます。コントロールウィンドウのメニューから [学習ノート][最後の追加を元に戻す] を選びます。
-

スクリーンショットを学習ノートに追加する

1. コントロールウィンドウのメニューから [学習ノート] [スクリーンショット] を選択します。
2. ダイアログが表示されます。
3. 「デスクトップ」をクリックすると、デスクトップ全体のスクリーンショットが取得できます。
4. 「アプリケーション」の選択ボタンをクリックすることで、リストから指定したアプリケーションのスクリーンショットが取得できます。
5. 「貼り付け」をクリックすることで、クリップボード内の画像を取得できます。
6. 必要に応じて、スクリーンショットに対するコメントを入力できます。
7. 「送る」ドロップダウンリストから、送信先の生徒を選択します。

生徒がコメント/スクリーンショットを学習ノートに追加する

生徒が学習ノートにコメントとスクリーンショットを追加できます。

1. 生徒ツールバーから、学習ノートアイコンをクリックし、「学習ノートにコメントを追加」を選択します。
または、
タスクトレイから EdClass クライアントアイコンを選択して [コマンド] [学習ノートにコメントを追加] を選択します。
2. 必要なコメントまたはスクリーンショットを入力し、「OK」をクリックします。
コメントまたは画像が学習ノートに追加されます。

注意: 生徒ツールバーと生徒アイコンが表示されていない場合、生徒が学習ノートにコメント/画像を追加することはできません。

出席確認を学習ノートに追加する

出席確認を先生のノートに追加できます。

リボンの「学習ノート」タブを選択し、「生徒登録」をクリックします。

または

リボンの「クラス」タブを選択し、「出席確認」アイコンをクリックします。

許可済みウェブサイト을学習ノートに追加する

1. リストビューから対象の生徒を選択します。
2. リボンの「学習ノート」タブを選択し、「ウェブサイト」をクリックします。
3. 必要に応じてコメントを入力し、「適用対象」ドロップダウンリストから送信対象の生徒を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

注意: ウェブ管理機能で許可ウェブサイトを設定していない場合は、ウェブサイトのプロパティダイアログが表示され、許可リストにウェブサイトを追加できます。

アンケート結果を学習ノートに追加する

アンケートを実施した場合、その結果を学習ノートに追加することができます。

1. リボンの「学習ノート」タブを選択し、「アンケート」をクリックします。
2. 結果が追加された旨のメッセージが表示されます。
3. 「OK」をクリックします。

ホワイトボードの内容を学習ノートに追加する

このオプションは、ホワイトボードが生徒に表示されている場合のみ有効です。

1. リボンの「学習ノート」タブを選択し、「ホワイトボード」をクリックします。
2. 必要に応じて、ホワイトボード画像に追加するコメントを入力します。
3. 「OK」をクリックします。

学習ノートに章を追加する

章を追加して、学習ノートをセクションごとに整理することができます。各章は新しいページで始まります。

1. リボンの「学習ノート」タブを選択します。
2. 「章」セクションに章の名前を入力し、「追加」をクリックします。

項目を削除する

学習ノートに最後に追加された項目を削除することができます。

先生の場合：

リボンの「学習ノート」タブを選択し、「最後の追加を基に戻す」をクリックします。

生徒の場合：

タスクトレイの EdClass 生徒アイコンを右クリックし、「最後の学習ノートの項目を削除」を選択します。

または

タスクトレイの EdClass 生徒アイコンをクリックし、メニューの[コマンド] [最後の学習ノートの項目を削除] を選択します。

学習ノートを表示する

1. リボンの [学習ノート] から [学習ノートの表示] を選びます。

注意： 現在の学習ノートのコピーを印刷することができます。ツールバーの学習ノートアイコンをクリックし、学習ノートの表示セクションの印刷をクリックします。

学習ノートを印刷する

現在の学習ノートのコピーを印刷できます。リボンの「学習ノート」タブを選択し、[印刷] をクリックします。

学習ノートを同期する

生徒の学習ノートが最新あることを確認するために生徒と先生の学習ノートを同期させることができます。リボンの[学習ノート]を選択し、[同期] を選びます。不足している項目は生徒の学習ノートに追加され、生徒が追加した情報には影響しません。

学習ノートを終了する

リボンの「学習ノート」タブを選択し、「終了」をクリックします。

授業プラン

授業プランは、事前に設定したタスクを適切なタイミングで起動し、入力画面を表示し、授業の構成を組み立てることができます。

テスト、教材の配布/回収、巡回、画面送信などといった EdClass の機能をプランに組み込むことができます。

レッスンプランを作成するには

1. コントロールウィンドウのメニューから [ワークプラン][プランの管理] を選択します。
2. 授業プランウィンドウが表示されます。



3. 選択できる項目リストからタスクを授業プランウィンドウにドラッグ & ドロップします。必要な項目を入力します。
4. 必要なタスクを選択したら授業プランを保存します。
5. 新しい授業プランを作成するには、ツールバーの [新しいプラン] をクリックします。保存してある授業プランを開くには、[プランを開く] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。
7. 開始ウィンドウが表示されます。授業内容、時間、作成者、説明の確認をします。
8. 授業を開始するには [OK] をクリックします。ウィンドウを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

授業プランを実行する

1. リボンから「ワークプラン」タブを選択し、「プランの実行」をクリックします。
2. 必要な授業プランを選択し、「開く」をクリックします。
3. 授業プランウィンドウの簡略版が表示され、プランに含まれるタスクが表示されます。

注意: ここからはレッスンプランのタスクを編集できません。

授業プランを管理する

授業プランを起動すると先生には進行状況を表すバーが表示されます。各タスクを実行する前に先生は継続するか中止するか選択します。どのポイントでも授業プランバーのツールを使って一時停止、次の項目にスキップ、授業プランを中止することができます。

レッスнтаイマー

事前に定義された授業プランを実行せずに、タイマー付きのセッションを行うことができます。

注意:

- バージョン 15.00 以前を実行している生徒は、レッスнтаイマーは表示されません。
 - クラスウィザードでレッスンの終了時刻を設定することもできます。
-

1. キャプションバーからレッスнтаイマーアイコンをクリックします。表示されない場合は、クイックアクセスリストの構成)アイコンをクリックして、「レッスнтаイマーを表示」を選択して追加できます。
2. 授業の時間 (15 分、30 分、45 分)を選択するか、フィールドに任意の時間を入力できます。「開始」をクリックします。
3. キャプションバーと生徒ツールバーにタイマーが表示されます。
4. タイマーをクリックすることで、10 分追加、一時停止、停止ができます。

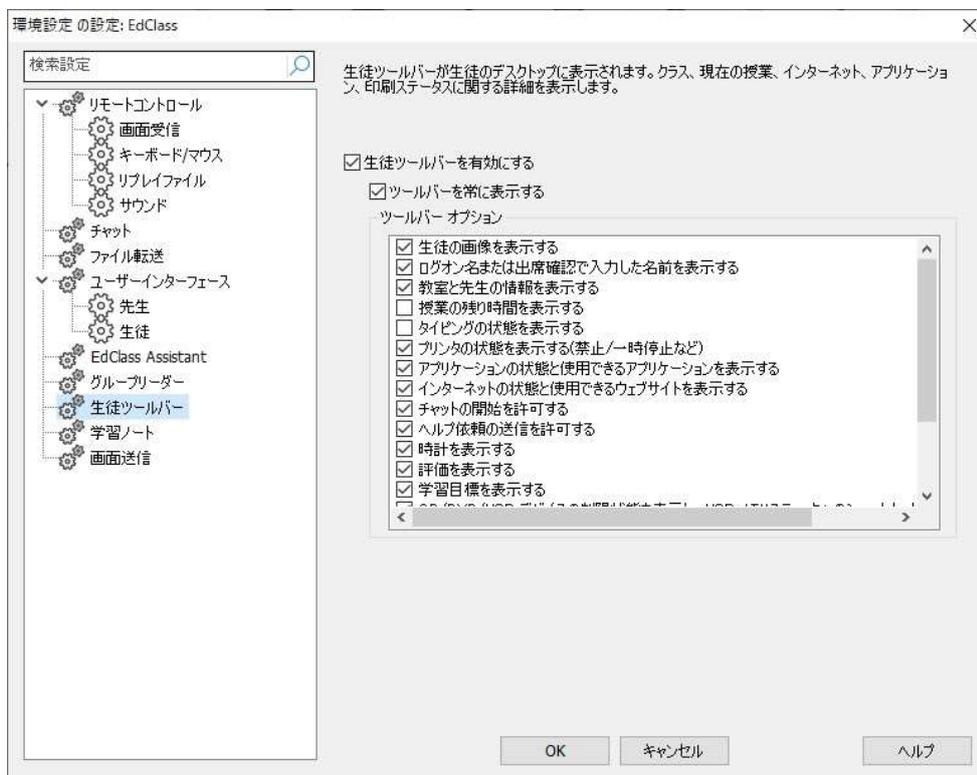
生徒ツールバー

生徒ツールバーは、現在の授業、残り授業時間、利用できる現在のウェブサイトとアプリケーション、印刷、オーディオ監視の状態、チャットとヘルプへの簡単アクセスなどの情報を生徒に知らせます。また、ツールバーから自分の USB メモリ、学習ノート、配布された作業項目、リソースにアクセスすることもできます。



ツールバーに表示させる機能は、先生でカスタマイズすることができます。

ツールバーの詳細設定を変更する場合は、[オプション][設定][生徒ツールバー]を選択します。



ツールバーを有効にするかどうか、常に表示させるかを選択します。ツールバーを自動で隠す設定の場合は、画面上部にマウスを動かすとツールバーが表示されます。例えば、インターネットの制限を有効にした場合など、ツールバーのオプションに影響する設定を先生が変更した時には、メッセージが表示されます。

必要に応じて、以下のツールバーオプションを切り換える事が可能です。

生徒の画像を表示する	生徒アイコンの画像を表示します。
ログオン名または出席確認で入力した名前を表示する	生徒のログオン名または出席確認で入力した名前を表示します。

EdClass15.10

教室と先生の情報を表示する	教室、先生名、科目、教室の詳細を表示します。
授業の残り時間を表示する	授業時間を設定した場合、終了までの残り時間を表示します。
プリンタの状態を表示する	プリンタの状態(禁止、一時停止など)を表示します。
アプリケーションの状態と使用できるアプリケーションを表示する	アプリケーション管理、制限または無制限アクセスのステータスを生徒に表示します。制限が適用されている場合、生徒がツールバーアイコンをクリックした時に許可アプリケーションの一覧が表示されます。
インターネットの状態と使用できるウェブサイトを表示する	インターネット管理、制限、無制限アクセスのステータスを生徒に表示します。制限が適用されている場合、許可ウェブサイトの一覧がツールバーをクリックすると表示されます。
チャットの開始を許可する	生徒がチャットを開始できるようになります。
ヘルプ要請の送信を許可する	先生にヘルプメッセージを送信します。
時計を表示する	時計を表示します。
評価を表示する	生徒の評価を星マークで表示します。
学習目標を表示する	設定した学習目標を表示します。
USB メモリへのアクセスを許可する	ツールバーから USB メモリにアクセスできます。
学習ノートへのアクセスを許可する	ツールバーから学習ノートの内容を確認したり、コメントを追加したりできます。
設定した教材のアクセスを許可する	先生が設定した素材へツールバーからのアクセスを生徒に許可します。
オーディオ管理の有効時または録音時は表示する	先生が生徒を聴いているもしくは、彼らのオーディオを録音中の場合は、生徒に通知します。
作業するために送信したファイルの一覧を表示する	教材の配布/回収機能を経由して送信されたファイルを表示します。生徒はこれらを通じて作業し、完了したら表示させることができます。

注意: 先生コンソール用のツールバーも利用できます。先生コンソールを最小化しても EdClass の主要機能にアクセス可能です。

生徒評価

EdClass では、授業態度の良かった生徒に対して評価を付けることができます。授業中に先生は、生徒に星マークで評価できます。星マークはメインツールバーに反映さ

れます。生徒が獲得した星マークは、ノーマル表示モードで生徒アイコンにマウスを重ねると確認できます。

注意： この機能を使用するには、生徒ツールバーが起動している必要があります。

生徒を評価する

1. リスト表示で対象となる生徒を選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [生徒][評価 - 評価の追加] を選択します。
または、
生徒アイコンを右クリックして [評価 - 評価の追加] を選択します。
3. 生徒ツールバーに星マークが表示されます。

評価を削除する

1. リスト表示で対象となる生徒を選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから [生徒][評価 - 評価の削除] を選択します。
または、
生徒アイコンを右クリックして [評価 - 評価の削除] を選択します。
3. 生徒ツールバーから評価が削除されます。

注意： コントロールウィンドウのメニューから [生徒][評価 - すべて削除] を選択することで、生徒から全ての評価を取り除くことができます。

ステッカー

生徒への評価として、アニメーションステッカーを全員、もしくは、個別に送信できます。送信されたステッカーは生徒のツールバーに反映されます。

注意: この機能を使用するには、生徒ツールバーを表示する必要があります。また、生徒プログラムが、v15.00 以降 である必要があります。



ステッカーを送る

1. ステッカーを送信したい生徒を選択します。
2. リボンで[フィードバックとウェルビーイング]タブを選択します。
3. 送信したいステッカーを選択し、[ステッカーを送信] をクリックします。すべてのステッカーを表示するには、 アイコンをクリックします。
4. 生徒画面にステッカーのアニメーションが表示され、その後生徒ツールバーにステッカーが追加されます。

生徒コンピュータの設定

EdClass プログラムグループの中にある EdClass 生徒の構成設定で設定できます。

注意: ウィンドウ上部にある検索バーから設定を見つけることができます。検索バーに用語を入力し、検索アイコンをクリックします。検索文字を含むセクションがハイライト表示されます。検索を閉じるには閉じるアイコンをクリックします。

クライアント設定には 8 つのオプションがあります:

ネットワーク設定

生徒が先生と通信するためのネットワークプロトコルを設定します。
先生コンピュータと同じプロトコルを設定してください。

部屋

部屋モード使用時のクライアントの接続先を指定します。

セキュリティ

設定の保護や生徒に不正アクセス防止用のパスワードを設定します。

サウンド

生徒の音声を設定します。音声機能を使用するには先生・生徒共に必要なハードウェアがインストールされている必要があります。

ユーザーインターフェース

先生と生徒のインターフェースをカスタマイズします。

拡張

生徒 ID や特定のリモートコントロール機能の使用を設定します。

学習ノート

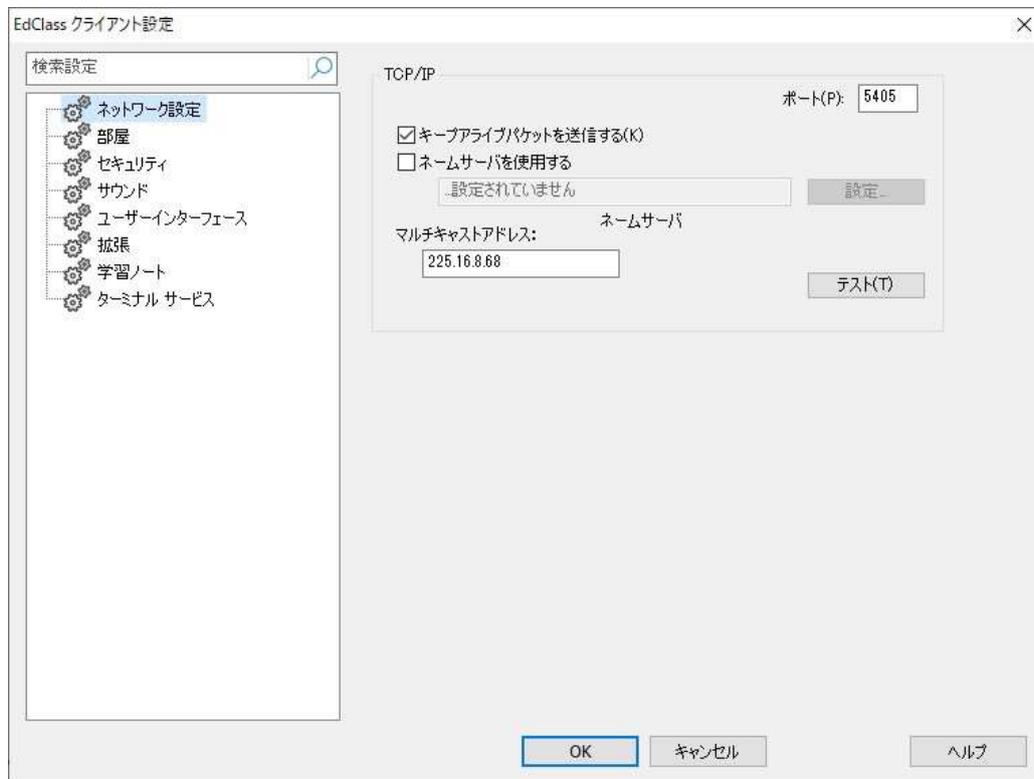
学習ノートの設定を行います。

ターミナル サービス

ターミナルサービス環境下での生徒の設定を行いません。

ネットワーク設定

生徒のネットワーク設定を行います。先生側と同じ設定にする必要があります。



TCP/IP

キープアライブパケットを送信する

一部の TCP スタックには、定期的にチェックパケットを送信して、接続エラーを検出します。ご使用の環境によっては、これを無効にすることが望ましい場合があります。

ポート

EdClass のデフォルトのポート番号は、5405 です。

ネームサーバを使用する

起動時に、特定のネームサーバに生徒の IP アドレスを登録したい場合、このオプションを有効にします。設定をクリックして、ネームサーバの IP アドレスとセキュリティキーを入力します。

マルチキャストアドレス

生徒が受信する IP マルチキャストアドレスを設定します。

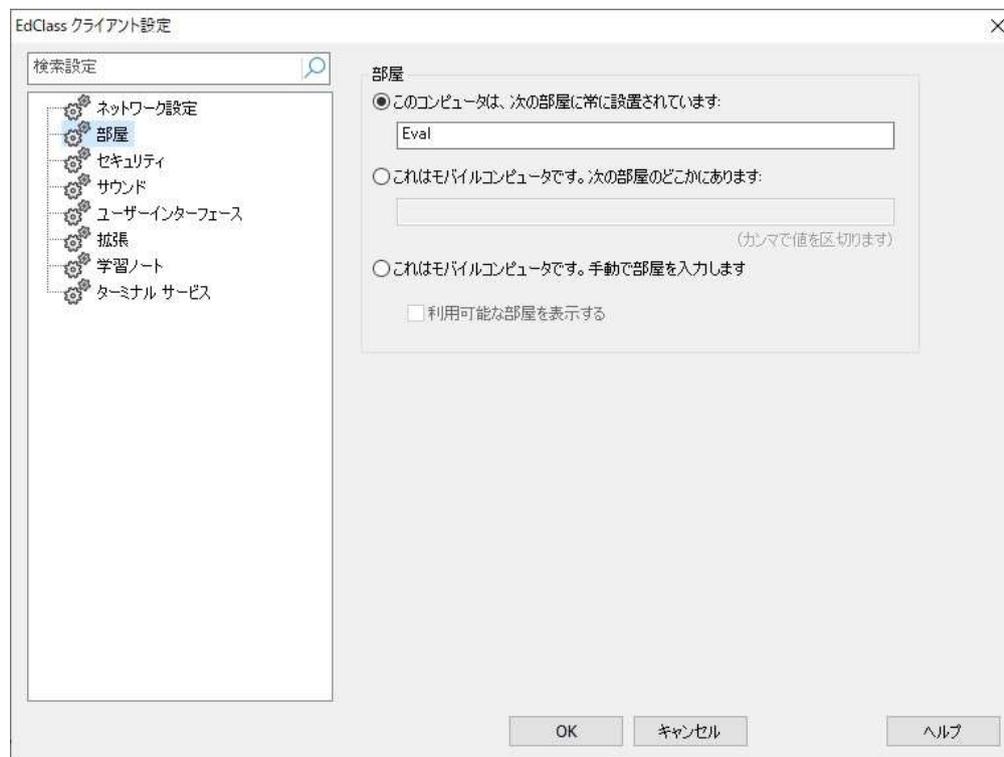
注意:

- ルーターを使用している場合は、このポート番号を使用するデータが通過するように設定する必要があります。
- ポートを変更すると、他の TCP/IP アプリケーションに影響を与える可能性があります。

[テスト] をクリックすると、生徒のプロトコルが正しくインストールされているか確認ができます。

部屋設定

部屋モードを使用して接続する、生徒の部屋を設定できます。



このコンピュータは、次の部屋に常に設置されています:

生徒用コンピュータが常に同じ教室に設置されている場合は、このオプションを選択し、教室名を入力します。

これはモバイルコンピュータです。次の部屋のどこかにあります:

生徒用コンピュータが異なる部屋に設置されていた場合はこのオプションを選択し、複数の教室名をカンマで区切って入力します。

これはモバイルコンピュータです。手動で部屋を入力します：

モバイルコンピュータを使用している場合はこのオプションを選択します。生徒はタスクバーにある生徒アイコンから教室を手動で入力できます。

利用可能な部屋を表示する

起動している教室名をネットワーク検索し、教室を選択してサインインすることが可能です。

注意： タスクバーの生徒アイコンが隠れている場合は、setroom.exe を起動し、手動で教室を入力してください。このファイルは生徒の Program Files 内にある、EdClass フォルダに格納されています。

セキュリティ設定

クライアント側のセキュリティ設定を行います。

EdClass クライアント設定

検索設定

- ネットワーク設定
- 部屋
- セキュリティ
- サウンド
- ユーザーインターフェース
- 拡張
- 学習ノート
- ターミナル サービス

生徒のセキュリティ

セキュリティキー: セキュリティキー...

ユーザー確認を有効にする

テキストの表示

接続している間(C):

画面受信している間(V):

クライアント設定のセキュリティを設定

クライアント設定のパスワード: コンフィギュレーション キー

テックコントロール接続のユーザー確認を有効にする
(先生コンソールだけのインストールに適用されます)

このコンピュータにセントラルポリシーを適用しない

OK キャンセル ヘルプ

生徒のセキュリティ

セキュリティキー

同じセキュリティキーが設定されている先生だけしか接続できないようになります。この項目はオプションです。未定義の場合は、セキュリティキーに関係なくどの先生にも接続できます。

ユーザー確認を有効にする

有効時は、生徒が接続を許可しない限りリモートコントロールできません。

テキストの表示

接続している間

先生が生徒に接続した時に、ここに入力したメッセージが表示されます。

画面受信している間

先生が生徒の画面を受信した時に、ここに入力したメッセージが表示されます。

クライアント設定のセキュリティを設定

クライアント設定のパスワード

設定ファイルをパスワードで保護する事が可能です。クライアント設定を不正な変更から保護します。次に設定画面を起動した時、使用者はパスワード入力を要求されません。[設定]を選んでパスワードを設定します。

テックコンソール接続のユーザー確認を有効にする

(先生コンソールだけのインストールに適用されます)

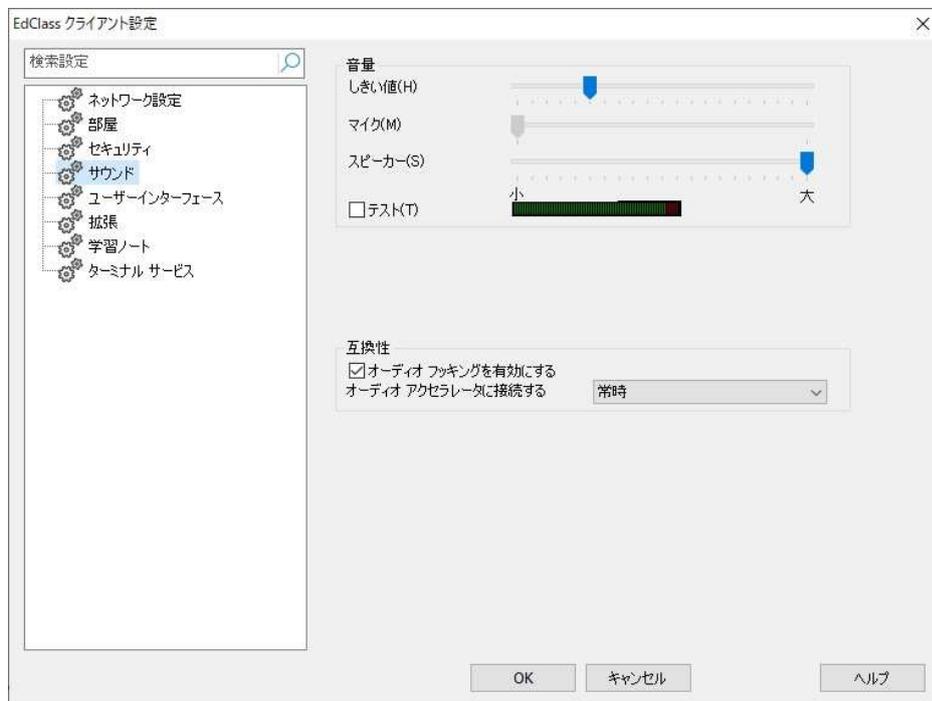
この設定を有効にすると、先生が接続を許可するまで、テックコンソールは先生コンピュータに接続できなくなります。

このコンピュータにセントラルポリシーを適用しない

テックコンソールで設定されたポリシー制限が、この生徒機では適用されません。

サウンド

クライアントの音声設定を設定します。クライアントとコントロールの両方にオーディオデバイスがインストールされている必要があります。



音量

しきい値 マイクの感度
マイク マイクの音量
スピーカー スピーカーの音量

互換性

オーディオフッキングを有効にする

生徒コンピュータのハードウェアアクセラレーションを設定できます。

オーディオアクセラレータに接続する

生徒のハードウェア・アクセラレータのレベル設定を行います。

なし

すべてのアクセラレータレベルを解除します。

接続中だけ

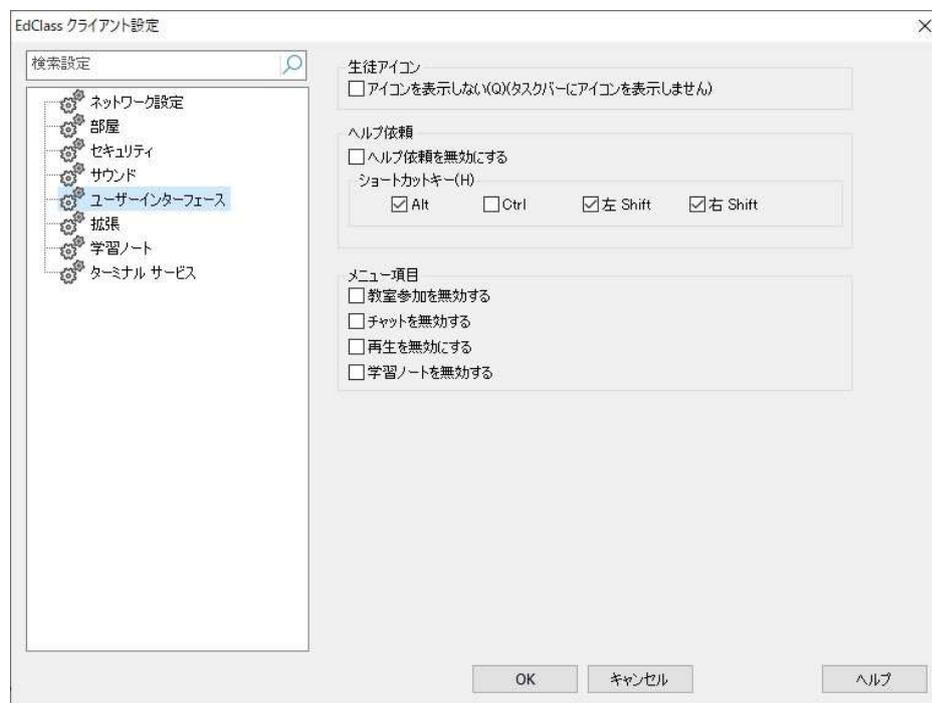
接続している間だけアクセラレータレベルを変動させます。

常時

常にアクセラレータレベルを変動させます。

ユーザーインターフェース設定

クライアントとコントロールのインターフェースをカスタマイズする際に使用します。



生徒アイコン

アイコンを表示しない

このボックスにチェックをすると生徒プログラムは起動していても生徒のコンピュータにはアイコンが表示されません。生徒が誤って生徒プログラムを実行、または手動でプログラムを停止してしまうことを防ぎます。

ヘルプ依頼

ヘルプ依頼を無効にする

ヘルプ依頼機能を使用不可にします。

ショートカットキー

ヘルプ依頼機能を起動するホットキーを設定します。

デフォルトは <ALT>+< 左 Shift>+< 右 Shift> です。キーボードによっては 3 つのキーの組み合わせを認識しない場合があります。そのような場合は 2 つのキーの組み合わせに変更して試してください。

メニュー項目

教室参加を無効にする

教室参加機能を使用不可にします。

チャットを無効にする

チャット機能を使用不可にします。

再生を無効にする

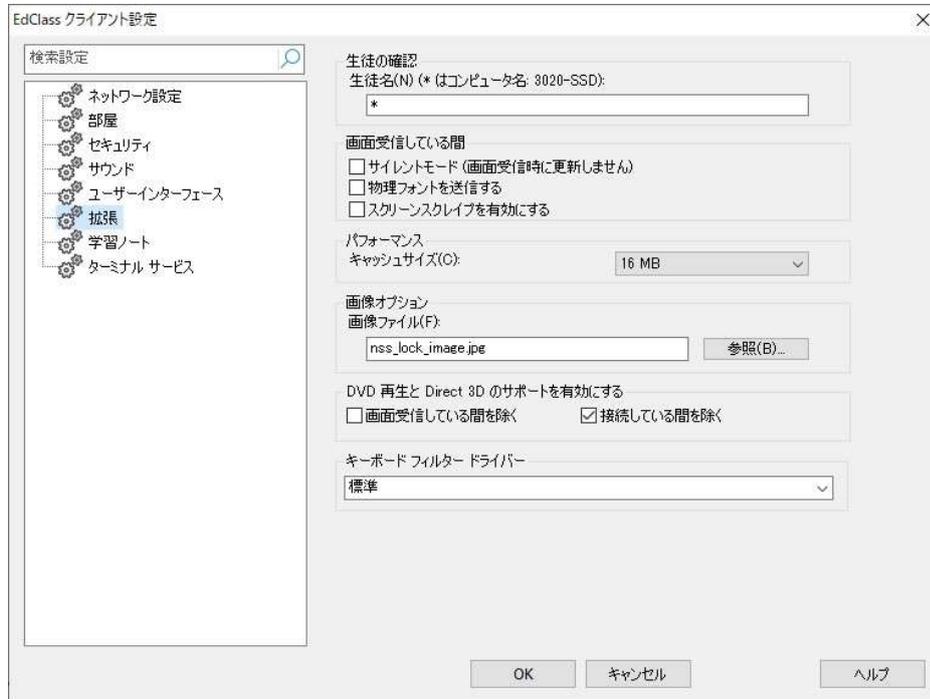
リプレイファイルを再生不可にします。

学習ノートが無効にする

タスクバーの生徒アイコンにある、学習ノートの機能を無効にします。生徒ツールバーからは学習ノートにアクセス可能です。

拡張設定

拡張設定を使用することで、コンピュータ名ではなくクライアント名を使用、またはクライアントのキーボード、マウスのロック時に特定の画像を表示させることが可能です。



生徒の確認

生徒名

EdClass で使用するネットワーク上で生徒を識別するための名前を設定します。半角 15 文字以内で、一意の名前を設定してください。

最初の何文字かを生徒のグループごとに共通の文字列にしておくと、プログラム起動時に特定の文字列で始まる生徒に自動的に接続します。例えば、CLASS1_ から始まるクライアント名を付けておけば、先生プログラムを起動時に CLASS1_ で始まる生徒に接続するので、誤って別のクラスの生徒に接続するといったことがなくなります。

アスタリスクを使用すると、既定のコンピュータ名がクライアント名になります。

注意：先生はクライアント名を参照して生徒に接続しますが、コントロールウィンドウ上に別の名前でも生徒を表示するように設定できます。

画面受信している間

サイレントモード

生徒に知られることなく接続して、生徒画面を受信できます。サイレントモードが選択

されていない場合は、画面受信を実行した際、生徒の画面とマウスアイコンは点滅し、画面受信中であることを生徒に通知します。

物理フォントを送信する

Windows の生徒が先生に画面を送信する時は、参照用のフォント情報だけ送信して送信データ量を少なくします。

先生は内部フォントマップを参照して、生徒で表示されていたフォントに最も近いものを使用します。ほとんどの場合、生徒と先生の双方で同じフォントが使用できる環境が多いため、画面は同じ(または類似の)フォントで表示されます。

しかし、類似のフォントがない場合に同じフォントで表示するためには、必要な全情報を、生徒から先生に送信することが望ましいです。

この項目を設定すると、TrueType フォントの文字が、文字コードではなくグリフ(文字の形状)で送信されます。その結果、生徒の画面の文字は先生の画面で正しく表示できるようになります。

ただし、ダイヤルアップ回線の場合、パフォーマンスに大きく影響を及ぼすため、通常は必要ありません。

スクリーンスクレイプを有効にする

EdClass は、画面受信されるパソコンのビデオドライバにフックして画面情報のデータを送受信します。しかし、特定のアプリケーションがドライバをバイパスしている場合、この方法が上手く動作しない場合があります。そのような場合は、画面のスナップショットを送受信する、スクリーンスクレイプモードを有効にします。ネットワークの負荷が大きくなりますが、クライアント画面を忠実に再現できます。

パフォーマンス

キャッシュサイズ

生徒から先生に送られた最新の画面データをキャッシュしてパフォーマンスを向上します。生徒、先生でより多くのメモリを使用するのでキャッシュサイズが大きいほどパフォーマンスは向上します。このオプションを有効にすれば、最高のパフォーマンスを得るための調整が行えます。

生徒、先生でキャッシュサイズが低く設定されている場合は、有効になるように双方で調整します。

画像オプション

画像ファイル

生徒のキーボードとマウスをロック中はデフォルトの画像（nss_lock_image.jpg）が画面に表示されます。任意の画像ファイルに変更して表示させることができます。

DVD の再生と Direct3D のサポートを有効にする

EdClass はミラードライバを使って画像データを転送します。EdClass がミラードライバにフックしている間は DVD を再生できません。DVD 再生が必要な場合は、ミラードライバのロード/アンロードを必要に応じて切り替えてご使用ください。

画面受信している間を除く

DVD 再生が可能になりますが、ミラードライバがロードされている画面受信中は再生できません。

接続している間を除く

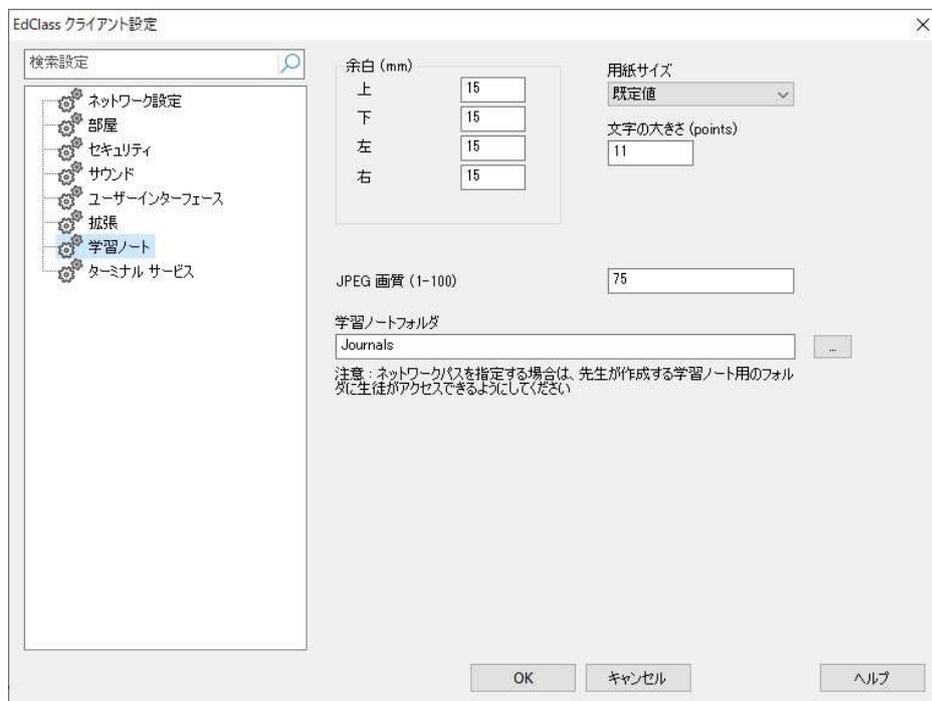
生徒と接続中は、DVD 再生は保留状態になります。

キーボード フィルター ドライバー

キーボードフィルタードライバに問題がある場合、ドライバを切り替えることが可能です。ドロップダウンメニューから必要なドライバを選択してください。

学習ノート設定

授業の主要情報を携帯用 PDF ファイルに保存可能な学習ノートを搭載しています。次のオプションを使って学習ノートの設定をカスタマイズできます。



余白 (mm)

学習ノートの上下左右の余白を調整します。

用紙サイズ

学習ノート用の用紙サイズを選択します。

文字の大きさ (ポイント)

学習ノートで使用する文字の大きさを設定します。

JPEG 画質 (0 - 100)

学習ノート内の画像の画質を設定します。デフォルトは 100 になっています。

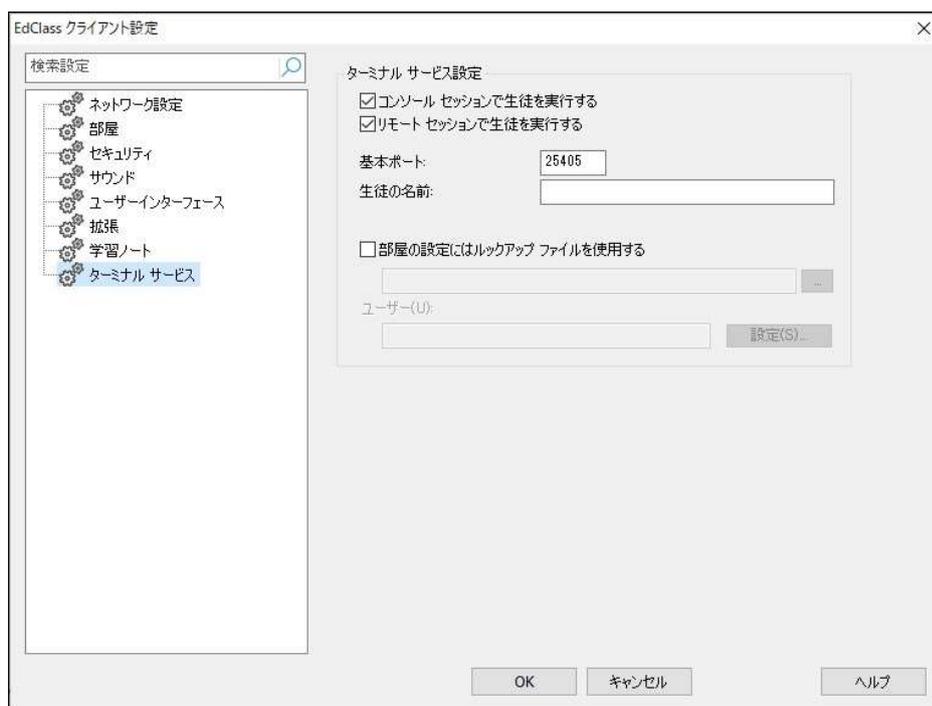
学習ノートフォルダ

学習ノートの保存場所を指定できます。

ターミナルサービス設定

ターミナルサーバ環境下の生徒の設定を行います。

注意: ターミナルサーバやその他のシンクライアントは、ネーム/コネクションサーバを使用することができません。



ターミナルサービス設定

コンソールセッションで生徒を実行する

このオプションのチェックを外すと、EdClass 生徒がコンソールセッションで実行されなくなります。

リモートセッションで生徒を実行する

このオプションのチェックを外すと、EdClass 生徒がリモートセッションで実行されなくなります。

注意: 上記の 2 つのオプションは、Windows MultiPoint Server 2012 ではサポートされていません。

基本ポート

基本ポート番号を入力します。既定値は 25405 です。

生徒の名前

生徒の名前を入力します。空白の場合、一意の ID が表示されます。(デフォルトは %CLIENTNAME%) 生徒の名前を入力する際は、少なくとも 1 つの環境変数を含める必要があります。(例: %computername%)

部屋の設定にはルックアップファイルを使用する

シンクライアント環境にて生徒を別々の教室に割り当てるには、生徒名と必要な教室名を入力した、「ルックアップファイル」を使用します。

ルックアップファイルは、「生徒の識別子」と「教室の値」をカンマ区切りの csv 形式で保存する必要があります。

例: 生徒の識別子, 教室の値
生徒 A,PC 教室 A
生徒 B,PC 教室 A
生徒 C,PC 教室 B
生徒 D,PC 教室 B

ユーザー

リモートサーバ上にルックアップファイルがある場合は、ユーザーがファイルのアクセス権を保持していないことがあります。その場合は、このオプションを設定することで、ルックアップファイルへのアクセスが可能になります。

先生コンピュータの設定

先生コンソールの設定を行うには、コントロールウィンドウの[オプション] から [ネットワーク設定] を選択します。

注意: ウィンドウ上部にある検索バーから設定を見つけることができます。検索バーに用語を入力し、検索アイコン をクリックします。検索文字を含むセクションがハイライト表示されます。検索を閉じるには閉じるアイコン をクリックします。

開始オプション

先生コンソール起動時のスタートアップオプションを指定できます。また、様々なモードのアクセス制限を設定することも可能です。

ネットワークと無線の設定

生徒との通信に使用する設定項目です。生徒と同じ設定にする必要があります。先生の名前や説明も設定できます。

パフォーマンス

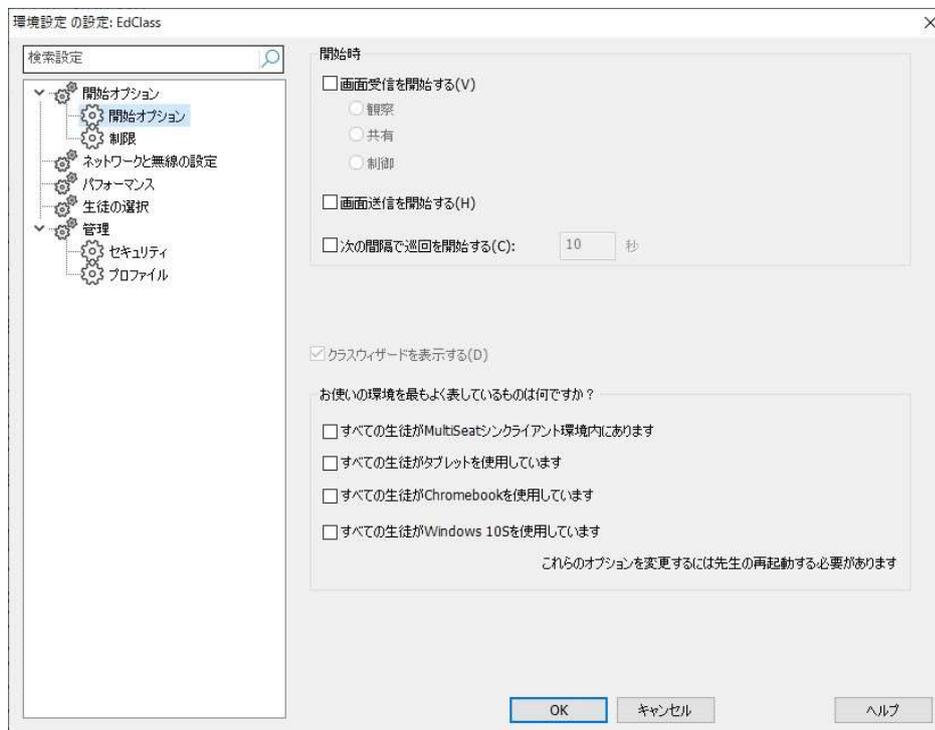
画面受信、画面送信を実行時に、低速データを送信するように低速通信と減色を設定します。

管理

パスワードによる設定の保護や、先生毎のプロファイルを作成できます。

開始オプション

先生のスタートアップオプションを設定します。EdClass にある様々なモードでのアクセス制限の設定も行えます。



開始時

画面受信を開始する

先生コンソールが起動すると、すべての生徒に接続し、即座に画面受信が開始されます。また、生徒の表示モードを「観察」「共有」「制御」から選択できます。

画面送信を開始する

先生コンソールが起動すると、すべての生徒に接続し、即座に画面送信が開始されます。

次の間隔で巡回を開始する

先生コンソールが起動すると、すべての生徒に接続し、即座に巡回が開始されます。右のボックスに巡回する間隔を指定します。

クラスウィザードを表示

チェックをすると、起動時にクラスウィザードが表示されます。

お使用の環境を最もよく表しているものは何ですか？

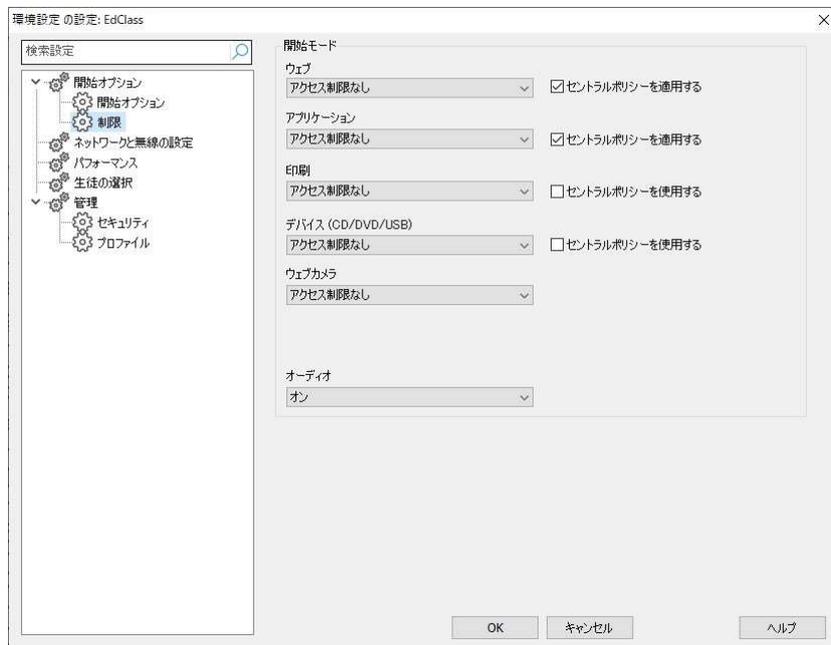
いずれかの項目にチェックを入れると、それらの端末向けに使用できる機能のみ表示させることが可能です。

- すべての生徒が MultiSeat シンククライアント環境内にあります
- すべての生徒がタブレットを使用しています
- すべての生徒が Chromebook を使用しています
- すべての生徒が Windows 10S を使用しています

注意： これらのオプションを変更した際は、先生コンソールを再起動する必要があります。

開始オプション - 制限

EdClass 起動時の機能のアクセスレベルや制限を設定できます。先生プログラムの起動後すぐに適用されます。



ウェブ

ウェブサイトのアクセスレベルを設定します。

アプリケーション

アプリケーションのアクセスレベルを設定します。

印刷

プリンタの管理モードのアクセスレベルを選択します。

デバイス (CD/DVD/USB)

デバイスのアクセスレベルを選択します。

ウェブカメラ

ウェブカメラのアクセスレベルを選択します。

セントラルポリシーを使用する

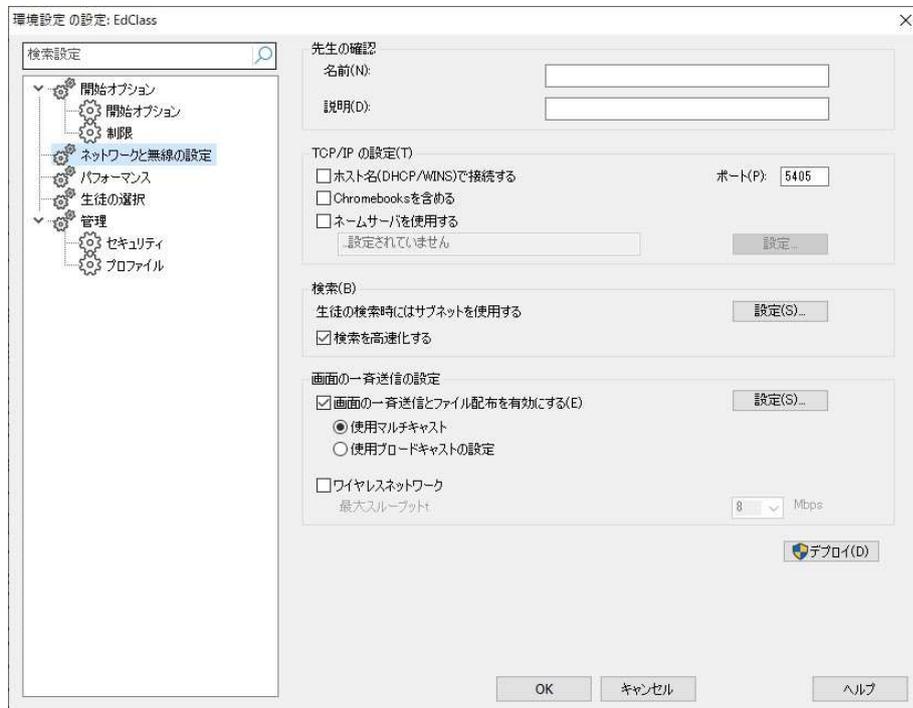
テックコンソールで作成したポリシー制限を適用します。

オーディオ

生徒のオーディオの監視の有効化や、音声ミュートを設定します。

ネットワーク設定

生徒との通信に使用するネットワークを設定します。生徒と同じ設定である必要があります。先生の名前と説明文も設定できます。



先生の確認

これらの設定を使用することで、先生 PC の構成をカスタマイズできます。

名前

ネットワークで先生を識別するための名前を設定します。アスタリスクを設定すると、コンピュータ名になります。

説明

先生に関する説明を設定します。生徒のタイトルバーに表示されます。

TCP/IP の設定

ホスト名(DHCP/WINS)で接続する

通常、先生はホスト名ではなく、IP アドレスを使って生徒に接続します。DHCP が使われている環境では、生徒が再起動されると IP アドレスが変更される場合があります。このボックスにチェックしておく、先生はホスト名を使って生徒に接続するようになります。

ポート

通信に使用する TCP ポート番号です。EdClass のデフォルト登録ポート番号は 5405 です。

注意: ルーターをお使いの場合は、このポート番号を使ってデータの通信ができるように設定されていることを確認してください。

Chromebooks を含める

EdClass は Google Chromebook に対応しています。チェックをするとクライアント検索時に Chromebook を含まれます。

注意: ネームサーバ/ゲートウェイの IP アドレスと一致するセキュリティキーを入力する必要があります。[設定] をクリックしてください。

ネームサーバを使用する

特定のネームサーバ/ゲートウェイに登録された IP アドレスの生徒を検索したい場合は、このオプションを有効にします。開始オプションで設定された検索方法はそのまま適用されますが、先生は UDP 検索に代わって、特定の条件に一致する生徒をネームサーバで検索します。設定をクリックしてネームサーバ/ゲートウェイの IP アドレスとセキュリティキーを入力します。

検索

生徒の検索時にはサブネットを使用する

複数のサブネットやアドレスを使用しているネットワーク環境ではブロードキャストアドレスを設定します。検索時にブロードキャストメッセージが全アドレスに送信されません。

検索を高速化する

クライアントの検索や接続速度を向上させます。既定で有効になっています。

注意: 接続ができない生徒には、警告アイコンが表示されます。警告アイコンの上にマウスカーソルを置くと、接続が失敗した理由が表示されます。

画面の一斉配信の設定

画面の一斉送信とファイル配布を有効にする

先生画面やファイルを生徒に送信する際、画面情報は各生徒に順番に送られます。画面の一斉送信を有効にすると、画面情報は全コンピュータに一斉送信されます。回線が制限されているネットワーク環境や大多数のコンピュータで画面送信を行う場

合にパフォーマンスを発揮します。

EdClass が生成するネットワークトラフィックは軽減しますが、新たにブロードキャストパケットが発生します。この機能を使用する場合は、必ずネットワーク管理者に確認してください。

注意: 画面送信とファイル転送に UDP/ブロードキャストの代わりに、マルチキャストを使用することが可能です。「使用マルチキャスト」を選択することで、マルチキャストパケットが、指定された IP マルチキャストアドレスに含まれているコンピュータのみに送信されるようになります。

設定

画面の一斉送信オプションが有効にする場合は、設定ボタンを選択してマルチキャスト、またはブロードキャストアドレスを設定します。同一サブネット上で複数の先生が一斉に UDP/ブロードキャストを使用する場合、競合しないように異なるポートを使用してください。

ワイヤレスネットワーク

チェックを入れると、無線ネットワーク上での画面送信パフォーマンスを最適化します。

注意: EdClass は自動的に無線接続の生徒を検出し、このオプションを有効にしてパフォーマンスを向上させます。

最大スループット

無線アクセスポイントに送信されるデータのレベルを制御します。デフォルトのデータレートは 8Mbps です。必要に応じて、ルーターの速度に合わせて変更してください。

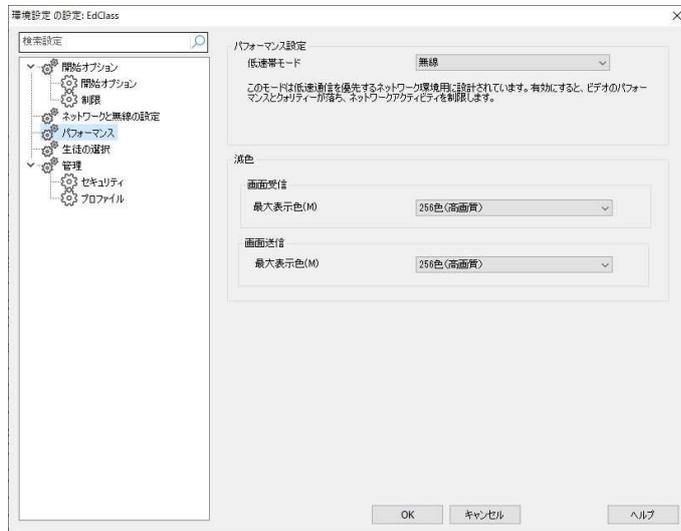
注意: 先生が無線接続の生徒を検出した、または先生自身が無線接続を使用している場合、ワイヤレスネットワークが選択されているかどうかに関わらず、自動的に最大スループットで設定された値に最大データ出力を減少させます。この動作を無効にすることはできません。

デプロイ

EdClass のデプロイダイアログが表示され、特定の教室にあるコンピュータに生徒用ソフトウェアをインストールできます。

パフォーマンス設定

ネットワークで低速データを送信するように低速通信と減色を設定します。



低速帯モード

このモードは低速通信を優先するネットワーク環境用に設計されています。有効にするとビデオのパフォーマンスとクオリティを落とし、ネットワークアクティビティを制限します。

ドロップダウンリストからモード(無し、常時、無線)を選択します。無線を選択した場合、無線 LAN で接続している生徒が検出されると、自動的に低速帯モードがオンになります。

減色

画面受信

生徒画面の受信時の最大色数を選択します。既定値は 256 色(高画質)に設定されています。

画面送信

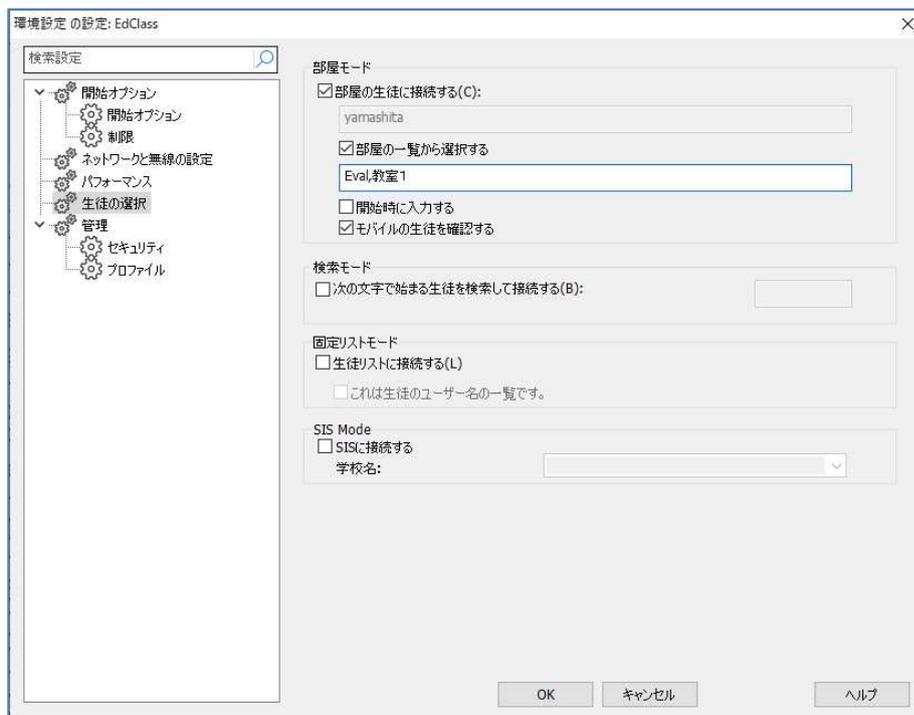
先生画面を生徒に送信する時の最大色数を選択します。既定値は 256 色(高画質)に設定されています。

注意: これらのオプションを有効にした場合、リモートでアプリケーションを表示する際には視覚的影響はほとんどありませんが、マルチメディアファイルを表示する際に視覚的影響が出る場合があります。通常、これらのオプションはネットワーク利用を優先する時にのみ適用してください。

生徒の選択

先生コンソール開始時やそれぞれのモードにおいて、接続する生徒の設定を行います。

注意： ネームサーバの設定を行っている場合は、先生プログラムはこの生徒の選択で行った設定を優先します。



部屋モード

部屋の生徒に接続する

特定の教室にあるコンピュータに接続します。各値を+記号で区切ることで、複数の教室を指定することができます。接続したい教室を指定します。

部屋の一覧から選択する

一覧から開始時に接続する部屋を選択することができます。カンマで各値を区切り、教室を入力します。

開始時に入力する

先生プログラムの開始時に教室を指定するようにします。

モバイルの生徒を確認する

モバイルコンピュータを使用した生徒を接続可能にします。

注意： 教室の設定は、生徒側の EdClass クライアント設定で行えます。

検索モード

次の文字で始まる生徒を検索して接続する

指定した文字列で始まるすべてのクライアントに接続します。一度接続した生徒のコンピュータは、生徒リストに保存されます。

固定リストモード

生徒リストに接続する

このボックスをチェックすると、生徒リストにある生徒に接続します。コンピュータ名で指定します。

これは生徒のユーザー名の一覧です

生徒のログインユーザー名のリストに接続する場合、このオプションを選択します。

注意： 生徒のコンピュータ/ユーザー名のリストはクラスウィザードで設定できます。

SIS Mode

SIS データに接続できます。この接続方法を使用するには、ネームサーバを OneRoster/Google Classroom と同期させる必要があります。接続完了後に、ドロップダウンリストから学校名を選択します。

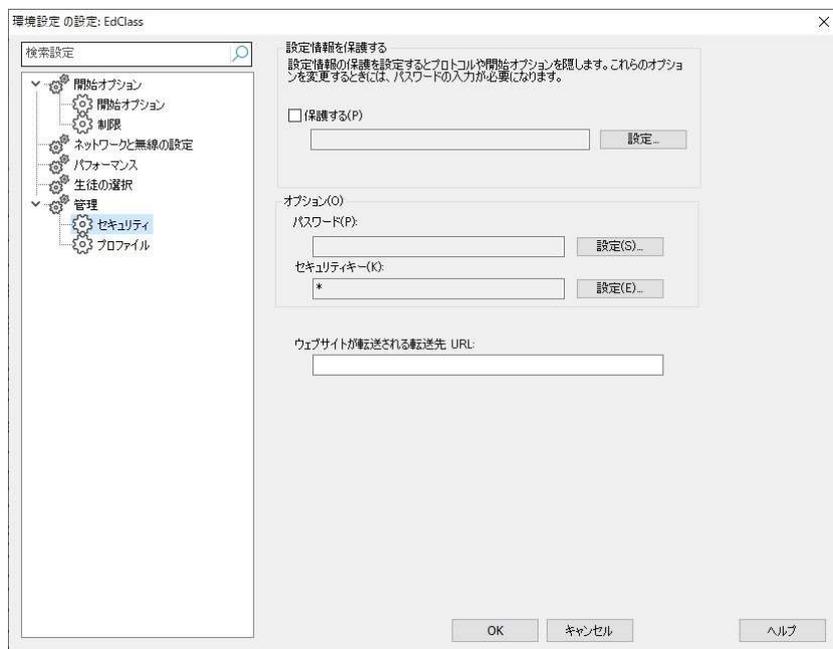
注意：

- クライアントが見つからない場合は、そのネットワーク検索の設定がされていない場合があります。本マニュアルの「生徒検索時にサブネットを使用する」を参照してください。
 - ネームサーバを使用して生徒と接続する場合、先生の環境設定とクライアント設定の両方に、ネーム/コネクションサーバの設定をする必要があります。
-

管理 - セキュリティ

設定情報を保護する

パスワードを設定することで先生の設定内容を保護できます。設定すると、コントロール用のパスワードとは別に機能します。



パスワードを設定するには**保護する**ボックスにチェックをします。

コントロールユーザーが設定を変更する時に、パスワードの入力が必要となります。

オプション

パスワード

パスワードを設定すると、次回からプログラム起動時に、パスワードの入力を要求します。正しいパスワードを入力しないと先生を起動できません。

セキュリティキー

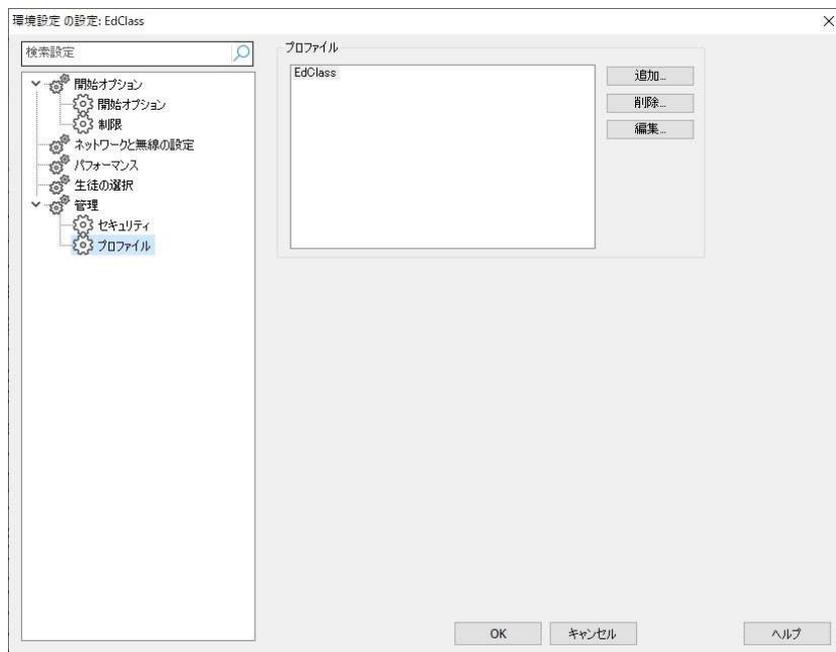
セキュリティキーを設定すると、同じキーが設定されている先生と生徒だけが接続できるようになります。セキュリティキーとしてアスタリスク (*) を設定すると、セキュリティキーはシリアル番号になります。先生と生徒に設定してください。

ウェブサイトが転送される転送先 URL:

制限ウェブサイトが生徒がアクセスした場合にリダイレクトさせる URL を指定できます。

管理 - プロファイル

先生プロフィールの追加、編集、削除を行います。



アプリケーションやウェブサイトの許可/制限リストを作成後、先生プロフィールにこの情報を追加することができます。先生プログラム起動時に、ユーザーは開始するプロフィールを選択可能です。詳しくは本マニュアルの先生プロフィールの項目を参照してください。

- 新しいプロフィールを作成するには**追加**をクリックします。
- プロフィールを削除するには、プロフィール名を選択し、**削除**をクリックします。
- 新規または既存のプロフィールにファイルを追加する場合は、プロフィール名を選択して、**編集**をクリックします。

次の項目をプロフィール化できます。[変更] をクリックして、先生プロフィールに含めるファイルを参照します。

ファイルの場所

アプリケーションファイル

許可/制限アプリケーションの詳細が保存されています。デフォルトファイル名は EdClass.app です。アプリケーションの許可/制限の設定方法についてはアプリケーションの管理を参照してください。

ウェブサイトファイル

許可/制限ウェブサイトの詳細が保存されています。デフォルトのファイル名は EdClass.web です。許可/制限ウェブサイトの設定方法についてはウェブの管理を参照してください。

アンケートファイル

作成したアンケートが保存されています。デフォルトのファイル名は EdClass.sul です。詳しくはアンケートの項目を参照してください。

レイアウトファイル

先生ウィンドウで表示した生徒の位置や背景画像が保存されています。デフォルトのファイル名は、LAYOUT.LYT です。詳しくは、レイアウトの項目を参照してください。

フォルダの場所

テスト実施のレポートフォルダ

テストコンソールの結果を保存する場所を指定します。

空欄の場合 C:\Program Files\EdClass\Tests\Reports に保存されます。

テスト実施の試験フォルダ

テストを保存する場所を指定してください。

教室リストフォルダ

教室リストを保存する場所を指定してください。

学習ノートフォルダ

学習ノートの保存場所を指定します。

オーディオ録音フォルダ

録音したオーディオの保存場所を指定します。

拡張

先生プロファイルに生徒、グループリストを追加することができます。デフォルトでは無効になっています。スタートアップ時の現在の接続方法が上書きされるため、ご注意ください。

クライアントファイル

起動時に先生が接続する「生徒リストの接続リスト」を保存しています。デフォルトファイル名はclient.nssです。詳細は生徒リストの接続を参照してください。

グループファイル

作成した生徒グループの情報を保存しています。デフォルトファイル名はgroup.nssです。詳細はグループで作業を行うを参照してください。

共有データファイルを使用する

このオプションにチェックすると、他のユーザーアカウントとデータファイルを共有することができます。

リモートコントロールの構成設定

特定の条件や環境に合わせてリモートコントロールセッションをカスタマイズできるオプションがあります。

先生コンソールには全体もしくは個々の生徒レベルで設定を適用するオプションがあります。

グローバルコンフィグ設定を調整する

1. 先生コンソールで [オプション] [設定] を選択します。
2. 次のオプションが利用可能です：

リモートコントロール

画面受信

キーボード/マウス

リプレイファイル

サウンド

チャット

ファイル転送

ユーザーインターフェース

先生

生徒

EdClass Assistant

グループリーダー

生徒ツールバー

学習ノート

画面送信

3. オプションの有効/無効を設定します。

注意： ウィンドウ上部にある検索バーから設定を見つけることができます。検索バーに用語を入力し、検索アイコン をクリックします。検索文字を含むセクションがハイライト表示されます。検索を閉じるには閉じるアイコン をクリックします。

4. 完了したら、[OK] をクリックします。選択した設定がすべての生徒に適用され、次の接続用に自動的に保存されます。

個別に生徒設定を調整する

画面受信、キーボード/マウス、リプレイファイルやオーディオといったリモートコントロール設定を生徒ごとにカスタマイズ可能です。

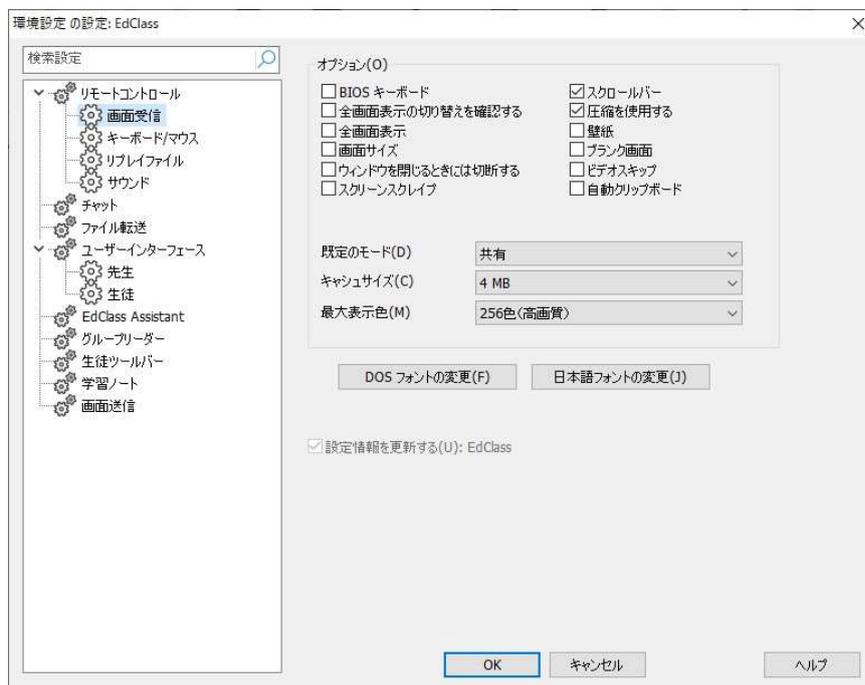
1. 対象の生徒を 画面受信 します。
2. ウィンドウのキャプションバーにある設定アイコン  をクリックします。
3. 設定ダイアログが表示されます。関連するオプション、画面受信、キーボード/マウス、リプレイファイル、サウンドを選択します。
4. 画面受信中のオプションの有効 / 無効を設定します。

注意: 設定を永続的に変更したい場合は、「設定情報を更新する」にチェックを入れます。

先生コンソールの設定 - 画面受信

この項目では、生徒の画面を先生コンソールで表示する際の各種設定を定義します。使用するフォント、マウスとキーボードの制御方法などを設定できます。

1. 全生徒に対して設定を有効にする場合は、先生コンソールの [オプション] から [設定] を選択します。
2. 画面受信中の生徒に対して設定を有効にする場合は、生徒を画面受信してウィンドウのキャプションバーにある設定アイコン  をクリックし、「画面受信」を選択します。



BIOS キーボード

先生コンソールで生徒コンピュータのキーボードをエミュレートする際に、ハードウェアレベルではなく、BIOS レベルでエミュレートするようになります。先生のキー入力に生徒のアプリケーションが正しく反応しない場合は、このボックスにチェックをいれます。この項目は、デフォルトのハードウェアレベルでのエミュレーションで問題がある場合にだけチェックしてください。

全画面表示の切り換えを確認する

先生コンソールで生徒の画面表示を全画面表示モードに切替えるときに確認のダイアログが表示されるようになります。

全画面表示

生徒の画面を全画面で表示します。

画面サイズ

生徒の画面全体が画面受信ウィンドウ内に収まるように自動的に縮小または拡大されて表示されるようになります。

ウィンドウを閉じる時には切断する

画面受信ウィンドウを閉じたときに、その生徒機と切断されるようになります。生徒との作業終了後に切断し忘れる心配がなくなります。

スクリーンスクレイプ

EdClass は、画面受信されるパソコンのビデオドライバにフックして画面情報のデータを送受信します。しかし、特定のアプリケーションがドライバをバイパスしている場合、この方法が上手く動作しない場合があります。そのような場合は、画面のスナップショットを送受信する、スクリーンスクレイプモードを有効にします。ネットワークに影響が出ますが、クライアント画面を忠実に再現できます。

スクロールバー

チェックを外すと、画面受信ウィンドウのスクロールバーが表示されなくなり、画面の表示範囲が少し広がります。

圧縮を使用する

画面受信の転送データ(画面更新のデータ)が圧縮されます。このチェックボックスの状態は、クライアントプロパティにも反映されます。

壁紙

先生コンソールに生徒の画面の壁紙が表示されるようになります。壁紙を表示すると画面更新に時間がかかるため、通常、この項目はチェックしないことをお勧めします。

ブランク画面

有効にすると、画面受信中の生徒 PC の画面が非表示になります。

注意: この機能は、Windows 10 v2004 およびそれ以降で実行している生徒にのみ利用可能です。

ビデオスキップ

チェックすると、生徒の画面の連続した動きが一部間引かれて送信されるようになり、画面受信のパフォーマンスが向上します。

自動クリップボード

有効になっている場合、Ctrl+C と Ctrl+V のショートカットを使って先生と生徒間のクリップボードでデータのコピーが自動で行われます。

既定のモード

画面受信を開始するとき、デフォルトでは、共有モードになります。別のモードで画面受信を開始したい場合は、一覧から選択してください。

キャッシュサイズ

画面受信のキャッシュサイズを変更します。キャッシュサイズは 1MB～16MB の間で設定でき、設定したサイズが生徒機ごとに個別に用意されます。生徒機でサイズの大きいビットマップを多用するアプリケーションを使用している場合は、キャッシュサイズを大きくすることでパフォーマンスを向上させることができます。この設定項目は、画面受信中に変更することはできません。

最大表示色

先生コンソールに送信される生徒の画面の色数を制限できます。その結果、通信情報量を少なくでき、ネットワークの負荷を低減できます。この設定項目は、画面受信中に変更することはできません。

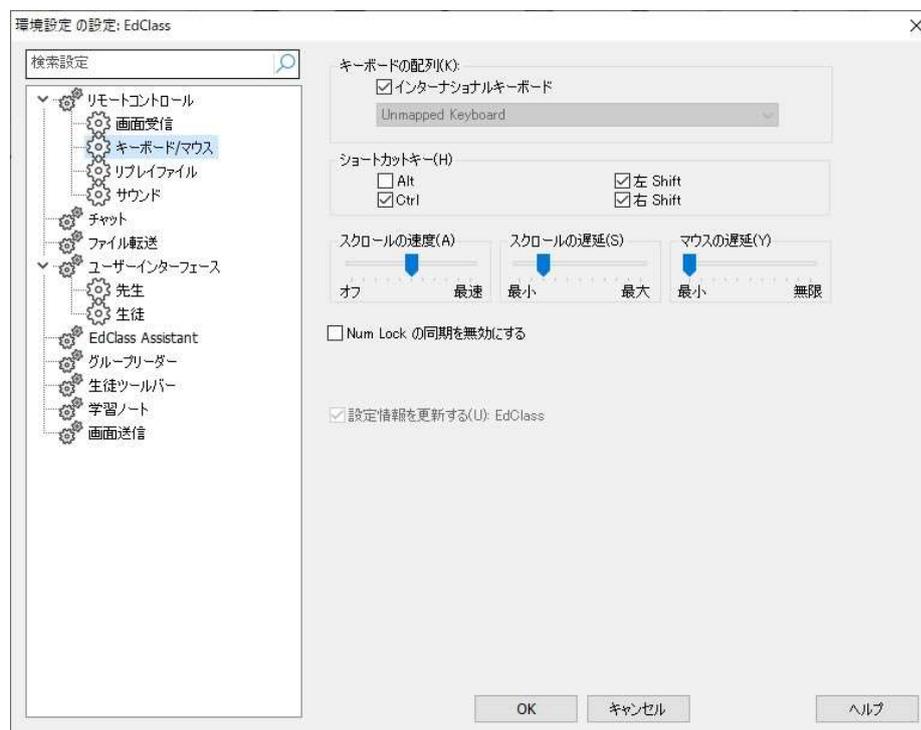
DOS フォントの変更

DOS プロンプトを全画面表示している生徒の画面が、先生コンソールに表示されるときに使われるフォントの種類とサイズを変更できます。Windows では、DOS 画面の表示にグラフィック文字セットを使用します。Windows の解像度が高いほど、DOS 画面を正確に表現するためには、フォントサイズも大きくする必要があります。

日本語フォントの変更

DOS 画面の日本語表示用フォントを変更するときは、このボタンをクリックします。

先生コンソールの設定 - キーボード/マウス



キーボードの配列

インターナショナルキーボード

画面受信中、先生はインターナショナルキーボードの配列を使用します。

先生コンソールのキーボードの配列を一覧から選択します。画面受信中に先生が入力したキーは選択した配列で生徒のキーにマッピングされます。先生と生徒が同じ配列のキーボードをお使いの場合は [Unmapped Keyboard] を選択してください。

ショートカットキー

全画面表示モードで画面受信をしている時にウィンドウ表示に戻る、キーの組み合わせを設定します。ショートカットキーとして使用したいキーをチェックしてください。生徒の画面解像度が先生より低い場合は、ショートカットキーを使わずに画面受信ウィンドウの外側をクリックするとウィンドウ表示に戻れます。

スクロールの速度

画面受信ウィンドウ内に生徒の画面全体を表示しきれない時は、先生のマウスを画面受信ウィンドウの端に移動することで画面を自動的にスクロールします。このスクロール速度をスライダーで調整します。

スクロールの遅延

自動スクロールが動作するまでの遅延時間を設定します。マウスを画面受信ウィンドウの端に移動させた時すぐにスクロールするようにしたい場合は、スライドレバーを最小の方に動かしてください。しばらく間隔を置いてからスクロールさせる場合は最大の方に動かします。

マウスの遅延

画面受信中にマウス操作をするときに、マウス操作の更新情報が生徒機に送信されるレートを調整できます。無限の方に移動すると速度を下げ帯域幅を節約できます。最小に移動するとマウス操作がすぐに反映されます。

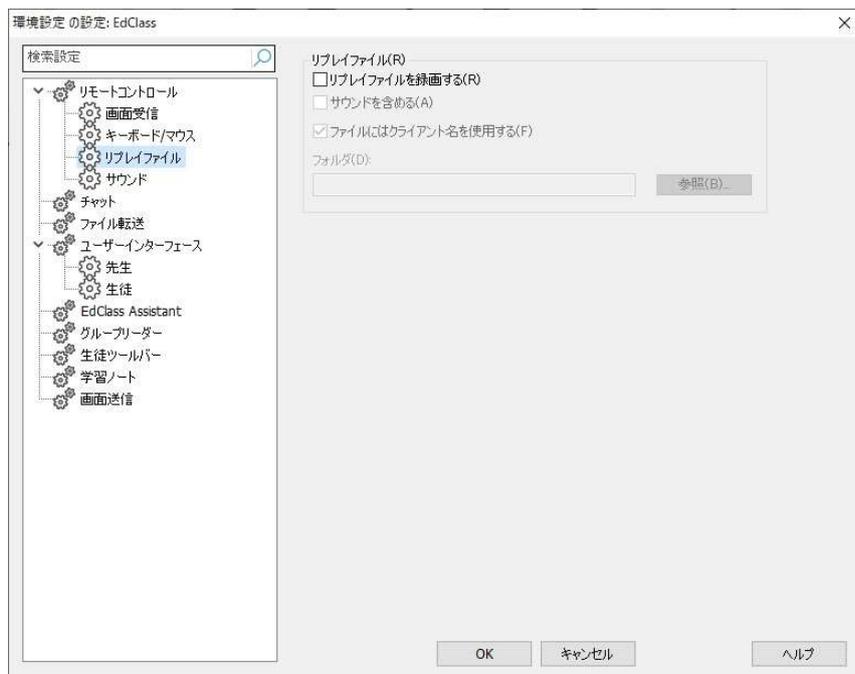
Num Lock の同期を無効にする

先生がノートパソコンをお使いの場合は、標準のデスクトップパソコンのキーボード操作に対応するために、このオプションを有効にしてください。

先生コンソールの設定 – リプレイファイル

リプレイファイルは先生が遠隔操作/画面受信中に生徒で行った画面アクティビティを記録して再生できます。

詳細は [リプレイファイルを使用する](#) の項目を参照してください。



リプレイファイルを録画する

リプレイファイルの記録を有効にする場合は、このオプションをチェックします。

サウンドを含める

生徒コンピュータがオーディオを設定している場合、先生からのマイクナレーションを録音することができます。

注意: デスクトップのサウンド、音楽などは録音できません。

ファイルにはクライアント名を使用する

各リプレイファイルを識別するために、ファイル名にクライアント名や録音の日付 / 時間を前部に付けます。このボックスをチェックしない場合は、00000001.rpf の様な連続した名前になります。

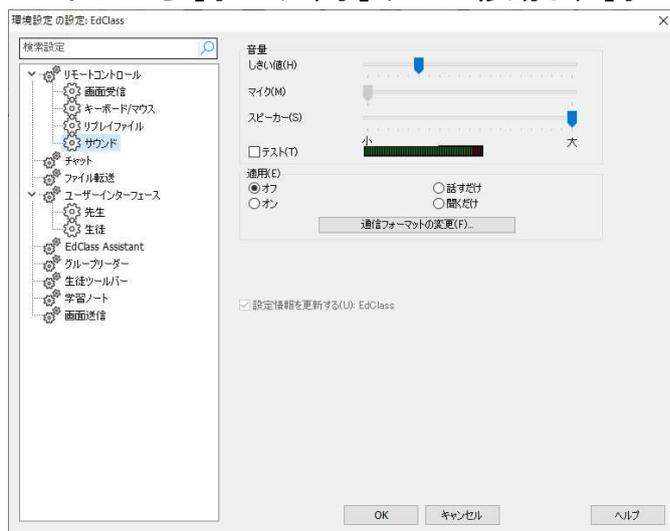
フォルダ

リプレイファイルの保存先を指定します。

先生コンソールの設定 – サウンド

音声を使用するための設定オプションです。2つの方法で設定できます。

1. すべての生徒に設定を適用するには、コントロールウィンドウの[オプション] から [設定] を選択し、「リモートコントロール – サウンド」を選択します。
2. 個々の生徒に設定を適用するには、生徒を画面受信し、画面受信ウィンドウのリボンから [オーディオ] タブに移動し、[オーディオ設定] をクリックします。



音量

しきい値 – マイクの感度

マイク – マイクの音量

スピーカー – スピーカーの音量

テスト – 上記の設定をテストします。

この設定はすべての生徒セッションに対する設定時のみ有効になります。

適用

オン – サウンドを有効にします。

オフ – サウンドを無効にします。

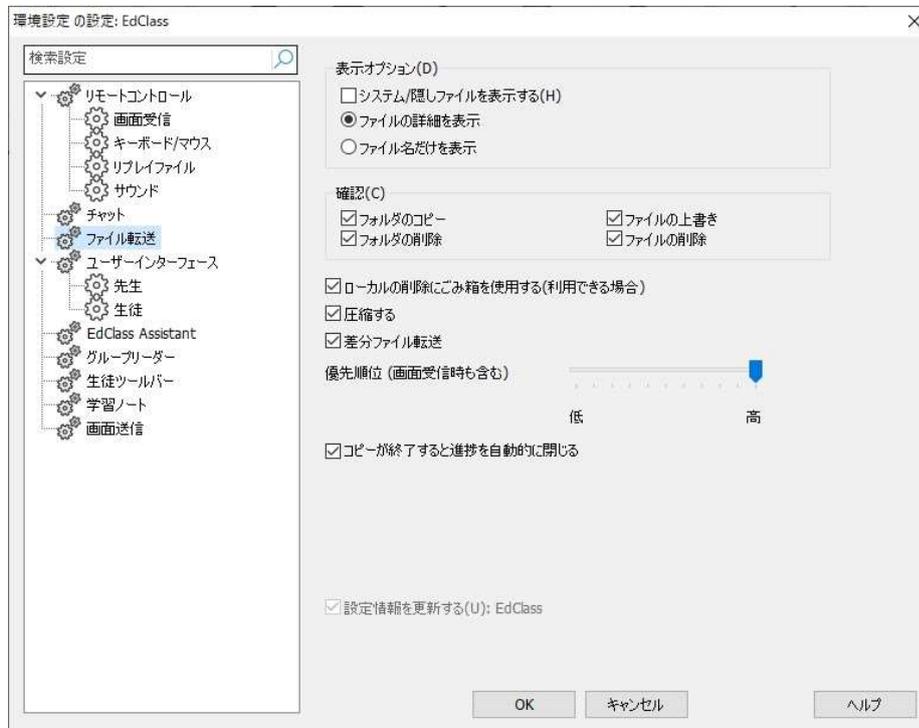
話すだけ – 先生コンソールのサウンドを話すだけの機能に切り換えます。

聞くだけ – 先生コンソールのサウンドを聞くだけの機能に切り換えます。

「通信フォーマットの変更」ボタンを選択すると、通信フォーマットを変更することができます。許容範囲の品質レベルのみを使用してください。高品質設定は、画面更新のパフォーマンスに影響を与える場合があります。

先生コンソールの設定 – ファイル転送

ファイル転送の設定を構成することができます。コントロールウィンドウの [オプション] から [設定] を選択し、[ファイル転送] を選択します。ここでは、情報の表示方法を変更し、操作を実行する前に確認するなどの安全機能を設定することができます。



表示オプション

システム/隠しファイルを表示する

チェックを入れると、システムおよび隠し属性を持つすべてのファイルを表示します。デフォルトでは、このオプションはオフになっています。

ファイルの詳細を表示

一覧表示内の各ファイルの情報を複数の列で表示します。ファイルサイズ、更新日、属性とショートファイル名を表示します。ファイル転送画面の表示スタイルボタンを使用して、この状態とファイル名だけの状態に切り換えることができます。

ファイル名だけを表示

ファイル一覧にファイル名だけを表示します。より多くのファイルを同時に表示することができます。

確認

フォルダやファイルを削除するようなファイル操作を実行するときに、先生に確認ダイアログボックスを表示して、データの偶発的な損失を防止できます。必要に応じて、これらのオプションをオフにできます。デフォルトでは、すべての確認設定がオンになっています。

フォルダのコピー

フォルダ構造をコピーする前に、ユーザーに確認します。

フォルダの削除

フォルダ構造を削除する前に、ユーザーに確認します。

ファイルの上書き

チェックが付いている場合、既存のファイルを上書きする前に確認ダイアログが表示されます。チェックが付いていない場合でも、システム/隠しファイルが上書きされる場合は、確認メッセージが表示されます。

ファイルの削除

1 つ以上のファイルを削除する前に確認ダイアログが表示されます。

ローカルの削除にゴミ箱を使用する（利用可能な場合）

ローカル側から削除されたすべてのファイルはゴミ箱へ送られます。デフォルトでこれは有効になっています。

圧縮する

生徒との通信の際、ファイル転送、画面受信、チャットセッションで送受信されるデータを圧縮します。データも暗号化されるため、セキュリティ対策にもなります。

差分ファイル転送

差分ファイル転送は、変更されていない情報の転送をスキップすることでパフォーマンスを向上させます。転送されるファイルが既に送り先のフォルダに存在する場合は、ファイルの変更部分だけが更新されます。

差分ファイル転送は、デフォルトで有効になっています。

優先順位（画面受信時も含む）

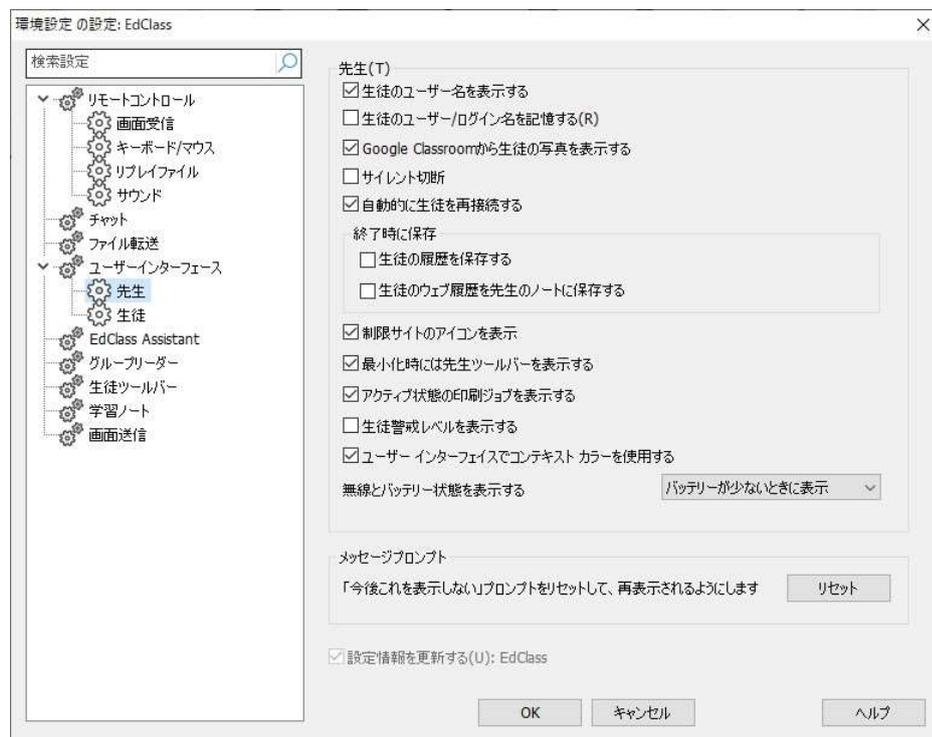
生徒画面の表示とファイル転送を同時に行うと、それぞれの操作がお互いのパフォ

パフォーマンスに影響を与えます。画面受信の反応を向上させるには、ファイル転送操作の優先順位を減らします。また、その逆も同じです。ファイル転送に高い優先順位を与えるには左に、生徒の画面受信に高い優先順位を与えるには右に、コントロールをスライドさせます。生徒の画面を表示していない場合は、この設定は無視されません。

コピーが終了すると進捗を自動的に閉じる

完了時にファイル転送の進捗ダイアログを自動的に閉じます。ファイル転送の結果を確認したい場合は、このオプションのチェックを外します。

先生コンソールの設定 - 先生のユーザーインターフェース



生徒のユーザー名を表示する

出席確認を実行時に、生徒のログイン名を先生コンソールに表示します。

生徒のユーザー/ログイン名を記憶する

生徒のユーザー/ログイン名を固定生徒リストに保存します。

Google Classroom から生徒の写真を表示する

Google Classroom と連携して、生徒アカウントに写真が関連付けられている場合、先生コンソール上の生徒アイコンに写真を表示するかどうかを選択できます。

サイレント切断

セッション中に生徒が誤って切断した場合、先生コンソールにプロンプトが表示されません。この警告を非表示にする場合は、このオプションを有効にしてください。

生徒に自動再接続

生徒が誤って切断してしまった場合、自動的にリモートコントロールセッションに再接続します。

終了時に保存

生徒の履歴を保存する

先生コンソールを終了時に、インターネット、アプリケーション、印刷の履歴を CSV ファイルに自動的に保存します。

生徒のウェブ履歴を先生のノートに保存する

先生コンソールを終了時に、生徒のウェブ履歴を自動的に先生のノートに保存します。

制限サイトのアイコンを表示

制限されたウェブサイトのアイコンが表示されます。デフォルトで有効になっています。制限ウェブサイトを多数設定されている場合は、アイコン表示を無効にすることで、Windows リソースを過度に使用しないようにできます。

最小化時には先生ツールバーを表示する

先生コンソールを最小化すると、EdClass の主要機能にアクセス可能な先生コンソールツールバーが表示されます。このオプションを無効にする場合は、チェックを外してください。

アクティブ状態の印刷ジョブを表示する

全ての表示モードで稼働中の印刷ジョブを表示します。

生徒警戒レベルを表示する

生徒は、生徒ツールバーからアラートを発信することができ、先生側の生徒アイコンは発信されたアラートの種類によって色が変わります。このオプションでアラートを表示または非表示にすることができます。

ユーザーインターフェースでコンテキストカラーを使用する

先生コンソールの色が、現在の表示モードに合わせて変化するようになります。このオプションを無効にすると、ユーザーインターフェース全体で同じ色を使用します。

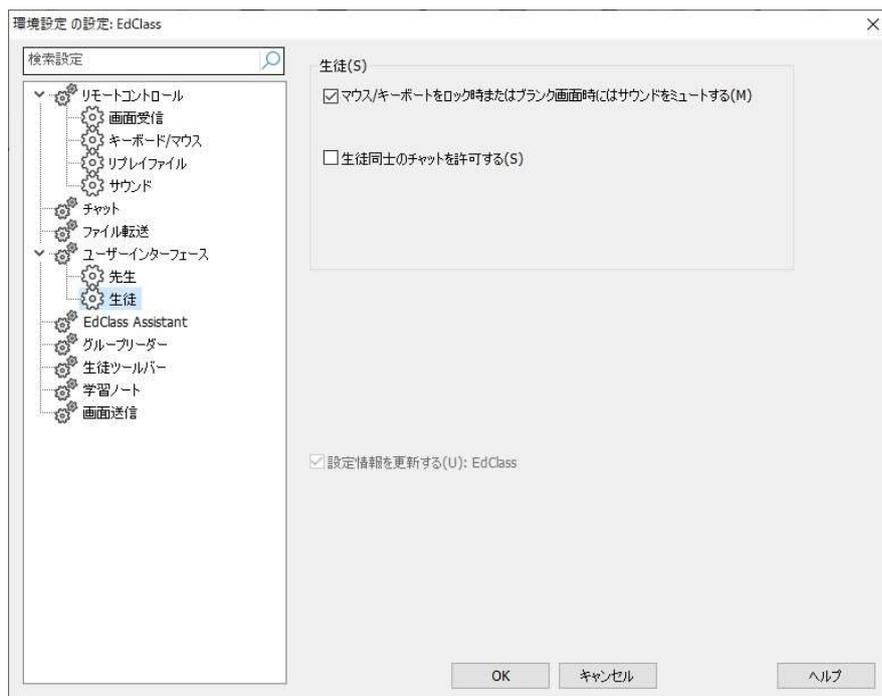
無線とバッテリー状態を表示する

無線とバッテリー状態の両方を表示するように選択することができ、10%以下になったバッテリーレベルだけを表示することもできます。

メッセージプロンプト

「今後これを表示しない」プロンプトをリセットして、再表示されるようにします
シャットダウン、再起動、ログアウト、グループの削除、先生コンソールの終了時に表示されるメッセージを無効にした場合、ここで再度有効にすることができます。

先生コンソールの設定 - 生徒のユーザーインターフェース



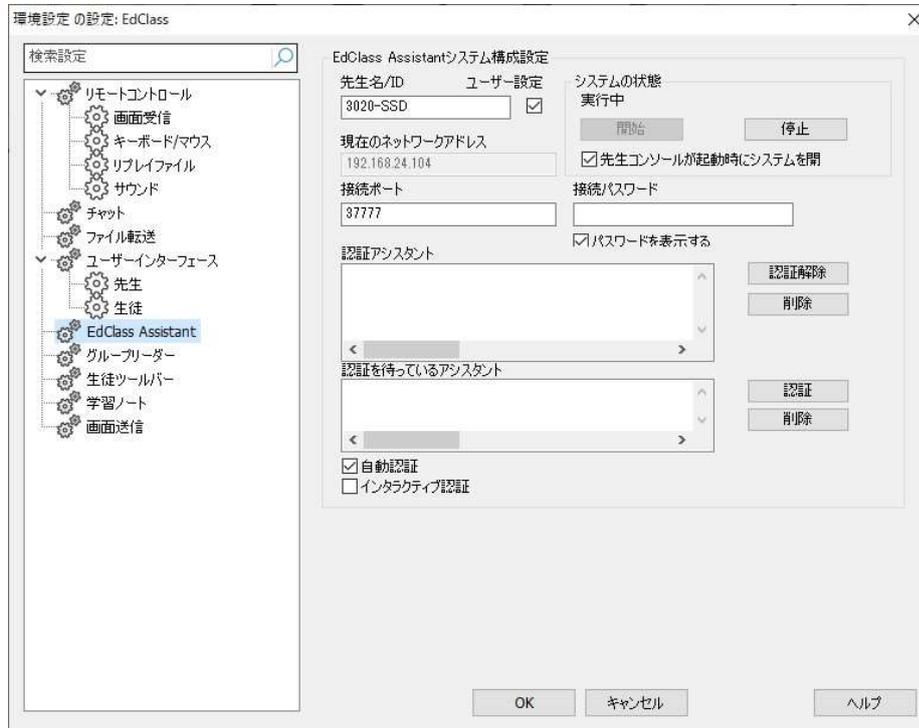
マウス/キーボードをロック時またはブランク画面時にはサウンドをミュートする
マウス/キーボードのロック時またはブランク画面時に生徒側のサウンドをミュートにします。

生徒同士のチャットを許可する

このオプションにチェックをすると、生徒が接続中の他の生徒とグループチャットを開始できるようになります。

先生コンソールの設定 — 先生アシスタント

先生アシスタントの設定を構成します。



先生名/ID

先生アシスタントに表示される名前です。カスタムを選ぶと先生の名前を手入力することができます。

システムの状態

現在のシステムの状態を表示します。ここからシステムを開始または停止することができます。

先生コンソールが起動時にシステムを開始する

先生が開始するとシステムは自動的に開始します。

現在のネットワークアドレス

先生コンピュータの IP アドレスを表示します。

接続ポート

ポート番号を入力します。デフォルトのポートは 37777 です。

接続パスワード

先生アシスタントが先生に接続するために使用するパスワードを入力します。

パスワードを表示する

接続パスワードの表示/非表示を切り換えます。

認証アシスタント

先生に接続するために認証された先生アシスタントの一覧です。ここからアシスタントを削除、または認証解除ができます。

認証を待っているアシスタント

先生に接続するための認証を待っている先生アシスタントの一覧です。アシスタントを許可するには認証をクリックします。

自動認証

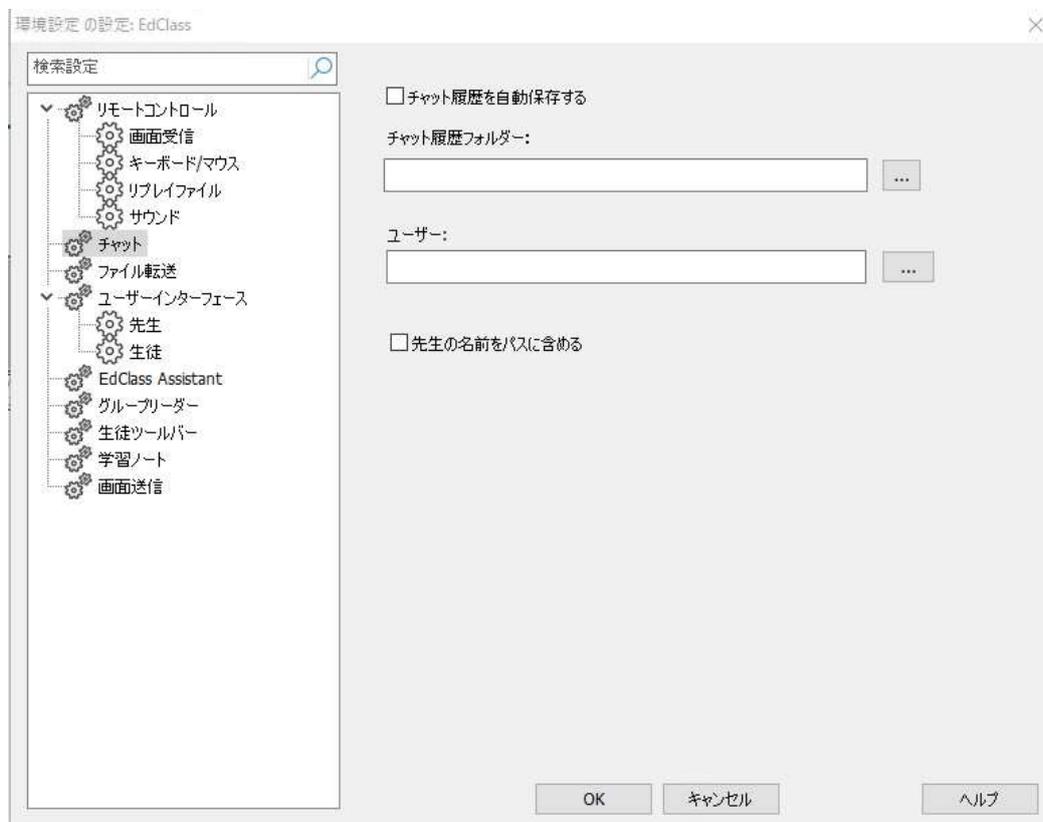
正しいパスワードを入力すると先生アシスタントは自動的に認証されるようになります。

インタラクティブ認証

先生アシスタントは先生に接続するためには手動認証が必要になります。

先生コンソールの設定 - チャット

チャット履歴をテキストファイルに保存できます。



チャット履歴を自動保存する

すべてのチャット履歴を自動的に保存するようになります。

チャット履歴フォルダー:

チャット履歴を保存するフォルダを指定します。

ユーザー:

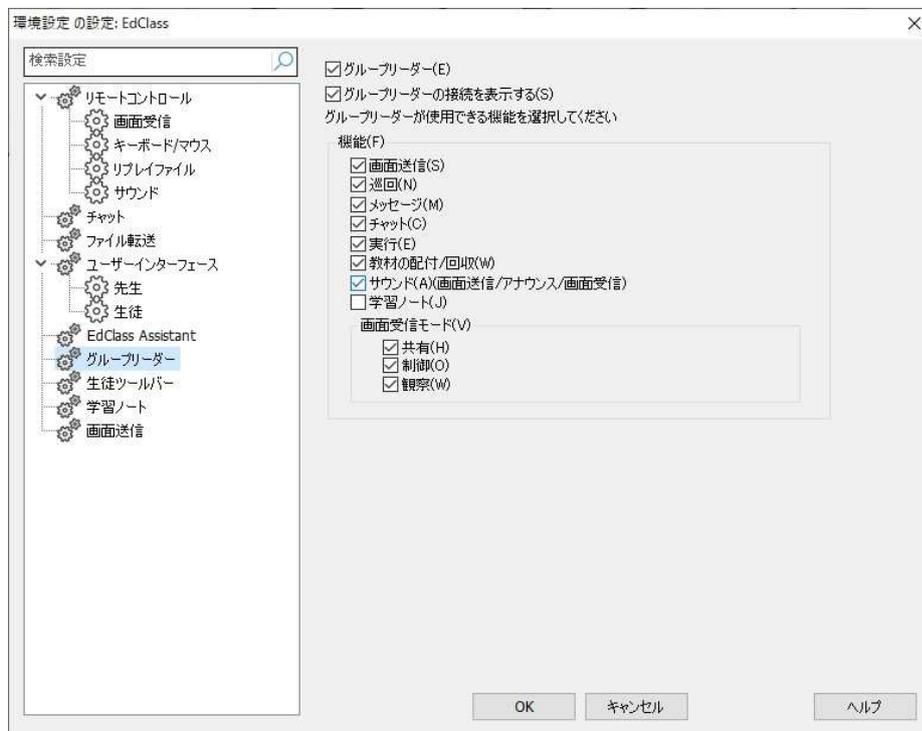
フォルダで指定したパスが UNC パスの場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

先生の名前をパスに含める

パス名に先生の名前を含むようになります。

先生コンソールの設定 - グループリーダー

グループと一緒に作業をする時に、先生はグループ内の生徒をグループリーダーにすることが可能です。



グループリーダー

グループリーダー機能が有効になります。

グループリーダーの接続を表示する

グループリーダーとそのグループの生徒のリンクが確認できるグループリーダー接続が表示されます。

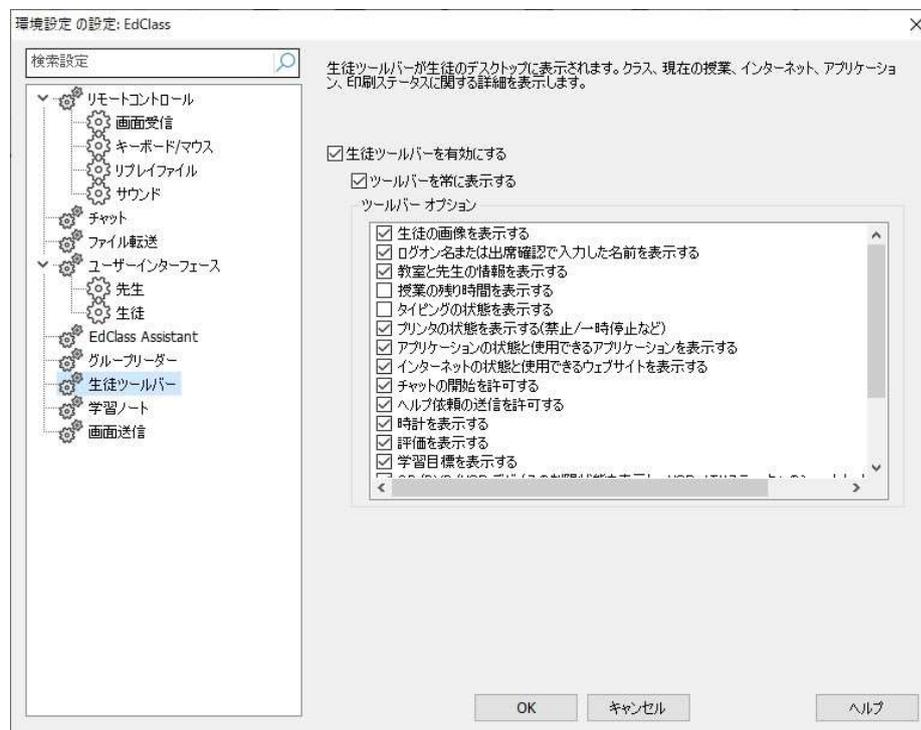
機能

グループリーダーが使用できる機能を選ぶことができます。

デフォルトではすべてのグループリーダー機能が有効になっています。ボックスのチェックを外して機能を無効にできます。

先生コンソールの設定 - 生徒ツールバー

生徒ツールバーの設定をします。



生徒ツールバーを有効にする

生徒ツールバーを有効にします。

ツールバーを常に表示する

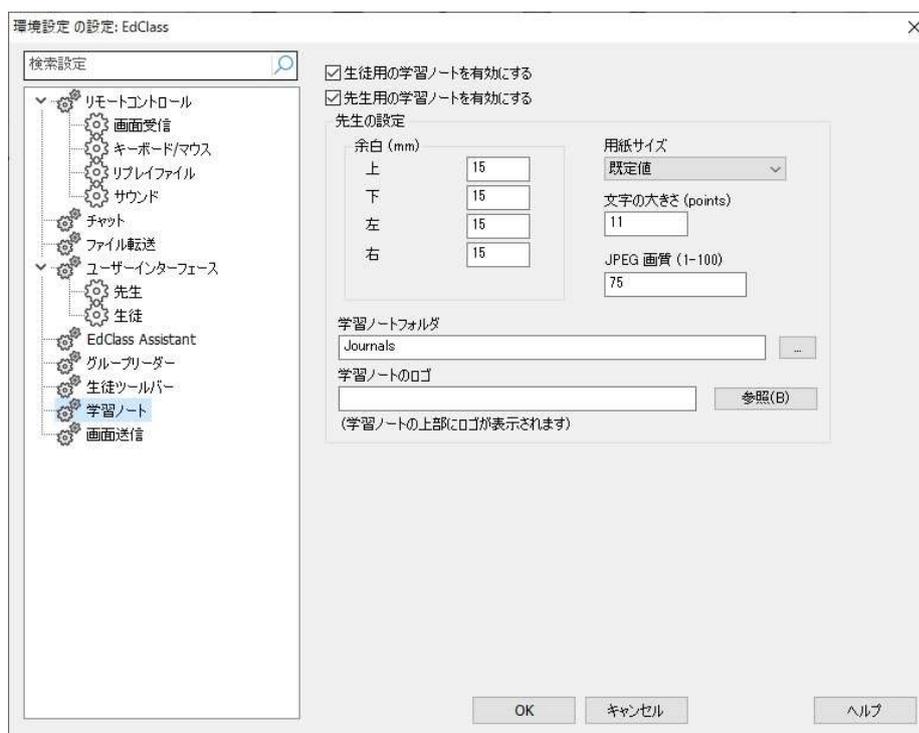
生徒の画面上部にツールバーが常に見えるようにするか、自動非表示にするかを選択します。

ツールバーオプション

生徒ツールバー上に表示するオプションを選択します。

先生コンソールの設定 - 学習ノート

学習ノートは、授業のキーポイントをまとめて携帯用 PDF ファイルに保存できます。ここでは先生用に保存する学習ノートの設定をカスタマイズできます。生徒用学習ノートの設定をカスタマイズするには、[スタート][すべてのアプリ][EdClass][EdClass 生徒の構成設定 - 学習ノート] を選択します。



生徒の学習ノートを有効にする

生徒用の学習ノートを起動します。

先生用の学習ノートを有効にする

有効にした場合、先生が確認できる学習ノートのコピーが保存されます。

先生の設定

余白 (mm)

学習ノートの上下左右の余白を調整します。

用紙サイズ

生徒学習ノート用の用紙サイズオプションを選択します。

文字の大きさ (points)

学習ノートで使用するフォントのサイズを設定します。

JPEG 画質 (0-100)

学習ノート内の画像の画質を設定します。デフォルトは 75 に設定されています。

学習ノートフォルダ

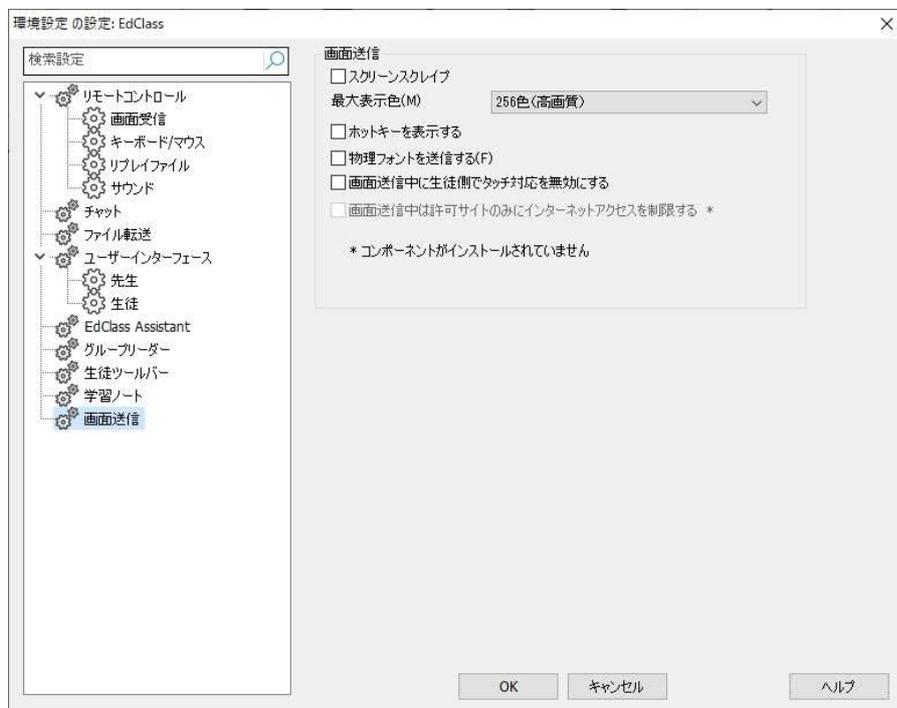
学習ノートの保存場所を指定します。

学習ノートのロゴ

学習ノートの上部に表示される画像を追加できます。

先生コンソールの設定 - 画面送信

画面送信機能は、生徒の画面に先生の画面を表示することができます。ここで画面送信の設定ができます。



スクリーンスクレイプ

EdClass は、画面受信されるパソコンのビデオドライバにフックして画面情報のデータを送受信します。しかし、特定のアプリケーションがドライバをバイパスにしている場合、この方法が上手く動作しない場合があります。そのような場合は、画面のスナップショットを送受信する、スクリーンスクレイプモードを有効にします。ネットワークに影響が出ますが、クライアント画面を忠実に再現できます。

最大表示色

生徒に画面送信をする際の最大色深度を選択できます。デフォルトでは 256 色(高画質)に設定されています。

ホットキーを表示する

先生が使用したキーの組み合わせ(例: CTRL+V)が先生、生徒両方の画面にバールーンで表示されます。画面送信中に先生が行ったすべての操作を、生徒が確認できるようになります。

物理フォントを送信する

EdClass は、データ量を軽減するためにフォント情報をローカルで参照します。生徒コンピュータは送信情報に近いフォントを内部で参照します。大抵の場合は同じフォントが利用可能ですが、そうでない場合は、このオプションを有効にすることで、完全なフォント情報を送信するように設定できます。

画面送信中に生徒側でタッチ対応を無効にする

生徒がタッチ操作に対応したデバイスを使用している場合は、画面送信中のタッチ操作を無効にできます。

画面送信中は許可サイトのみインターネットアクセスを制限する

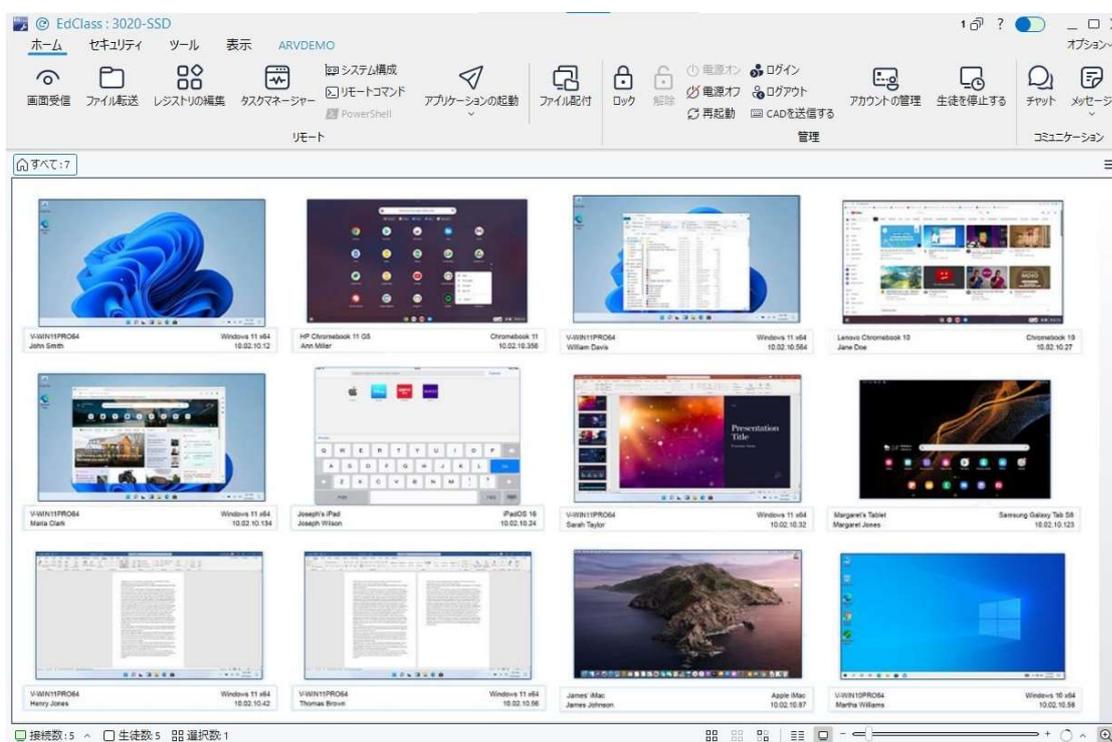
画面送信中に不適切なウェブサイトが生徒に表示されないように、承認ウェブサイトのみアクセスを制限します。

テックコンソール

教室管理ソリューションとは、的確なツールを先生たちに提供するだけでなく、学校内のすべてのコンピュータを管理できるようにすることも重要です。

EdClass は技術者やネットワーク管理者向けに設計された「テックコンソール」を搭載しています。

注意： テックコンソールは、他の EdClass コンポーネントと一緒にインストール、もしくは、単体でインストールできます。



テックコンソールの起動

スタートメニューにある EdClass テックコンソール起動するか、デスクトップのショートカットアイコンを実行してください。

はじめてテックコンソールを起動すると、設定画面が表示されます。ここでは、起動時に接続するクライアントを指定できます。このダイアログは、次回以降の起動時には表示されませんが、テックコンソールの右端にある [オプション] [設定] を選択することでアクセスできます。

注意： 必要に応じて、接続が確立されると先生のコンピュータにメッセージを表示させることができます。詳しくは、生徒のセキュリティタブを参照してください。

リストビュー

接続された生徒は、2つの異なる方法で表示できます。

- 縮小画面表示
手軽に生徒の行動をモニタリングできる生徒画面のサムネイルを表示します。
- 詳細表示
名前、IP アドレス、ユーザー名、使用中のアプリケーションとウェブサイト、起動しているアプリケーションとウェブサイトなどの生徒 PC の詳細情報を表示します。

詳細表示時に生徒の名前の横に表示されるアイコンは、生徒の状態に応じて変化します。利用可能なアイコンは次のとおりです。

灰色の PC = PC がオフの状態

色付きの PC = PC がオンですが、先生と未接続の状態

緑色のユーザー = 先生と接続中で、クラスに入室している状態

茶色のユーザー = 先生

表示モードの切り換え

リボンの [表示] タブを選択し、「詳細」または「縮小画面」をクリックするか、ステータスバーの詳細アイコン  または縮小画面アイコン  をクリックします。

表示列の設定

詳細表示の場合、リボンの [表示] タブにあるチェックボックスにて、実行中のアプリケーション、すべてのウェブサイト、クライアントバージョンの列の表示/非表示を設定できます。

注意： 詳細表示では、生徒のアイコンを右クリックして、アプリケーションやウェブサイトの起動や終了を行うことができます。

スライダーバー

ステータスバーにあるスライダーバーを使用して生徒の縮小画面のサイズを変更できます。また、縮小画面の更新間隔の変更、縮小画面サイズの自動調節も可能です。

先生 PC の表示

先生 PC の隣には先生アイコン  が表示されます。また、先生から生徒への接続が確認できる接続バーも表示されます。

任意の PC を先生用 PC として手動で設定することも可能です。該当のクライアントを右クリックで選択し、プロパティをクリックします。[全般] タブを選択し、「これは先生のコンピュータです」のチェックボックスを有効にしてください。

テックコンソールの機能

テックコンソールでは、先生プログラムの主な機能が利用可能です:-

- 1 画面で校内ネットワークの全コンピュータをモニタ
- 各生徒コンピュータのアプリケーションとインターネットの利用をモニタリング
- 選択したコンピュータまたは全てのコンピュータにファイルやフォルダを転送
- 教室/実際の配置別に全コンピュータをグループ化
- ハードウェア/ソフトウェア インベントリ
- タスクマネージャーを使用して、生徒のアプリケーション、プロセス、およびサービスを表示および管理
- 授業中の先生に直接技術支援を提供
- 教室内のコンピュータをリモートで電源オン/オフ
- 教室内のコンピュータをリモートで再起動/ログアウト
- コンピュータに自動的にログイン
- 稼働中の教室ごとに生徒と先生を全て表示
- リモートで各 EdClass クライアントのセキュリティ設定を確認
- 先生または生徒とチャットを開始
- グループまたはネットワーク利用者全員にメッセージを送信
- 選択したコンピュータと一対一のリモートコントロールの実行
- 全生徒コンピュータの USB メモリの状態をリアルタイム表示
- 生徒のマウスとキーボードをロック/解除する
- 生徒コンピュータのアプリケーションを起動
- 電源管理、Windows Update セキュリティ設定の表示/設定
- リモートシステムのレジストリを編集
- リモートシステムからローカルコマンドプロンプトを起動
- 選択したクライアントで PowerShell ウィンドウを起動
- 部屋モードを使用して生徒/先生に自動的に接続
- インターネット、アプリケーション、USB、CD/DVD、印刷の制限を学校全体に適用
- 検索機能を使用して先生と生徒の PC の簡単検索
- 生徒が実行しているプログラムを停止
- テックコンソール用ファイルマネージャー

ヘルプ依頼

EdClass では、先生が校内の技術者にヘルプを依頼することができます。

先生のサポート機能はデフォルトで有効になっており、タイトルバーの先生のサポー

トグル  でオン/オフを切り換えできます。機能が有効の場合、先生コンソールのツールバーに「サポート依頼」アイコン  サポート が表示されます。アイコンをクリックすると、先生は技術者と直接チャットができます。

生徒の検索

検索機能を使用して、簡単に先生と生徒の PC を見つけることが可能です。ログインユーザー名、マシン名、IP アドレス、実行中のアプリケーション、またはアクティブなウェブサイトで検索することができます。

1. テックコンソールのリボンで [表示] タブを選択し、テキスト検索フィールドに検索条件を入力します。また、以下の「検索対象のアイコン」を指定可能です。



ログインユーザー名で検索

PC 名で検索

IP アドレスで検索

実行中のアプリケーションで検索

アクティブなウェブサイトで検索

2. 大文字と小文字を区別するオプションがあります。
3. 検索をクリックします。検索結果はグループバー上の新しいグループに表示されます。

注意： 検索結果(およびグループ)を削除するには、リボンの「検索を閉じる」アイコンをクリックします。

EdClass 生徒のサービスを停止する

EdClass 生徒のサービスを停止する必要がある場合があります。生徒 PC で実行されている EdClass 生徒サービスは、テックコンソールから停止が可能です。一度停止すると、生徒 PC で EdClass は利用できなくなります。また、サービスを停止した後に指定分後や指定時刻でのサービス再起動が可能です。

注意： サービスを一定期間または指定された時間の間停止すると、その期間が終了するまで PC を再起動しても、EdClass 生徒サービスは起動しません。

1. テックコンソールで、停止したい生徒または生徒グループを選択します。

注意： 正しいコンピュータが選択されていることを確認してください。この操作は元に戻すことができません。

2. リボンの「ホーム」タブを選択し、「生徒を停止する」をクリックします。

生徒を停止する

マシンを接続できない場合に備えて、リモート生徒サービスを停止できます。これは、たとえば試験中に発生する可能性があります。

これを適用するマシンを特定する必要があります。元に戻すことはできません

生徒は今すぐ停止され、マシンが再起動されるまで利用できません

生徒は今すぐ停止され、指定された分数の後に再起動します

0 分毎

生徒は今すぐ停止され、指定された時間に再開されます

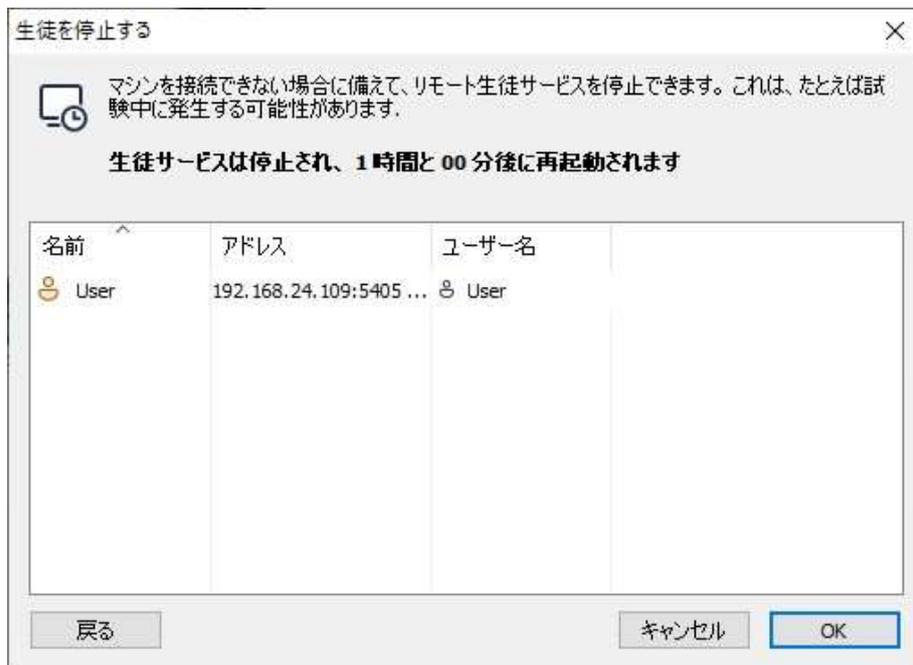
16 : 26

キャンセル 次へ

3. 3つのオプションから選択可能です。

- 生徒は今すぐ停止され、マシンが再起動されるまで利用できません
PC が再起動されるまでサービスが停止します。
- 生徒は今すぐ停止され、指定された分数のあとに再起動します
サービスを停止しておく時間を分単位で指定します。

- 生徒は今すぐ停止され、指定された時間に再開されます
指定時刻までの間サービスが停止し続けます。指定時刻になるとサービスが再起動します。
4. 「次へ」をクリックします。
 5. 選択したオプションと適用される生徒 PC の概要が表示されます。



6. 「OK」をクリックします。
7. 最終確認が表示されます。続行するには「はい」をクリックします。

制限事項

- この機能は Windows 版の生徒にのみ利用可能です。
- 生徒サービスを最大 24 時間停止できます。サービスを長期間停止する必要がある場合は、日毎に設定を適用する必要があります。
- ターミナルサーバー環境では、個別のユーザーセッションに対して生徒サービスを停止することはできません。

ハードウェア/ソフトウェアのインベントリ

サポートスタッフにとって、クライアントのコンピュータのプラットフォームだけでなく、そのハードウェア仕様やインストールされているアプリケーションを知ることは、問題解決の重要な糸口となります。そのため、EdClass には、リモートコンピュータのハードウェア/ソフトウェア情報を取得できるツールが用意されています。

50 項目以上のクライアントコンピュータのハードウェア/ソフトウェア情報を収集します。アプリケーションのメモリやインストール済みのホットフィックス、プロセス、サービスなどを詳細に表示します。

リアルタイムレポートだけでなく、セキュリティが許可する場合にはリモートでサービスやアプリケーションの停止、開始が可能です。

注意： システム構成はテックコンソールからのみ実行可能です。

クライアントのシステム構成を収集する

1. コントロールウィンドウのリストビューでクライアントアイコンを選択します。
2. リボンの [ホーム] タブを選択し、「システム構成」をクリックします。
または
リボンで生徒の名前が表示されているタブを選択し、「システム構成」をクリックします。
または
生徒アイコンを右クリックし、「システム構成」を選択します。
3. 選択した生徒のシステム構成ウィンドウ が表示されます。

注意： 一度収集したクライアントの様々な構成情報はローカルの EdClass プログラムフォルダに保存されます。情報を再表示させるためにそのコンピュータに接続する必要はありません。情報を表示するには、リストビューにて生徒を選択後、右クリックにてメニューのシステム構成をクリックします。その後、情報を取得する場合は、そのコンピュータに接続する必要があります。

インベントリウィンドウ



キャプションバー

キャプションバーには、表示されているリモート生徒 PC の名前が表示されます。右側には次のオプションがあります：



[複数ウィンドウアイコン]

開いているウィンドウの数を表示します。ここからウィンドウメニューにアクセスできます。



[ヘルプアイコン]

ヘルプファイル、バージョン情報、ライセンス情報、テクニカルサポート情報にアクセスします。



[最小化アイコン]

ウィンドウを最小化します。



[最大化アイコン]

ウィンドウを最大化します。



[閉じるアイコン]

ウィンドウを閉じます。

リボン

リボンから各コンポーネントにアクセスできます。また、現在の表示を更新、印刷、エクスポートが可能です。

以下のインベントリレビューが利用可能です：

- **ハードウェア**

クライアント PC のハードウェアまたは環境に関する情報が収集されます。

- **ソフトウェア**

選択したクライアント PC のソフトウェアインベントリレポートを提供します。インストールされている各製品の名前、製造元、製品アイコン、バージョンナンバー、関連する.exe ファイルも含まれます。

- **ホットフィックス**

選択したクライアント PC にインストールされているホットフィックスを読み取り、ステータスをチェックします。そのステータスと一緒にホットフィックス ID を一覧表示します。ホットフィックス ID は、Microsoft サポートページにリンクしているため、修正プログラムの詳細を確認することが可能です。各フィックスのステータスを確認する際、EdClass は下記のようなインジケータを表示します。



修正プログラムがターゲット PC に存在し、最新のものであることを確認済み



想定されるファイルが存在しないか、正しいバージョンでない可能性があります。修正プログラムを再度インストールすることを推奨します。



必要な情報を収集できませんでした。

注意： 一度情報を収集すると、クライアントインベントリがローカルの EdClass プログラムフォルダに保存されます。あとで情報を確認する場合は、ターゲット PC に接続する必要はありません。ただし、インベントリ情報を更新する場合は、ターゲット PC に接続する必要があります。

ステータスバー

ステータスバーには接続されている生徒の数が表示されます。「接続数」をクリックすると、接続されているすべての生徒のリストを見ることができます。生徒名をクリックすると、その生徒のインベントリウィンドウが開きます。

タスクマネージャーの実行

1. リストビューで対象の生徒アイコンを選択します。
2. リボンの [ホーム] タブを選択し、「タスクマネージャー」をクリックします。
 または
 リボンで生徒の名前が表示されているタブを選択し、「タスクマネージャー」をクリックします。
 または
 右クリックして「タスクマネージャー」を選択します。
 または
 生徒画面を表示している間、ビューウィンドウのツールタブを選択し、タスクマネージャーアイコンをクリックします。
3. 選択した生徒のタスクマネージャーウィンドウが表示されます。

タスクマネージャーウィンドウ



ウィンドウの構成:

キャプションバー

キャプションバーには、実行中の生徒の名前が表示されます。
 右側には以下のオプションがあります:



[複数ウィンドウアイコン]

開いているウィンドウの数を表示します。ここからウィンドウメニューにアクセスできます。



[ヘルプアイコン]

ヘルプファイル、バージョン情報、ライセンス情報、テクニカルサポート情報にアクセスします。



[最小化アイコン]

ウィンドウを最小化します。



[最大化アイコン]

ウィンドウを最大化します。



[閉じるアイコン]

ウィンドウを閉じます。

リボン

リボンからタスクマネージャーのタスクとツールにアクセスできます。選択した項目に応じて利用可能なオプションが変化します。すべての表示からデータの更新、印刷、エクスポートが可能です。

以下の表示が利用可能です：

- アプリケーション

生徒 PC で現在実行中のアプリケーションのリストを表示します。リストから選択したアプリケーションを閉じるには、アプリケーションを閉じるアイコンをクリックします。

- プロセス

生徒 PC で現在実行中のプロセスのリストを表示します。リストから選択したプロセスを閉じるには、プロセスを終了するアイコンをクリックします。

注意： 実行中のプロセスの使用状況の差異(+/-)を確認するには、「リソースの監視」をクリックしてください。

- サービス

現在学生用のマシンで実行中のサービスの一覧を表示します。

対象のサービスアイコンをクリックすることで、サービスを停止、開始、一時停止、再起動ができます。

- ステータスバー
ステータスバーには接続された生徒の数が表示されます。[接続数] をクリックすることで、接続されているすべての生徒のリストを見ることができます。生徒名をクリックすると、その生徒のタスクマネージャーウィンドウが開きます。

ポリシー管理

学校全体に適用できる一連のポリシー制限を作成できます。一度ポリシーが適用されると、終日有効になります。ポリシーには、インターネット、アプリケーション、USB、CD/DVDドライブへのアクセス、印刷、ウェブカメラの制限を含めることができます。

詳細表示では、生徒の現在のポリシー制限を表示することができます。ポリシー列のアイコンにマウスを合わせると、現在のポリシーの詳細情報が表示されます。

セントラルポリシーが適用されていることを知らせるロックアイコンが、関連する機能の隣に表示されます。

注意：先生は開始オプション設定で生徒用のセントラルポリシーを上書きすることができます。

ポリシー管理

インターネット

モード 制限

URL	説明
www.google.co.jp/	
www.yahoo.co.jp/	

追加(A) 削除(R) 編集(E) インポート(I)

アプリケーション

モード 制限なし

名前	説明
notepad	

追加(A) 削除(R) 編集(E) インポート(I)

USB

制限なし
 アクセス遮断
 読み取り専用
 実行禁止

CD/DVD

制限なし
 アクセス遮断
 読み取り専用
 実行禁止

プリンタ 制限なし

ウェブカメラ 制限なし

作成者 arivtest01, 変更金 3 30 13:01:32 2018

ヘルプ(H) OK キャンセル

ポリシーを作成する

1. リボンの [セキュリティ] タブを選択し、「グループ」をクリックします。
または、ステータスバーの詳細アイコン をクリックし、ポリシー列で右クリックし、「ポリシー管理」を選択します。
2. ポリシー管理ダイアログが表示されます。必要な制限を設定します。
3. 「OK」をクリックします。
4. すべての生徒にポリシーの変更を適用するには、「はい」をクリックします。

ポリシーを適用する

すべての接続しているコンピュータまたは選択したクライアントにポリシーを適用することができます。

注意: ポリシーから先生機を除外することができます。[管理][環境設定 - 全般設定]にて、「先生コンピュータにポリシーを適用しない」チェックボックスを選びます。

1. ポリシーを適用する必要なクライアントを選びます。
または
レポートモードに一覧ビューを切り替えます。
2. リボンの [セキュリティ] タブを選択し、「適用」をクリックします。

ポリシーを初期化する

選択したクライアントから現在のポリシーを初期化します。

1. ステータスバーの詳細アイコン をクリックします。
2. 必要なクライアント(複数可)を選択します。
3. ポリシー列で右クリックし、「ポリシーのクリア」を選びます。

生徒のセキュリティ設定

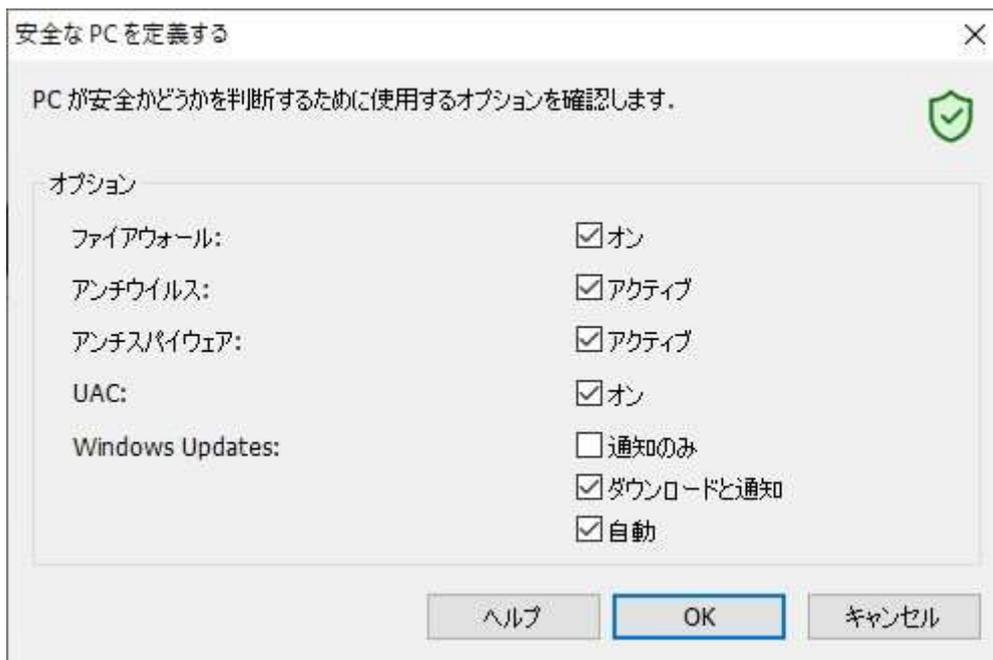
テックコンソールを使って、生徒の現在のセキュリティ状態を確認し、ファイアウォールや Windows Update などのセキュリティ設定を変更できます。また、PC が安全かどうかを判断する設定も調整できます。安全な PC の条件を満たす場合、詳細情報に緑色の盾が表示されます。条件をひとつでも満たさない場合は、その盾が赤くなります。

注意： これらの設定はテックコンソールでのみ利用可能です。

安全な PC を定義する

PC が安全であるかどうかを判断するオプションを定義します。

1. リボンの [セキュリティ] タブを選択し、[定義] をクリックします。[安全な PC を定義する] ダイアログが表示されます。



2. 必要なオプションを選択し、OK を押します。

現在のセキュリティ設定を表示する

詳細表示では、生徒の現在のセキュリティの状態が [セキュリティ] 欄に表示されます。盾の上にマウスを合わせると、すべての項目の現在の状態が表示されます。

1.

セキュリティ設定を変更する

1. 生徒アイコンを選択します。
2. リボンの「セキュリティ」タブを選択し、「セキュリティ設定」をクリックします。
または
詳細表示では、「セキュリティ」列の盾を右クリックし、「セキュリティ設定を変更」を選択します。
3. 「設定を変更する」ダイアログが表示されます。必要に応じて設定を変更します。
4. 「適用」をクリックします。

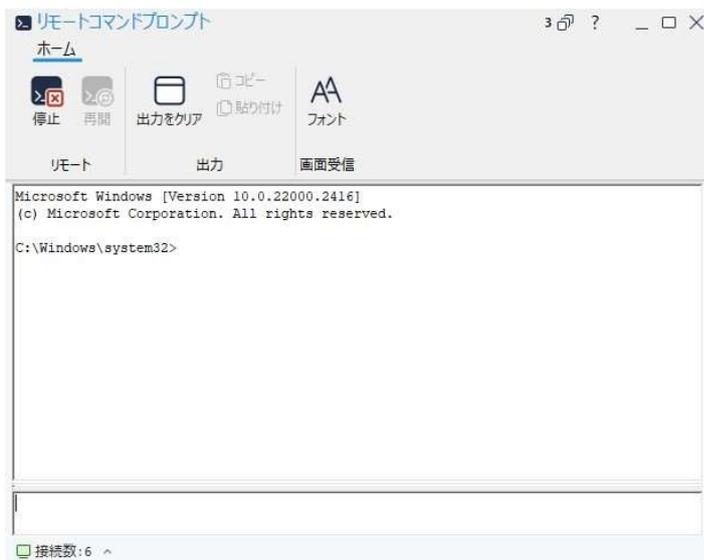
または

1. 生徒アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
2. プロパティダイアログが表示されます。セキュリティタブを選択します。
3. 「変更」をクリックし、必要に応じて設定を変更します。

リモートコマンドプロンプトウィンドウ

コマンドプロンプトウィンドウを起動することで、接続されたクライアントでコマンドラインをリモート実行できます。

1. クライアントに接続し、コンソールのリボンで「ホーム」タブを選択し、[リモートコマンド] をクリックします。
または
生徒のアイコンを右クリックし、[リモートコマンドプロンプト] を選択します。
または
リボンに表示されている生徒の名前のタブを選択し、[リモートコマンド] をクリックします。
2. リモートコマンドウィンドウが表示されます。



ウィンドウは以下のセクションに分かれています:

キャプションバー

キャプションバーには、リモートコマンドプロンプトウィンドウが開かれている生徒の名前が表示されます。

右側には以下のオプションがあります:



[複数ウィンドウアイコン]

開いているウィンドウの数を表示します。ここからウィンドウメニューにアクセスできます。



[ヘルプアイコン]

ヘルプファイル、バージョン情報、ライセンス情報、テクニカルサポート情報にアクセスします。



[最小化アイコン]

ウィンドウを最小化します。



[最大化アイコン]

ウィンドウを最大化します。



[閉じるアイコン]

ウィンドウを閉じます。

リボン

リボンを通じて、出力ウィンドウのクリアや表示されているフォントを変更するなど、さまざまなツールが利用できます。

出力/結果ペイン

生徒 PC で実行されたコマンドの結果を表示します。

入力ペイン

ここにコマンドを入力します。必要に応じてサイズを変更できます。ウィンドウが開いている間、各コマンドはテックコンソールによって保存され、再実行したい以前のコマンドを呼び出すことができます。上下矢印キーを使用してエントリをスクロールし、Enter キーを押します。または、F7 キーを押して全コマンドをウィンドウに表示し、必要なコマンドをクリックして Enter キーを押します。

最大 50 コマンドが保存されます。F8 を押すと履歴を消去します。リモートコマンドウィンドウを閉じると、履歴は自動的に消去されます。

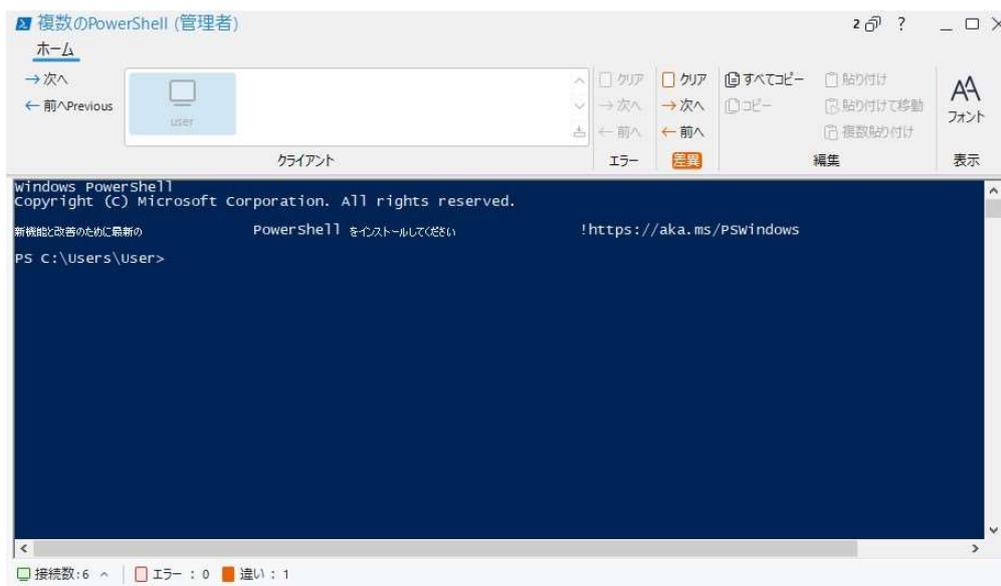
ステータスバー

ステータスバーには接続された生徒の数が表示されます。[接続数] をクリックすることで、接続されているすべての生徒のリストを見ることができます。生徒名をクリックすると、その生徒のリモートコマンドプロンプトウィンドウが開きます。

PowerShell ウィンドウ

PowerShell ウィンドウを起動して、選択したクライアントで PowerShell コマンドを実行できます。

1. 対象のクライアントを選択し、コンソールリボンの [ホーム] タブを選択し、[PowerShell] をクリックします。
または
クライアントアイコンを右クリックし、PowerShell を選択します。
または
リボンに生徒の名前が表示されているタブを選択し、[PowerShell] をクリックします。
2. PowerShell ウィンドウが表示されます。タイトルバーには、接続されているクライアントの名前が表示されます。



ウィンドウは以下のセクションに分かれています：

キャプションバー

キャプションバーには、PowerShell ウィンドウが開かれている生徒の名前が表示されます。PowerShell が複数の生徒に対して実行している場合は、現在選択されている生徒の名前が表示されます。

右側には以下のオプションがあります：



[複数ウィンドウアイコン]

開いているウィンドウの数を表示します。ここからウィンドウメニューにアクセスできます。



[ヘルプアイコン]

ヘルプファイル、バージョン情報、ライセンス情報、テクニカルサポート情報にアクセスします。



[最小化アイコン]

ウィンドウを最小化します。



[最大化アイコン]

ウィンドウを最大化します。



[閉じるアイコン]

ウィンドウを閉じます。

リボン

リボンを通じて、表示されているフォントを変更するなど、さまざまなツールが利用できます。PowerShell が複数の生徒に起動された場合、それらはクライアントペインにリストされ、必要な生徒セッションに簡単にアクセスできます。

PowerShell が複数の生徒で起動時は、セッションでエラーが報告された場合や、それらの間に違いがある場合、リボンの「エラー」と「差異」のセクションで通知されます。エラーや違いの数を示すインジケータが表示され、必要に応じてこれらをスクロールしてクリアできます。

入出力ペイン

ここに生徒に実行するコマンドを入力し、結果が表示されます。

ウィンドウが開いている間は、実行したコマンドが保存されます。再度実行したいコマンドは上下矢印キーで呼び出すことが可能です。必要なコマンドが表示されたら Enter を押します。または、F7 キーを押して全コマンドをウィンドウに表示し、必要なコマンドをクリックして Enter キーを押します。

ステータスバー

ステータスバーには接続されている生徒の数や複数の生徒セッション間のエラーや差異が表示されます。[接続数]をクリックすることで、接続されているすべての生徒の

EdClass15.10

リストを見ることができます。生徒名をクリックすると、その生徒の PowerShell ウィンドウが開きます。

テストモジュール

EdClass テストモジュールはわずかな時間でテストを作成し試験を行うことが可能なパワフルなツールです。テストデザイナーでテキストや画像、動画、音声を含む問題を作成し選択した生徒が制限時間内に解答します。その結果を自動的に回収して採点を行います。

テストモジュールには次の機能があります

テストデザイナー

EdClass のプログラムグループから起動します。テストデザイナーは問題やテストを作成するときを使用します。

テストコンソール

EdClass 先生プログラムから実行します。テストコンソールは、選択した生徒にテストを配信し、進行具合の確認、結果の集計を行います。

テストプレイヤー

生徒のコンピュータでテストを実行するコンポーネントです。先生がテストを配信すると自動的に起動します。

テストデザイナー

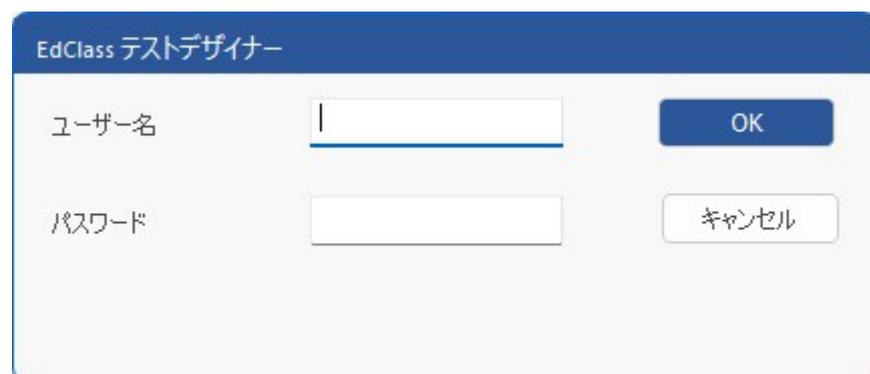
EdClass テストデザイナーは主に次の内容が可能です。

- 問題の作成
- 試験の作成
- 問題とテストの管理
- デザイナーへのアクセス

注意: EdClass 先生プログラムで生徒の選択、テストの実行、結果の保存を管理できます。詳細はテストコンソールを参照してください。

テストデザイナーを開始する

1. [スタート][すべてのアプリ][EdClass][EdClass テストデザイナー] を選択します。
2. テストデザイナーログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力します。



EdClass テストデザイナー

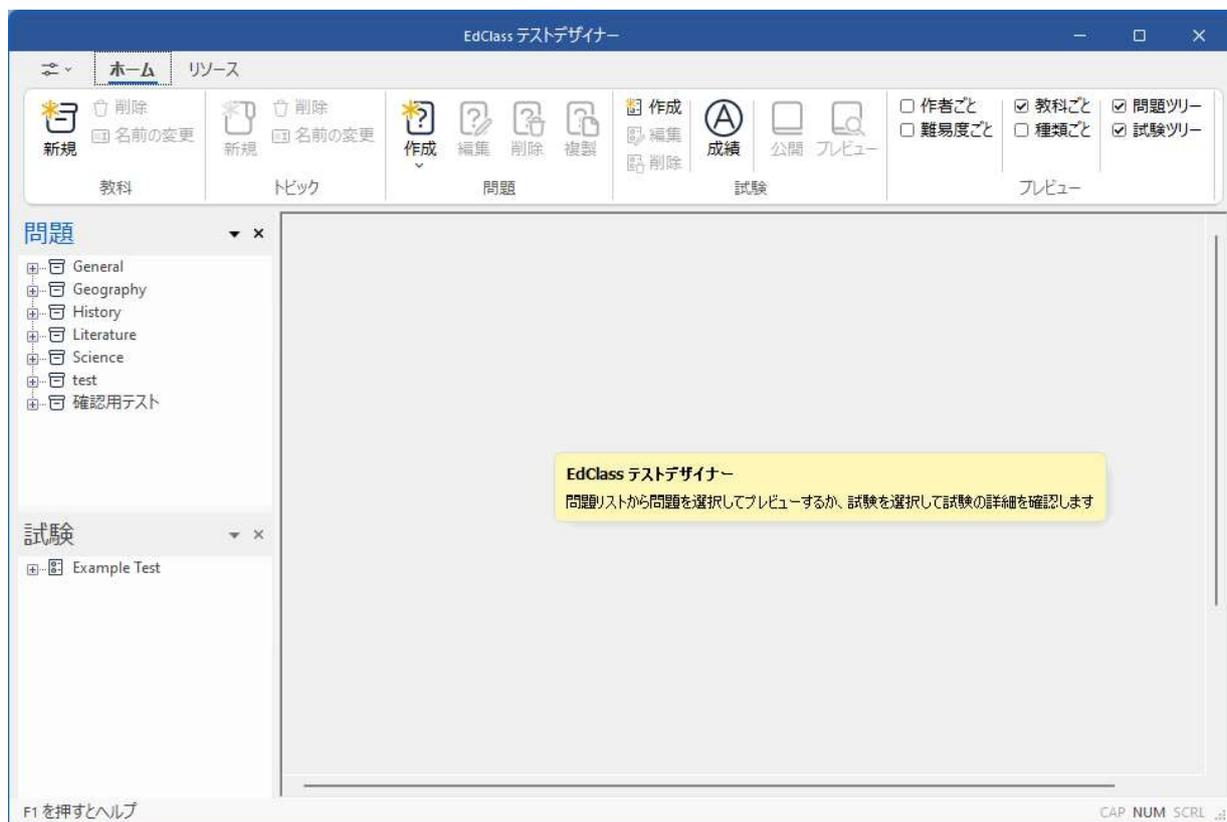
ユーザー名	<input type="text"/>	OK
パスワード	<input type="password"/>	キャンセル

注意: 初めてデザイナーにアクセスする時は、デフォルトの管理者ログインでアクセスします。(ユーザー名:admin、パスワード:admin) ログイン後、ユーザーを追加することもできます。

テストデザイナーの画面

テストデザイナーは、問題と試験の2つのモードから成り立ちます。

メニューまたは、各ツリービュー上部に表示されたアイコンを使用し2つのインターフェースを切り換えることができます。科目別にグループ化された問題は上部の枠に、試験は下部の枠に表示されます。右側の枠には、選択された問題と試験の内容が表示されます。



メインツールバーは、ユーザーカウントの作成、データのインポート/エクスポート、素材の管理などの一般的な操作のショートカットで構成されています。レイアウトアイコンは、作業したい問題または試験モードのデザインインターフェースをカスタマイズすることができます。デフォルトでは、ノーマルレイアウトが選択されています。

問題インターフェース

様々な形式の問題を作成することができます。また、画像やビデオや音声を使用することによって問題の質を高めることが可能です。

問題モードでは、4つのアイコンが利用可能です。

- 新しい問題を作成する。
- 選択したアイテムを編集する。
- 選択したアイテムを削除する。
- 問題の並び順を変更する。作成者順、難易度順、科目順、種類順が利用できません。

科目と分野は、いつでもツリーに追加可能です。また、問題がどの科目に属するか不明な場合は、問題を作成後に追加することもできます。

ツリーに科目を追加するには、メニューの [問題][新しい科目] を選択するか、問題ウインドウ内で右クリックして、新規科目を選択してください。

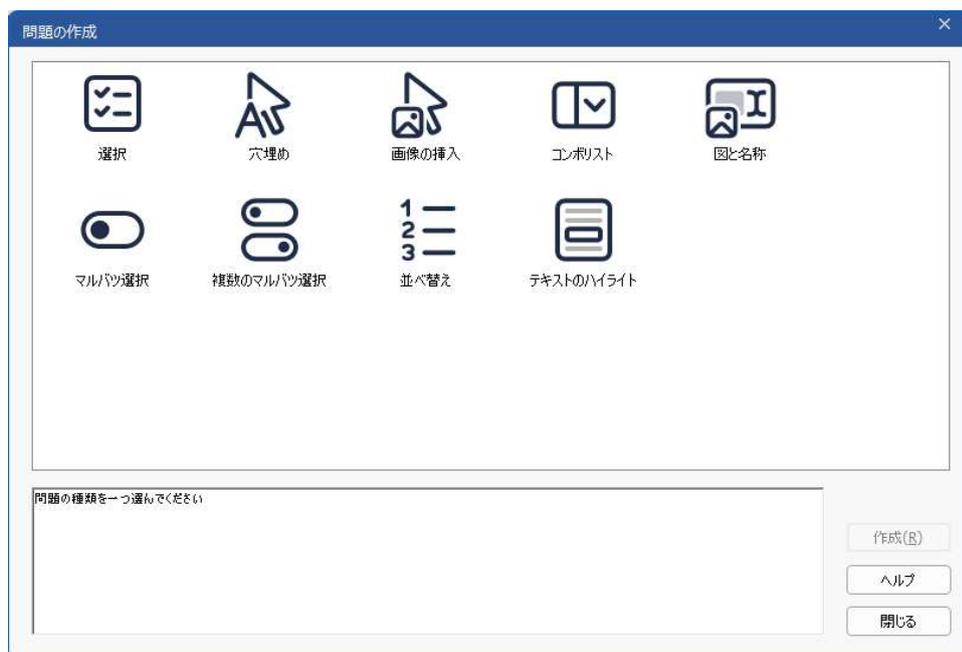
複数のトピックを科目の下に追加することができます。メニューから [問題][新しいトピック] を選択するか、科目名を右クリックして新しいトピックを選択します。

問題を作成する

問題を作成するには、メニューから、[問題][作成] を選んでください。



問題作成ウィザードで 9 種類の問題スタイルから選択可能です。



問題の種類を選択して、作成をクリックします。

注意： 問題は、テストを編集する時に、試験エディタにおいても作成できます。

9 種類の問題テンプレートがあります：

選択

4 つの選択肢から正しい答えを選択します。

穴埋め

単語や文章を選択して文章を完成させます。

画像の挿入

内容に該当する画像を選択します。

コンボリスト

問題に対してドロップダウンリストから正しい答えを選択します。リストにダミーの答えを追加することが可能です。

図と名称

画像の指定された部分に正しいタイトルを当てはめます。

マルバツ選択

生徒は問題に対して○×で答えます。

複数のマルバツ選択

生徒は与えられた4つの問題に対して○か×かで答えます。

並べ換え

正しい順番に4つの選択肢を並べ換えます。

テキストのハイライト

生徒はテキストの中から、一部分を解答としてハイライトします。

選択問題

最大 4 つの選択肢から正解を選択します。

初めに問題と正解と3つに不正解を一組で設定します。生徒側で問題を実行すると、4 つの解答がランダムで表示されます。

選択 ウィザード

問題と正解

問題 アメリカの首都はどこですか？

正解 ワシントンDC

不正解

選択肢 1 ボストン

選択肢 2 ニューヨーク

選択肢 3 ロサンゼルス

情報

問題と正解フィールドに問題と正解を入力してください。次に選択肢を入力して選択問題を完成させます。完了して続行するには、[次へ] をクリックします。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

ウィザードの第一ステップが完了したら次へ をクリックします。

穴埋め問題

4つの穴埋め文が出題されます。生徒は一覧の中から正しい単語または文章をドラッグ&ドロップして文章を完成させます。

最初に問題の説明と4つの問題文を入力します。各問題の文章で生徒にドラッグ&ドロップさせたい単語または文章を、マウスを使ってハイライトします。選択したテキストでよければ「**答えを設定**」をクリックします。生徒のコンピュータで問題を実行すると、問題からはハイライトした部分が削除された文章がランダムで表示されます。

穴埋め ウィザード ×

説明

問題 1 答えの設定

問題 2 答えの設定

問題 3 答えの設定

問題 4 答えの設定

偽の答え

情報

最大4つの文と一緒に問題の説明を入力してください。文ごとに生徒にドラッグ&ドロップさせたい単語または語句をマウスでハイライトします。適切なテキストを選択してよければ、「**答えの設定**」をクリックしてください。

< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
ヘルプ

ウィザードの第一ステップが完了したら次へ をクリックします。

画像の挿入

画像と文章または問題が4問出題されます。生徒は、文章に合った画像を選択します。

最初に説明とオプションに文章またはフレーズを4問入力します。文章の隣に該当する画像を参照から選択します。画像データベースに保存された画像の一覧が表示されます。既存の画像を選択するか、新たに画像をインポートします。使用をクリックして問題に画像を適用します。

生徒で問題を実行すると、画面の下部に画像がランダムに配置されます。当てはまる内容に画像をドラッグ & ドロップします。

画像の挿入 ウィザード

説明 国名に対して正しい国旗を選択してください

問題 1 カナダ  参照

問題 2 アメリカ合衆国  参照

問題 3 エジプト  参照

問題 4 ブラジル  参照

情報
一番上のボックスに説明を入力します。そして、問題ボックスに内容を入力してください。各問題ボックスの右にある [参照] ボタンを押して内容に一致する画像を選択してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

ウィザードの第一ステップが完了したら次へ をクリックします。

コンボリスト

ドロップダウンリスト付きの文章が4問出題されます。リストから正しい答えを選択します。

最初に問題の説明と文章またはフレーズを4問入力します。各問題の右の欄に正しい答えを入力します。さらにダミーの答えを2つ追加することができます。生徒で問題を実行するとダミーを含めた選択肢が全て表示されます。

問題と答えのページ

説明

それぞれの物語に関連するキーワードを選択してください。

問題

問題 1	桃太郎	きびだんご
問題 2	傘地蔵	かき
問題 3	鶴の恩返し	はた織り
問題 4	浦島太郎	玉手箱

偽の答え

パン	オオオカミ
----	-------

情報

最大 4 つの異なる文章を入力し、各文章について表示されるテキストボックスに正しい答えを入力します。さらに、偽 1 と 2 とマークされたボックスに 2 つの不正解を追加します。生徒には、選択できるすべての答えが表示されます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

ウィザードの第一ステップが完了したら次へ をクリックします。

図と名称

4箇所が空欄となっている画像が出題されます。画面の下部にある4つの語句を正しいボックスにドラッグ&ドロップします。

最初に問題とタイトルを入力します。次にタイトル合わせを行う画像を選択します。参照をクリックし、画像データベース内に保存されている画像の一覧が表示されます。既存の画像を選択するか、新しい画像をインポートします。使用をクリックして問題に画像を適用します。

ウィザードの第一ステップが完了したら次へ をクリックします。

※選択した画像が表示エリアより大きすぎる場合、サイズを変更してください。

スクロールバーを使って表示エリアに表示する画像のポジションを決定します。範囲を選択するには、マウスを使って範囲を指定します。エンターキーを押すか、[次へ]をクリックして次に移動します。



プレビューウィンドウを使用して画像に答えを配置し、ポインターや背景の色を選択します。

1. 画像の正しい位置にポインターの端をドラッグします。
2. テキストボックスを適切な場所にドラッグします。
3. ポインターのスタイルを選択して、ポインターと背景の色を選択します。
4. 準備ができたなら[次へ]をクリックします。

マルバツ問題

生徒は与えられた問題に対して、○か×で解答します。

最初に問題の説明を作成します。次に生徒が解答する問題文を作成します。それが正しいか間違いか指定します。

マルバツ選択 ウィザード

説明 問題文が正しい場合は○を、間違っていたら×を選択してください

正しい場合は○、間違いの場合は×を答えます

問題 1メートルは1000ミリメートルである 真

情報
説明と問題を入力し答えが正しい場合は○、間違っている場合は×を選択します。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

最初のステップが完了したら次へ をクリックします。

複数のマルバツ問題

4問出題され、それらが、○か×か解答します。

最初に問題の説明と問題文を入力します。それぞれの問題が○か×設定します。

複数のマルバツ選択 ウィザード

説明

正しい場合は○、間違いの場合は×を答えます

問題	<input type="text" value="桃太郎は、竹の中から生まれた"/>	<input type="radio"/>	偽
問題	<input type="text" value="きびだんごはおじいさんの手作りである"/>	<input type="radio"/>	偽
問題	<input type="text" value="おはあさんは川へ水を汲みに行った"/>	<input type="radio"/>	偽
問題	<input type="text" value="桃太郎は鬼退治に向かった"/>	<input checked="" type="radio"/>	真

情報
問題の説明を入力します。問題ボックスに問題を入力し答えが正しい場合は○、間違っている場合は×ボタンを選択します。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

最初のステップが完了したら次へ をクリックします。

並べ替え

正しい順番に4つの解答を配置します。

最初に問題を作成し、正しい順番に解答を配置します。生徒機で問題を実行すると、4つの解答はランダムに配置されます。生徒は正しい場所に個々の解答をドラッグ&ドロップします。

最初のステップが完了したら次へ をクリックします。

問題に補足素材を追加する

リソースデータベース

画像、動画、サウンドクリップの表現は、しばしば作成した問題になくってはならない部分になる場合があります。タイトル合わせや画像合わせのようなタイプの問題はそれ自体が画像で構成されていますが、どのタイプの問題でも追加補足素材を含めることが可能です。デザイナーには、「参照」モードがあり、適用している場合、解答前に必ず生徒はリソースを参照するようにします。

問題にリソースを挿入する前に、プログラム内部のリソースデータベースにリソースを追加する必要があります。デフォルトでリソースは C:\Program Files\EdClass\resources に保存されますが、メニューの [ファイル][オプション] を選び保存先を変更することができます。

データベースへの追加方法は、デザイナーメインツールバーで素材アイコンをクリックするか、メニューから [ファイル][素材] を選択します。素材リストが表示されます。素材のインポートや管理が可能な様々なツールバーオプションが利用可能です。新しい素材をインポートする前に、フィルターアイコンをクリックしてサウンド、イメージ、ビデオのカテゴリを選択します。これにより各素材はデータベース内の適切なフォルダに保存されます。

素材のインポートアイコンをクリックして必要なファイルを参照します。また Windows エクスプローラを使ってファイルの保存場所から直接ファイルをドラッグ & ドロップすることもできます。

問題に素材を追加する段階で必要なファイルがデータベースにない場合、そこでファイルをインポートすることができます。

問題に素材を追加するには

各問題のウィザードは、適切な段階でリソースの追加が可能になります。

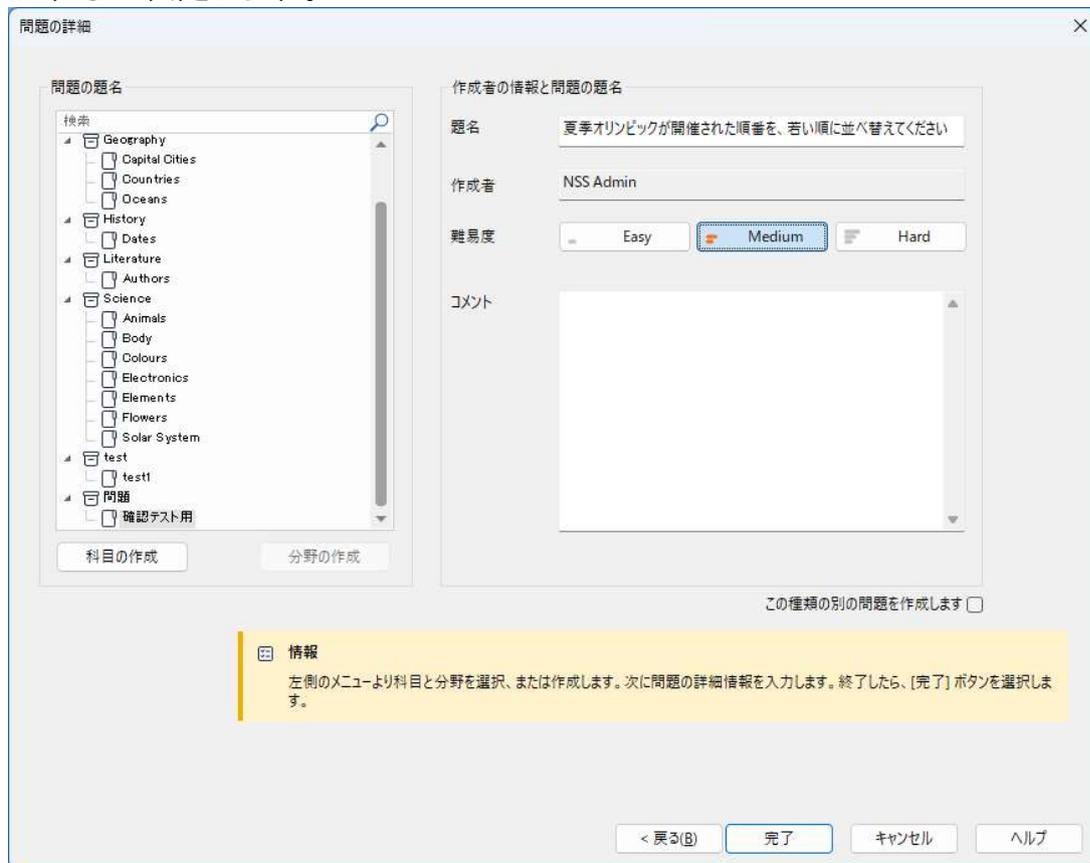
1. 画像、動画、音声の内どの素材が最適か決定し、参照をクリックします。選択した形式の素材リストが表示されます。
2. 必要なファイルが既にデータベースにインポートされている場合は、そのファイルを反転させ、使用をクリックします。選択する前にファイルをプレビューできます。または
リストに新規に追加する場合は、インポートをクリックしてファイルを選択します。ファイルを選択するとそのファイルで間違いがないか確認するためプレビュー画面が表示されます。またファイル名よりもリソースリストに表示されるのでファイルにはわかりやすい説明を入力します。リストに追加したら使用をクリックして問題にファイルを追加します。
3. [次へ]をクリックします。

確認モード

このオプションを選択すると、問題を表示する前に生徒に素材を閲覧するように強制することができます。生徒のコンピュータで試験が実行されると、問題用メディアが1度しか表示されないことを生徒に通知します。このオプションが選択されている場合、素材が問題に追加されるまで次に進むことはできません。

問題の詳細

問題詳細ダイアログは問題作成プロセスを完了します。問題の保存先、コメントを追加するか決定します。



EdClass プログラムフォルダ内 school.mdb という内部データベースで保存した問題を管理しています。問題エディタウィンドウはツリービューで保存した問題を表示します。科目やトピックを作成してリストをカスタマイズできます。

問題の詳細ダイアログは、ツリービューも表示します。既存の科目/トピックに問題の追加や新規作成できます。補足文も追加できます。

問題作成中に新しい科目や分野を作成する

1. 科目の作成を選択して名前を入力します。[OK] をクリックします。科目がツリービューに追加されます。
2. 科目内でトピックを作成するには、トピック作成を選択して名前を入力して[OK] をクリックします。
3. 作者の情報を追加します。説明を編集して内容を追加します。難易度がわかるように各問題にレベルを設定することができます。
4. [完了] をクリックして問題を保存し問題作成ダイアログに戻ります。別の問題のタイプを選択するか閉じるを繰り返して、問題エディタウィンドウに戻ります。

問題を編集する

保存された問題を編集するには、ツリーから問題をハイライトにしてメニューから [問題] [問題の編集] を選択するか、編集する問題を右クリックして [編集] を選択します。

編集問題ダイアログの適切なタブを選んで必要な詳細を変更し、完了したら OK をクリックしてください。

編集 図と名称

問題と答えのページ | 画像を調整する | 図に名称を配置する | 問題の素材 | 問題の詳細

説明
問題 惑星の名称を選択してください

名称 1 地球

名称 2 土星

名称 3 木星

名称 4 水星

名称を配置する画像

画像ファイル Solar System

情報
このページのアイテムを編集します。詳細を編集するにはページの上部のタブを使うか、[OK]を押して保存します

OK キャンセル ヘルプ

注意: 問題を右クリックし、「複製」を選択すると問題を複製することができます。問題編集ダイアログが表示され、必要に応じて変更し、完了したら「OK」をクリックします。ツリー階層表示のオリジナルの問題の下に複製した問題が表示されます。

問題、科目、トピックを削除する

試験に出題されない問題だけ削除できます。科目やトピックは削除の範囲を決定するために選択された並べ換え表示やツリーのその場所にアイテムがない場合は、削除することができます。

ツリーで項目を選択してメニューから [問題][問題の削除] を選択します。選択したアイテムの削除アイコンをクリックするか右クリックして削除を選択します。

科目またはトピックの名前を変更することができます。右クリックして名前の変更を選択するか [選択したアイテムの編集する] アイコンをクリックします。

科目やトピックの削除時、プログラムはツリーのその場所にアイテムがあるかどうか(並べ換え表示に)、ツリーの他の場所にアイテムがあるかどうかチェックします。

科目別に並べ換えた場合は、アイテムの出現場所は1つです。したがってトピックは問題を何一つ含んでいなければ削除できます。また科目はトピックがなければ削除できます。しかし、例えば問題別で並べ換えた場合、ツリーに同じ科目やトピックが複数発生するかもしれません。

例えば、地理のマルチ選択問題のみを削除した場合、マルチ選択問題カテゴリからは削除されますが、地理に関連するほかのカテゴリ(マルチ選択問題以外)からはトピックとサブジェクトは削除されません。

試験インターフェース

問題のライブラリを作成したら、それらを試験に追加できます。独自の評価や得点の適用、他の先生と試験を共有することも可能です。

試験モードで利用可能なアイコン：

- 試験の作成
- 試験の編集
- 試験の削除
- 試験の発行。生徒で試験が実施される前に、試験を発行する必要があります。また、共有エリアに保存することも可能です。
- 試験のプレビュー。生徒に表示される問題を確認できます。
- 試験の評価を編集。試験に独自の評価を適用します。

試験の評価

試験の終了後に、先生は細かく分類した詳細な結果確認をすることができます。さらに指定した範囲で分類して、このレポートを拡張することも可能です。

試験評価は、試験作成開始前に設定する必要があります。

メニューから [試験] [成績] を選択します。

試験の評価基準の設定

試験の評価を判定するための点数をパーセントで入力します

評価方法の名前

表示するの画像

評価の範囲

評価の名前

評価の範囲 >> %

ランク	評価名	評価範囲
3	すごいです	66%-85%
2	もう少しです	41%-65%
1	がんばりましょう	0%-40%

評価概要の名前を入力し、レポートの画像を追加します。これは、生徒がどのくらい良くできたのかを図で評価することができます。例えば、得点が 20%の生徒は星一つ、80%の生徒には星 4 つを表示させることができます。画像は、厳密に 32x32 ピクセルで素材データベースにインポートしなくてはなりません。デフォルトでレポートグレードを提供しますが、必要に応じて独自のカスタマイズ画像を作成してインポートすることもできます。

各評価範囲に適切なバンド値を設定し、追加をクリックしてください。すべてのバンドを追加したら、保存をクリックしてください。編集または削除ボタンを使って、リストの項目を変更します。

テストレポートウィンドウにおいて各生徒の評価を閲覧できます。

試験を作成する

問題エディタで作成した複数の問題を組み合わせ、簡単に試験を作成することができます。

試験ウィザードでは、必要な問題の選択、試験の時間制限の設定、独自の評価方法やサポート情報入力を行えます。この手順中に新しい問題の作成もできます。

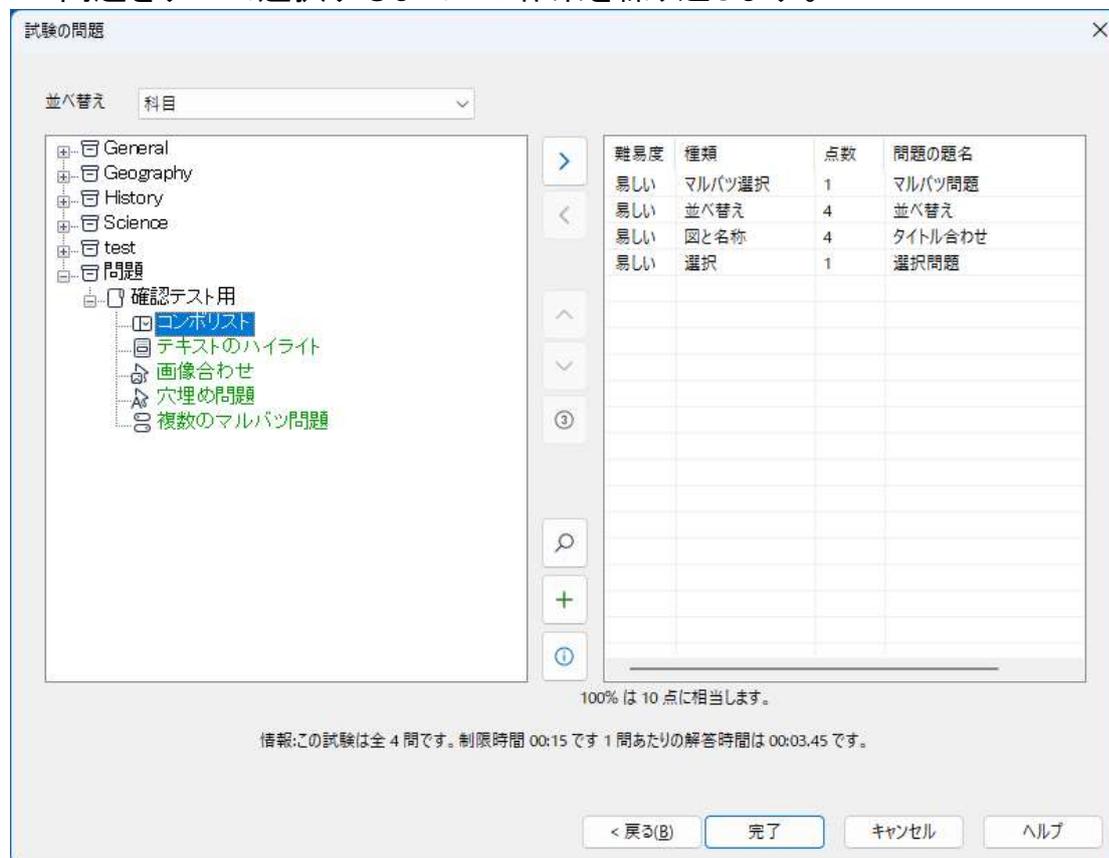
試験を作成するには

1. メニューから[試験][試験の作成]を選択するか、[試験を新規作成する]アイコンをクリックします。

2. ステップ 1 では、試験についての一般情報を入力します。試験のタイトルと説明を入力してください。試験時間を設定する場合、制限時間の設定を行います。評価方法のドロップダウンから選択して独自の評価方法の使用か、デフォルトスコアシステムを使うかどうかを決めてください(手順2で問題に独自の得点を割り当てることができます)。対象年齢やクラスといった情報も試験に追加できます。準備ができれば「次へ」をクリックしてください。

注意: 評価方法を使用するなら、先に評価方法ダイアログで作成しなければなりません。

3. ステップ 2 は試験用の問題を選択します。ウィンドウ左のツリーを展開して必要な問題をハイライトし、[問題を追加する]ボタンをクリックします。ツリービューはレベル、科目、作成者、難易度、問題の種類ごとに並べ換えることができます。必要な問題をすべて選択するまでこの作業を繰り返します。



4. ウィンドウの右側に選択した問題が表示されます。ここで、各種のボタンが使用できます。試験から問題を削除、指定した順番に問題を並べ換え、問題をプレビュー、問題に得点を割り当て、または新しい問題の作成などのボタンが使用可能になります。
5. [完了] をクリックして試験エディタのツリービューで試験を保存します。

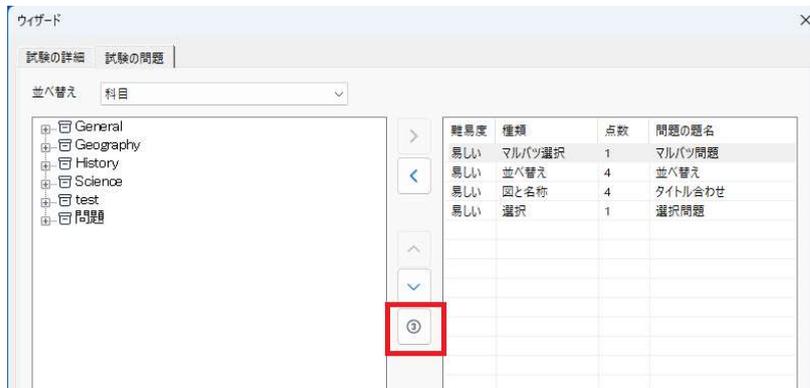
作成すると試験エディタのメニューまたはツールバーで試験の編集、削除、プレビュー、発行が可能になります。

注意: 作成した試験はツリーに表示されますが、試験を「発行」するまでは生徒で実行することはできません。試験に必要な問題、画像、動画などを Zip ファイルにまとめる必要があります。作成した Zip ファイルはテストコンソールで利用できます。

問題の配点

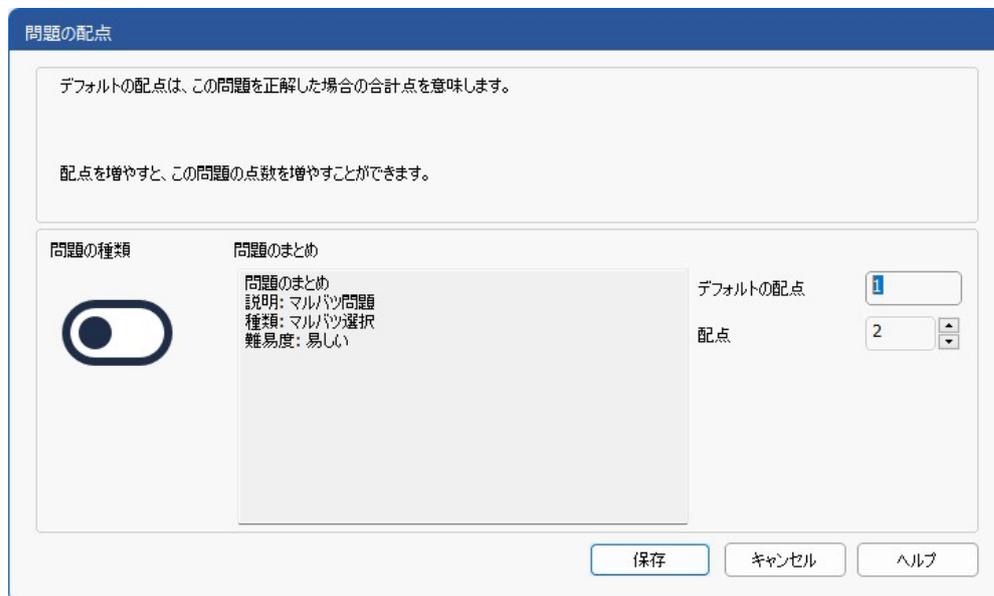
問題にはデフォルトの点数が設定されています。問題の得点ダイアログで各問題に自由に点数を割り当てることが可能です。

1. 試験ウィザードで問題を選択し、問題の得点のアイコンをクリックします。



注意: 既定の配点オプションにチェックが入っていないことを確認してください。

2. 問題の詳細が表示され、デフォルトの得点が表示されます。ボタンを使って点数を増やすことができます。



注意: 複数回答の問題は、対応した数字を増やすことしかできません。

3. 完了したら「保存」をクリックします。

試験をプレビューする

いつでも試験をプレビューして試験のシミュレーションを行うことができます。問題や画像、動画などの素材を確認するのに最適な方法です。試験は生徒のコンピュータで実行時と全く同じですが、プレビュー機能では結果は表示されません。

試験をプレビューするには

1. 試験エディタウィンドウツリービューで試験を選択する。
2. メニューから[試験][試験プレビュー]を選択します。
または、ツールバーの「選択した試験をプレビューする」アイコンをクリックするか、試験名を右クリックしてプレビューを選択します。
3. ウィンドウ下部のボタンを使用して問題の移動や終了します。ウィンドウ左サイドの問題番号をクリックして確認することもできます。

注意： このモードで各問題のプレビューができます。試験のツリーを展開すると問題が表示されます、必要な項目をハイライトしたら [プレビュー] をクリックします。

試験を編集する

1. 試験エディタウィンドウのツリービューで試験を選択します。
2. メニューから [試験][試験の編集] を選択します。
または
ツールバーの「選択した試験を編集する」アイコンをクリックするか、試験名を右クリックして編集を選択します。
3. 試験ウィザードが表示されます。
4. 試験の詳細または試験問題タブを選択して編集します。
5. OK をクリックします。

試験を削除する

この操作は試験エディタウィンドウから試験を削除しますが、試験を発行した Zip ファイルは削除しません。生徒で試験を実行することは可能です。

試験を削除するには

1. 試験エディタウィンドウのツリービューで試験名を選択します。
2. 試験エディタウィンドウのメニューから[試験][試験の削除]を選択します。
または
ツールバーの「選択した試験を削除する」アイコンをクリックするか、試験名を右クリックして削除を選択します。
3. 試験を削除するか再確認します。

試験を発行する

生徒で試験を実行する前に、試験は「発行」されていなくてはなりません。この工程は、試験、問題、素材などの様々な要素を ZIP ファイルに圧縮し、デフォルトのプログラムファイル内のテストフォルダまたは選択した共有ネットワークフォルダに保存されます。後者の場合、他の先生が試験にアクセスできる利点があります。C:\Program Files\EdClass\Tests に保存されます。

テストを発行するとテストコンソールで選択可能になります。

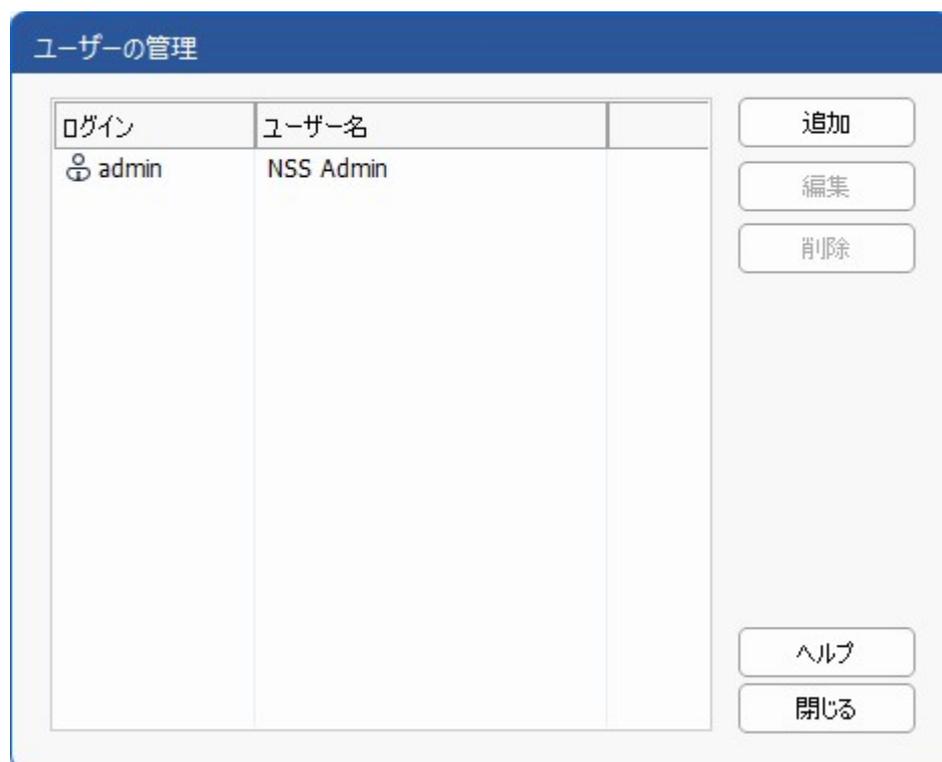
試験を発行するには

1. 試験エディタウィンドウツリービューで新しく作成した試験名を選択します。
2. 試験エディタウィンドウのメニューから [試験][試験の発行] を選択します。
または
ツールバーの「選択した試験を発行する」アイコンをクリックするか、試験名を右クリックして発行を選択します。
3. 試験のプロパティ確認のウィンドウが表示されます。発行をクリックします。
4. 名前を付けて保存ダイアログが表示されます。試験に名前を付けます。この名前が試験実行時にテストコンソールに表示されます。保存をクリックすると Zip ファイルを作成します

ユーザーカウントの設定

デフォルトの管理者ログオン(ユーザー名:admin、パスワード:admin)に加えて、複数のテストデザイナーアカウントを作成することができます。

テストデザイナーのメニューから、[ファイル][ユーザー]を選択するか、ツールバーのユーザーアイコンをクリックします。ユーザーの管理ダイアログが表示され、ユーザーの追加、編集、削除ができます。



追加をクリックしてユーザー名(ユーザーのフルネーム)、ログイン名とパスワードを入力します。管理者権限を与えるかどうか決定します。これを与えられたユーザーは、他のユーザーが作成した問題や試験の編集/削除の権限と共にデザイナーの全ての機能にアクセスできます。管理者権限の無いユーザーは試験の作成しかできません。

管理オプション

問題、試験等は EdClass の内部データベースに保管されます。このダイアログはデータベースのバージョン情報を表示します。インポートした素材(画像、動画、音声クリップ)の保管先パスを編集するオプションがあります。



全般

データベースのバージョン、現在使用中の School.mdb は場合によっては内部データベースのアップデートを提供するかもしれません。どのバージョンが使用中かこのダイアログに表示します。

素材

デフォルトではインポートした画像、動画、音声ファイルのリソースは EdClass のプログラムフォルダ内のリソースエリアに保存されます。このオプションでパスの編集が可能です。

データのインポート/エクスポート

他のユーザーが作成した試験を利用できるように、データのバックアップを外部に保存できます。エクスポートするファイルはセキュリティとしてパスワードで保護することもできます。データベース内のすべてのアイテムをエクスポートするか、試験、問題、素材だけをエクスポートするか選択できます。

インポート/エクスポートオプションは問題エディタまたは試験エディタウィンドウからアクセス可能です。

データをエクスポートする

1. メニューから [ファイル][エクスポート] を選択します。
2. データベースのエクスポートダイアログが表示されます。エクスポートする情報のカテゴリを選択してエクスポートをクリックします。
3. エクスポートウィザードが表示されます。エクスポートデータの場所を指定しファイル名を指定します。デフォルトでは現在の日付がファイル名の前部に付きます。名前の変更もできます。必要に応じてパスワードによる保護やオプションの説明が可能です。準備ができたなら [次へ] をクリックします。
4. 選択したカテゴリ(試験、問題、リソースなど)によってはウィザードでツリービューからエクスポートするアイテムを指定します。順番にアイテムを選択してエクスポートリストに [追加] ボタンをクリックします。エクスポートリストが完成したら次へをクリックします。
5. ウィザードでエクスポートするアイテムを確認します。試験に関連するリソースまたは問題を含みます。情報を変更する場合は [戻る] をクリックします。
6. [完了] をクリックしてエクスポートを開始します。
7. 進行ダイアログが表示されます。完了したら[閉じる]をクリックします。

注意: エクスポートしたデータはデザイナーから削除されません。

データをインポートする

1. メニューから [ファイル][インポート] を選択します。
2. インポートデータベースダイアログは表示されます。エクスポートファイルを参照して [開く] をクリックします。
3. [インポート] をクリックしてインポートを開始します。ファイルが保護されている場合は、パスワードを入力します。
4. 進行ダイアログが表示されます。完了したら [閉じる] をクリックします。

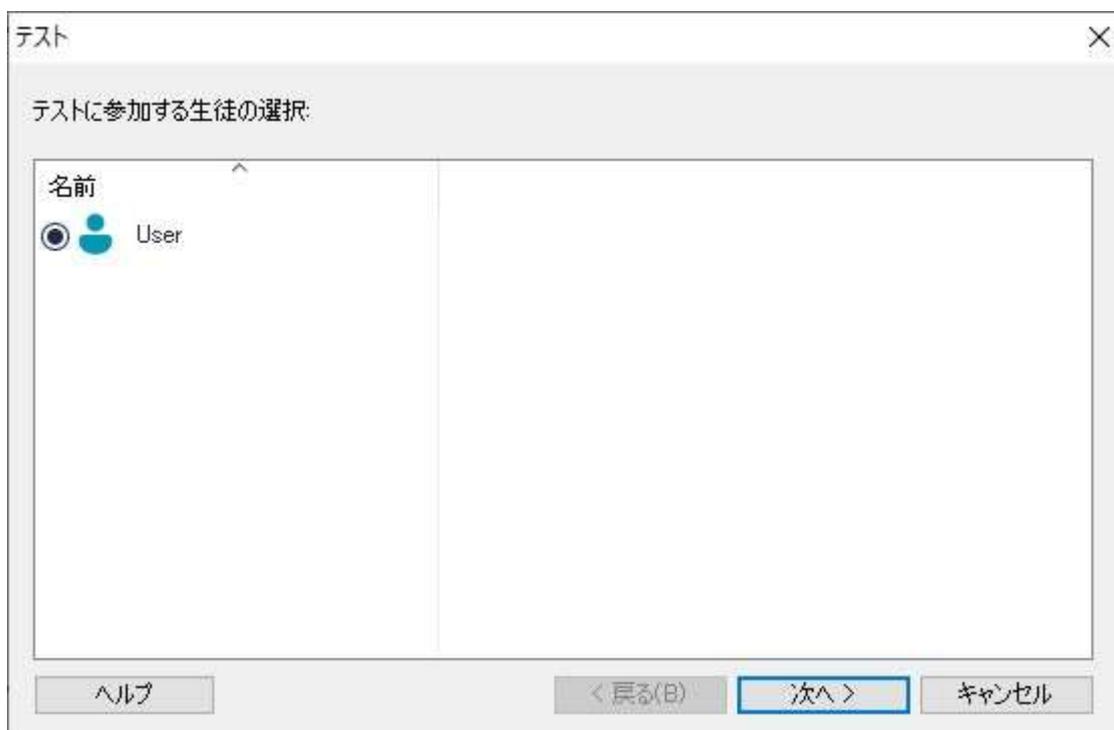
注意: インポートしたデータのインターフェースを更新するには、デザイナーをログアウトします。

テストコンソール

テストデザイナーで問題を作成したら、EdClass 先生プログラム内にあるテストコンソールを使って生徒に試験を配布して結果をモニタします。

試験を実行する

1. コントロールウィンドウのメニューから [フィードバックとウェルビーイング][評価] を選択します。
2. 生徒選択ダイアログが表示されます。接続中の生徒リストからテストに参加させる生徒をチェックまたはチェックを外して選択します。[次へ] をクリックします。



3. 試験を選択します。発行した試験の詳細リストが表示されるので試験を選択します。試験に制限時間を設定することもできます。実行する準備ができたなら [完了] をクリックします。

次のツールバーオプションが使用できます。

画面受信

試験中に特定の生徒の画面をいつでも見ることができます。ビューウィンドウのオプションをそのままお使いいただけます。

チャット

試験実行中に生徒とチャットをすることができます。各問題形式のヘルプボタンがありますが、さらに補助が必要な場合チャットを使用します。

ログイン

試験開始前に生徒に個人名でログインさせることができます。コンピュータ名で表示されている場合に便利です。

一時停止

いつでも試験を一時停止できます。再開するには[開始]をクリックします。

開始

生徒のコンピュータで試験を開始します。

停止

生徒が制限時間内に問題を全て解答した場合、終了時間を待たずに停止できます。

レポート

試験が終了すると結果を回収するオプションです。(先生が試験を停止するまたは制限時間になった場合)

終了した生徒のコンピュータのロックを解除する

試験中、生徒は他のアプリケーションを使用できません。全コンピュータは先生が試験を終了するまでロックされつづけます。このオプションを有効にすると試験を終了すると各生徒のコンピュータのロックが解除されます。

テストレポートウィンドウ

レポートウィンドウは先生が試験の結果を見ることができます。また生徒に自分達の結果を見せるオプションもあります。



ツリービューのアイテムを選択して、2種類のレポート(クラスの要約と生徒のレポート)を表示できます。それぞれ印刷してコピーをHTML形式でC:\Program Files\EdClass\Tests\Reports フォルダに保存できます。

注意: レポートを保存する場所を先生プロファイルオプションで指定することができます。

クラス全体

テーブルフォーマットで各生徒の概要を表示します。レポートは試験の問題数と獲得ポイント数を記述します。(マルチ選択以外の問題は正解につき1ポイントとなります)。各生徒の得点を項目化します。

個別レポート

ツリービューで生徒名を選択すると、生徒別の結果を表示することができます。生徒が苦手な部分を確認できます。試験の評価を適用した場合、追加したコメントが採点したグレードに表示されます。インデックスを項目化することで、各問題に割振られた得点から生徒がどのように解答したか確認できます。

ツールバーは以下の機能のショートカットで構成されています：

テスト結果

各生徒の結果を表示します、答えを表示することもできます。全生徒を一斉に表示する場合はツリー内で生徒レポートをハイライトします。個別に表示させる場合は生徒名を選択します。

テストプレイヤーが生徒に再度表示され順番に各問題を確認できます。正解と不正解の確認、複数答えがある場合は部分的に正解を表示します。

回答を含むを選択した場合、テストプレイヤーウィンドウ上に回答表示ボタンが表示され、生徒は自分たちの回答と正解を切り換えることができます。

レポート

このオプションは生徒上に個別結果を表示します。

印刷

先生はクラスまたは生徒の要約を印刷することができます。ツリー内のアイテムをハイライトして[報告の印刷] をクリックします。

学習ノート

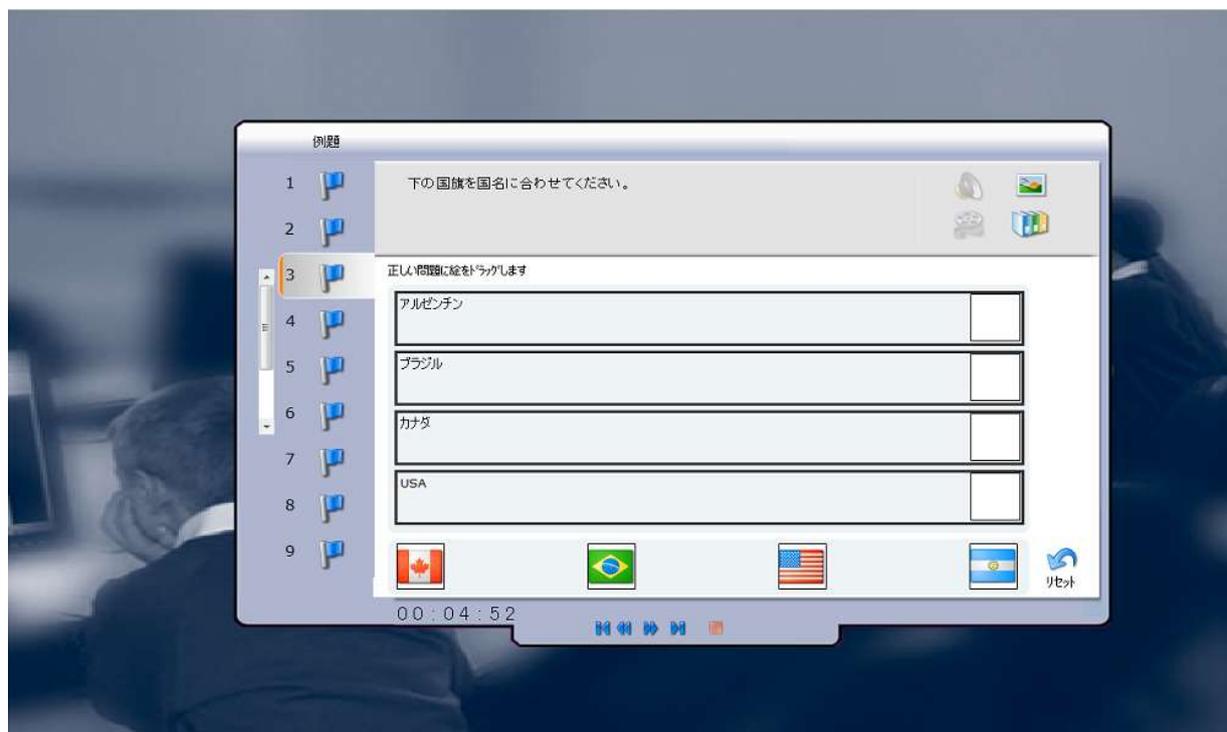
生徒ノートに各生徒の結果のコピーを送信できます。

準備が整ったら、ウィンドウを閉じてテストコンソールダイアログに戻ります。生徒画面から結果またはレポートをクリアします。

テストプレイヤー

EdClass テストプレイヤーは試験実行時に生徒のコンピュータで起動するテスト用のユーティリティです。プレイヤーが起動中は、生徒は他のアプリケーションを使用することができません。しかし、先生は生徒が試験を終了したらそのコンピュータのロックを解除できます。全生徒が終了するのを待つ必要はありません。

先生はテストコンソールで試験に参加させる生徒と試験の選択を行います。この時点でテストプレイヤーが各生徒で自動的に起動します。先生が試験を開始すると第1問が表示され試験を開始します。



テストプレイヤーウィンドウには次のオプションがあります

試験時間

残り時間を管理します。

問題リスト

試験の出題数を番号つきボタンで表示します。クリックして問題間を素早く移動できます。問題の見直しや答えを変更する時に便利です。

問題エリア

ウィンドウのメイン部分には質問が表示され、質問のタイプに応じて関連する選択肢が表示されます。リソースとして含まれている場合、写真、ビデオ、音声クリップを表示するためのボタンが提供されており、質問のタイプごとに回答方法のヒントを提供するリファレンスボタンも利用できます。

ナビゲーションボタン

問題リストのほかにウィンドウ下部にあるナビゲーションボタンで問題を移動できます。解答が終了したら [終了] をクリックします。

試験が終了すると、先生は生徒に結果を表示し、必要に応じて解答も含めることができます。生徒 PC でテストプレイヤーを再度開き、各問題を順番に表示できます。正解、不正解、または複数の正解がある問題の場合、問題の正誤箇所をウィンドウに表示します。先生が回答を含むを選択した場合、[回答表示] ボタンが表示され、生徒は自分の回答と正解を切り換えることができます。

ポータブル先生について

EdClass では、先生プログラムをポータブルデバイス(例: USB メモリ、フラッシュドライブなど)で使用する事もできます。

使用方法

EdClass の先生ソフトウェアをインストールすると、インストール先のフォルダの中に、Portable Tutor というフォルダが作られます。

(デフォルトでは、C:\Program Files (x86)\EdClass\Portable Tutor)

Portable Tutor フォルダを USB メモリ等のポータブルデバイスにコピーし、その中にある pcinssui.exe というアイコンを実行することで、先生ソフトウェアを任意の PC で使用する事ができます。



ポータブル先生を実行するコンピュータには、EdClass 先生をインストーラからインストールしておく必要はありません。ポータブル先生は、どのコンピュータに取り付けて使用しても、同じ設定内容を保持する事が可能です。

(但し、以上の手順では、設定ファイルを指定しない起動方法の為、他のコンピュータで使用する毎に設定内容が初期状態に戻ってしまいます。設定内容を保持するには、以下の手順でポータブル先生を起動してください)

ポータブル先生の設定を保持する方法

ポータブル先生の設定内容を保存し、次回もその設定で使用するには、ポータブル先生を実行する際に、設定ファイルを指定する必要があります。

(具体的な手順)

※ Portable Tutor フォルダのコピー先のポータブルデバイスのドライブレターを、F:とし、保存先のファイル名を、Tutor.cfg と仮定します。

コマンドプロンプトを開き、以下のように入力します。

```
f: [Enter]
cd f:\Portable Tutor [Enter]
pcinssui.exe /RTutor.cfg [Enter]
```

以上で、設定ファイル (Tutor.cfg) を指定した状態でポータブル先生が起動します。

お問い合わせ先

製品のお問い合わせ先につきましては、EdClass 製品パッケージ内に同封されている「保守サービス証書」をご確認いただくか、ご購入いただいた販売店様へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

EdClass インストール／操作ガイド

株式会社 アルバニクス
〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1

※ 記載されている社名、商品名は各社の商標または登録商標です
